

練馬区

大泉中里遺跡第五次調査

— 補助第 230 号線（大泉町）整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査（その 2） —



2025・9

東京都埋蔵文化財センター

練馬区

大泉中里遺跡第五次調査

— 補助第 230 号線（大泉町）整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査（その 2） —



2025・9

東京都埋蔵文化財センター

大泉中里遺跡の第五次調査

練馬区大泉中里遺跡は、練馬区北西部の大泉町二丁目に位置する遺跡です。これまでに4回の発掘調査が行われており、今回の調査は、平成31年2月から令和元年11月にかけて東京都埋蔵文化財センターが実施した調査（第四次調査）に続く第五次調査にあたります（写真1）。第四次調査と今回の第五次調査は、ともに東京都建設局による補助第230号線（大泉町）の整備事業に伴う発掘調査です。第四次調査が道路予定地の北側一車線に相当する範囲で、今回は南側一車線に相当する範囲です。発掘調査は、令和6年2月27日から令和6年10月31日までの約8カ月間にわたって行いました。

大泉中里遺跡は、白子川の蛇行により形成された舌状に突き出した台地上に立地します（写真2）。第五次調査地点の標高は約42mで、白子川とは約10mの高低差があります。遺跡の中央部に相当する第五次調査地点は、白子川がなす急崖近くの台地縁辺部に位置します。

発掘調査では、主に旧石器時代と縄文時代、近世以降の遺構と遺物が確認されました。

旧石器時代では、3か所の遺物集中が、立川ローム層のIV層からV層で検出されました。遺物集中は、多量の礫で構成されており、黒曜石などの石器や剥片も出土しました。礫の多くは焼けているため、火が使用されたと考えられます。遺物集中は全て北西側の台地縁辺部に位置しており、第四次調査と同様の傾向が見られます。

縄文時代では、主に早期後半と中期後半の遺構と遺物が確認されました。縄文時代早期後半では、竪穴状遺構や炉穴、土坑、ピットなどが検出されました。炉穴は、屋外で火を使用するための施設で、複数基が隣接して炉穴群を構成しています。この炉穴群も複数確認されました。これらの遺構から出土した土器は、条痕文系土器と呼ばれる土器が中心です。

縄文時代中期後半では、竪穴状遺構や土坑、ピット、集石などが検出されました。ピットの中には、土器片が多く含まれるものもあり、意図的に埋められた可能性もあります。集石は、多量の礫で構成され、多くの土器片も出土しました。礫の広がりを見ると、中心は1か所だけではなく、複数あることが推測されます。これらの遺構から出土した土器は、加曽利E3式、加曽利E4式と呼ばれる土器が中心です。

近世以降では、畑跡と考えられるピット列と畝状遺構が確認されました。根菜などの野菜が栽培されていたと想定されます。一部では、畑の土壌改良のために、立川ローム層を溝状に掘削し、黒色土層と入れ替える客土が行われてから畑が営まれていたことが判明しました。

このように、旧石器時代と縄文時代、近世以降のそれぞれの時代の貴重な遺構や遺物が確認されました。

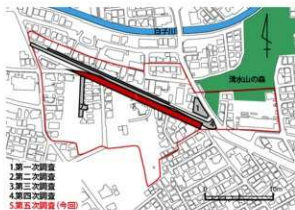


図1 大泉中里遺跡の調査範囲



図2 大泉中里遺跡の立地(現地形)



写真1. 旧石器時代の遺物集中(SBL1)



写真2. 旧石器時代の遺物集中(SBL2)



写真3. 旧石器時代の遺物集中(SBL3)



写真4. 旧石器時代の遺物集中出土石器



写真5. 旧石器時代の遺物集中出土礫の接合資料



写真 6. 縄文時代早期後半の竪穴状遺構 (SI1)



写真 7. 縄文時代早期後半の遺物



写真 8. 縄文時代早期後半の炉穴 (SK17)



写真 9. 縄文時代早期後半の炉穴 (SK39)



写真 10. 縄文時代中期後半の集石 (SI1) オルソ画像



写真 11. 縄文時代中期後半の竪穴状遺構

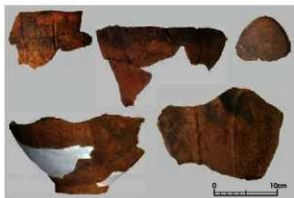


写真 12. 縄文時代中期後半の遺物



写真 13. 近世遺構の畑跡 (9区西側遺構群・9区東側遺構群) オルソ画像

The Fifth Survey of the Oizumi Nakazato Site

The Oizumi Nakazato Site is located at 2-chome, Oizumi-machi, Nerima Ward. This site is located on the tongue-shaped plateau on the right bank of the Shirako River. The survey point is on the marginal region of the plateau, which has a difference of about 10 meters in altitude from the Shirako River. The present investigation is the fifth. The main findings of the survey are ruins and artifacts dating back to the Upper Paleolithic and the Jomon periods and the Early Modern Times and later times.

Firstly, from the Paleolithic period, we unearthed three concentrations of artifacts from about 25,000 years ago. The term "concentration of artifact" refers to an archaeological feature where a large amount of gravel has been gathered. Here we identified instruments made of obsidian and other stones. Numerous items found in the gravel were burned, which makes us assume that the locals used fire.

Secondly, from the Jomon period, we mainly found ruins and artifacts from the latter half of the early and the latter half of the middle Jomon periods. From the first era mentioned above, we unearthed the ruins of pit dwellings, furnace pits, earthen pits, and other pits. The furnace pits are earthen pits where the locals used fire outdoors, and come in several groups.

From the second era mentioned above, we unearthed the ruins of pit dwellings, earthen pits, other pits, concentrated rock fragments, and other artifacts. Among the concentrated rock fragments excavated was a large amount of gravel, along with many pieces of Jomon earthenware.

Thirdly, we found ruins that are presumed to be farming fields. The ruins of farming fields consist of [1] ruins of pits, presumably for vegetable cultivation; and [2] furrows.

In conclusion, we unearthed ruins and artifacts that would serve as precious materials for historical studies of each relevant period.

序 言

大泉中里遺跡は、練馬区大泉町二丁目に所在します。今回は東京都第四建設事務所による補助第 230 号線（大泉町）の整備事業に伴う発掘調査で、今回で第 5 回目になります。

遺跡は練馬区と埼玉県の間を流れる白子川に面した南側の台地縁辺部に立地しており、遺跡周辺には多くの湧水があり、昔の地形的環境を良好に残した場所です。

今回の発掘調査は第四次調査で旧石器時代・縄文時代の遺構・遺物が発見されたことを受け、引き続き調査を行いました。その成果としては、旧石器時代の礫が多く発見され、石器も多数出土しました。縄文時代では早期から中期の遺構・遺物が発見されています。近世以降の畑の痕跡も確認されました。

この調査の成果をまとめた本報告が、多くの人に活用され、地域の歴史を解明する資料となることを期待し、埋蔵文化財に対する都民の皆様のご関心とご理解を深めていただくことができれば幸いです。

本報告書の刊行にあたり、ご協力とご指導をいただきました東京都第四建設事務所、東京都教育委員会、練馬区地域文化部に厚くお礼を申し上げるとともに、ご教示いただきました研究者の皆様、地域の住民の皆様方に心より感謝いたします。

令和 7 年 9 月

公益財団法人 東京都教育支援機構
理事長 坂東 眞理子

例言

- 1 本書は、補助第 230 号線（大泉町）整備事業に伴う大泉中里遺跡（練馬区№ 17 遺跡）の第五次発掘調査報告（東京都埋蔵文化財センター調査報告第 392 集）である。
- 2 発掘調査事業は、東京都第四建設事務所の委託を受け、公益財団法人東京都教育支援機構東京都埋蔵文化財センターが実施した。
- 3 遺跡所在地：東京都練馬区大泉町二丁目地内
- 4 調査対象面積：1,764㎡ 調査終了面積：1,764㎡
- 5 発掘調査期間：令和 6 年 2 月 27 日～令和 6 年 10 月 31 日
整理調査期間：令和 6 年 11 月 1 日～令和 7 年 6 月 30 日
- 6 本事業における事業者との事業調整は、東京都教育庁地域教育支援部管理課が担当・指導した。
埋蔵文化財担当課長代理 鈴木徳子
埋蔵文化財担当 石井香代子
- 7 調査担当者
東京都埋蔵文化財センター 練馬区大泉町二丁目 2 分室
事業調整担当課長 西山博章
調査研究員 守屋 亮
調査工事委託・支援会社
株式会社田中建設 テイクイトレード株式会社
- 8 本報告書の執筆は、守屋 亮・塚田清啓・西山博章が分担し、文責は各文末に記載した。
- 9 本報告書の編集は、守屋が行った。
- 10 本報告に関して、以下の機関に分析を委託した。
放射性炭素年代測定 株式会社パレオ・ラボ
黒曜石の産地推定 株式会社パレオ・ラボ
安山岩の産地推定 株式会社パレオ・ラボ
土壌のテフラ分析 株式会社パレオ・ラボ
- 11 出土遺物及び発掘調査・整理に関わる図面・写真等記録類は、練馬区教育委員会が保管している。
- 12 本報告書刊行に先立ち、以下において調査成果の一部を報告しているが、本書をもって正式報告とする。
東京都埋蔵文化財センター 2024「遺跡だより 142 練馬区大泉中里遺跡」『たまのよこやま』139
東京都埋蔵文化財センター 2025『練馬区大泉中里遺跡』『遺跡発掘調査発表会 2024（令和 5 年度）発表要旨』
東京都埋蔵文化財センター 2025『東京都埋蔵文化財センター調査年報 44 令和 5（2023）年度』
- 13 本文用例等
・本書で掲載・参照した地形図等は、以下のとおりである。
国土地理院基盤地図情報「基本項目」

国土地理院「地理院タイル（陰影起伏図）」

東京都デジタルツイン実現プロジェクト3次元点群データ

「グリッドデータ（0.25m）」・「微地形表現図（0.25m）」

東京都教育委員会「東京都遺跡地図情報インターネット提供サービス」

・大泉中里遺跡グリッド設定図（第2図）は、大泉中里遺跡第四次調査（東京都埋蔵文化財センター2020）で設定したグリッドを使用した。

・土層・遺物の色調、含有量の表記には、農林水産省農林水産技術会議事務局監修『新版 標準土色帖17版』を用い、土色・マンセルノテーションで表した。

・遺物取り上げ・遺構の図化は、株式会社バスコ T3Di を用いた。

・遺構の三次元測量と一部の遺物実測には、Agisoft Metashape Professional Edition を用いた。

・地図と一部の遺構平面図・断面図の作成には、QGIS を用いた。

・調査に使用した座標は、世界測地系による国家座標（平面直角座標系9系）である。

・本書で使用した標高は、海拔で示し、東京湾平均海面（Tokyo Peil：TP）を用いた。

・遺構種別を示す略号は以下のとおりである。

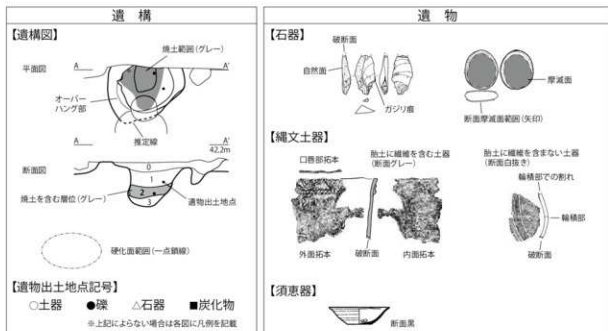
遺物集中：SBL、溝：SD、竪穴状遺構：SI、竪穴状遺構内ピット：SI-P、土坑（炉穴含む）：SK、集石：SS、不明遺構：SX、ピット：P、縄文時代のピット：J-P、攪乱 K

・遺構一覧表・遺物観察表における（ ）内の数値は残存値を示す。

14 発掘調査及び整理調査に関して、以下の方々と機関にご指導・ご協力を賜った。記して、深く感謝いたします（敬称略）

東京都建設局第四建設事務所、練馬区教育委員会、鈴木忠司、竹尾 進、都築恵美子、鶴間正昭

凡例



目次

大泉中里遺跡第五次調査

Survey of the Ohizumi-nakazato Site

序言

例言・凡例

I 発掘調査の概要

1 調査に至る経緯	1
2 調査の方法と経過	1

II 遺跡の位置と環境

1 地理的環境	8
2 歴史的環境	10

III 層序

IV 遺構と遺物

1 旧石器時代	14
2 縄文時代	41
3 奈良・平安時代	113
4 近世以降	114

V 自然科学分析

1 放射性炭素年代測定	125
2 大泉中里遺跡出土の黒曜石製石器の産地推定	129
3 大泉中里遺跡出土のガラス質安山岩製石器の非破壊での産地推定	133
4 大泉中里遺跡のテフラ分析	137
5 練馬区大泉中里遺跡出土縄文土器の圧痕分析	144

VI 調査の成果と課題

1 旧石器時代	147
2 縄文時代	150
3 奈良・平安時代	152
4 近世以降	152

引用・参考文献	153
---------	-----

報告書抄録

巻頭写真目次

図1 大泉中里遺跡の調査範囲	ii	写真4 旧石器時代の遺物集中出土石器	ii
図2 大泉中里遺跡の立地（現地形）	ii	写真5 旧石器時代の遺物集中出土礫の接合資料	ii
写真1 旧石器時代の遺物集中 (SBL1)	ii	写真6 縄文時代早期後半の竪穴建物跡 (SI1)	iii
写真2 旧石器時代の遺物集中 (SBL2)	ii	写真7 縄文時代早期後半の遺物	iii
写真3 旧石器時代の遺物集中 (SBL3)	ii	写真8 縄文時代早期後半の穴（SK17）	iii

写真9	縄文時代早期後半の穴 (SK39)	・ ・ ・ ・ ・	iii
写真10	縄文時代中期後半の集石 (SS1) オルソ画像	・ ・ ・ ・ ・	iii
写真11	縄文時代中期後半の竪穴建物跡	・ ・ ・ ・ ・	iii

写真12	縄文時代中期後半の遺物	・ ・ ・ ・ ・	iii
写真13	近世道橋の畑跡 (9区西側道橋群・9区東側道橋群) オルソ画像	・ ・ ・ ・ ・	iii

挿図目次

第1図	調査地点位置図 (1/25,000)	・ ・ ・ ・ ・	3
第2図	グリッド設定図 (1/2,000)	・ ・ ・ ・ ・	3
第3図	大泉中里道跡の既調査地点詳細図 (1/1,200)	・ ・ ・ ・ ・	4
第4図	調査区全景 (1)	・ ・ ・ ・ ・	5
第5図	調査区全景 (2)	・ ・ ・ ・ ・	6
第6図	武蔵野台地の地形区分	・ ・ ・ ・ ・	7
第7図	周辺の道跡分布 (1/55,000)	・ ・ ・ ・ ・	8
第8図	基本順序 (1/40)	・ ・ ・ ・ ・	12
第9図	基本順序写真	・ ・ ・ ・ ・	13
第10図	旧石器時代遺構全体図 (1/150)	・ ・ ・ ・ ・	15
第11図	1号遺物集中 (1) (1/40)	・ ・ ・ ・ ・	16
第12図	1号遺物集中 (2) (1/40)	・ ・ ・ ・ ・	17
第13図	2号遺物集中 (1) (1/40)	・ ・ ・ ・ ・	18
第14図	2号遺物集中 (2) (1/40)	・ ・ ・ ・ ・	19
第15図	3号遺物集中 (1) (1/40)	・ ・ ・ ・ ・	20
第16図	3号遺物集中 (2) (1/40)	・ ・ ・ ・ ・	21
第17図	遺物集中写真	・ ・ ・ ・ ・	22
第18図	旧石器時代石器 (1) (2/3)	・ ・ ・ ・ ・	24
第19図	旧石器時代石器 (2) (2/3)	・ ・ ・ ・ ・	25
第20図	旧石器時代石器 (3) (2/3)	・ ・ ・ ・ ・	26
第21図	旧石器時代石器写真 (1)	・ ・ ・ ・ ・	27
第22図	旧石器時代石器写真 (2)	・ ・ ・ ・ ・	28
第23図	旧石器時代遺物集中関係グラフ	・ ・ ・ ・ ・	40
第24図	縄文時代遺構全体図 (1) (1/150)	・ ・ ・ ・ ・	42
第25図	縄文時代遺構全体図 (2) (1/150)	・ ・ ・ ・ ・	43
第26図	1号竪穴状遺構 (1/40)	・ ・ ・ ・ ・	44
第27図	1号竪穴状遺構写真 (1)	・ ・ ・ ・ ・	45
第28図	1号竪穴状遺構写真 (2)	・ ・ ・ ・ ・	46
第29図	2号竪穴状遺構 (1/40)	・ ・ ・ ・ ・	47
第30図	2号竪穴状遺構写真	・ ・ ・ ・ ・	48
第31図	3号竪穴状遺構 (1/40)・3号竪穴状遺構写真	・ ・ ・ ・ ・	49
第32図	4号竪穴状遺構 (1/40)	・ ・ ・ ・ ・	50
第33図	4号竪穴状遺構写真	・ ・ ・ ・ ・	51
第34図	竪穴状遺構出土縄文土器 (1/3)	・ ・ ・ ・ ・	52
第35図	竪穴状遺構出土土器 (2/3)	・ ・ ・ ・ ・	53
第36図	竪穴状遺構出土遺物写真	・ ・ ・ ・ ・	54
第37図	縄文時代の土坑 (1) (1/40)	・ ・ ・ ・ ・	58
第38図	縄文時代の土坑 (2) (1/40)	・ ・ ・ ・ ・	59

第39図	縄文時代の土坑 (3) (1/40)	・ ・ ・ ・ ・	60
第40図	縄文時代の土坑 (4) (1/40)	・ ・ ・ ・ ・	61
第41図	縄文時代の土坑 (5) (1/40)	・ ・ ・ ・ ・	62
第42図	縄文時代の土坑 (6) (1/40)	・ ・ ・ ・ ・	63
第43図	縄文時代の土坑写真 (1)	・ ・ ・ ・ ・	67
第44図	縄文時代の土坑写真 (2)	・ ・ ・ ・ ・	68
第45図	縄文時代の土坑写真 (3)	・ ・ ・ ・ ・	69
第46図	縄文時代の土坑写真 (4)	・ ・ ・ ・ ・	70
第47図	縄文時代の土坑写真 (5)	・ ・ ・ ・ ・	71
第48図	縄文時代の土坑写真 (6)	・ ・ ・ ・ ・	72
第49図	縄文時代の土坑写真 (7)	・ ・ ・ ・ ・	73
第50図	縄文時代の土坑写真 (8)	・ ・ ・ ・ ・	74
第51図	縄文時代の土坑写真 (9)	・ ・ ・ ・ ・	75
第52図	縄文時代の土坑出土遺物 (1) (1/3)	・ ・ ・ ・ ・	77
第53図	縄文時代の土坑出土遺物 (2) (1/3)	・ ・ ・ ・ ・	78
第54図	縄文時代の土坑出土遺物 (3) (1/3・2/3)	・ ・ ・ ・ ・	79
第55図	縄文時代の土坑出土遺物写真 (1)	・ ・ ・ ・ ・	80
第56図	縄文時代の土坑出土遺物写真 (2)	・ ・ ・ ・ ・	81
第57図	縄文時代のピット (1) (1/40)	・ ・ ・ ・ ・	84
第58図	縄文時代のピット (2) (1/40)	・ ・ ・ ・ ・	85
第59図	縄文時代のピット写真 (1)	・ ・ ・ ・ ・	88
第60図	縄文時代のピット写真 (2)	・ ・ ・ ・ ・	89
第61図	縄文時代のピット写真 (3)	・ ・ ・ ・ ・	90
第62図	縄文時代のピット写真 (4)	・ ・ ・ ・ ・	91
第63図	縄文時代のピット出土縄文土器 (1/3)・縄文土器写真 ・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	93
第64図	1号集石 (1/40)	・ ・ ・ ・ ・	95
第65図	1号集石写真	・ ・ ・ ・ ・	97
第66図	2号集石 (1/40)・2号集石写真	・ ・ ・ ・ ・	98
第67図	縄文時代の集石出土遺物 (1/3・1/2)	・ ・ ・ ・ ・	99
第68図	縄文時代の集石出土遺物写真	・ ・ ・ ・ ・	100
第69図	縄文時代の集石出土遺物グラフ	・ ・ ・ ・ ・	101
第70図	遺構外出土土器分布図 (1/450)	・ ・ ・ ・ ・	103
第71図	遺構外出土縄文土器 (1) (1/3)	・ ・ ・ ・ ・	104
第72図	遺構外出土縄文土器 (2) (1/3)	・ ・ ・ ・ ・	105
第73図	遺構外出土縄文土器 (3) (1/3)	・ ・ ・ ・ ・	106
第74図	遺構外出土縄文土器写真 (1)	・ ・ ・ ・ ・	107
第75図	遺構外出土縄文土器写真 (2)	・ ・ ・ ・ ・	108

第76図	道橋外出土縄文時代石器 (2/3・1/2・1/3) ・・・・	109	第88図	黒曜石産地推定判別図 (1) ・・・・	132
第77図	道橋外出土縄文時代石器写真 ・・・・	110	第89図	黒曜石産地推定判別図 (2) ・・・・	132
第78図	道橋外出土奈良・平安時代遺物 (1/3)・写真 ・・・・	113	第90図	ガラス質安山岩産地推定判別図 (1) ・・・・	136
第79図	近世以降遺構全体図 (1) (1/150) ・・・・	115	第91図	ガラス質安山岩産地推定判別図 (2) ・・・・	136
第80図	近世以降遺構全体図 (2) (1/150) ・・・・	116	第92図	4 φ中の火山ガラスの屈折率測定結果 ・・・・	138
第81図	近世以降の土坑・ピット・溝 (1/60)・写真 ・・・・	118	第93図	テフラ試料の含砂率・砂粒組成・火山ガラスの形態 ・141	
第82図	近世以降の溝状遺構 (1) (1/60) ・・・・	120	第94図	分析試料中の鉱物の顕微鏡写真 ・・・・	143
第83図	近世以降の溝状遺構 (2) (1/60) ・・・・	121	第95図	圧痕を有する土器と土器圧痕 SEM 写真 ・・・・	146
第84図	近世以降の溝状遺構写真 ・・・・	122	第96図	1号・2号遺物集中接合関係図 (1/40) ・・・・	148
第85図	遺構・道橋外出土近世以降遺物 (1/3・2/3)・写真 ・・・・	124	第97図	3号遺物集中接合関係図 (1/40) ・・・・	149
第86図	暦年校正結果 ・・・・	128	第98図	大泉中里遺跡旧石器遺構全体 ・・・・	149
第87図	黒曜石産地分布図 (東日本) ・・・・	129	第99図	大泉中里遺跡の縄文時代遺構分布図 ・・・・	151

表目次

第1表	工程表 ・・・・	3	第28表	縄文時代の集石出土縄文土器観察表 ・・・・	100
第2表	周辺の遺跡一覧 ・・・・	9	第29表	縄文時代の集石出土縄文土器観察表 ・・・・	100
第3表	石器観察表 ・・・・	29	第30表	縄文時代の集石出土礫組成表 ・・・・	101
第4表	遺物集中出土石器一覧表 ・・・・	29	第31表	道橋外出土縄文土器観察表 (1) ・・・・	111
第5表	遺物集中出土礫一覧表 (1) ・・・・	30	第32表	道橋外出土縄文土器観察表 (2) ・・・・	112
第6表	遺物集中出土礫一覧表 (2) ・・・・	31	第33表	道橋外出土縄文時代石器観察表 ・・・・	113
第7表	遺物集中出土礫一覧表 (3) ・・・・	32	第34表	道橋外出土奈良・平安時代遺物観察表 ・・・・	113
第8表	遺物集中出土礫一覧表 (4) ・・・・	33	第35表	近世以降の土坑・ピット一覧 ・・・・	119
第9表	遺物集中出土礫一覧表 (5) ・・・・	34	第36表	近世以降の耕作痕一覧 ・・・・	123
第10表	遺物集中出土礫一覧表 (6) ・・・・	35	第37表	遺構・道橋外出土近世以降陶磁器観察表 ・・・・	124
第11表	遺物集中出土礫一覧表 (7) ・・・・	36	第38表	遺構・道橋外出土近世以降金属製品観察表 ・・・・	124
第12表	遺物集中出土礫一覧表 (8) ・・・・	37	第39表	遺構・道橋外出土近世以降ガラス製品観察表 ・・・・	124
第13表	遺物集中出土礫一覧表 (9) ・・・・	38	第40表	測定試料および遺理 ・・・・	125
第14表	遺物集中出土礫接合表 (1) ・・・・	38	第41表	放射性炭素年代測定および暦年校正の結果 ・・・・	126
第15表	遺物集中出土礫接合表 (2) ・・・・	39	第42表	分析対象となる黒曜石製石器 ・・・・	129
第16表	遺物集中出土礫組成表 ・・・・	39	第43表	東日本黒曜石産地の判別群 ・・・・	130
第17表	竪穴状遺構出土縄文土器観察表 ・・・・	55	第44表	測定値および産地推定結果 ・・・・	131
第18表	竪穴状遺構出土縄文土器観察表 ・・・・	55	第45表	時期別の産地 ・・・・	131
第19表	縄文時代の土坑上層説明一覧表 (1) ・・・・	64	第46表	分析対象となるガラス質安山岩製石器 ・・・・	133
第20表	縄文時代の土坑上層説明一覧表 (2) ・・・・	65	第47表	原石採取地と判別群名称 ・・・・	134
第21表	縄文時代の土坑一覧・計測表 ・・・・	76	第48表	非破壊での測定値および近い判別群 ・・・・	135
第22表	縄文時代の土坑出土縄文土器観察表 ・・・・	82	第49表	分析試料とその特徴 ・・・・	137
第23表	縄文時代の土坑出土縄文土器観察表 ・・・・	83	第50表	テフラ試料の層区分け・重液分離の結果 ・・・・	138
第24表	縄文時代のピット上層説明一覧表 (1) ・・・・	86	第51表	4 φ篩残渣中の鉱物組成 ・・・・	138
第25表	縄文時代のピット上層説明一覧表 (2) ・・・・	87	第52表	土器圧痕一覧 ・・・・	145
第26表	縄文時代のピット一覧表 ・・・・	92	第53表	旧石器時代の石器石材産地推定結果一覧 ・・・・	148
第27表	縄文時代のピット出土縄文土器観察表 ・・・・	94			

I 発掘調査の概要

1 調査に至る経緯

東京都建設局による、東京都市計画道路補助線街路第 230 号線は昭和 41 年に都市計画決定され、平成 21 年に事業認可された後、事業に着手している。事業区間のうち、練馬区大泉町二丁目地区においては周知の埋蔵文化財包蔵地である大泉中里遺跡（練馬区遺跡 No.17）が含まれており、同事業を担当する東京都第四建設事務所（以下、「四建」）は、同遺跡の取り扱いについて練馬区教育委員会（以下、「区教委」）と協議し、電線共同溝埋設部分については区教委による本調査を平成 30 年 7 月に実施し。なおこの調査は、大泉中里遺跡としてはすでに区教委による近接地での調査が二次にわたり実施されていたことから、第三次調査となっている。その後道路北側半分の本調査に関しては東京都教育委員会（以下、「都教委」）と四建、区教委との協議により公益財団法人東京都スポーツ文化事業団東京都埋蔵文化財センター（以下、「埋文センター」）が実施することとなり、平成 31 年 2 月から令和元年 11 月にかけて第四次としての調査が実施され、令和 2 年 9 月 30 日付で調査報告書『大泉中里遺跡第四次調査－補助第 230 号線（大泉町）整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査－』が刊行されている。

道路南側部分については、用地取得等の条件が整ったことを受け、令和 5 年 3 月 23 日付で四建から都教委に埋蔵文化財発掘調査取り扱いについての照会があり、同 3 月 29 日に都教委から本調査実施の回答が出され、同日埋文センターにも通知が発出されている。

その後、東京都建設局、都教委、公益財団法人東京都教育支援機構東京都埋蔵文化財センターの三者で協議がなされ、本調査対象範囲を 1,764㎡として、令和 5 年 11 月 6 日付で「補助第 230 号線（大泉町）の整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査に関する協定」が締結され、同 11 月 24 日に四建と埋文センターの間で、上記整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査の委託契約が締結された。

令和 6 年 2 月 1 日付で埋文センターより区教委に発掘届を提出し、同 3 月 26 日より現地での調査に着手した。

（西山）

2 調査の方法と経過

本遺跡の調査範囲は遺跡の中央部を北西―南東方向に延びる都道予定地の南西側車線にあたる（第 1 図）。本調査地区に対する北東側車線に関しては、平成 31 年 2 月 18 日から令和元年 11 月 25 日にかけて東京都埋蔵文化財センターによる第四次調査（東京都埋蔵文化財センター 2020）が行われた。発掘調査は、1,764㎡を調査対象範囲とした。調査対象範囲には、道路予定地に沿って南西側に住宅及び寺院が隣接しており、その出入口等を確保するために調査区を計 5 か所に分割して調査を実施した。調査区の名称については、第四次調査で北西から南東にかけて 1 区から 8 区までの番号が振られているため、今回の調査ではこれに継続する形で、北西から南東の順に 9 区から 13 区の番号を振った（第 2 図）。

調査区に設定したグリッドは、第四次調査のものと共通である。このグリッドは、南西隅を基点に 1 グリッド 5 × 5m で設定され、南北軸（X 座標）はアルファベット、東西軸（Y 座標）は数字で表

記される。座標値は、世界測地系による国家座標（平面直角座標系 9 系）を使用し、南西隅の基点 A-1 は $X = -26.065$ 、 $Y = -20.725$ である。

調査は北西側の 9 区から、順に南東側に向かって実施した。

9 区の調査は、令和 6 年 3 月 14 日に開始した。9 区はバックホウの待機場所を確保するため、西側と東側に分割して実施した。旧石器時代の包含層まで掘削するため、都埋文の発掘作業標準に従い、掘削深度 1.5m に対し幅 1 m の控えを設定し、階段状に掘削した。9 区西側の調査は 6 月 14 日に終了して埋め戻しを実施した。その後 6 月 26 日に 9 区東側の調査を開始し、7 月 19 日に終了した。なお、9 区の範囲には、供用中の埋設管（下水道管、雨水管、ガス管）が存在しており、各事業者の立会を実施しつつ、この部分を避けて調査した。

10 区の調査は、9 区の調査と併行して 4 月 25 日から開始した。10 区は、東側を 9 区から搬出された排土の置場とするため、西側と東側の 2 区画に分割して実施した。旧石器時代の包含層まで掘削するため、都埋文の発掘作業標準に従い、掘削深度 1.5m に対し幅 1 m の控えを設定し、階段状に掘削した。10 区西側は 9 月 9 日に調査を終了して埋め戻しを実施した。10 区西側と並行し、8 月 28 日から 10 区東側（西）の調査を開始し、9 月 18 日に終了した。9 月 24 日に 10 区東側（東）の調査を開始し、10 月 11 日に終了した。なお、10 区の範囲には、供用中の埋設管（上水道管、下水道管、雨水管、ガス管、NTT 管）が存在しており、各事業者の立会を実施しつつ、この部分を避けて調査した。

11 区の調査は、令和 6 年 10 月 10 日に開始した。11 区は全面を一度に調査し、10 月 29 日に調査終了して埋め戻しを実施した。なお、11 区の範囲には、供用中の埋設管（上水道管、下水道管、雨水管、ガス管、NTT 管）が存在しており、各事業者の立会を実施しつつ、この部分を避けて調査した。

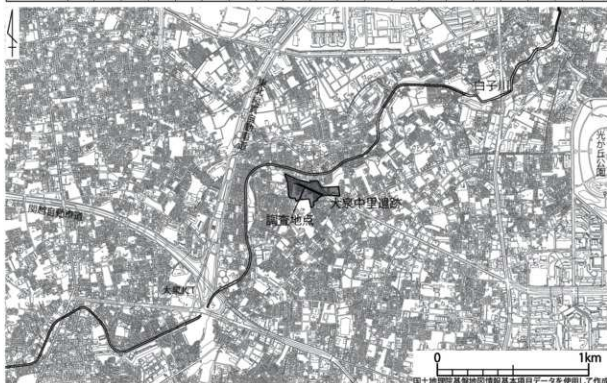
12 区の調査は、令和 6 年 9 月 18 日に開始した。12 区は民家出入りを挟んで西側と東側に分割した。12 区東側はさらに北側と南側に分割して調査を実施した。12 区西側と 12 区東側（南）を同時に調査し、西側は 9 月 25 日に調査終了して埋め戻しを、東側（南）は 9 月 30 日に調査終了して埋め戻しを実施した。東側（北）は、東側（南）の埋め戻しが終了した 10 月 1 日に調査を開始し、10 月 10 日に調査を終了して埋め戻しを実施した。なお、12 区の範囲には、供用中の埋設管（上水道管、下水道管、雨水管、ガス管）が存在しており、各事業者の立会を実施しつつ、この部分を避けて調査した。

13 区の調査は、令和 6 年 9 月 6 日に開始した。13 区はバックホウの待機場所を確保するため、西側と東側に分割して実施した。旧石器時代の包含層まで掘削するため、都埋文の発掘作業標準に従い、掘削深度 1.5m に対し幅 1 m の控えを設定し、階段状に掘削した。西側は 9 月 30 日に調査終了し、埋め戻しを実施した。東側の調査は、西側の埋め戻しが終了した 10 月 1 日に開始した。10 月 7 日に調査を終了し、埋め戻しを実施した。なお、13 区の範囲には、供用中の埋設管（上水道管、下水道管、雨水管、ガス管）が存在しており、各事業者の立会を実施しつつ、この部分を避けて調査した。

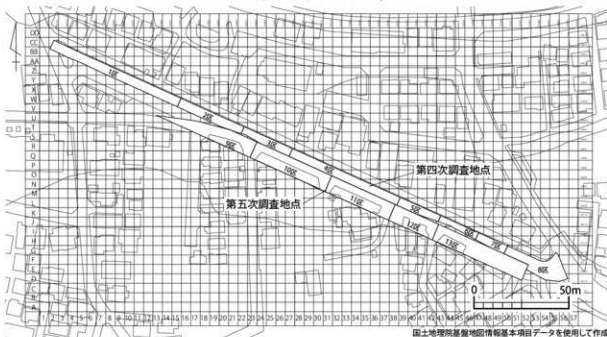
二次整理作業は、令和 6 年 11 月 1 日から令和 7 年 5 月 30 日まで実施した。作業の内容は、遺構図面と測量データの整理、遺物の実測、拓本、トレース、写真撮影・加工作業、遺構・遺物の図版作成作業等に加え、第四次調査で出土した旧石器時代遺物集中部と今回の遺物集中の隣との接合作業も実施した。6 月には報告書原稿執筆・編集作業を実施した。（守屋）

第1表 発掘調査・整理作業工程表

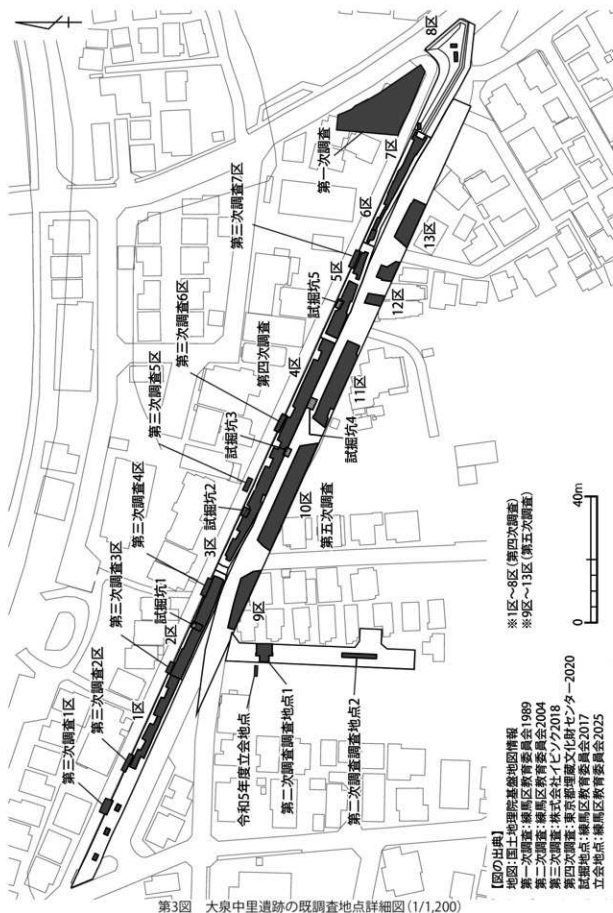
	令和5年度								令和6年度								令和7年度							
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月				
発掘調査																								
準備工																								
9区																								
10区																								
11区																								
12区																								
13区																								
整理作業																								
一次整理																								
二次整理																								
報告書発行																								



第1図 調査地点位置図 (1/25,000)



第2図 グリッド設定図 (1/2,000)



第3図 大泉中里遺跡の既調査地点詳細図(1/1,200)



1. 9区西側縄文時代確認面全景(南東から)



2. 9区西側ローム面全景(南東から)



3. 9区東側縄文時代確認面全景(南西から)



4. 9区東側ローム面全景(東から)



5. 10区西側縄文時代確認面全景(北西から)



6. 10区西側ローム面全景(北東から)



7. 10区東側(西)縄文時代確認面全景(南西から)



8. 10区東側(東)縄文時代確認面全景(北東から)

第4図 調査区全景(1)



1. 11区近世以降確認面全景(南東から)



2. 11区縄文時代確認面全景(南東から)



3. 12区西側(北)全景(北東から)



4. 12区西側(南)全景(北東から)



5. 12区東側(北)全景(北東から)



6. 12区東側(南)全景(北東から)



7. 13区西側縄文時代確認面全景(北西から)



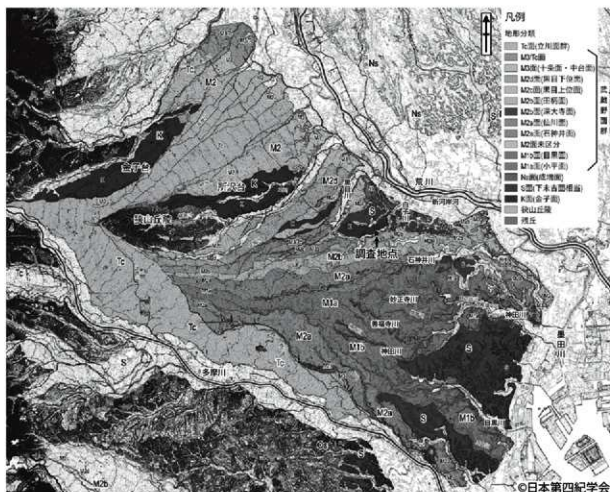
8. 13区東側縄文時代確認面全景(北東から)

第5図 調査区全景(2)

II 遺跡の位置と環境

1 地理的環境

大泉中里遺跡(練馬区№ 17 遺跡)は、練馬区大泉町二丁目に所在する遺跡である。古多摩川の扇状地を基盤とする武蔵野台地は、北西から南東方向に延び扇端部は東京低地へと続く(第6図)。標高は扇頂部の青梅市付近で180～190 m、扇端部の東京湾で20～30 mであり、標高差は170 m前後となる。また武蔵野台地は荒川と多摩川により区画される。東京23区の西北端に位置する練馬区は武蔵野台地中央部北側にあたり、武蔵野面にある。練馬区内には大小の河川が流れ、主な河川として石神井川、白子川が挙げられる。石神井川は東流するが、白子川は荒川低地の沈降運動の影響により北東方向に流れ荒川低地へと注ぎ、最終的には荒川へ合流する。この白子川は開析谷が入り組んだ地形を作り出しており、本遺跡は中流域の右岸の崖線上、田柄面に位置する(遠藤他 2019)。大泉中里遺跡と白子川の標高差は10 m以上あり、急崖である。本調査地点での標高は約42 mである。白子川右岸域には多数の湧水があり、遺跡北東部には「清水山の森」の湧水がある。(守屋)



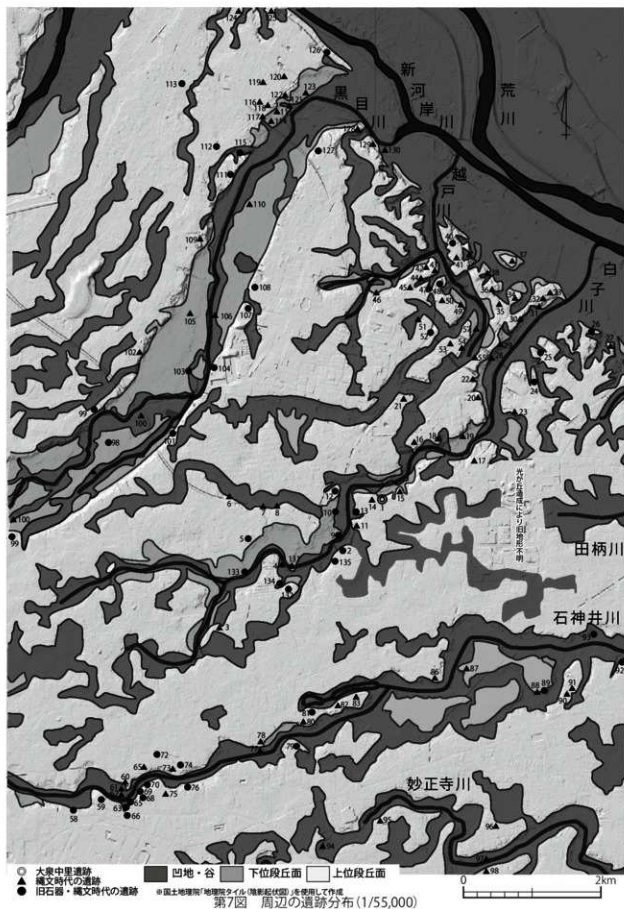
第6図 武蔵野台地の地形区分(遠藤他2019を加工して作成)

2 歴史的環境

大泉中里遺跡では、これまでに複数の本調査、試掘及び立会調査が実施されている（第3図）。本調査は、第一次調査から第四次調査まで計4回実施されており、今回の調査が第五次調査となる。概観すると、第一次調査は昭和60年に実施され、縄文時代の竪穴状遺構や土坑が検出された。遺物は、旧石器時代の石器、縄文土器、石器が出土した（練馬区遺跡調査会1989）。第二次調査は平成15年に実施され、縄文時代早期後半の竪穴建物跡が検出された。遺物は、縄文土器と石器が出土した（練馬区教育委員会2004）。第三次調査は平成30年に実施され、縄文時代の炉穴・ピット、縄文時代以降のピットが検出された。遺物は、旧石器時代の石器・礫、縄文土器、古墳時代後期から奈良時代の土師器が出土した。（株式会社イピソク2018）。第四次調査は平成31年（令和元年）に実施され、旧石器時代の遺物集中部、縄文時代の集石、炉穴、土器埋設遺構、奈良・平安時代から中世の土坑、近世以降のピットが検出された。遺物は、旧石器時代の石器・礫、縄文時代早期から中期の土器等が出土した（東京都埋蔵文化財センター2020）。他に、第三次調査に先駆けて平成27年に実施された試掘では、試掘坑4で縄文時代の炉穴が検出されている（練馬区教育委員会2017）。また、令和5年に実施された立会調査では、縄文時代の竪穴状遺構が確認された（練馬区教育委員会2025）。

次に、大泉中里遺跡の周辺の遺跡について、旧石器時代と縄文時代に絞って概観する（第7図、第3表）。旧石器時代では、本遺跡が立地する白子川中流域に多くの遺跡が存在する。本遺跡の周辺では、白子川右岸の崖線中位に位置する稲荷山遺跡（15）があり、ナイフ形石器が出土している。本遺跡より南西約200m上流域にある崖線際の練馬区No.15遺跡（13）では、尖頭器やナイフ形石器が出土している。同じく右岸崖線上から下方に立地する比丘尼橋遺跡B地点（2）では、Ⅲ層・Ⅳ層から石器ブロックや礫群が多く検出され、石器はナイフ形石器・搔器・角錐状石器・石核等が出土している。同遺跡C地点（135）では、Ⅲ層からⅨ層にかけて石器集中部・礫集中部が多く検出され、特にⅣ層中部・Ⅳ層下部に集中している。白子川左岸では、外かん道路関連遺跡（10）が白子川に沿った南北に長大な遺跡であり、石器ブロックや礫群が多量に検出された。白子川の上流域では、左岸の外山遺跡第1地点（132）・第2地点（134）で石器ブロック、右岸の大泉中島遺跡（133）で礫群が検出されている。下流域では、橋区成増との山遺跡（24）・板橋区赤塚氷川神社北方遺跡（26）が知られている。越戸川流域では、和光市花ノ木遺跡（40）・和光市柿ノ木坂遺跡（48）で石器ブロック・礫群が出土している。

縄文時代については、本遺跡では早期・中期の遺構・遺物が主体をなしており、同様の時期が中心となる遺跡は白子川右岸中流域に多く窺える。稲荷山遺跡では早期の炉穴が検出され、中期後半の土器が出土している。本遺跡より上流域に位置するハケ谷戸遺跡（11）は中期後半の住居跡が検出され、環状集落として知られている。練馬区No.15遺跡では早期の土器が出土し、比丘尼橋遺跡では炉穴が検出され、早期末から前期初頭の土器が出土している。外山遺跡第2地点は早期後半の土器が主体をなし、当該期の炉穴も多数検出されている。白子川下流域では、右岸の板橋区菅原神社台地上遺跡（25）で本遺跡と同時期にあたる炉穴・焼土跡が認められ、左岸の和光市市場峡・市場上遺跡（30）で炉穴が検出されている。越戸川流域では縄文時代遺跡が密集しており、柿ノ木坂遺跡（48）・妙蓮寺遺跡（49）・丸山台遺跡（52）・庚塚遺跡（57）は中期の集落跡である。（守屋）



第2表 周辺の遺跡一覧

No.	自然環境調査区	道路名	所在地	方時代	道路の概要
1	橋本17	大船町中道路	橋本地区大船町二丁目	旧・縄文・古・近	古墳跡・集落(旧)・石部古石工芸集石(古)ビュッテ
2	橋本6	比良辺道跡B地点	橋本地区大船町二丁目	旧・縄文・古・近	古墳跡・集落(旧)石部古石工芸集石(古)住居跡(古)土坑ビュッテ
3	橋本23	大石川南道路	橋本地区大船町二丁目	縄文	集落(旧)住居跡(古)土坑
4	橋本148	比良辺道跡A地点	橋本地区大船町二丁目	縄文・古・近	古墳跡・古墳跡
5	橋本	橋本地区大船町二丁目	橋本地区大船町二丁目	縄文	古墳跡
6	橋本3	大船町南側・北大船町2道路	橋本地区大船町五丁目	縄文・古・平・中	集落(旧)古墳跡(古)土坑(古)溝跡
7	橋本4	大船町南側・北大船町3道路	橋本地区大船町二丁目	縄文・古	古墳跡
8	橋本5	大船町南側・北大船町4道路	橋本地区大船町二丁目	縄文・古	古墳跡
9	橋本150	愛宕上道路	橋本地区大船町西二丁目	旧・縄文・古・近	古墳跡・集落(旧)石部古石工芸集石(古)住居跡(古)土坑
10	橋本10	外ヶ谷・西谷間道路	橋本地区大船町一丁目	旧・縄文・古・古・平・中・近	古墳跡・集落(古)古墳跡(古)石部古石工芸集石(古)住居跡
11	橋本22	八ヶ谷上道路	橋本地区大船町二丁目	縄文	集落(旧)住居跡(古)土坑
12	橋本20	九山道路	橋本地区大船町三丁目	旧・縄文・古・古・平・中	集落(旧)遺跡(古)住居跡(古)中・地下式土坑(不)溝跡
13	橋本15	橋本地区大船町15道路	橋本地区大船町一丁目	旧・縄文	古墳跡
14	橋本16	橋本地区大船町16道路	橋本地区大船町一丁目	縄文	古墳跡
15	橋本149	橋本地区大船町一丁目	橋本地区大船町一丁目	縄文	古墳跡
16	橋本42	初市東下道一丁目25-40号	初市東下道一丁目25-40号	縄文・古・中	集落(旧)土坑・古墳跡
17	橋本40	初市白子一丁目1599号	初市白子一丁目1599号	縄文・古・平・中	集落(旧)古墳跡(古)土坑
18	橋本11	初市東下道一丁目2889号	初市東下道一丁目2889号	縄文・古・古	集落(古)住居跡(古)溝跡
19	橋本21	初市東下道一丁目1363号	初市東下道一丁目1363号	縄文・古・古	集落(古)住居跡
20	橋本39	初市東下道一丁目1335号	初市東下道一丁目1335号	縄文	集落
21	橋本33	初市東下道一丁目1101号	初市東下道一丁目1101号	縄文・古・古・平・中	集落・古墳跡
22	橋本19	初市東下道一丁目1101号	初市東下道一丁目1101号	縄文・古・古・平・中	集落・古墳跡
23	橋本3	成瀬道一丁目	成瀬道一丁目	旧・縄文・古・古	古墳跡・集落(旧)住居跡(古)土坑(古)溝跡
24	橋本7	菅野神社台地上道路	成瀬道成瀬五丁目	旧・縄文・古・古・平・近	古墳跡・集落(旧)古石工芸集石(古)住居跡(古)土坑(古)溝跡
25	橋本7	菅野神社台地上道路	成瀬道成瀬五丁目	旧・縄文・古・古・平・近	古墳跡・集落(旧)古石工芸集石(古)住居跡(古)土坑(古)溝跡
26	橋本22	大船町北神井北方道路	成瀬道成瀬四丁目	旧・縄文・古・古・近	古墳跡・集落(古)住居跡
27	橋本28	初市東下道一丁目1043号	初市東下道一丁目1043号	縄文・古・古・中	集落(旧)古墳跡(古)土坑(古)溝跡
28	橋本18	初市東下道一丁目1043号	初市東下道一丁目1043号	縄文・古・古・中	集落(旧)古墳跡(古)土坑(古)溝跡
29	橋本22	初市東下道一丁目735号	初市東下道一丁目735号	縄文・古・古・平・中	集落(旧)古墳跡(古)土坑(古)溝跡
30	橋本17	初市東下道一丁目389号	初市東下道一丁目389号	縄文・古・古・平・中	集落(旧)古墳跡(古)土坑(古)溝跡
31	橋本16	初市東下道一丁目4445号	初市東下道一丁目4445号	縄文・古・古・平・中	集落(旧)古墳跡(古)土坑(古)溝跡
32	橋本16	初市東下道一丁目4376号	初市東下道一丁目4376号	縄文・古・古・平・中	集落(旧)古墳跡(古)土坑(古)溝跡
33	橋本13	初市東下道一丁目4417号	初市東下道一丁目4417号	旧・縄文・古・古・平・中	集落(旧)古墳跡(古)土坑(古)溝跡
34	橋本14	砂巻寺道	初市東下道西丁12045号	縄文・古・古	集落(旧)古墳跡(古)土坑(古)溝跡
35	橋本37	河ノ原道	初市東下道西丁12045号	縄文・古・古	集落(旧)古墳跡(古)土坑(古)溝跡
36	橋本30	弘ノ木道	初市東下道西丁12045号	旧・縄文・古・古・平・中・近	集落(旧)古墳跡(古)土坑(古)溝跡
37	橋本5	牛山道路	初市東下道西丁12829号	旧・縄文・古・古・平・中	集落(旧)古墳跡(古)土坑(古)溝跡
38	橋本4	西丁道路	初市東下道西丁12925号	旧・縄文・古・古・平・中	集落(旧)古墳跡(古)土坑(古)溝跡
39	橋本34	平三道路	初市東下道西丁13009号	縄文・古・古	集落(旧)古墳跡(古)土坑(古)溝跡
40	橋本21	仁ノ木道路	初市東下道西丁13440号	旧・縄文・古・古・平・中・近	集落(旧)古墳跡(古)土坑(古)溝跡
41	橋本35	草道	初市東下道西丁13466号	旧・縄文・古・古・平・中	集落(旧)古墳跡(古)土坑(古)溝跡
42	橋本6	下ノ寺道	初市東下道西丁13937号	縄文・古・古・平	集落(旧)古墳跡(古)土坑(古)溝跡
43	橋本7	初市東下道一丁目3848号	初市東下道一丁目3848号	縄文・古・古	集落(旧)古墳跡(古)土坑(古)溝跡
44	橋本8	初市東下道一丁目4012号	初市東下道一丁目4012号	縄文・古・古	集落(旧)古墳跡(古)土坑(古)溝跡
45	橋本9	小川ノ道	初市東下道一丁目4292号	縄文・古・古	集落(旧)古墳跡(古)土坑(古)溝跡
46	橋本10	初市東下道一丁目4324号	初市東下道一丁目4324号	縄文・古・古	集落(旧)古墳跡(古)土坑(古)溝跡
47	橋本10	初市東下道一丁目3786号	初市東下道一丁目3786号	縄文・古・古	集落(旧)古墳跡(古)土坑(古)溝跡
48	橋本11	初市東下道一丁目3764号	初市東下道一丁目3764号	旧・縄文・古・古・平	古墳跡・集落(旧)古石工芸集石(古)住居跡(古)土坑(古)溝跡
4					

石神井川流域

No	遊藝名	No	遊藝名	No	遊藝名	No	遊藝名
58	瓶上遊藝	71	大和神子 遊藝	77	山田山崎 遊藝	86	北原節子遊藝
59	下町上遊藝	72	川北遊藝	78	山崎山崎 遊藝	87	坂北遊藝
60	直上江西方西遊藝	73	東京女子学院校遊藝	79	山崎山崎 遊藝	88	山崎山崎 遊藝
61 ~ 66	池田遊藝	74	東京女子学院校遊藝	80	山崎山崎 遊藝	89	山崎山崎 遊藝
67	堀江氏 43 遊藝	75	東京女子学院校遊藝	81	山崎山崎 遊藝	90	山崎山崎 遊藝
68 ~ 70	武蔵遊藝	76	東京女子学院校遊藝	82 ~ 85	山崎山崎 遊藝	91	山崎山崎 遊藝

特正寺川液碱

No.	品名	No.	品名	No.	品名
94	洋烟	95	威士忌	96	啤酒

2008年11月15日

No.	遊路名	No.	遊路名	No.	遊路名	No.	遊路名
97	新生 No.04 遊路	105	黒川遊路	113	新田遊路	125	大黒ノ車遊路
98	高田遊路	106	子ノ神遊路	114 ~ 118	西ノ内 遊路	126	北山遊路
99	城ノ内 遊路	107	城ノ内 遊路	119	西谷遊路	127	中島遊路
100	内沼遊路	108	膳所町遊路	120	北沼遊路	128	岡田の地ノ遊路
101	池田遊路	109	池ノノ 遊路	121	飯沼 遊路	129	宮竹遊路
102	新井 No.11 遊路	110	石坂遊路	122	石ノ中遊路	130	桂塚遊路
103	新井 No.08 遊路	111	城ノ内 遊路	123	山崎遊路		
104	市原町遊路	112	下谷ノ 遊路	124	石ノ内 遊路		

III 層序

基本層序については、調査範囲が近接する第四次調査（東京都埋蔵文化財センター 2020）に従う。
第 8 図に層序図を示した。

I 層 10YR2/2（黒褐色）

粘性は弱く、しまりは極めて強い。径 2 ～ 30mm のローム粒・ロームブロックを 2 ～ 3%、径 1 ～ 2mm の赤褐色スコリアを 1 ～ 3% 含む。耕作土層である。盛土や道路建設に伴う表層・盛土層は含めていない。

II b 層 10YR2/3、10YR3/2、10YR3/3（黒褐色～暗褐色）

II 層から III 層への漸移層で、ロームに近い。粘性は強く、しまりは地点によって普通から極めて強い箇所がある。径 2 ～ 20mm のローム粒を 2 ～ 10%、径 1 ～ 2mm の赤褐色スコリアを 1% 含む。本遺跡における縄文時代包含層である。9 区北西端（地点 1）で例外的に、より色調が暗く一般的な II 層（富士黒色土層）に近い様相が見られた。

III 層 7.5YR4/4、10YR3/4、10YR4/4、10YR4/6（暗褐色～褐色）

粘性は強く、しまりは強い。径 1 ～ 3mm の黒褐色スコリアを 1%、径 1 ～ 2mm の赤褐色スコリアを 1% 含む。ソフトローム層である。

IV 層 7.5YR5/6、10YR4/6（褐色～明褐色）

粘性は極めて強く、しまりは極めて強い。径 1 ～ 3mm の黒褐色スコリアを 1 ～ 2%、径 1 ～ 2mm の赤褐色スコリアを 1 ～ 3% 含む。ハードローム層である。

V 層 10YR3/4、10YR4/4（暗褐色～褐色）

粘性は極めて強く、しまりは極めて強い。径 1 ～ 3mm の黒褐色スコリアを 1 ～ 3%、径 1 ～ 2mm の赤褐色スコリアを 1 ～ 5% 含む。第 1 黒色帯である。

VI 層 10YR5/4、10YR4/6（にぶい黄褐色～褐色）

粘性は極めて強く、しまりは極めて強い。径 1 ～ 3mm の黒褐色スコリアを 7%、径 1 ～ 3mm の赤褐色スコリアを 2 ～ 3% 含む。始良 Tn 火山灰（AT）を含む層である。

VII 層 10YR3/4（暗褐色）

粘性は極めて強く、しまりは極めて強い。径 1 ～ 3mm の黒褐色スコリアを 3%、径 1 ～ 3mm の赤褐色スコリアを 1% 含む。第 2 黒色帯上部である。

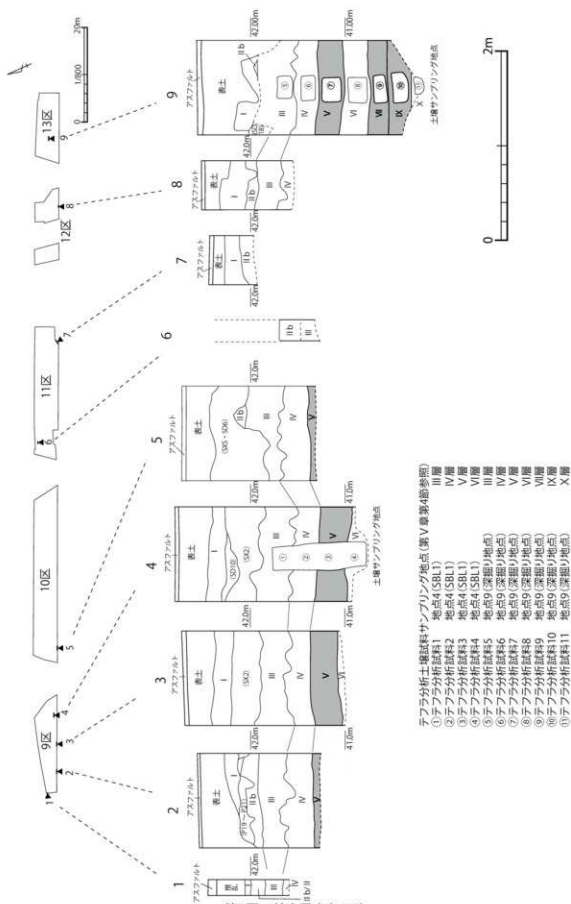
IX 層 10YR3/4（暗褐色）

粘性は極めて強く、しまりは極めて強い。径 1 ～ 3mm の黒褐色スコリアを 1%、径 1 ～ 3mm の赤褐色スコリアを 1% 含む。第 2 黒色帯下部である。

X 層 10YR4/4（褐色）

粘性は極めて強く、しまりは極めて強い。径 1 ～ 3mm の赤褐色スコリアを 1% 含む。

9 区南西壁（SBL1 地点）と 13 区攪乱南西壁（深掘り地点）において、テフラ分析のための土壌サンプリングを実施した。結果は第 V 章第 4 節に掲載した。（守屋）



第8図 基本層序 (1/40)



1. 9区西側北西壁土層断面1(南東から)



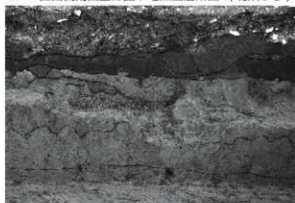
2. 9区西側南西壁土層断面2(北東から)



3. 9区西側南西壁深掘り地点土層断面3(北東から)



4. 9区東側南西壁土壌サンプリング地点(北東から)



5. 10区西側南西壁土層断面5(北東から)



6. 12区東側南西壁土層断面8(北東から)



7. 13区西側南西壁土層断面9(北東から)



8. 13区西側南西壁土壌サンプリング地点(北東から)

第9図 基本層序写真

IV 遺構と遺物

1 旧石器時代

旧石器時代では、立川ローム層第Ⅳ層下部から第Ⅴ層上部にかけての層位で、礫を多量に含む遺物集中が計3基確認された(第10図)。出土石器の一覧は第4表、出土礫の一覧は第5表から第13表、接合した石器・礫の一覧表は第14表・第15表に示した。

1) 遺構

1号遺物集中(SBL1)(第11・12・17・23図、第4～6・14・16表)

9区西側の19・20-R・Sグリッドで検出され、石器24点と礫125点が出土した。石器は、黒曜石と硬質細粒凝灰岩、黒色ガラス質安山岩製のものが出土した。出土層位は、Ⅳ層下部からⅤ層上部である。重量の大きい礫ほど下層であるⅤ層上部から出土する傾向があることから、分布の中心はⅤ層上部であると考えられる。礫の石材の構成では、砂岩が半数を占め、次いでチャートが多い。礫のうち約33%にあたる42点に被熱が認められる。接合関係としては、礫計56点が接合して16点(接1～接14、接97、接88)に収束した。また、1号遺物集中出土礫(1点)と、大泉中里遺跡第四次調査における3号遺物集中出土礫1点(東京都埋蔵文化財センター2020)との接合関係が認められた(接90)。なお、第四次調査3号遺物集中部は、1号遺物集中から約10m北側に位置し、出土層位も同様にⅣ層下部から第Ⅴ層上部である。

石器(第18・19・21・22図、第3表)

1は角錐状石器である。厚手の剥片を素材としており、主要剥離面側から急角度の調整を施し、素材打面側を基部に、末端側を尖らせて先端部としている。横断面は先端部で三角形、中央の最大幅付近で台形、基部で不定形ではあるがおおよそ台形を呈する。石材の黒曜石は、産地推定分析により長野県和田峠の結果が得られている。

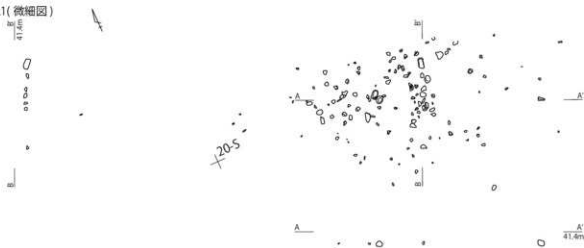
2と3は、共に基部加工のナイフ形石器に分類した石器である。2は、厚手でやや大きさのある剥片を素材に、打面側の両サイドを主要剥離面側から急角度の調整をもって基部とし、素材打面をやや残す。先端部は、当時の折れにより欠損している。全体の形態的特徴から剥片尖頭器を連想させる資料であるが、剥片尖頭器特有の抉るような基部調整が入念ではなく、地域的な観点からも断定はできない。ただし、剥片尖頭器的な類例は東日本にも少数ながら散見されていることから、その可能性について触れておきたい。石材は、硬質細粒凝灰岩を用いている。3は、小型のナイフ形石器である。薄手の横長剥片を素材としており、基部は角度の浅い調整によっているが、明確に主要剥離面からの剥離として認められるため、当該器種として判断した。石材は、硬質細粒凝灰岩である。

4～6は石核である。4と5は石材が硬質細粒凝灰岩で、厚手の大形剥片を素材としていたと推察される。素材主要剥離面の平坦面を打面として横長剥片を作出し、残核は船底状を呈する。剥離作業面から、3のナイフ形石器のような素材を得ていたと考えられる。6は長野県和田峠産とされている黒曜石を用いた石核であり、転石を示す自然礫面が和田峠の産状と一致する。大きく打ち欠かれた剥



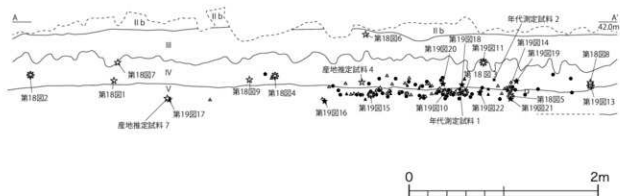
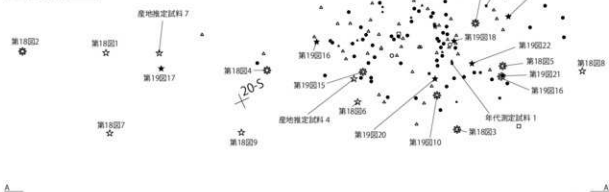
第10図 旧石器時代遺構全体図 (1/150)

SBL1(微細図)



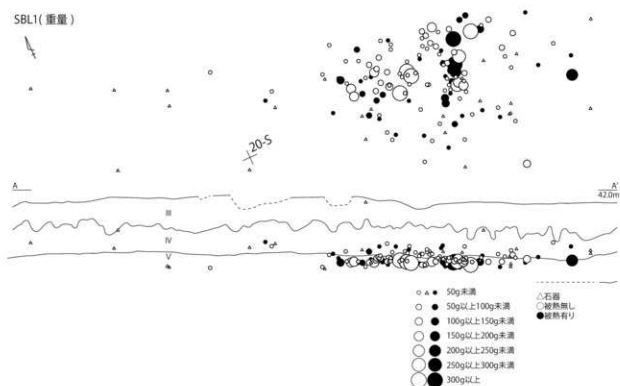
SBL1(ドット図)

石層	○ 黒曜石 ★ 黒色安山岩 ○ 浮岩凝灰岩区画
礫	● 砂岩 ○ 礫岩 △ チャート ▲ 珪質頁岩 □ ホルンフェルス × 角礫岩
その他	■ 炭化物

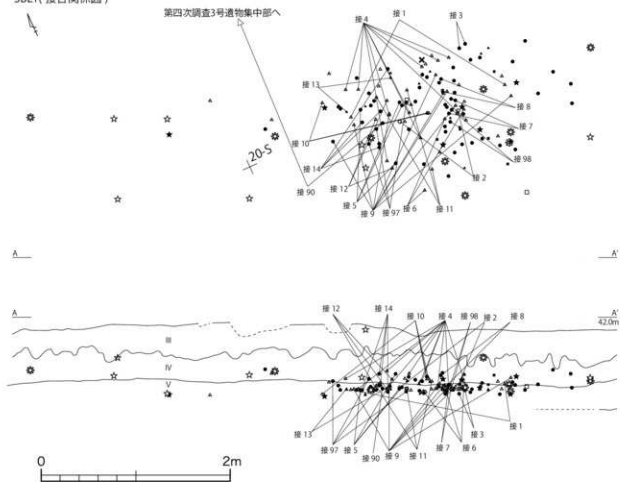


第11図 1号遺物集中(1) (1/40)

SBL1(重量)

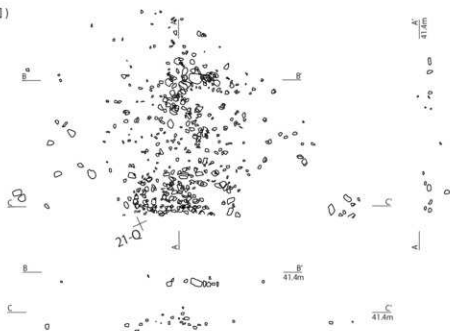


SBL1(接合関係図)

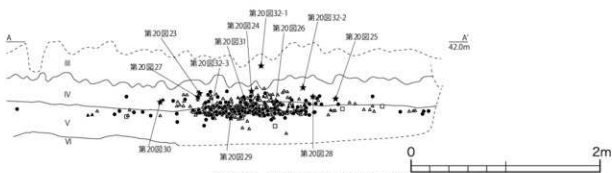
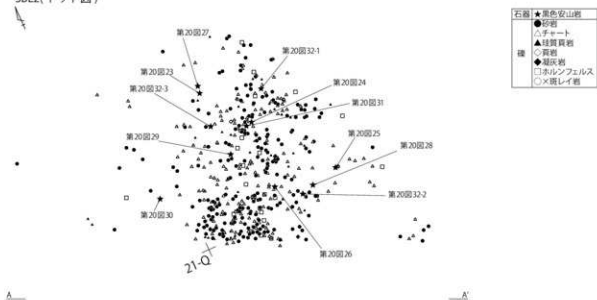


第12図 1号遺物集中(2) (1/40)

SBL2(微細図)

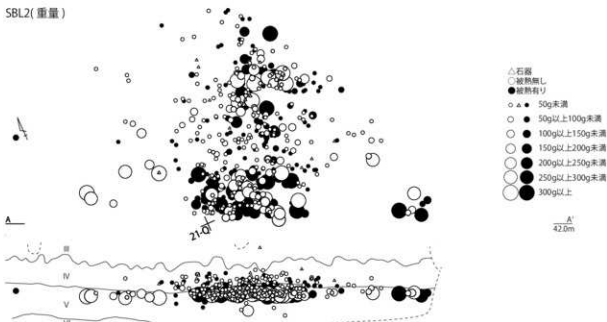


SBL2(ドット図)

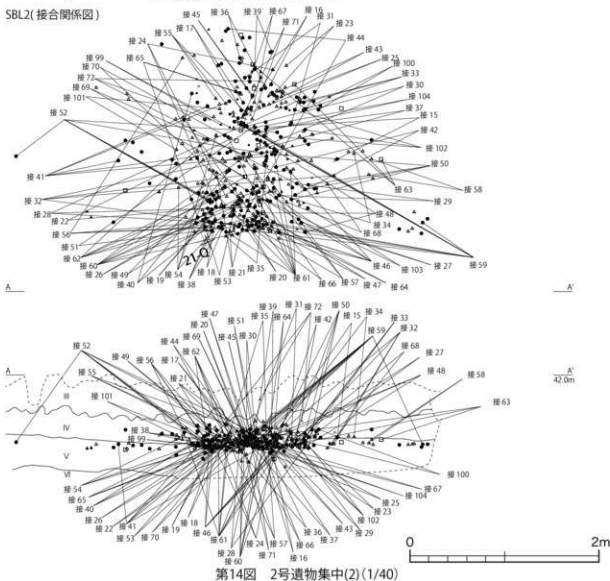


第13図 2号遺物集中(1)(1/40)

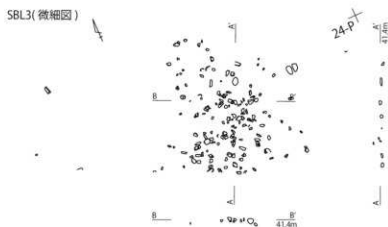
SBL2(重量)



SBL2(接合関係図)



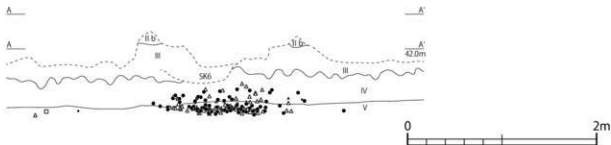
SBL3(微細図)



SBL3(ドット図)

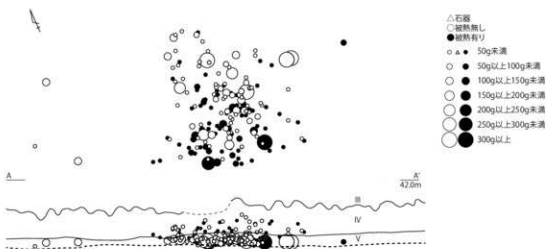


- 砂岩
- △ チャート
- ▲ 珪質頁岩
- ホルンフェルス

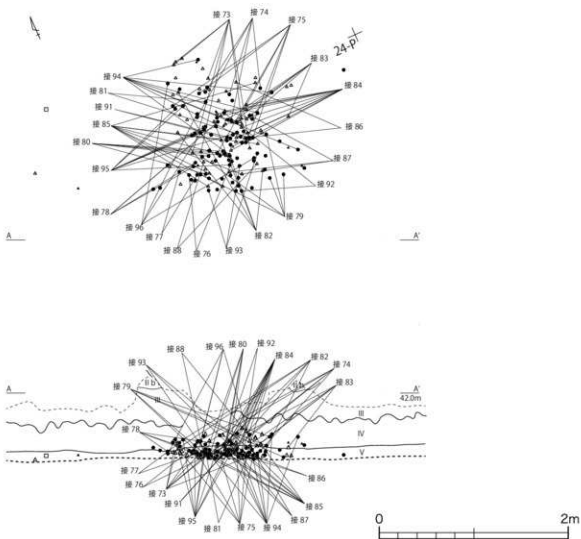


第15図 3号遺物集中(1) (1/40)

SBL3(重量)



SBL3(接合関係図)



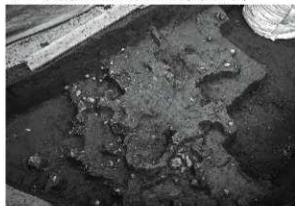
第16図 3号遺物集中(2) (1/40)



1. 1号遺物集中上面礫出土状況(南西から)



2. 1号遺物集中下面礫出土状況(南西から)



3. 2号遺物集中最上面礫出土状況(東から)



4. 2号遺物集中上面礫出土状況(東から)



5. 2号遺物集中下面礫出土状況(東から)



6. 2号遺物集中最下面礫出土状況(東から)



7. 3号遺物集中上面礫出土状況(北東から)



8. 3号遺物集中下面礫出土状況(北東から)

第17図 旧石器時代遺物集中写真

離面を打面に複数回剥離が行われているが、目的は判然としなない。

7～9は黒曜石の小剥片で、産地推定分析ではいずれも長野県蓼科産と共通する。10～22も剥片であるが、すべて黒色ガラス質安山岩を石材としている。自然面を背面の剥離構成に取り込むものが多く見受けられ、剥離工程上初期段階の荒割で作出された剥片に位置付けられよう。

2号遺物集中 (SBL2) (第13・14・17・23図、第4～6・14・16表)

9区東側の21・22-Q・Rグリッドで検出され、石器12点と礫478点が出土した。石器は、黒色ガラス質安山岩製のものが出土した。出土層位は、IV層下部からV層上部である。重量の大きい礫ほど下層であるV層上部から出土する傾向があることから、分布の中心はV層上部であると考えられる。礫の石材の構成では、砂岩が半数を占め、次いでチャートが多い。礫のうち約43%にあたる206点に被熱が認められる。礫の平面的な分布状況から、密度の高い分布の中心が2か所ある可能性がある。接合関係としては、礫180点と石器3点の計183点が接合して64点(接15～72、接99～104)に収束した。第20図32の剥片は、3点が接合しているが(接72)、2点はIII層、1点はV層から出土したものであり、上下方向の自然的な要因による強い擾乱を受けていることが推測される。

石器 (第20・22図、第3表)

22～32はすべて黒色ガラス質安山岩の不定形な剥片である。なお、32は3点の剥片が接合する唯一の例である。ただし、背面側から圧力がかかる踏みつけのような割れ方であり、礫群中に混じって分布する出土状況であったため、意図的な折り取りや分割ではないと推察される。なお、自然面を背面の剥離構成に取り込んだ剥片は見られず、剥離工程上ではSBL1の荒割工程より後の、石核成形時の剥離段階に位置付けられる。SBL1とは剥離構成の様相及び分布が異なることから、互いの集中部で作業工程上の分業があった可能性が示唆される。

3号遺物集中 (SBL3) (第15～17図)

10区西側の24-P・Qグリッドで検出され、礫174点が出土した。石器は出土しなかった。出土層位は、IV層下部からV層上部である。重量の大きい礫ほど下層であるV層上部から出土する傾向があることから、分布の中心はV層上部であると考えられる。礫の石材の構成では、砂岩が半数を占め、次いでチャートが多い。礫のうち約46%にあたる80点に被熱が認められる。接合関係としては、礫計100点が接合して22点(接73～88、接91～96)に収束した。

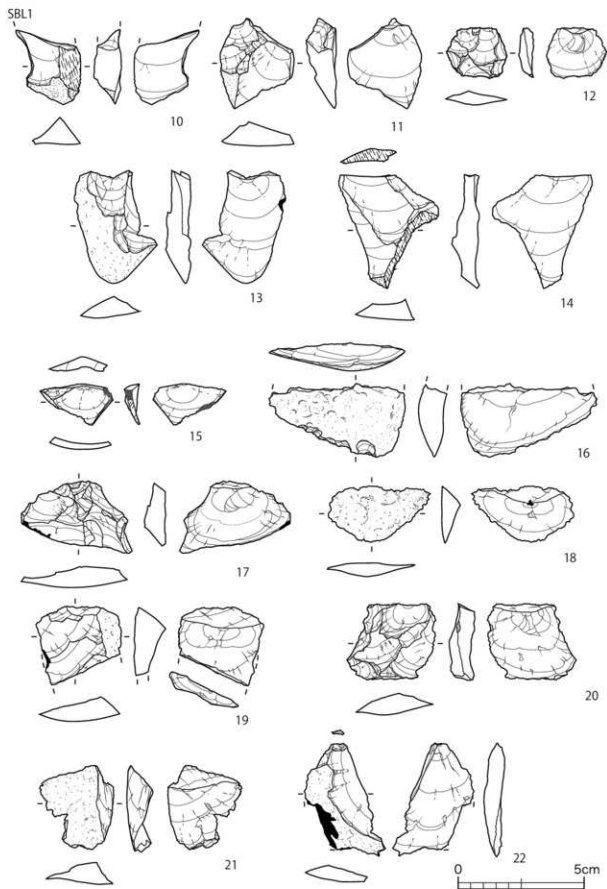
2) 遺構外出土遺物 (第22図、第3表)

33は、27-Pグリッドの攪乱(K41)から出土した遺構外の石器である。両側縁に連続した一定規模の剥離が認められ、おおよそU字状の形態を呈することから、尖頭器の基部とした。石材は珪質凝灰岩を用いている。

(塚田・守屋)

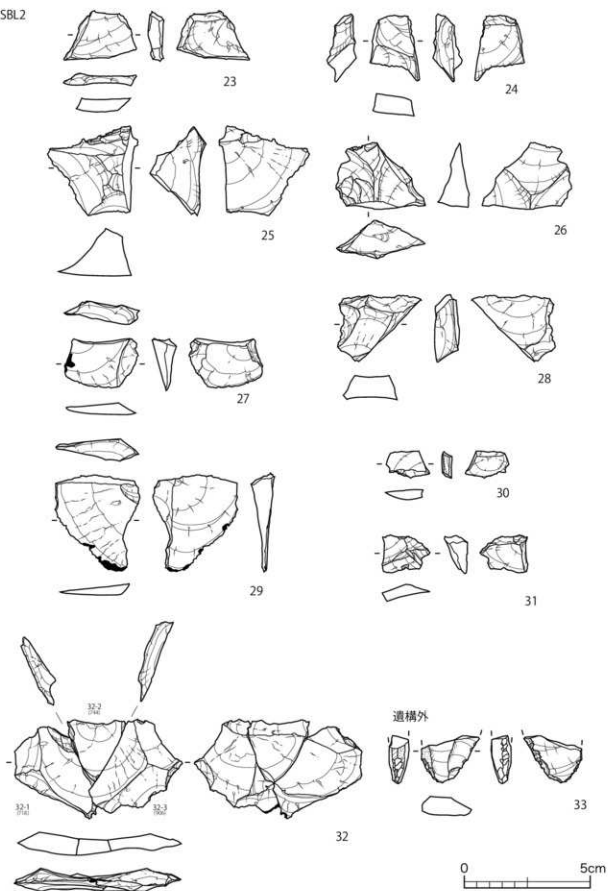


第18図 旧石器時代石器 (1) (2/3)



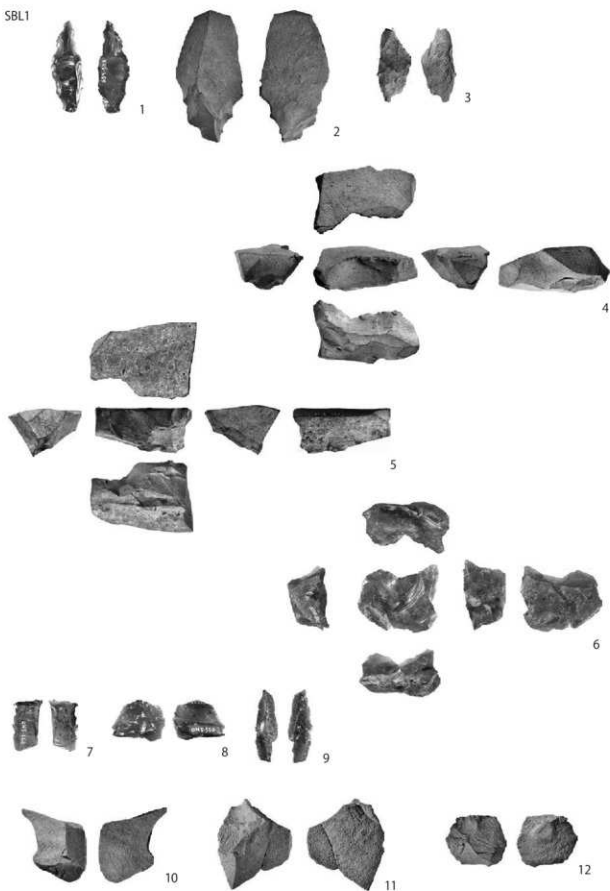
第19図 旧石器時代石器(2) (2/3)

SBL2



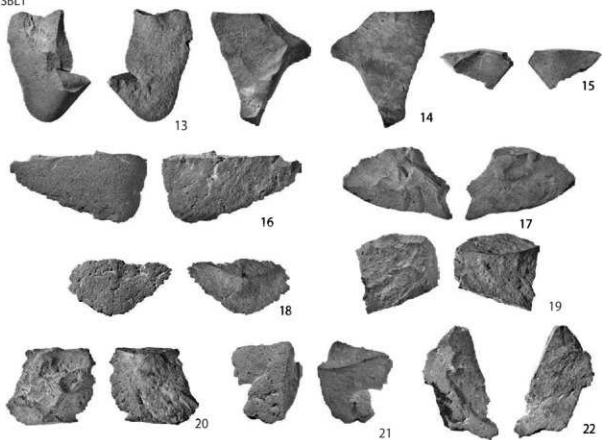
第20図 旧石器時代石器 (3) (2/3)

SBL1

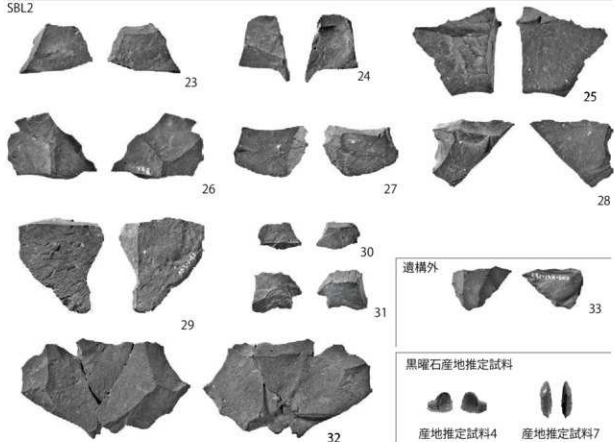


第21図 旧石器時代石器写真(1)

SBL1



SBL2



遺構外



黒曜石産地推定試料



産地推定試料4



産地推定試料7

第22図 旧石器時代石器写真(2)

第3表 旧石器時代石器観察表

図	番	調査区	グリッド	出土層位	遺構	図種	石材	産地(※V章参照)		長さ(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重量(g)	備考	
								エリア	別称(産名)						
18・21	1	9区	19.5	IV	SBL1	角礫状石核	黒曜石	和田	土庫遺2	6	37.7	12.5	18.0	3.2	
	2	9区	19.5	IV	SBL1	ナイフ形石核	破質細粒黒曜石	?	?	24	(51.7)	27.2	11.5	11.8	
	3	9区	20.8	IV	SBL1	ナイフ形石核	破質細粒黒曜石	?	?	22	(29.1)	(13.5)	5.0	1.6	
	4	9区	20.5	IV	SBL1	石核	破質細粒黒曜石	?	?	17	16.3	43.0	22.7	16.8	
	5	9区	20.8	IV	SBL1	石核	破質細粒黒曜石	?	?	21	19.3	41.0	28.8	21.1	
	6	9区	20.8	II B	SBL1	石核	黒曜石	和田	備山2	2	26.0	31.8	16.0	15.4	
	7	9区	19.5	III	SBL1	削片	黒曜石	夢科	冷山	3	21.0	11.5	5.0	0.8	
	8	9区	20.8	IV	SBL1	削片	黒曜石	夢科	冷山	5	16.2	21.0	8.0	1.4	
	9	9区	19.8	IV	SBL1	削片	黒曜石	夢科	冷山	8	28.7	9.3	11.3	2.1	
	10	9区	20.8	IV	SBL1	削片	破質細粒黒曜石	—	—	—	—	29.5	25.6	10.0	6.1
19	11	9区	20.8	II	SBL1	削片	破質細粒黒曜石	—	—	—	—	30.5	26.5	12.0	9.0
	12	9区	19.5	IV	SBL1	削片	破質細粒黒曜石	—	—	—	—	20.0	24.0	6.0	3.0
	13	9区	20.8	IV	SBL1	削片	破質細粒黒曜石	—	—	—	—	45.0	32.8	10.0	10.6
	14	9区	20.8	IV	SBL1	削片	破質細粒黒曜石	—	—	—	—	45.0	39.8	11.0	9.4
	15	9区	20.8	IV	SBL1	削片	破質細粒黒曜石	—	—	—	—	16.5	24.0	6.0	1.7
	16	16区	20.5	V	SBL1	削片	黒色ガラス質安山岩	みなかみ?	武蔵山2	25	(29.7)	54.1	10.9	15.2	
	17	17区	19.5	V	SBL1	削片	黒色ガラス質安山岩	みなかみ?	武蔵山1	23	28.5	44.0	8.5	8.4	
	18	19区	20.8	IV	SBL1	削片	黒色ガラス質安山岩	佐久?	八旗山	16	22.2	40.4	7.3	4.2	
	19	19区	20.8	IV	SBL1	削片	黒色ガラス質安山岩	佐久?	八旗山	20	(31.0)	33.6	12.9	11.4	
	20	19区	20.8	IV	SBL1	削片	黒色ガラス質安山岩	佐久?	八旗山	18	30.0	35.5	10.8	9.1	
20・22	21	9区	20.8	V	SBL1	削片	黒色ガラス質安山岩	佐久?	八旗山	26	33.3	29.2	10.6	6.4	
	22	9区	20.8	IV	SBL1	削片	黒色ガラス質安山岩	佐久?	八旗山	19	44.5	32.0	6.5	6.2	
	23	9区	22.8	IV	SBL2	削片	黒色ガラス質安山岩	佐久?	八旗山	28	19.3	28.7	6.3	19.3	
	24	9区	22.8	IV	SBL2	削片	黒色ガラス質安山岩	佐久?	八旗山	30	26.3	19.2	11.7	4.0	
	25	9区	22.8	IV	SBL2	削片	黒色ガラス質安山岩	佐久?	八旗山	32	35.4	36.0	22.1	13.9	
	26	9区	22.8	V	SBL2	削片	黒色ガラス質安山岩	佐久?	八旗山	35	26.6	35.3	15.2	9.7	
	27	9区	22.8	IV	SBL2	削片	黒色ガラス質安山岩	佐久?	八旗山	29	19.2	29.0	9.5	3.5	
	28	9区	22.8	IV	SBL2	削片	黒色ガラス質安山岩	佐久?	八旗山	31	26.5	33.0	9.5	7.0	
	29	9区	22.8	V	SBL2	削片	黒色ガラス質安山岩	佐久?	八旗山	36	38.5	33.5	8.5	7.1	
	30	9区	21.8	IV	SBL2	削片	黒色ガラス質安山岩	佐久?	八旗山	33	10.6	17.0	4.0	0.8	
20・22	31	9区	22.8	IV	SBL2	削片	黒色ガラス質安山岩	佐久?	八旗山	34	15.1	19.4	9.5	1.3	
	32	9区	22.8	II	V	SBL2	削片	黒色ガラス質安山岩	佐久?	八旗山	27	—	—	—	—
	33	10区	27.8	P	K41	尖頭器(割れ)	柱状黒曜石	—	—	—	(19.0)	(19.0)	8.0	3.0	

第4表 旧石器時代遺物集中出土石器一覧表

1号遺物集中(SBL1)													
番号	調査区	グリッド	層位	図種	石材	別	長さ(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重量(g)	図番	検出	自然科学分析
443	9区	20.8	II B	石核	黒曜石	有	26.0	31.8	16.0	15.4	18区6	—	産地調査記2 26070.514 20628.886 41.868
465	9区	20.8	II	削片	破質細粒黒曜石	無	30.5	26.5	12.0	9.0	19区11	—	26070.269 20627.407 41.572
468	9区	19.5	III	削片	黒曜石	有	21.0	11.5	5.0	0.8	18区7	—	産地調査記3 26069.734 20631.415 41.571
469	9区	20.8	IV	削片	黒曜石	有	7.9	10.9	1.7	0.1	—	—	産地調査記4 26070.276 20628.822 41.363
470	9区	20.8	IV	削片	破質細粒黒曜石	無	45.0	39.8	11.0	9.4	19区14	—	26070.896 20627.390 41.290
471	9区	20.8	IV	削片	黒色ガラス質安山岩	無	22.2	40.4	7.3	4.2	19区18	—	産地調査記16 26070.347 20627.691 41.338
479	9区	20.5	IV	石核	破質細粒黒曜石	無	16.3	43.0	22.7	16.8	18区4	—	産地調査記17 26069.814 20629.623 41.425
519	9区	20.8	IV	削片	黒色ガラス質安山岩	無	30.4	35.5	10.8	9.1	19区20	—	産地調査記18 26070.628 20630.039 41.345
523	9区	20.8	IV	削片	黒色ガラス質安山岩	有	44.5	32.0	6.5	6.2	19区22	—	産地調査記19 26070.643 20627.617 41.254
540	9区	20.8	IV	削片	破質細粒黒曜石	無	29.5	25.6	10.0	6.1	19区10	—	26070.797 20628.092 41.254
542	9区	20.8	IV	削片	黒色ガラス質安山岩	有	(31.0)	33.6	12.9	11.4	19区19	—	産地調査記20 26070.349 20627.060 41.373
550	9区	20.8	IV	削片	黒曜石	無	16.2	21.0	8.0	1.4	18区8	—	産地調査記5 26071.197 20626.584 41.352
551	9区	20.8	IV	石核	破質細粒黒曜石	有	19.3	41.0	28.8	21.1	18区5	—	産地調査記21 26070.801 20627.334 41.216
554	9区	20.8	IV	ナイフ形石器	破質細粒黒曜石	有	(29.1)	(13.5)	5.0	1.6	18区3	—	産地調査記22 26071.214 20628.047 41.250
557	9区	19.5	IV	肉離状石器	黒曜石	無	37.0	12.5	18.0	3.2	18区1	—	産地調査記6 26068.943 20631.101 41.380
558	9区	20.8	IV	削片	破質細粒黒曜石	有	16.5	24.0	6.0	1.7	19区15	—	26070.248 20628.704 41.230
587	9区	20.8	IV	削片	破質細粒黒曜石	有	45.0	32.8	10.0	10.6	19区13	—	26070.323 20626.191 41.327
607	9区	19.5	IV	削片	黒色ガラス質安山岩	有	28.5	44.0	8.5	8.4	19区17	—	産地調査記23 26069.396 20630.637 41.189
608	9区	19.5	IV	削片	黒曜石	無	14.5	4.4	1.9	0.2	—	—	産地調査記24 26069.178 20630.588 41.191
618	9区	19.8	IV	削片	黒曜石	無	28.7	9.3	11.3	2.1	18区9	—	産地調査記25 26070.302 20630.141 41.389
619	9区	19.5	IV	ナイフ形石器	破質細粒黒曜石	有	(51.7)	27.2	11.5	11.8	18区2	—	産地調査記26 26068.965 20631.900 41.439
626	9区	20.5	V	削片	黒色ガラス質安山岩	無	29.7	54.1	10.9	15.2	19区16	—	産地調査記27 26071.432 20618.714 41.433
630	9区	20.8	IV	削片	黒色ガラス質安山岩	無	33.3	25.5	10.6	6.4	19区21	—	産地調査記28 26070.856 20629.020 41.163
19.5一括19	9区	19.5	IV	削片	破質細粒黒曜石	無	20.0	24.0	6.0	3.0	19区12	—	産地調査記29 26070.804 20627.374 41.187
2号遺物集中(SBL2)													
748	9区	22.8	II	削片	黒色ガラス質安山岩	有	40.7	26.8	8.3	8.2	20区32	—	産地調査記31 26073.677 20618.794 41.746
744	9区	22.8	II	削片	黒色ガラス質安山岩	有	23.9	25.2	7.1	4.4	20区32	—	26074.874 20618.853 41.518
782	9区	22.8	IV	削片	黒色ガラス質安山岩	無	19.3	28.7	6.5	3.0	20区23	—	産地調査記28 26073.454 20619.407 41.454
783	9区	22.8	IV	削片	黒色ガラス質安山岩	無	19.2	29.0	9.5	3.5	20区27	—	産地調査記29 26073.377 20619.394 41.417
790	9区	22.8	IV	削片	黒色ガラス質安山岩	有	26.3	19.2	11.7	4.0	20区24	—	産地調査記30 26073.958 20619.033 41.478
799	9区	22.8	IV	削片	黒色ガラス質安山岩	無	26.5	33.0	9.5	7.0	20区28	—	産地調査記31 26074.832 20618.714 41.433
803	9区	22.8	IV	削片	黒色ガラス質安山岩	無	35.4	36.0	22.1	13.9	20区29	—	産地調査記32 26074.762 20618.415 41.398
816	9区	21.8	IV	削片	黒色ガラス質安山岩	有	10.6	17.0	4.0	0.8	20区30	—	産地調査記33 26074.300 20620.249 41.365
871	9区	22.8	IV	削片	黒色ガラス質安山岩	無	15.1	19.4	9.5	1.3	20区31	—	産地調査記34 26073.974 20619.099 41.339
906	9区	22.8	V	削片	黒色ガラス質安山岩	有	38.6	31.6	10.9	9.0	20区25	—	産地調査記35 26073.822 20619.445 41.267
1058	9区	22.8	V	削片	黒色ガラス質安山岩	有	15.2	9.7	11.3	2.1	20区31	—	産地調査記36 26074.684 20619.092 41.297
1161	9区	22.8	V	削片	黒色ガラス質安山岩	有	38.5	33.5	8.5	7.1	20区29	—	産地調査記37 26074.178 20619.374 41.190

第5表 旧石器時代遺物集中出土土曜一覧表(1)

1 旧石器集中(881) (※遺物番号は調査年度)									
遺物番号	調査年度	石種	形状	長さ	幅	厚さ	重量	備考	総合番号
478 9区 20S IV 砂岩	有	33.5	29.0	10.8	10.6				26069702
480 9区 20S IV 砂岩	有	21.3	16.0	9.1	2.8				26069664
481 9区 20S IV 砂岩	有	25.1	9.8	9.3	3.3				26070117
482 9区 20S IV 砂岩	有	28.0	19.0	12.7	6.2				26069807
483 9区 20S IV 砂岩	有	46.2	46.2	24.2	28.0				26069853
484 9区 20S IV 片貝頁岩	有	48.5	42.2	24.1	42.9				26069892
485 9区 20S IV 砂岩	有	74.0	47.0	36.2	188.7				26069961
486 9区 20S IV 砂岩	有	90.1	36.8	23.6	178.5				26070049
487 9区 20R IV 砂岩	有	59.9	30.1	28.9	68.3				26070066
488 9区 20R IV 砂岩	有	51.5	22.4	28.5	54.2				26070190
489 9区 20R IV 砂岩	有	55.4	31.5	26.3	82.2				26070091
490 9区 20R IV 砂岩	有	64.0	40.1	26.9	77.1				26070157
491 9区 20R IV 砂岩	有	50.7	33.4	24.0	63.2				26070297
492 9区 20R IV 砂岩	有	27.9	23.4	14.7	8.4				26070376
493 9区 20R IV 砂岩	有	45.7	24.7	19.0	20.7				26070544
494 9区 20R IV 砂岩	有	31.6	22.7	19.3	11.6				26070633
495 9区 20R IV 砂岩	有	41.1	31.0	9.3	11.2				2607066
496 9区 20S IV 砂岩	有	63.3	32.4	16.5	22.7				26069935
497 9区 20S IV 砂岩	有	69.6	54.5	31.4	69.5				26069881
498 9区 20R IV 砂岩	有	51.1	37.4	31.4	52.2				26070033
499 9区 20S IV 砂岩	有	55.5	41.1	17.9	9.9				26069958
500 9区 20R IV 砂岩	有	60.9	49.8	35.2	108.0				26070107
501 9区 20R IV 砂岩	有	47.8	33.0	28.0	40.4				26070029
502 9区 20R IV 砂岩	有	45.6	33.2	25.0	36.6				2607007
503 9区 20R IV 砂岩	有	34.4	14.2	12.8	8.5				26070187
504 9区 20R IV 砂岩	有	42.9	27.2	26.5	24.8				26070173
505 9区 20R IV 砂岩	有	49.6	29.6	21.3	35.1				26070465
506 9区 20R IV 砂岩	有	63.5	17.0	15.2	16.9				2607033
507 9区 20R IV 片貝頁岩	有	32.2	24.9	24.0	7.6				26070077
508 9区 20R IV 砂岩	有	57.6	33.2	31.4	43.8				26070091
510 9区 20R IV 砂岩	有	24.8	19.2	13.6	5.7				26070258
511 9区 20R IV 砂岩	有	24.9	13.7	11.2	5.3				26070261
512 9区 20R IV 砂岩	有	53.3	27.5	26.1	21.1				26070104
513 9区 20R IV 砂岩	有	34.4	14.2	12.8	8.5				26070187
514 9区 20R IV 砂岩	有	38.3	15.9	5.6	4.6				26070817
515 9区 20R IV 砂岩	有	46.0	35.3	29.7	24.1				26070954
516 9区 20R IV 片貝頁岩	有	21.8	20.6	17.2	5.0				26070846
517 9区 20R IV 砂岩	有	46.9	38.1	16.5	28.0				26070387
518 9区 20R IV 砂岩	有	50.7	37.7	18.8	29.9				26070496
520 9区 20R IV 砂岩	有	72.3	36.7	34.6	58.6				26070754
521 9区 20R IV 砂岩	有	57.6	22.8	19.4	11.1				26070707
522 9区 20R IV 砂岩	有	55.5	38.9	10.6	24.7				2607074
523 9区 20R IV 片貝頁岩	有	42.9	32.4	22.6	22.6				2607053
525 9区 20R IV 砂岩	有・破	76.1	52.1	27.1	112.3				26070514
526 9区 20R IV 砂岩	有	52.8	37.1	26.9	30.3				26070491
527 9区 20R IV 砂岩	有	52.3	37.9	27.4	42.4				26070439
528 9区 20R IV 片貝頁岩	有	45.8	38.1	28.8	40.7				26070403
529 9区 20R IV 砂岩	有	61.6	27.3	27.1	48.9				26070752
530 9区 20R IV 砂岩	有	69.0	28.1	13.5	45.3				26070305
531 9区 20R IV 砂岩	有	78.2	61.1	23.4	150.9				26070366
532 9区 20R IV 砂岩	有	35.8	25.3	11.6	10.4				26070378
533 9区 20R IV 砂岩	有	88.0	51.9	29.8	176.6				2607042
534 9区 20R IV 砂岩	有	80.9	54.6	34.6	211.0				26070253
535 9区 20R IV 砂岩	有	58.1	46.9	38.2	83.4				26070305
536 9区 20R IV 砂岩	有	81.5	42.9	39.0	139.2				26070221
537 9区 20R IV 砂岩	有	81.3	68.8	41.8	255.0				26070121
538 9区 20R IV 砂岩	有	39.9	33.5	28.1	22.2				26070784
539 9区 20R IV 砂岩	有	42.3	30.8	14.7	17.3				26070989
541 9区 20R IV ホルンフェルス	無	61.8	40.7	32.0	110.3				26071451
542 9区 20R IV 砂岩	有	91.5	69.5	48.2	351				26070176
543 9区 20R IV 砂岩	有	28.2	21.0	10.2	5.4				26070454
544 9区 20R IV 砂岩	有	57.3	26.6	18.9	22.1				260703
546 9区 20R IV 砂岩	有	48.8	39.2	22.3	36.4				26070548
547 9区 20R IV 砂岩	有	84.9	52.4	43.2	245.5				26070791
548 9区 20R IV 砂岩	有	36.1	30.1	18.2	17.0				26070598
549 9区 20R IV 砂岩	有	28.7	18.4	7.5	8.1				26070405
550 9区 20R IV 砂岩	有	15.9	14.2	3.2	0.8				26070334
560 9区 20R IV 砂岩	有	31.1	38.5	21.2	10.9				26070095
561 9区 20S IV 砂岩	有	37.2	24.9	8.7	10.7				26069944
562 9区 20R IV 砂岩	有	39.2	24.4	16.7	17.3				26070157
563 9区 20R IV 砂岩	有	25.2	20.1	5.0	2.8				26070737
564 9区 20S IV 砂岩	有	31.6	28.2	26.1	14.7				26069673
565 9区 20S IV 砂岩	有	22.7	14.2	8.6	2.6				26069935
566 9区 20S IV 砂岩	有	89.1	42.0	34.7	166.1				26069904
567 9区 20S IV 片貝頁岩	有	59.0	34.5	28.3	81.1				26069899
568 9区 20R IV 砂岩	有	108.8	70.6	55.6	313.5				26070217
569 9区 20R IV 砂岩	有	66.0	48.7	46.9	122.6				2607046
570 9区 20R IV 砂岩	有	59.4	30.7	27.8	51.0				26070328
571 9区 20R IV 砂岩	有	53.4	21.0	19.5	29.7				26070154
572 9区 20R IV 砂岩	有	73.7	57.0	56.2	267.5				26070387
573 9区 20R IV 砂岩	有	57.0	38.8	38.8	63.3				26070132
574 9区 20R IV ホルンフェルス	無	106.4	64.3	51.2	349.5				26070038
575 9区 20S IV 砂岩	有	54.5	28.9	19.0	30.5				26069935
576 9区 20R IV 砂岩	有	97.8	68.8	53.0	545.0				26070102
577 9区 20R IV 砂岩	有	59.3	30.2	15.4	35.3				26070013
578 9区 20R IV 砂岩	有	64.3	54.8	26.8	90.8				26070058
579 9区 20R IV 砂岩	有	56.0	47.9	36.5	97.7				26070223
580 9区 20S IV 砂岩	有	42.6	32.0	26.5	36.0				26069986
588 9区 20S IV 砂岩	有	29.0	23.0	18.7	9.5				26069985

第 6 表 旧石器時代遺物集中出土土曜一覧表 (2)

番号	調査区	クワッド	層位	石種	種類	形状	長さ	幅	厚さ	重量	備考	発掘番号	X	Y	Z
589	9区	20R	IV	砂岩	刮削	有	57.2	32.3	17.6	53.0			20607013	20627005	41313
590	9区	20S	IV	片岩質頁岩	刮削	有	63.6	47.4	22.1	69.4			20609183	20627118	41230
591	9区	20S	IV	片岩質頁岩	刮削	有	38.1	21.3	13.6	14.6			20609196	20627275	41285
592	9区	20S	IV	砂岩	刮削	有	77.9	49.5	43.9	108.4			20609198	20627303	41284
593	9区	20S	IV	砂岩	無	有	106.4	78.4	73.1	1045.0			20609199	20627403	41207
594	9区	20S	IV	砂岩	刮削	有	141.0	98.4	81.2	229.0			20609199	20627604	41231
595	9区	20R	IV	砂岩	刮削	有	61.9	37.2	28.5	71.9			20670118	20627718	41235
596	9区	20R	IV	砂岩	刮削	有	36.2	29.0	15.0	17.3			20670128	20627838	41214
597	9区	20S	IV	チャート	有	65.1	51.6	26.6	67.4			20609192	20627805	41243	
598	9区	20S	IV	片岩質頁岩	刮削	有	66.1	32.8	28.7	53.9			20609186	20627845	41325
599	9区	20S	IV	砂岩	刮削	有	43.8	25.3	21.6	22.7			20609192	20627917	41337
600	9区	20S	IV	チャート	有	46.1	25.4	21.9	20.9			20609184	20627903	41322	
601	9区	20S	IV	砂岩	有	48.4	21.3	15.4	14.9			20609186	20627933	41322	
602	9区	20S	IV	片岩質頁岩	刮削	有	52.7	44.7	32.7	43.7			20609176	20628254	41278
603	9区	20S	IV	チャート	有	54.6	43.8	35.1	74.9			20609182	20628405	41259	
604	9区	20S	IV	チャート	有	50.1	41.2	24.3	43.2			20609176	20628616	41242	
605	9区	20S	IV	チャート	有	42.2	26.7	18.9	26.7			20609146	20628828	41312	
606	9区	20S	IV	チャート	有	28.2	16.1	14.0	5.7			20609167	20628316	41305	
609	9区	19S	IV	チャート	有	30.4	16.0	13.1	7.9			20609188	20630095	41175	
610	9区	20S	IV	片岩質頁岩	刮削	有	33.4	29.5	19.5	37.9			20609192	20628621	41187
611	9区	20S	IV	砂岩	刮削・破	有	72.9	58.2	50.5	87.8	破れ箇所		20609169	20628581	41232
612	9区	20S	IV	片岩質頁岩	刮削	有	50.6	30.1	20.2	28.6			20609178	20628232	41246
613	9区	20R	IV	砂岩	刮削	有	54.8	42.3	22.2	33.8			20609172	20628208	41214
614	9区	20S	IV	砂岩	刮削	有	44.0	26.0	24.5	39.3			20609194	20628016	41222
615	9区	20S	IV	チャート	有	59.0	47.7	26.6	96.4			20609182	20627856	41211	
616	9区	20S	IV	チャート	有	48.9	37.0	20.4	42.9			20609174	20627721	41279	
617	9区	20S	IV	チャート	有	61.6	42.2	29.2	71.2			20609183	20627604	41252	
618	9区	20S	IV	砂岩	有	52.8	41.7	36.3	77.0			20609172	20627386	41228	
619	9区	20S	IV	砂岩	有	55.1	49.3	36.8	82.9			20609174	20627462	41149	
622	9区	20S	IV	チャート	有	78.4	60.9	34.7	165.0			20609171	20627761	41230	
623	9区	20S	IV	砂岩	有	62.1	32.4	24.4	57.5			20609178	20627874	41207	
624	9区	20S	IV	砂岩	有	35.7	18.1	15.3	13.0			20609166	20628241	41211	
625	9区	20S	IV	チャート	有	25.5	21.4	9.2	4.4			20609169	20628022	41185	
627	9区	20R	IV	砂岩	有	36.7	34.4	24.6	21.6			20670128	20628308	41197	
628	9区	20S	IV	砂岩	有	45.1	33.8	16.6	23.4			20670122	20627843	41191	
629	9区	20S	IV	砂岩	有	31.9	18.7	11.6	4.2			20670183	20627493	41185	
大町遺物集中 (S8-2) (全遺物番号は括弧内記載)															
753	9区	22R	IV	砂岩	刮削	有	59.2	23.8	17.8	23.0			20673106	20618984	41172
756	9区	21R	IV	砂岩	刮削	有	68.3	47.9	27.0	51.2			20673136	2061476	41280
757	9区	21R	IV	チャート	有	38.4	36.8	21.6	21.9			20673024	20620404	41266	
758	9区	21R	IV	チャート	有	28.4	24.8	11.7	6.8			20673128	20620132	41222	
759	9区	21R	IV	チャート	有	45.0	34.2	18.8	29.9			20673128	20620142	41277	
760	9区	21R	IV	砂岩	有	50.5	38.5	10.7	18.5			20673066	20620313	41421	
761	9区	22R	IV	チャート	有	45.0	15.9	14.3	7.7			20673074	20618908	41365	
762	9区	22R	IV	砂岩	刮削	有	45.0	23.8	10.8	14.9			20674145	20619736	41465
763	9区	22R	IV	チャート	有	36.2	30.5	21.4	21.9			20674394	2061984	41466	
764	9区	22R	IV	砂岩	有	69.4	34.6	15.2	20.1			20674152	20619782	41444	
765	9区	22R	IV	砂岩	有	29.7	20.3	14.8	9.3			20674106	20619826	41444	
766	9区	22Q	IV	チャート	有	34.3	25.1	10.7	7.5			20675013	20619504	41438	
767	9区	22R	IV	砂岩	有	27.0	22.0	17.7	9.6			20674817	20619143	41424	
768	9区	22R	IV	片岩質頁岩	有	26.1	23.5	11.8	6.6			20674574	20619468	41415	
769	9区	22R	IV	砂岩	有	41.9	21.6	8.7	10.7			20674404	20619408	41415	
770	9区	22R	IV	砂岩	有	33.2	18.4	7.9	5.6			20674195	20619501	41358	
771	9区	22R	IV	チャート	有	34.8	27.0	20.4	16.7			20674014	20619454	41331	
772	9区	22R	IV	チャート	有	50.0	30.8	18.2	28.6			20674715	20619228	41506	
773	9区	22R	IV	チャート	有	24.5	16.6	13.2	4.7			20674603	20619249	41434	
774	9区	22R	IV	砂岩	有	50.4	33.2	21.9	25.2			2067301	20619268	41355	
775	9区	22R	IV	砂岩	有	44.6	29.6	26.2	28.4			20673716	20619696	41391	
776	9区	22R	IV	砂岩	有	27.6	16.3	5.9	2.3			2067401	20619137	41401	
777	9区	22R	IV	砂岩	有	32.7	17.0	7.7	4.9			20673864	20619229	41345	
778	9区	22R	IV	チャート	有	41.1	25.8	21.1	24.7			20673723	20619285	41348	
779	9区	22R	IV	砂岩	有	47.3	28.2	7.5	15.0			20673691	20619407	41367	
780	9区	22R	IV	砂岩	有	27.5	20.6	18.4	7.3			20673609	20619491	41402	
781	9区	22R	IV	片岩質頁岩	有	35.8	20.1	12.2	8.6			20673516	20619457	41392	
784	9区	22R	IV	砂岩	有	29.9	23.4	2.5	12.3			20673114	20619441	41444	
785	9区	22R	IV	砂岩	有	42.7	40.8	19.7	32.3			20673132	20619297	41345	
786	9区	22R	IV	砂岩	有	36.7	28.2	14.2	9.8			20672891	20619581	41381	
787	9区	22R	IV	チャート	有	37.2	20.0	15.2	9.3			20674323	20619191	41448	
788	9区	22R	IV	砂岩	有	25.0	20.7	14.3	5.6			20674485	20619112	41457	
789	9区	22R	IV	片岩質頁岩	有	36.1	36.0	19.5	20.3			20674717	2061908	41428	
791	9区	22R	IV	チャート	有	36.6	25.3	17.3	13.7			20673696	20618873	41406	
792	9区	22Q	IV	砂岩	有	37.8	30.9	20	17.5			20675217	20619269	41348	
793	9区	22Q	IV	砂岩	有	40.3	25.7	15.1	41.1	割れ点3点		20675168	20619102	41314	
794	9区	22R	IV	砂岩	有	39.0	22.2	18.1	14.3			20675001	20618952	41394	
795	9区	22R	IV	砂岩	有	51.4	29.1	19.2	29.9			20674815	20618833	41379	
796	9区	22R	IV	砂岩	有	42.0	19.4	19.3	17.7			20674687	20618895	41385	
797	9区	22R	IV	チャート	有	31.5	24.5	12.4	9.8			20674499	20618858	4141	
798	9区	22R	IV	チャート	有	26.4	24.4	12.5	7.8			20674667	20618645	41417	
800	9区	22R	IV	砂岩	有	32.9	23.1	20.3	12.9			20674951	20618721	41403	
801	9区	22Q	IV	チャート	有	34.3	30.8	14.9	15.7			20675004	20618731	41379	
802	9区	22R	IV	砂岩	有	42.0	29.5	14.9	15.5			20675109	20618887	41355	
804	9区	22R	IV	チャート	有	46.3	28.6	23.6	35.5			20674744	20618249	41356	
805	9区	22R	IV	砂岩	有	24.4	20.4	17.0	8.1			20674729	20617974	41423	
806	9区	22R	IV	チャート	有	36.3	32.9	15.9	15.1			20674419	20618557	41432	
807	9区	22R	IV	砂岩	刮削	有	32.3	26.4	14.0	11.7			20674207	20618355	41426
808	9区	22R	IV	チャート	有	57.7	42.1	35.5	110.8	割れ数2点		20674091	20618492	41272	
809	9区	22R	IV	チャート	有	58.5	34.5	29.2	47.0	割れ点2点		20674784	20618203	41344	
810	9区	22R	IV	チャート	有	71.1	41.4	23.8	77.6			20674913	20618058	41319	
811	9区	22R	IV	ホルンフェルス	有	51.8	33.6	17.1	39.2			20674959	20617966	41318	
812	9区	22R	IV	チャート	有	33.7	19.6	11.0	11.6			2067394	20618805	41437	
813	9区	22R	IV	チャート	有	35.8	26.0	17.2	14.9			20673984	20618683	41461	
814	9区	22R	IV	チャート	有	43.9	21.6	18.4	25.3			20673842	206187		

第7表 旧石器時代遺物集中出土土曜一覧表(3)

区	調査区	タテ	横	層位	石種	形状	長さ	幅	厚さ	重量	備考	図面番号	X	Y	
815	9区	22-R	IV	チャート	有	38.9	21.6	14.9	10.9				26073529	20618781	41512
817	9区	22-R	IV	チャート	有	36.1	22.3	11.1	6.2				26073378	20618866	41385
818	9区	22-R	IV	チャート	有	29.1	17.5	13.5	10.1				26073122	20618986	41398
819	9区	22-R	IV	チャート	有	41.9	23.3	20.7	22.3				26073897	20618626	4148
820	9区	22-R	IV	チャート	有	27.0	12.8	8.8	5.0				26073394	20618744	41438
821	9区	22-R	IV	砂岩	有	41.4	34.6	12.8	17.7				26073413	20618914	41361
822	9区	22-R	IV	チャート	有	42.7	24.1	9.4	12.3				26074231	20618938	41415
823	9区	22-R	IV	砂岩	有	24.4	13.4	6.3	2.0				26073688	2061941	4137
824	9区	22-R	IV	チャート	有	19.9	18.6	17.9	7.8				26073691	20619697	4137
825	9区	22-R	IV	チャート	有	51.8	39.8	29.1	50.9				26073941	20619817	41319
826	9区	22-R	IV	チャート	有	33.0	25.8	11.7	13.4				26073675	20619774	41319
827	9区	22-R	IV	砂岩	有	18.9	12.0	3.2	0.8				26073044	20618906	41477
828	9区	22-R	IV	チャート	有	34.9	14.9	14.1	8.6				26073142	20619318	41255
830	9区	21-R	IV	チャート	有	39.2	23.9	13.4	15.8				26074666	20620103	41437
831	9区	22-R	IV	砂岩	有	57.4	29.9	25.0	20.2				26074711	20619907	41357
832	9区	22-R	IV	砂岩	有	39.1	25.0	11.5	13.4				26074553	20619694	41417
833	9区	22-R	IV	チャート	有	39.9	27.1	10.6	10.7				26074556	20619768	41399
834	9区	22-R	IV	チャート	有	21.4	16.0	15.9	6.0				26074311	20619666	41436
835	9区	22-R	IV	チャート	有	36.5	22.1	13.9	7.2				26074717	20619604	4141
836	9区	22-R	IV	チャート	有	28.1	24.8	11.3	9.1				26074187	20619688	41345
837	9区	22-R	IV	砂岩	有	30.4	16.3	12.1	6.3				26074051	20619985	41377
838	9区	21-R	IV	チャート	有	39.9	30.2	23.6	29.3				26074348	20620043	4133
839	9区	22-R	IV	チャート	有	63.3	26.7	25.1	49.5				26074997	20619741	41394
840	9区	22-R	IV	チャート	有	29.0	27.2	14.2	7.7				26074923	20619699	41366
841	9区	22-Q	IV	ホルンフェルス	有	44.5	31.3	14.9	19.9				26075012	20619889	4141
842	9区	22-R	IV	チャート	有	34.9	24.1	17.7	15.7				260748	20619533	414
843	9区	22-R	IV	チャート	有	28.4	18.6	11.2	7.6				26074756	20619516	41395
844	9区	22-R	IV	砂岩	有	38.9	31.2	16.8	18.0				26074923	20619391	41416
845	9区	22-R	IV	砂岩	有	35.3	28.0	4.8	6.2				26074767	20619284	41339
846	9区	22-R	IV	チャート	有	29.5	18.8	15.3	7.2				26074662	20619149	41371
847	9区	22-R	IV	チャート	有	34.4	18.3	6.9	5.4				26074357	20619208	41361
848	9区	22-R	IV	チャート	有	27.4	13.3	5.3	1.6				26074331	20619211	41352
849	9区	22-R	IV	片岩	有	26.3	17.3	7.6	2.8				26074244	20619118	41357
850	9区	22-R	IV	片岩	有	33.5	22.4	13.6	11.1				26074364	20619189	4141
851	9区	22-R	IV	チャート	有	34.8	33.8	18.3	14.2				26073931	20619066	41405
852	9区	22-R	IV	チャート	有	30.1	16.3	8.6	3.2				26073924	20618917	41382
853	9区	22-R	IV	砂岩	有	38.5	28.7	14.4	14.6				26073921	20618864	41357
854	9区	22-R	IV	砂岩	有	31.4	20.2	5.9	3.4				26073183	20618772	41417
855	9区	22-R	IV	砂岩	有	46.9	25.3	13.8	27.5				26073211	20618705	41381
856	9区	22-R	IV	砂岩	有	57.9	46.8	26.1	55.3				26073444	20618554	41367
857	9区	22-R	IV	チャート	有	52.0	16.1	15.5	8.6				26073642	20618743	4147
858	9区	22-R	IV	ホルンフェルス	有	30.8	40.3	17.0	54.5				26074294	20618128	4139
859	9区	22-R	IV	片岩	有	33.7	19.0	13.5	7.7				26074085	20618189	41414
860	9区	22-R	IV	片岩	有	36.5	23.3	16.9	8.3				26075042	20618906	4135
861	9区	22-R	IV	砂岩	有	21.7	11.5	10.3	2.7				2607495	20618737	4134
862	9区	22-R	IV	砂岩	有・保	54.9	43.6	31.8	30.2				26074764	20618389	4134
863	9区	22-R	IV	チャート	有	30.9	23.0	12.3	8.6				26074798	20618608	41346
864	9区	22-R	IV	チャート	有	44.0	28.6	17.8	21.9				26073726	20619169	41315
865	9区	22-R	IV	砂岩	有	64.0	16.6	15.9	22.9				26074007	20619556	41312
866	9区	22-R	IV	チャート	有	45.6	33.1	28.6	25.6				26073744	20619223	41324
867	9区	22-R	IV	チャート	有	25.4	18.4	17.4	7.2				26073635	20619041	41322
868	9区	22-R	IV	砂岩	有	46.3	27.4	15.8	19.9				26073737	20619021	41323
869	9区	22-R	IV	チャート	有	37.9	32.4	14.7	16.8				26073623	20618894	41342
870	9区	22-R	IV	砂岩	有	45.1	38.8	15.7	33.4				26073537	20618795	41345
872	9区	22-R	IV	砂岩	有	54.8	42.5	17.8	40.5				26073991	20618511	41311
873	9区	22-R	IV	砂岩	有	32.7	15.7	8.9	4.3				26074018	20618313	41347
874	9区	22-R	IV	砂岩	有	52.1	32.7	27.9	38.4				26074144	20618499	41325
875	9区	22-R	IV	砂岩	有	44.7	32.2	8.4	12.6				26074177	20618319	41339
876	9区	22-R	IV	片岩	有	28.3	19.9	18.0	8.9				26074217	20618669	41339
877	9区	22-R	IV	砂岩	有	33.1	18.1	15.3	13.4				26074304	20618838	41333
878	9区	22-R	IV	砂岩	有	52.9	29.6	15.0	31.3				26074164	20618947	41316
879	9区	22-R	IV	砂岩	有	39.9	28.7	6.3	6.3				26074224	20618992	41338
880	9区	22-R	IV	片岩	有	55.7	32.9	12.5	39.3				26074155	20619087	4129
881	9区	22-R	IV	砂岩	有	41.0	28.4	14.5	18.7				26074224	20619423	41328
882	9区	22-R	IV	片岩	有	53.2	37.0	28.7	37.5				26074293	20619064	41278
883	9区	22-R	IV	砂岩	有	28.6	33.0	19.5	11.4				26073033	20618574	41304
884	9区	22-R	IV	砂岩	有	38.9	32.7	31.4	45.2				26074141	20618477	41297
885	9区	22-R	IV	砂岩	有	35.8	24.2	19.9	12.6				26074341	20618477	41303
886	9区	22-R	IV	チャート	有	35.5	25.2	18.2	18.3				26074383	20618652	41314
887	9区	22-R	IV	砂岩	有・保	42.8	34.4	7.9	9.3				26074497	20618924	41342
888	9区	22-R	IV	チャート	有	43.8	28.8	26.1	40.4				26074962	20618594	41227
889	9区	22-R	IV	片岩	有	32.9	21.4	10.5	7.9				26074549	2061887	41321
890	9区	22-R	IV	砂岩	有	22.8	16.8	13.2	4.7				26074447	20618897	41319
891	9区	22-R	IV	砂岩	有	35.5	10.5	8.3	7.1				2607442	20618967	41359
892	9区	22-R	IV	砂岩	有	35.0	24.4	15.2	8.8				2607414	20618941	41369
893	9区	22-R	IV	チャート	有	31.5	19.9	13.9	9.1				26074388	20618946	41384
894	9区	22-R	IV	片岩	有	44.9	33.0	20.1	27.0				26074017	20618709	41347
895	9区	22-R	IV	チャート	有	38.6	25.6	23.7	17.4				26073882	20618627	41334
896	9区	22-R	IV	砂岩	有	36.8	22.4	15.3	9.6				26073862	20618727	41338
897	9区	22-R	IV	砂岩	有	50.9	27.6	16.7	31.4				26073899	206187	41322
898.1	9区	22-R	IV	チャート	有	62.0	45.3	10.8	35.8				26073637	20618895	41298
898.2	9区	22-R	IV	砂岩	有	38.5	26.3	4.7	5.0				26073637	20618895	41298
899	9区	22-R	IV	砂岩	有	49.1	27.9	25.7	39.4				26073592	20618876	4132
900	9区	22-R	IV	片岩	有	69.8	47.7	27.4	127.8				26073591	20618748	41297
901	9区	22-R	IV	ホルンフェルス	有	44.2	31.4	18.3	18.9				26073485	20618792	41329
902	9区	22-R	IV	片岩	有	32.1	27.1	11.9	8.9				26073548	20618832	41296
903	9区	22-R	IV	砂岩	有	31.7	24.5	10.5	7.4				26073341	20619091	41299
904	9区	22-R	IV	砂岩	有	52.1	28.1	21.9	29.1				26073342	20619127	41254
905	9区	22-R	IV	砂岩	有										

第8表 旧石器時代遺物集中出土土曜一覧表(4)

番号	調査区(クワッド)	層位	石種	形状	用途	長さ	幅	厚	重量	備考	発出番号	X	Y	Z	
910	9区	22-B	砂岩	腕・保	有	64.6	38.2	27.0	66.8		発59	260730486	20191448	41297	
911	9区	22-B	砂岩	腕・保	有	26.5	24.9	9.1	41.9			260734315	20191372	41303	
912	9区	22-B	V	チャート	有	38.9	35.6	19.5	29.5			260734319	20191329	41271	
913	9区	22-B	V	チャート	有	28.6	17.1	11.3	5.7			260734352	20191935	41292	
914	9区	22-B	V	チャート	有	46.0	31.1	23.1	26.4			260734427	20191932	41327	
915	9区	22-B	V	チャート	有	44.4	18.2	16.8	14.4		発21	260734450	20191938	41327	
916	9区	22-B	V	チャート	有	33.8	18.1	17.9	14.5		発69	260734355	20191236	41298	
917	9区	22-B	V	砂岩	腕	有	29.4	16.7	11.8	5.5			260734504	20191114	41316
918	9区	22-B	V	砂岩	腕	有	36.5	31.0	7.7	8.6			260734445	20191067	41287
919	9区	22-B	V	砂岩	腕	有	28.5	25.3	16.0	11.9		発61	260734871	20191446	41307
920	9区	22-B	V	砂岩	腕	有	40.9	38.0	13.1	130.8			260734787	20191308	41287
921	9区	22-B	V	砂岩	腕	有	52.3	36.7	16.0	25.9		発103	260734673	20191308	41334
922	9区	22-B	V	ホルンフェルス	腕	有	49.4	28.0	17.8	25.4		発60	260734533	20191357	41349
923	9区	22-Q	V	ホルンフェルス	腕	有	50.1	42.5	32.4	62.1		発60	26073509	20191434	41316
924	9区	22-B	V	砂岩	腕	有	60.8	44.8	22.2	45.3			260734772	20191438	41311
925	9区	22-B	V	チャート	有	57.5	34.9	18.4	50.3			260734775	20191523	41325	
926	9区	22-B	V	砂岩	腕	有	47.9	31.8	25.5	42.0		発28	260734965	20191931	41318
927	9区	22-B	V	片貝頁岩	有	66.5	35.4	22.4	48.1			260734982	20191686	41322	
928	9区	22-B	V	砂岩	腕	有	45.9	21.2	11.5	11.3		発38	260734914	20191809	41306
929	9区	22-B	V	砂岩	腕	有	41.6	30.4	23.0	25.3			260734815	20191732	41265
930	9区	22-B	V	砂岩	腕	有	55.0	30.7	28.1	40.7		発40	260734831	20191865	41295
931	9区	22-B	V	チャート	有	40.0	27.6	16.5	29.9		発54	26073492	20191904	41326	
932	9区	22-B	V	砂岩	腕	有	44.3	26.8	12.6	10.1		発62	260734543	20191957	41362
933	9区	22-B	V	チャート	有	49.7	16.5	11.7	9.5			260734421	20191785	41345	
934	9区	22-B	V	砂岩	腕	有	73.7	52.2	32.7	80.5			260734936	20191736	41322
935	9区	22-B	V	砂岩	腕	有	71.7	21.7	16.9	30.7		発61	260734614	20191702	41308
936	9区	22-B	V	砂岩	腕	有	38.2	26.6	11.0	10.4			260734574	20191738	41313
937	9区	22-B	V	砂岩	腕	有	38.9	18	12.4	8.6			260734557	20191749	41318
938	9区	21-B	V	砂岩	腕	有	21.4	17.1	5.3	7.6			260734252	20191734	41324
939	9区	21-B	V	片貝頁岩	有	105.6	67.9	49.8	464.5			260734178	20191033	41313	
940	9区	21-B	V	片貝頁岩	有	90.7	64.9	50.3	286.4			260734251	20191017	41235	
941	9区	21-B	V	砂岩	腕	有	69.3	33.7	31.8	113.4			260734397	20191823	41234
942	9区	21-B	V	ホルンフェルス	腕	有	84.9	66.4	32.0	275.9			260734142	20191035	41211
943	9区	21-B	V	砂岩	腕・保	有	71.7	52.2	32.7	69.1		発41	260734707	20191730	41299
944	9区	21-B	V	砂岩	腕	有	71.7	52.2	22.3	69.1			260733712	20191288	41255
945	9区	21-B	V	砂岩	腕	有	92.2	64.9	23.3	173.0			260733842	20191445	41259
946	9区	21-B	V	砂岩	腕	有	74.6	56.9	33.2	151.0			260734118	20191305	41222
947	9区	21-B	V	チャート	有	108.2	68.6	61	580.0			260734305	20191251	41217	
948	9区	21-B	V	砂岩	腕・保	有	83.5	69.4	34.3	173.2			260734707	20191039	41247
949	9区	21-B	V	砂岩	腕・保	有	50.3	36.5	23.8	50.3		発65	260734717	20191989	41278
950	9区	22-B	V	チャート	有	29.6	17.8	16.2	8.1			260734668	20191911	41278	
951	9区	22-B	V	砂岩	腕・保	有	68.9	48.8	36.7	93.9			260734712	20191914	41246
952	9区	22-B	V	砂岩	腕	有	71.9	52.0	29.1	71.9		発26	260734815	20191734	41227
953	9区	22-B	V	片貝頁岩	有	52.4	37.4	24.9	46.8			260734865	20191981	41237	
954	9区	22-B	V	片貝頁岩	有	57.4	44.6	42.2	83.7			260734885	20191954	41237	
955	9区	22-B	V	砂岩	腕	有	63.0	41.7	22.7	70.3		発38	260734909	20191912	41251
956	9区	22-B	V	チャート	有	50.3	24.9	17.1	31.8		発56	260734812	20191869	41245	
957	9区	22-B	V	砂岩	腕	有	59.0	40.1	18.2	28.0			260734812	20191868	41262
958	9区	22-B	V	砂岩	腕	有	56.4	21.8	18.6	18.7		発38	260734837	20191987	4131
959	9区	22-B	V	チャート	有	54.9	33.9	18.6	56.1		発56	260734865	2019193	41247	
960	9区	22-B	V	砂岩	腕	有	56.4	32.0	28.7	50.2			260734517	20191971	41276
961	9区	22-B	V	砂岩	腕	有	57.4	31.9	41	318.0			260734488	20191731	41261
962	9区	22-B	V	チャート	有	54.8	34.0	7.6	20.2			260734502	20191931	41257	
963	9区	22-B	V	チャート	有	40.5	25.5	19.6	16.4			260734128	20191903	41263	
964	9区	22-B	V	チャート	有	56.4	42.4	23.0	63.0			260734928	20191935	41252	
965	9区	22-B	V	片貝頁岩	有	71.5	51.9	44.1	115.3			260734864	20191944	41273	
966	9区	22-B	V	チャート	有	51.7	33.4	19.3	33.1			260734399	2019193	41271	
967	9区	22-B	V	チャート	有	46.1	27.3	23.0	25.0			260734818	20191396	41187	
968	9区	22-B	V	砂岩	腕	有	59.4	38.9	24.3	88.9		発40	260734998	20191506	41277
969	9区	22-B	V	ホルンフェルス	腕	有	48.7	21.8	11.2	16.3			260734148	20191777	41196
970	9区	22-B	V	チャート	有	15.8	13.8	10.8	9.1			260734228	20191854	41181	
971	9区	22-B	V	砂岩	腕	有	63.0	50.4	46.7	164.8			260734312	20191809	4128
972	9区	22-B	V	砂岩	腕	有	50.2	18.8	16.5	22.1		発36	260734365	20191888	41206
973	9区	22-B	V	砂岩	腕	有	108.6	77.1	52.7	48.5	割れ3点		260734443	20191857	41297
974	9区	22-B	V	チャート	有	49.2	20.1	20.5	36.4		発101	260734798	20191804	41257	
975	9区	22-B	V	チャート	有	33.1	17.9	14.3	8.7			260734315	20191912	41257	
976	9区	22-B	V	チャート	有	32.1	18.3	17.5	10.1			260734636	20191656	41248	
977	9区	22-B	V	片貝頁岩	有	52.1	32.0	15.1	30.7		発99	26073927	20191961	41227	
978	9区	22-B	V	チャート	有	19.6	14.4	5.6	9.9		発54	260734005	20191453	41266	
979	9区	22-B	V	砂岩	腕	有	46.4	43.3	30.6	38.2		発70	260734245	20191721	41264
980	9区	22-B	V	砂岩	腕	有	30.9	17.4	12.9	6.6			260734196	20191962	41153
981.1	9区	22-B	V	チャート	有	46.7	23.2	17.7	24.8		発46	260734337	20191936	41262	
981.2	9区	22-B	V	チャート	有	36.1	30.6	10.6	14.3		発54	260734337	20191936	41262	
982	9区	22-B	V	チャート	有	41.2	34.9	21.7	26.0			260734413	20191637	41354	
983	9区	22-B	V	チャート	有	38.5	29.8	14.4	23.0			260734406	20191799	41306	
984	9区	21-B	V	チャート	有	63.5	39.4	13.3	43.6			260734843	20191083	41223	
985	9区	22-B	V	砂岩	腕	有	46.4	38.4	26.9	33.5		発52	260734632	20191783	41253
986	9区	22-B	V	砂岩	腕	有	48.3	33.0	30.6	62.3		発52	260734603	20191703	41236
987	9区	22-B	V	チャート	有	38.5	24.5	19.3	14.3		発24	260734597	20191738	41245	
988	9区	22-B	V	片貝頁岩	有	37.2	36.3	21.6	26.2			260734591	20191694	41251	
989	9区	22-B	V	砂岩	腕	有	80.3	53.1	41.3	208.5			260734693	20191766	41231
990	9区	22-B	V	砂岩	腕	有	71.9	31.1	23.2	73.9			260734721	20191847	41294
991	9区	22-B	V	砂岩	腕	有	58.0	36.0	11.3	25.9			260734909	20191797	41296
992.1	9区	22-B	V	チャート	有	45.3	34.6	23.0	23.2		発69	260734906	20191775	41282	
992.2	9区	22-B	V	チャート	有	35.4	23.9	18.1	13.1			260734906	20191775	41282	
993	9区	22-B	V	チャート	有	58.2	20.4	19.3	26.2		発56	26073492	20191794	41263	
994	9区	22-B	V	砂岩	腕	有	94.0	57.6	48.7	287.9			260734872	20191786	41233
995	9区	21-B	V	砂岩	腕	有	24.6	24.8	23.3	31.4		発24	260734739	20191739	41316
996.1	9区	22-B	V	チャート	有	43.9	36.8	24.1	33.1			260734622	20191821	41196	
996.2	9区	22-B	V	チャート	有	26.6	16.3	8.8	3.5			260734623	20191821	41196	
997	9区	22-B	V	チャート	有	50.4	50.2	24.1	55.8			260734643	20191618	41292	
998	9区	22-B	V	チャート	有	28.7	18.0	12.9	8.2		発24	260734548	20191626	41242	

第9表 旧石器时代遗物集中出土磧一覽表 (5)

[illegible]

第 10 表 旧石器時代遺物集中出土燧一覽表 (6)

調査区(クワッド)別										石種	形状	厚	幅	長さ	重量	備考	組合番号	X	Y	Z
1090	9区	22R	V	砂岩	盤	有	67.9	27.2	24.1	33.9							260740097	20018318	11728	
1091	9区	22R	V	砂岩	盤	有	81.2	46.0	30.1	115.0							260740094	2019064	11249	
1092	9区	22R	V	砂岩	盤	有	63.9	43.0	27.7	58.5							堀 48	260740255	20019051	11268
1093	9区	22R	V	砂岩	盤	有	38.6	20.0	7.4	4.7								260740292	20019016	11296
1094	9区	22R	V	火山シユルス	盤・燧	有	109.1	67.2	35.6	241.7								260740148	20019281	11246
1095	9区	22R	V	砂岩	盤・燧	有	81.9	48.9	30.1	115.0								260740227	20019078	11299
1096	9区	22R	V	砂岩	盤	有	61.3	37.5	28.7	28.1							堀 30	260740132	20019122	11238
1097	9区	22R	V	火山シユルス	盤	有	67.7	39.4	26.4	73.6								260740289	20019089	11279
1098	9区	22R	V	砂岩	盤	有	62.1	44.2	22.5	66.0							堀 52	260740377	20019093	11286
1099	9区	22R	V	砂岩	盤	有	84.4	40.5	23.4	88.2								260740332	20019009	11243
1100	9区	22R	V	砂岩	盤	有	31.7	21.4	11.2	25.9								260740471	20019085	11272
1101	9区	22R	V	チャート	盤	有	52.8	45.2	30.9	61.2								260740446	20019217	11256
1102	9区	22R	V	砂岩	盤	有	43.2	29.1	27.4	38.5							堀 61	260740492	20019223	11236
1103-12R	22R	V	チャート	盤	有	71.7	52.1	30.3	106.1									260740441	20019138	11258
1103-29R	22R	V	チャート	盤	有	59.5	41.6	20.7	80.5								堀 57	260740441	20019138	11258
1104	9区	22R	V	火山シユルス	盤	有	45.5	38.3	20.5	32.9							堀 60	260740711	20019222	11261
1105	9区	22R	V	チャート	盤	有	85.7	38.7	23.4	138.7							堀 34	260740781	20019184	11263
1106	9区	22R	V	砂岩	盤	有	116.6	88.4	43.3	430.5								260740859	20019242	11227
1107	9区	22R	V	砂岩	盤	有	58.8	30.3	29.1	58.4								260740818	20019322	11262
1108	9区	22R	V	砂岩	盤	有	51.5	35.2	30.5	48.9								260740774	20019286	11261
1109	9区	22Q	V	砂岩	盤・燧	有	92.1	54.5	34.3	185.2							堀 64	260750093	20019283	11242
1110	9区	22Q	V	チャート	盤	有	92.3	46.9	34.4	205.0								260750101	20019319	1124
1111	9区	22Q	V	チャート	盤	有	74.3	51.4	38.1	178.2								260750453	20019353	11272
1112	9区	22Q	V	火山シユルス	盤	有	51.4	31.3	27.3	66.1							堀 60	26074066	20019334	11242
1113	9区	22Q	V	チャート	盤	有	68.5	62.8	41.4	117.2							堀 32	260750112	20019403	11244
1114	9区	22R	V	砂岩	盤	有	60.7	47.9	25.8	77.0							堀 48	260740935	20019388	11292
1115	9区	22R	V	チャート	盤	有	81.6	38.8	24.0	85.2								260740963	20019397	11299
1116	9区	22Q	V	チャート	盤	有	79.6	34.6	33.3	150.0							堀 51	260750104	20019447	11291
1117	9区	22R	V	チャート	盤	有	43.8	33.2	27.6	49.0							堀 66	260750166	20019329	11319
1118	9区	22R	V	砂岩	盤	有	40.8	37.5	21.3	40.6							堀 28	260740867	20019393	11292
1119	9区	22R	V	柱状頁岩	盤	有	98.4	61.9	40.3	261.5								260740826	20019462	11278
1120	9区	22R	V	砂岩	盤	有	95.1	47.3	42.5	201.6								260740731	20019357	1125
1121	9区	22R	V	湖上頁岩	盤	有	96.7	44.9	26.2	140.5表面が滑しく磨化								260740691	20019341	11254
1122	9区	22R	V	砂岩	盤	有	65.1	45.4	27.7	107.4								260740678	20019323	11246
1123	9区	22R	V	砂岩	盤	有	71.2	61.6	28.0	85.1							堀 59	260750029	20019361	11306
1124	9区	22R	V	砂岩	盤	有	54.3	46.6	24.6	71.4							堀 44	260740911	20019341	11295
1125	9区	22R	V	砂岩	盤	有	73.8	26.0	22.4	76.3							堀 62	260740619	20019346	11288
1126	9区	22R	V	砂岩	盤	有	40.6	21.5	19.0	39.7								260740604	20019307	11275
1127	9区	22R	V	チャート	盤	有	95.2	50.9	43.8	234.6								260740677	20019469	11258
1128	9区	22R	V	チャート	盤	有	80.8	57.4	47.3	283.9								260740691	20019511	11261
1129	9区	22R	V	砂岩	盤	有	53.3	49.0	20.4	40.5							堀 70	260740749	20019492	113
1130	9区	22R	V	砂岩	盤	有	73.3	42.1	27.8	90.5							堀 62	260740766	20019525	11307
1131	9区	22R	V	砂岩	盤	有	69.2	45.4	25.5	96.8								260740749	20019549	11284
1132	9区	22R	V	砂岩	盤	有	76.6	66.5	55.9	316.5							堀 49	260740801	20019609	11251
1133	9区	22R	V	チャート	盤	有	38.5	30.0	23.5	28.5								260740822	20019638	11286
1134	9区	22R	V	砂岩	盤	有	39.5	34.0	21.4	20.5								260740845	20019669	11284
1135	9区	22R	V	砂岩	盤	有	96.4	20.3	16.4	50.2							堀 62	260740854	20019661	11286
1136	9区	22R	V	チャート	盤	有	78.6	45.3	39.9	148.9								260730722	20019304	11254
1137	9区	22R	V	チャート	盤	有	39.3	36.0	26.9	24.4								26073681	20019067	11245
1138	9区	22R	V	砂岩	盤	有	63.0	49.5	31.9	57.5							堀 45	260730785	20019328	11275
1139	9区	22R	V	チャート	盤	有	48.8	27.1	21.4	19.6								260730737	20018769	11242
1140	9区	22R	V	砂岩	盤	有	37.9	29.2	13.0	12.0								260730748	20018755	11259
1141	9区	22R	V	チャート	盤	有	46.8	35.5	19.6	26.4							堀 25	260730919	20018656	11245
1142	9区	22R	V	砂岩	盤	有	29.2	21.4	11.9	6.5								26073084	20018727	11266
1143	9区	22R	V	チャート	盤	有	22.6	12.8	11.7	4.8								260730861	20018646	11261
1144	9区	22R	V	チャート	盤	有	61.7	34.2	18.4	46.6							堀 23	260730842	20018675	11259
1145	9区	22R	V	砂岩	盤	有	90.1	65.0	44.9	329.9								260730875	20018718	11254
1146	9区	22R	V	チャート	盤	有	59.6	32.3	13.3	34.0								260730914	20018709	11254
1147	9区	22R	V	チャート	盤	有	40.1	25.0	16.3	14.0								260740109	20018489	11252
1148	9区	22R	V	砂岩	盤	有	37.7	20.7	8.4	8.0								260740105	20018364	11257
1149	9区	22R	V	砂岩	盤	有	62.6	44.7	22.2	42.7							堀 31	260740216	20018674	11244
1150	9区	22R	V	チャート	盤	有	21.2	13.0	12.8	4.2								260740351	20018592	11236
1151	9区	22R	V	砂岩	盤	有	55.6	25.0	14.3	21.7								260740449	20018622	11262
1152	9区	22R	V	砂岩	盤・燧	有	111	58.6	29.4	162.5								260740391	20018954	11253
1153	9区	22R	V	砂岩	盤	有	51.4	24.4	20.1	49.7							堀 41	260740453	20019027	11241
1154	9区	22R	V	砂岩	盤	有	40.7	30.0	9.9	8.5								260740151	20019027	11226
1155	9区	22R	V	砂岩	盤	有	72.4	42.8	14.5	48.2								2607391	20019006	11265
1156	9区	22R	V	砂岩	盤	有	41.9	31.4	30.0	33.8							堀 59	260740035	20019143	1126
1157	9区	22R	V	砂岩	盤	有	41.1	30.6	17.9	11.6							堀 59	260740008	20019169	11259
1158	9区	22R	V	チャート	盤	有	43.3	69.1	45.4	249.2								26073064	20019134	11241
1159	9区	22R	V	砂岩	盤	有	72.3	39.7	27.6	56.0								26073038	20019168	11245
1160	9区	22R	V	チャート	盤	有	46.6	35.0	19.6	37.0							堀 25	260730935	20019076	11269
1162	9区	22R	V	火山シユルス	盤	有	48.0	34.1	12.8	30.1							堀 60	260740341	20019303	11228
1163	9区	22R	V	砂岩	盤	有	78.6	39.9	26.8	103.8								260740759	20019089	11262
1164	9区	22R	V	チャート	盤	有	55.2	30.9	24.3	37.5								260740705	20019114	11238
1165	9区																			

第11表 旧石器時代遺物集中出土燧石一覧表(7)

1182	9区	22-Q	V	チャート	有	58.6	50.2	21.4	66.9			26075138	20619357	41256	
1183	9区	22-Q	V	チャート	有	29.2	21.5	10.9	5.3			26075161	20619349	41273	
1184	9区	22-Q	V	砂岩	有	75.4	48.3	32.7	178.7			26075012	20619375	41263	
1185	9区	22-R	V	砂岩	有	70.7	50.6	41.7	111.4			26074968	20619426	41262	
1186	9区	22-Q	V	砂岩	有	46.1	29.3	19.3	20.0			26075027	20619415	41261	
1187	9区	22-Q	V	砂岩	有	73.5	68.0	50.0	222.0			26075077	20619444	41265	
1188	9区	22-Q	V	砂岩	有	34.6	20.3	19.4	14.4			26075037	20619497	41263	
1189	9区	22-R	V	砂岩	有	92.0	63.3	48.5	222.0		取	26074973	20619474	41248	
1190	9区	22-R	V	チャート	有	75.4	43.0	28.9	118.3			26074929	20619437	41264	
1191	9区	22-R	V	チャート	有	94.8	65.4	42.3	232.6			26074788	20619573	41266	
1192	9区	22-R	V	砂岩	有	70.7	60.5	44.4	193.5			26074841	20619539	41271	
1193	9区	22-R	V	砂岩	有・破	97.5	55.5	38.0	222.9			26074767	20619539	41248	
1194	9区	22-R	V	チャート	有	41.5	37.5	27.8	42.3			26074716	20619462	41231	
1195	9区	22-R	V	ホルンフェルス	有	69.0	46.7	33.4	81.5			26074767	20619605	41239	
1196	9区	22-R	V	チャート	有	78.5	45.6	45.0	213.5			26074775	20619581	41244	
1197	9区	22-R	V	砂岩	有	60.5	46.2	19.1	44.9		取	26074848	20619632	41257	
1198	9区	22-R	V	砂岩	有	93.6	59.7	53.9	324.5			26074986	20619636	41241	
1199	9区	22-R	V	チャート	有	54.3	35.7	21.7	59.2		取	26074772	20619725	41246	
1200	9区	22-R	V	チャート	有	62.7	39.5	23.0	69.4			26074698	20619702	41241	
1201	9区	22-R	V	砂岩	有	47.0	33.1	33.1	47.8		取	26074603	20619817	41225	
1202	9区	22-R	V	砂岩	有	49.9	28.2	26.6	59.1		取	26074629	20619803	41257	
1203	9区	22-R	V	砂岩	有	65.6	43.0	41.5	102.3			26074675	20619854	41252	
1204	9区	22-R	V	チャート	有	106.7	56.8	44.6	288.0			26074739	20619835	41234	
1205	9区	22-R	V	砂岩	有	84.5	65.9	50.7	247.4			26074824	20619834	41261	
1206	9区	22-R	V	砂岩	有	71.7	39.7	35.3	126.5			26074901	20619827	41247	
1207	9区	22-R	V	砂岩	有	69.0	56.2	26.5	107.6		取	26074936	20619803	41246	
1208	9区	22-R	V	チャート	有	24.1	16.4	7.2	7.2			26073403	20618803	41088	
1209	9区	22-R	V	砂岩	有	51.9	21.0	11.1	14.9			26073393	20619094	41257	
1210	9区	22-R	V	チャート	有	69.1	48.1	14.0	64.6		取	26074390	20619107	41246	
1211	9区	22-R	V	チャート	有	38.8	29.6	12.9	18.2		取	26074383	20619274	41259	
1212	9区	22-Q <td>V</td> <td>ホルンフェルス</td> <td>有</td> <td>101.6</td> <td>74.0</td> <td>33.2</td> <td>232.6</td> <td></td> <td></td> <td>26075165</td> <td>2061935</td> <td>41235</td>	V	ホルンフェルス	有	101.6	74.0	33.2	232.6			26075165	2061935	41235	
1213	9区	22-Q	V	砂岩	有	55.8	46.4	22.6	67.1			26075075	20619387	41225	
1214	9区	22-Q	V	チャート	有	47.0 <td>31.9</td> <td>26.1</td> <td>36.1</td> <td></td> <td></td> <td>26075001</td> <td>20619449</td> <td>41246</td>	31.9	26.1	36.1			26075001	20619449	41246	
1215	9区	22-Q	V	砂岩	有	78.9	41.7	34.7	29.8			26075041	20619457	41241	
						181.7	99.6	34.7	130.1	取り上げ後に割れ					
						74.9	16.3	7.4				26075028	206195	41261	
1216	9区	22-Q	V	砂岩	有・破	70.4	39.3	25.6	103.1			26075028	206195	41261	
1217	9区	22-R	V	砂岩	有・破	44.1	18.4	16.0	15.4		取	26075048	20619469	41236	
1218	9区	22-R	V	砂岩	有	50.3	47.2	19.5	66.1		取	26074967	20619525	41265	
1219	9区	22-R	V	砂岩	有	77.3	62.2	42.7	154.2		取	26075029	20619539	41266	
1220	9区	22-Q	V	砂岩	有	83.0	64.9	50.4	208.9			26075098	20619501	41247	
1221	9区	22-Q	V	砂岩	有	77.0	55.7	40.5	155.1		取	26075056	2061957	41252	
1222	9区	22-R	V	チャート	有	34.9	20.6	17.8	16.1			26074354	20619668	41398	
1223	9区	22-R	V	チャート	有	39.2	31.8	13.7	14.4			26074817	20619608	41257	
1224	9区	22-R	V	チャート	有	44.8	29.3	15.8	23.9		取 <td>26074842</td> <td>20619643</td> <td>41203</td>	26074842	20619643	41203	
1225	9区	22-Q	V	チャート	有	72.2	40.0	12.8	40.1			26075004	20619703	41261	
1226	9区	22-R	V	砂岩	有	55.6	24.0	13.7	25.1		取	26074704	2061982	41194	
1227	9区	22-R	V	砂岩	有	67.1	34.4	23.1	49.4		取	26074751	20619853	41211	
1228	9区	22-R	V	チャート	有	46.9	32.2	31.8	51.9			26074824	20619848	41238	
1229	9区	22-R	V	砂岩	有	60.3	49.5	24.6	71.3			26074838	20619959	41277	
1230	9区	22-R	V	砂岩	有	63.4	37.8	16.6	46.4			26074765	20619949	41114	
1231	9区	22-R	V	チャート	有	63.4	37.8	16.6	46.4			26074874	20619447	41079	
1232	9区	22-R	V	ホルンフェルス	有	71.7	42.4	24.3	71.3		取	26074789	20619135	41111	
1233	9区	22-R	V	チャート	有	27.7			6.6			26073847	20618779	41029	
1234	9区	22-Q	V	砂岩	有	105.7	50.5	34.0	167.3			26075051	20619676	41266	
1235	9区	22-R	V	砂岩	有	57.9	23.1	22.2	21.5		取	26074981	20619779	41207	
1236	9区	22-Q	V	チャート	有	61.0	38.8	14.7	7.2			26075041	20619734	41243	
1237	9区	22-Q	V	チャート	有	67.3	43.3	35.2	117.1		取	26075024	206198	41251	
3号遺物集中(583)															
1	10区	24-Q	V	チャート	有	27.6	16.7	12.8	6.4			26079963	20608692	41298	
2	10区	24-P	V	珪長岩	有	66.7	46.3	29.3	103.4			26080293	2060831	41342	
3	10区	24-Q	V	ホルンフェルス	有	98.3	44.2	43.0	140.5			26079392	20608309	41336	
4	10区	24-P	V	砂岩	有	36.8	25.7	18.4	12.4			26080624	20607617	41423	
5	10区	24-P	V	砂岩	有	40.0	19.7	16.8	11.3			26080641	20607545	41392	
6	10区	24-P	V	砂岩	有	53.6	47.0	28.8	47.1		取	26080641	20607375	41381	
7	10区	24-P	V	チャート	有	31.7	20.1	15.9	10.3			26080475	2060736	41383	
8	10区	24-P	V	砂岩	有・破	63.4	27.6	11.7	29.7		取	26080568	2060729	41472	
9	10区	24-P	V	チャート	有	24.0	17.4	7.2	2.3			26080695	20607332	41363	
10	10区	24-P	V	砂岩	有	46.0	33.6	18.3	27.8			26080722	20607176	41435	
11	10区	24-P	V	砂岩	有	55.3	38.1	33.4	59.6		取	26080813	20607037	41389	
12	10区	24-P	V	砂岩	有	74.9	45.8	34.3	104.5		取	26080549	20607095	41361	
13	10区	24-P	V	チャート	有	61.6	28.0	24.1	60.3		取	26080448	20607085	41366	
14	10区	24-P	V	チャート	有	24.2	17.3	4.4	3.1			26080655	20607027	41372	
15	10区	24-P	V	砂岩	有	54.7	21.3	18.0	22.4			26080388	20606929	41551	
16	10区	24-P	V	チャート	有	39.2	26.6	9.4	22.4		取	26080866	20606933	41561	
17	10区	24-P	V	砂岩	有	64.5	43.5	32.7	66.6			26080759	20607031	41365	
18	10区	24-P	V	砂岩	有	77.3	43.7	29.4	78.0		取	26080821	20607005	41375	
19	10区	24-P	V	砂岩	有	33.9	24.2	16.8	8.7			26080492	20606909	41399	
20	10区	24-P	V	砂岩	有	59.4	40.3	20.4	30.9		取	26080551	20606843	41571	
21	10区	24-P	V	砂岩	有・破	49.1	28.0	21.6	19.3			26080243	20606861	41544	
22	10区	24-P	V	砂岩	有	25.9	22.6	12.4	5.8		取	26080118	20606883	41479	
23	10区	24-P	V	砂岩	有	46.8	36.4	18.1	33.0			26080284	20606916	41488	
24	10区	24-P	V	砂岩	有	46.4	36.3	23.1	31.9			26080266	20606974	41447	
25	10区	24-P	V	チャート	有	40.8	38.8	21.3	28.5			26080182	20607137	41472	
26	10区	24-P	V	チャート	有	76.4	63.0	49.8	235.0			26080023	2060704	41375	
27	10区	24-P	V	チャート	有	33.6	20.6	12.8	10.1			26080099	20606991	41347	
28	10区	24-Q	V	砂岩	有	27.6	23.9	17.6	7.2		取	26079942	20607058	41507	
29	10区	24-Q	V	砂岩	有	51.2	30.8	18.6	21.3		取	26079949	20606971	41506	
30	10区	24-Q	V	チャート	有	26.5	14.2	7.6	2.2			26079798	20607021	41489	
31	10区	24-Q	V	チャート	有	31.4	25.7	12.9	9.4			26079647	20606922	41492	
32	10区	24-Q	V	砂岩	有	77.0	42.6	32.0	146.6		取	26079666	20607022	41358	
33	10区	24-Q	V	チャート	有	80.6	55.0	42.1	112.6			26079511	20606885	41376	

IV 遺構と遺物

第 12 表 旧石器时代遗物集中出土磧一覽表 (8)

[illegible]

第 13 表 旧石器時代遺物集中出土燧一覽表 (9)

番号		調査区(グリッド)	層位	石種	形状	長さ	幅	厚さ	重量	備考	X	Y	Z	
126	10K	24P	IV	砂岩	塊	有	34.4	21.9	9.7	15.8	塊80	26080.632	26066.733	41.708
127	10K	24P	IV	チャート	塊	有	33.6	26.5	21.2	16.2	塊82	26080.673	26066.738	41.385
128	10K	24P	IV	チャート	塊	有	66.2	45.7	30.3	107.8	塊84	26080.484	26066.59	41.387
129	10K	24P	IV	砂岩	塊	有	45.3	23.6	15.1	18.7	塊75	26080.338	26066.521	41.402
130	10K	24P	IV	チャート	塊	有	68.4	50.1	29.0	91.4	塊77	26080.347	26066.489	41.552
131	10K	24P	IV	砂岩	塊	有	43.8	37.6	16.3	18.7	塊74	26080.109	26066.147	41.387
132	10K	24P	IV	チャート	塊	有	63.1	29.2	25.6	55.9	塊83	26080.258	26066.375	41.433
133	10K	24P	IV	チャート	塊	有	33.6	17.2	14.7	6.0	塊87	26080.323	26066.363	41.439
134	10K	24P	IV	チャート	塊	有	71.1	39.8	32.7	86.2	塊80	26080.32	26066.46	41.356
135	10K	24P	IV	チャート	塊	有	84.7	74.7	59.7	328	塊83	26080.349	26066.412	41.355
136	10K	24P	IV	チャート	塊	有	72.9	35.1	27.5	114.1	塊84	26080.407	26066.499	41.361
137	10K	24P	IV	砂岩	塊	有	85.4	54.6	18.0	84.0	塊84	26080.425	26066.495	41.341
138	10K	24P	IV	砂岩	塊	有	52.9	38.8	25.2	49.1	塊80	26080.534	26066.499	41.417
139	10K	24P	IV	チャート	塊	有	55.6	19.6	4.8	7.3	塊84	26080.487	26066.464	41.364
140	10K	24P	IV	砂岩	塊	有	57.0	39.7	29.1	43.0	塊80	26080.556	26066.559	41.387
141	10K	24P	IV	チャート	塊	有	23.9	22.1	11.7	5.1	塊80	26080.518	26066.323	41.465
142	10K	24P	IV	砂岩	塊	有	35.0	18.1	7.8	5.3	塊79	26080.58	26066.288	41.442
143	10K	24P	V	砂岩	塊	有	53.9	37.3	19.3	48.1	塊94	26080.372	26066.358	41.338
144	10K	24P	V	砂岩	塊	有	90.1	41.6	23.3	56.1	塊81	26080.541	26066.463	41.371
145	10K	24P	V	砂岩	塊	有	48.6	41.4	26.4	37.0	塊75	26080.557	26066.433	41.422
146	10K	24P	V	チャート	塊	有	57.8	37.7	27.0	56.0	塊85	26080.635	26066.41	41.322
147	10K	24P	V	チャート	塊	有	52.4	32.3	24.7	50.9	塊73	26080.643	26066.507	41.332
148	10K	24P	V	チャート	塊	有	69.8	49.2	34.6	76.8	塊80	26080.775	26066.516	41.337
149	10K	24P	V	チャート	塊	有	48.2	28.5	27.3	23.9	塊82	26080.917	26066.479	41.337
150	10K	24P	V	砂岩	塊	有	47.1	27.9	20.5	25.5	塊87	26080.858	26066.693	41.316
151	10K	24P	V	砂岩	塊	有	40.8	35.0	13.2	18.2	塊80	26080.881	26066.744	41.326
152	10K	24P	V	砂岩	塊	有	48.1	43.0	37.5	47.6	塊79	26080.686	26067.096	41.343
153	10K	24P	V	チャート	塊	有	48.4	27.8	26.8	48.7	塊85	26080.834	26067.074	41.346
154	10K	24P	V	砂岩	塊	有	97.8	56.3	46.3	274.5	塊93	26080.874	26067.087	41.325
155	10K	24P	V	砂岩	塊	有	54.4	52.8	52.0	111.0	塊80	26080.903	26067.134	41.334
156	10K	24P	V	片岩(頁岩)	塊	有	32.1	22.2	20.0	14.0	塊80	26080.331	26066.343	41.32
157	10K	24P	V	砂岩	塊	有	46.6	40.3	14.3	27.8	塊94	26080.276	26066.593	41.395
158	10K	24P	V	砂岩	塊・保	有	42.3	25.7	21.3	22.2	塊74	26080.294	26066.567	41.384
159	10K	24P	V	砂岩	塊	有	34.8	24.0	16.0	11.0	塊82	26080.233	26066.738	41.35
160	10K	24P	V	チャート	塊	有	51.1	38.0	24.3	51.9	塊84	26080.205	26066.648	41.325
161	10K	24P	V	砂岩	塊	有	56.1	32.4	32.1	59.2	塊94	26080.494	26066.547	41.363
162	10K	24P	V	チャート	塊	有	63.2	41.8	30.3	103.6	塊86	26080.523	26066.514	41.365
163	10K	24P	V	砂岩	塊	有	31.7	19.7	9.6	6.8	塊75	26080.571	26066.519	41.332
164	10K	24P	V	チャート	塊	有	29.5	15.5	10.1	3.7	塊84	26080.551	26066.608	41.378
165	10K	24P	V	砂岩	塊	有	40.6	29.0	12.9	13.5	塊80	26080.463	26066.652	41.371
166	10K	24P	V	砂岩	塊	有	23.6	21.5	10.7	5.5	塊80	26080.471	26066.696	41.337
167	10K	24P	V	砂岩	塊	有	50.1	16.4	15.7	13.1	塊80	26080.782	26066.521	41.303
168	10K	24P	V	砂岩	塊	有	28.6	20.3	12.5	6.3	塊80	26080.668	26066.76	41.374
169	10K	24P	V	砂岩	塊	有	48.1	32.2	18.9	22.6	塊80	26080.586	26066.773	41.351
170	10K	24P	V	砂岩	塊	有	46.6	27.9	17.6	27.4	塊80	26080.543	26066.939	41.314
171	10K	24P	V	砂岩	塊・保	有	55.6	30.1	28.8	40.5	塊80	26080.618	26066.893	41.31
172	10K	24P	V	砂岩	塊	有	41.5	35.9	29.0	38.5	塊85	26080.715	26067.006	41.314
173	10K	24P	V	片岩(頁岩)	塊	有	42.2	35.7	17.1	21.9	塊80	26080.586	26067.082	41.31
174	10K	24P	V	砂岩	塊	有	19.4	18.1	16.6	3.2	塊80	26080.526	26067.678	41.347

第 14 表 旧石器時代遺物集中出土燧接合表 (1)

1号遺物集中 (S8L1)	接合部番号	接合部形状	接合点数	合計重量 (g)	完成度 (%)	石材	写真	
1号遺物集中 (S8L1)	塊1	485.544	2	210.8	75	チャート		
	塊2	531.568	2	464.4	50	砂岩		
	塊3	620.621	2	139.9	25	砂岩		
	塊4	493.500.504.505.526.564.600.604.616.617	10	411.8	75	チャート	写真5	
	塊5	495.501.502.565	4	46.8	50	砂岩		
	塊6	513.517.532	3	46.9	25	チャート		
	塊7	529.536	2	188.1	75	砂岩		
	塊8	580.595	2	107.9	25	砂岩		
	塊9	486.530.543.560.571.573.597	7	400.5	75	チャート	写真5	
	塊10	510.511.562.625	4	32.7	25	チャート		
	塊11	497.514.561	3	84.8	25	チャート		
	塊12	489.494.499	3	191.7	50	チャート		
	塊13	484.602	2	86.6	50	片岩(頁岩)		
	塊14	487.492.498.624	4	141.9	25	砂岩		
1号遺物集中 (S8L1) + 第四次調査3号遺物集中部	塊97	481.488.491.613	4	154.5	75	砂岩		
	塊98	527.570	2	93.4	50	砂岩		
	塊90	490.27.396	2	139.6	25	砂岩		
	2号遺物集中 (S8L2)							
	塊15	862.1080	2	458.7	50	砂岩		
	塊16	1066.1069	2	179.8	50	砂岩		
	塊17	1020.1078	2	252.2	75	砂岩		
	塊18	1205.1207	2	355.7	75	砂岩		
	塊19	1204.1227	2	337.4	99	チャート		
	塊20	1219.1221	2	309.3	50	砂岩		
	塊21	839.915.1000	3	122.3	50	チャート		
	塊22	1009.1199	2	140.7	75	チャート		
	塊23	857.1144	2	55.2	25	チャート		
	塊24	987.996.1.998	3	55.6	25	チャート		
塊25	1141.1160	2	63.4	50	チャート			
塊26	952.1226	2	196.1	90	砂岩			
塊27	793.1042	2	106.2	50	砂岩			
塊28	926.1118.1062	3	238.6	90	砂岩			
塊29	1038.1057	2	262	50	砂岩			
塊30	1085.1096	2	46.2	50	砂岩			

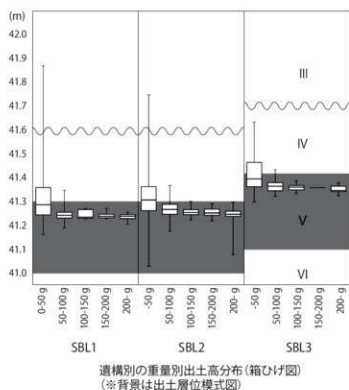
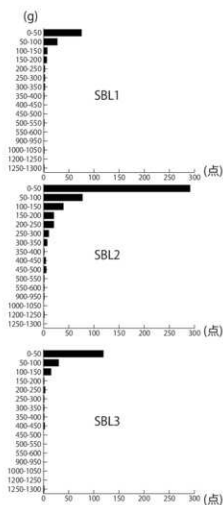
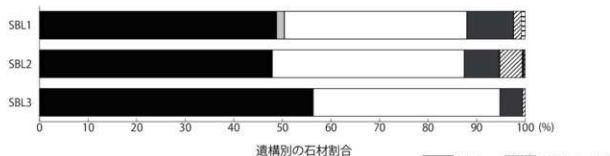
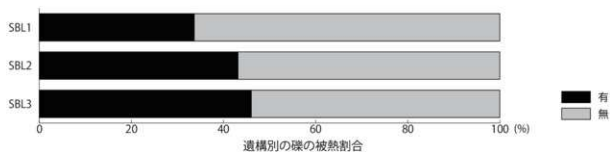
第 15 表 旧石器時代遺物集中出土燧石接合表 (2)

接合番号	接合部位番号	接合点数	合計重量 (g)	元形度 (%)	石材	写真
接 31	1018.1140	2	206.8	90	砂岩	
接 32	808.1030.1036.1113	4	334.1	75	チャート	
接 33	874.1047.1048	3	177.2	25	砂岩	
接 34	809.1105	2	185.7	50	チャート	
接 35	1210.1237	2	182	75	チャート	
接 36	972.1048	2	45.1	50	砂岩	
接 37	774.878	2	56.5	50	砂岩	
接 38	928.955.958	3	100.3	50	砂岩	
接 39	856.870	2	88.7	50	砂岩	
接 40	930.968.1004	3	185.2	75	砂岩	
接 41	770.779.907.943.1153	5	152.1	75	砂岩	
接 42	1039.1059	2	101.1	25	砂岩	
接 43	1067.1070	2	1,303.9	90	珪質頁岩	
接 44	883.1124	2	93.8	50	砂岩	
接 45	1073.1138	2	121.2	50	砂岩	
接 46	835.981.1.1037.1045.1046A.1046B	6	808.7	75	チャート	
接 47	1177.1189	2	268.4	50	砂岩	
接 48	1043.1092.1114	3	262.4	50	砂岩	
接 49	764.1132	2	337	75	砂岩	
接 50	795.890.1040.1169	4	555.3	75	砂岩	
接 51	1086.1116	2	215.6	50	チャート	
接 52	736.985.986.1065.1098.1201.1202	7	360.4	75	砂岩	写真 5
接 53	1197.1230	2	91.3	50	砂岩	
接 54	838.931.978.981.2	4	75.4	25	チャート	
接 55	785.851.866	3	72.1	50	チャート	
接 56	784.956.959.993	4	126.4	50	チャート	
接 57	1103.2.1211.1224	3	122.6	50	チャート	
接 58	810.1028	2	157	50	チャート	
接 59	910.1023.1082.1123.1156.1157.1216.1217.1218	9	904.3	50	砂岩	写真 5
接 60	922.923.1104.1112.1162.1232	6	259.2	75	ホルンフェルス	
接 61	775.96.891.919.935.1010.1102.1235	8	213.9	50	砂岩	写真 5
接 62	865.932.1125.1130.1135	5	294.9	50	砂岩	
接 63	811.961.1049	3	153.7	50	ホルンフェルス	
接 64	1108.1181	2	230	75	砂岩	
接 65	949.1017.1019	3	350.4	50	砂岩	
接 66	1117.1175	2	156.6	75	チャート	
接 67	869.1075	2	953.8	75	チャート	
接 68	888.1056	2	217.4	50	チャート	
接 69	916.922	2	37.5	25	チャート	
接 70	979.1129	2	78.7	50	砂岩	
接 71	1079.1081	2	534.1	90	チャート	
接 72	718.744.966 (L560)	3	20.6		黒色炭山岩	
接 99	977.1011	2	169	75	珪質頁岩	
接 100	807.884	2	54.9	25	砂岩	
接 101	761.974	2	44.1	25	チャート	
接 102	87.7.885.1050	3	91.8	50	砂岩	
接 103	802.921	4	227	50	砂岩	
接 104	10.871.091	2	185.8		砂岩	
1号遺物集中 (SBL3)						
接 73	13.33.38.45.99.106.147	7	317.1	50	チャート	写真 5
接 74	22.40.71.131.158	5	103.2	50	砂岩	
接 75	20.87.102.129.145.163	6	136	50	砂岩	
接 76	64.109	2	55	50	砂岩	
接 77	8.111	2	69.1	50	砂岩	
接 78	6.11.12.68	4	233.6	50	砂岩	
接 79	18.49.76.142.152	5	184.3	75	砂岩	
接 80	112.123.126.169.170	5	250.9	75	砂岩	
接 81	39.144	2	95.2	50	砂岩	
接 82	25.101.127.149.159	5	108.5	50	チャート	
接 83	54.116.118.132.135	5	590.5	90	チャート	
接 84	44.70.115.117.122.128.136.139.160.164	10	490.1	75	チャート	写真 5
接 85	16.52.73.78.124.146.153.172	8	299.1	75	チャート	写真 5
接 86	91.162	2	214.6	50	チャート	
接 87	86.133.150	3	709.4	50	チャート	
接 88	61.107	2	239	75	チャート	
接 91	66.119	2	63.4	50	砂岩	
接 92	69.83	2	55	50	砂岩	
接 93	77.79.154	3	366.7	99	砂岩	
接 94	35.59.61.63.95.143.157.161	8	242.8	99	砂岩	写真 5
接 95	24.28.29.46.104.105.113.125	8	315.7	75	砂岩	写真 5
接 96	23.32.89.94	4	372.2	99	砂岩	写真 5

※接 89(SBL3)は、接 83と接合したため欠番

第 16 表 旧石器時代遺物集中出土燧石組成

遺構	石材										合計
	砂岩	礫岩	チャート	珪質頁岩	頁岩	ホルンフェルス	閃緑岩	輝閃岩	閃レイ岩	珪岩	
1号遺物集中	61	2	47	12	-	2	1	-	-	42	125
2号遺物集中	229	-	189	34	1	22	-	2	1	206	478
3号遺物集中	98	-	67	8	-	1	-	-	-	80	174
合計	388	2	303	54	1	25	1	2	1	328	777
1号遺物集中	5777.8	464.4	3081.6	407.7	-	459.8	57.5	-	-	3821.4	10248.8
2号遺物集中	16527.9	-	12582.1	4742.9	4.9	1913.7	-	485.0	140.5	16149.5	20247.5
3号遺物集中	5682.4	-	4196.3	-	-	140.5	-	-	-	3572.3	6730.9
合計	27988.1	464.4	19860.0	5382.0	4.9	2514.0	57.5	485.0	140.5	23553.2	33395.8



第23図 旧石器時代遺物集中関係グラフ

2 縄文時代

縄文時代では、主に縄文時代早期後葉と中期後葉の遺構・遺物が確認された。

1) 遺構・遺構出土遺物

A 竪穴状遺構

計4基の竪穴状遺構が検出された。各遺構から出土した遺物は、第34図から第36図にまとめて掲載した。

1号竪穴状遺構 (SI1) (第26～28図)

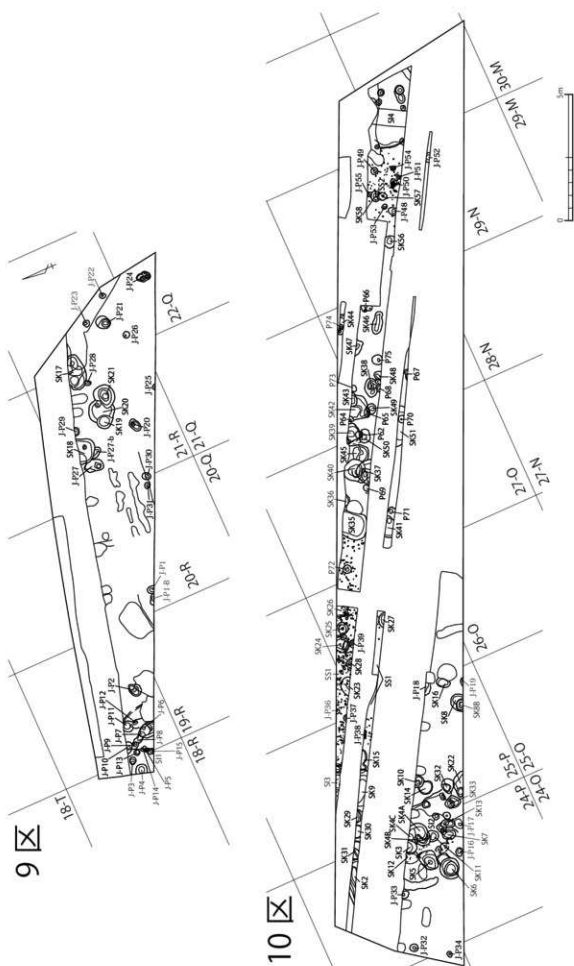
9区西側の18・19-Sグリッドで検出された。明確な立ち上がりが確認された。竪穴住居跡である可能性があるが、床面となる硬化面は確認できなかった。攪乱のため、全体的な平面形状は不明であるが、北側の1か所で隅と考えられる部分が確認された(第25図黒色矢印部分)。内部施設と考えられるピットは、J-P3(長軸30cm、短軸24cm、深さ57cm、平面形状楕円形)、J-P5(長軸21cm、短軸15cm、深さ23cm、平面形状隅丸方形)、J-P6(長軸39cm以上、短軸30cm、深さ25cm、平面形状隅丸方形)、J-P7(長軸61cm以上、短軸61cm、深さ15cm、平面形状隅丸方形)、J-P8(長軸27cm以上、短軸26cm、深さ6cm、平面形状隅丸方形)、J-P9(長軸34cm、短軸25cm、深さ20cm、平面形状長方形)、J-P10(長軸47cm、短軸20cm以上、深さ20cm、平面形状隅丸方形)、J-P11(長軸55cm以上、短軸43cm、深さ7cm、平面形状円形)、J-P12(長軸18cm、短軸13cm、深さ11cm、平面形状円形)、J-P13(長軸23cm、短軸23cm、深さ28cm、平面形状隅丸方形)、J-P14(長軸24cm、短軸16cm、深さ40cm、平面形状不整形)、J-P15(長軸22cm、短軸22cm、深さ27cm、平面形状円形)の計12基である。明確な炉は確認されなかったが、J-P10の覆土に焼土が多く含まれるため、炉の可能性はある。

遺物は、縄文土器7点と石器1点、礫8点が出土した。第34図1・2は条痕文系の深鉢胴部である。2は柱穴と考えられるJ-P13号ピットの下層から出土した。3は早期または前期の深鉢胴部、4・5は前期の深鉢胴部である。第35図1は、黒曜石の剥片で、床面直上から出土した。産地推定分析の結果、箱根(畑宿)産との結果が得られた(第V章第2節参照)。

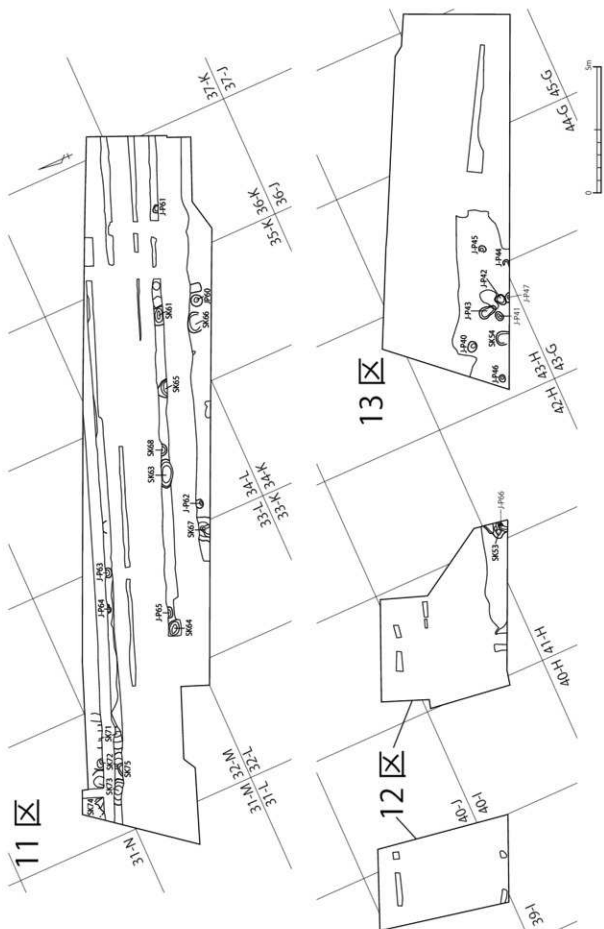
遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代早期後半であると考えられる。

2号竪穴状遺構 (SI2) (第29・30図)

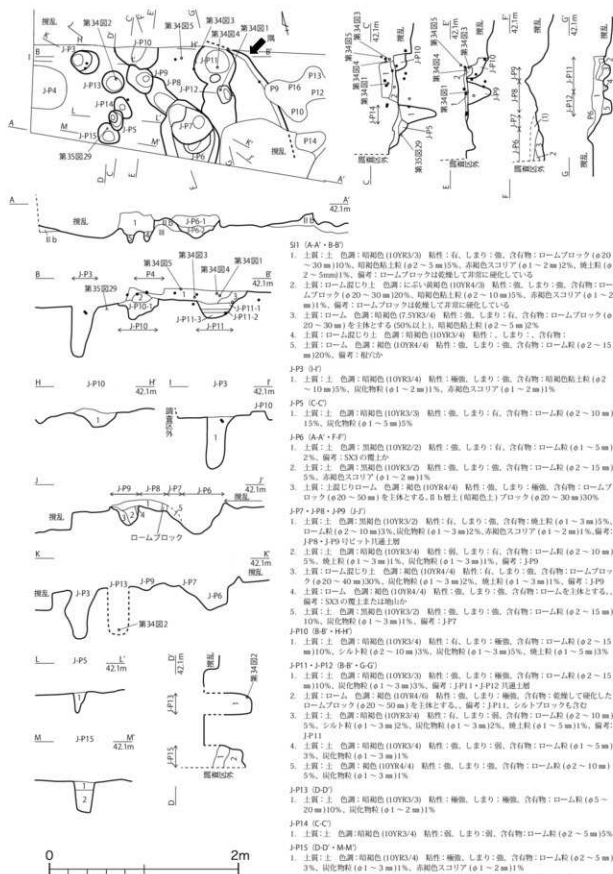
10区西側の23・24-P・Qグリッドで検出された。明確なプランは確認できなかったが、ピットが環状に分布し、その内側に硬化面が検出された。ただし、炉穴群である4号・5号・6号・22号土坑の分布の中心に重なることから、炉穴使用時に形成された硬化面であった可能性がある。内部施設と考えられるピットは、SI2-P1(長軸28cm、短軸18cm、深さ7cm、平面形状隅丸方形)、SI2-P2(長軸30cm、短軸25cm、深さ11cm、平面形状隅丸方形)、SI2-P3(長軸29cm、短軸29cm、深さ29cm、平面形状楕円形)、SI2-P4(長軸20cm、短軸17cm以上、深さ13cm、平面形状楕円形か)、SI2-P5(短軸—cm、深さ12cm、平面形状不明)、SI2-P6(長軸33cm、短軸27cm、深さ12cm、平面形状隅丸方形か)、SI2-P7(長軸27cm、短軸26cm以上、深さ9cm、平面形状隅丸方形)、SI2-P8(深さ12cm、平面形状不明)、SI2-P9(深さ24cm、平面形状不明)、SI2-P10(長軸40cm以上、短



第24図 縄文時代遺構全体図(1) (1/150)



第25図 縄文時代遺構全体図(2) (1/150)



第26図 1号竪穴遺構 (1/40)



1. 検出状況(北から)



2. 土層断面 A-A' (調査区壁)(北東から)



3. 土層断面 B-B' (北東から)



4. 土層断面 C-C' (北西から)



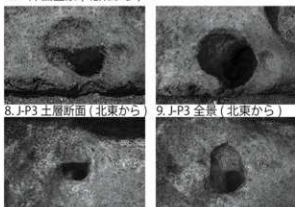
5. 土層断面 E-E' (南東から)



6. 床面全景(北東から)



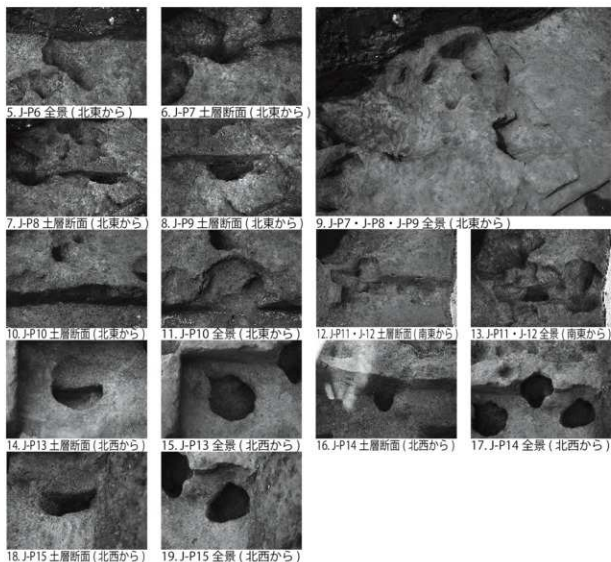
7. 掘り方全景(北東から)



8. J-P3 土層断面(北東から) 9. J-P3 全景(北東から)

10. J-P5 土層断面(北から) 11. J-P5 全景(北から)

第 27 図 1 号竪穴状遺構写真(1)



第 28 図 1 号竪穴状遺構写真 (2)

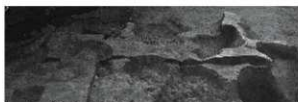
軸 36cm、深さ 21cm、平面形状隅丸方形か)、SI2-P11 (長軸 32cm、短軸 27cm 以上、深さ 29cm、平面形状不明)、SI2-P12 (深さ 5cm、平面形状不明) の計 12 基である。

遺物は、縄文土器 15 点と石器 1 点、礫 21 点が出土した。第 34 図 6 は撫糸文系の深鉢胴部、7 から 14 は条痕文系の深鉢胴部である。6 は SI2-P10 から出土した。第 35 図 30 はホルンフェルスのスクレイパーである。

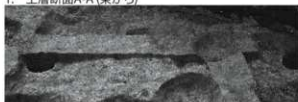
遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代早期後半であると考えられる。

3 号竪穴状遺構 (SI3) (第 31 図)

10 区西側の 25-Q グリッドで検出された。平面的には、大部分は北側の調査区外に位置していると考えられ、調査区側は掘乱によってほとんどの部分が破壊されていたが、調査区北壁の断面で確認された。竪穴状の掘り込みを有することから竪穴状遺構と判断したが、実際には土坑やピットが重複した箇所である可能性もある。竪穴状遺構とした場合に内部施設と考えられるピットは、SI3-P1 (深さ 40cm、平面形状不明) である。掘乱を挟んで近接する 9 号土坑と同一遺構の可能性はある。



1. 土層断面A-A'(東から)



2. 土層断面B-B'(北から)



3. 床面全景(北東から)



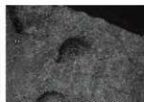
4. SI2-P1 土層断面(南から)



5. SI2-P1 全景(北から)



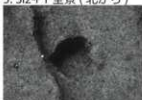
6. SI2-P2 土層断面(南から)



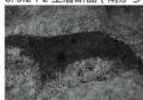
7. SI2-P2 全景(北から)



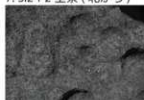
8. SI2-P3 土層断面(北から)



9. SI2-P3 全景(北から)



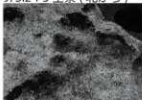
10. SI2-P4 土層断面(北から)



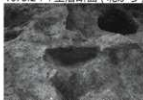
11. SI2-P4 全景(北から)



12. SI2-P5 土層断面(北から)



13. SI2-P5 全景(北から)



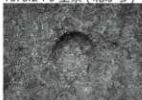
14. SI2-P6 土層断面(北から)



15. SI2-P6 全景(北から)



16. SI2-P7 土層断面(北から)



17. SI2-P7 全景(北から)



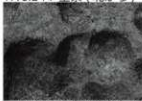
18. SI2-P8 土層断面(北から)



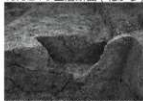
19. SI2-P8 全景(北から)



20. SI2-P9 土層断面(北から)



21. SI2-P9 全景(北から)



22. SI2-P10 土層断面(北から)



23. SI2-P10 全景(北から)



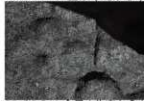
24. SI2-P11 土層断面(北東から)



25. SI2-P11 全景(北東から)

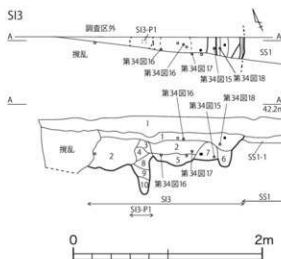


26. SI2-P11 土層断面(北東から)



27. SI2-P11 全景(北東から)

第30図 2号壁穴状遺構写真



- SI3
1. 土質：土 色調：黒褐色 (10YR2/2) 粘性：極微。しまり：極微。含有物：ローム粒 ($\phi 2 \sim 15 \text{ mm}$) 5%、赤褐色スコリア ($\phi 1 \sim 2 \text{ mm}$) 1%。
 2. 土質：土 色調：黒褐色 (10YR2/2) 粘性：極微。しまり：極微。含有物：ロームブロック ($\phi 20 \sim 30 \text{ mm}$) 15%、ローム粒 ($\phi 2 \sim 20 \text{ mm}$) 10%、炭化物粒 ($\phi 1 \sim 3 \text{ mm}$) 2%、赤褐色スコリア ($\phi 1 \sim 2 \text{ mm}$) 1%。
 3. 土質：ローム混じり土 色調：暗褐色 (10YR3/3) 粘性：微。しまり：極微。含有物：ロームブロックを主体とする。ロームブロック ($\phi 20 \sim 40 \text{ mm}$) 50%以上、炭化物粒 ($\phi 1 \sim 2 \text{ mm}$) 1%。
 4. 土質：ローム 色調：褐色 (10YR4/4) 粘性：極微。しまり：極微。含有物：ロームブロックの塊である。
 5. 土質：ローム混じり土 色調：暗褐色 (10YR3/4) 粘性：極微。しまり：極微。含有物：ロームブロック ($\phi 20 \sim 50 \text{ mm}$) 40%、炭化物粒 ($\phi 1 \sim 5 \text{ mm}$) 12%。
 6. 土質：ローム混じり土 色調：暗褐色 (10YR3/4) 粘性：微。しまり：微。含有物：ローム粒 ($\phi 2 \sim 20 \text{ mm}$) 30%、炭化物粒 ($\phi 1 \sim 2 \text{ mm}$) 2%、赤褐色スコリア ($\phi 1 \sim 2 \text{ mm}$) 1%、備考：周溝 (側溝)。
 7. 土質：ローム 色調：暗褐色 (10YR3/3) 粘性：極微。しまり：極微。含有物：ロームを主体とする。
- SS3-P1
8. 土質：ローム混じり土 色調：暗褐色 (10YR3/4) 粘性：極微。しまり：極微。含有物：ローム粒 ($\phi 2 \sim 20 \text{ mm}$) 40%、炭化物粒 ($\phi 1 \sim 2 \text{ mm}$) 2%、赤褐色スコリア ($\phi 1 \sim 2 \text{ mm}$) 1%。
 9. 土質：土 色調：黒褐色 (10YR2/2) 粘性：極微。しまり：微。含有物：ローム粒 ($\phi 2 \sim 15 \text{ mm}$) 15%、炭化物粒 ($\phi 1 \sim 3 \text{ mm}$) 2%、赤褐色スコリア ($\phi 1 \sim 2 \text{ mm}$) 1%。
 10. 土質：ローム混じり土 色調：暗褐色 (10YR3/4) 粘性：極微。しまり：極微。含有物：ロームブロック ($\phi 20 \sim 30 \text{ mm}$) 10%、ローム粒 ($\phi 2 \sim 20 \text{ mm}$) 10%、炭化物粒 ($\phi 1 \sim 5 \text{ mm}$) 1%。



1. 床面全景 (南西から)



2. 土層断面 (南西から)

第31図 3号竪穴状遺構 (1/40)・写真

遺物は、縄文土器9点と礫2点が出土した。第34図15から17は条痕文系の深鉢胴部、18は早期から前期の深鉢胴部である。

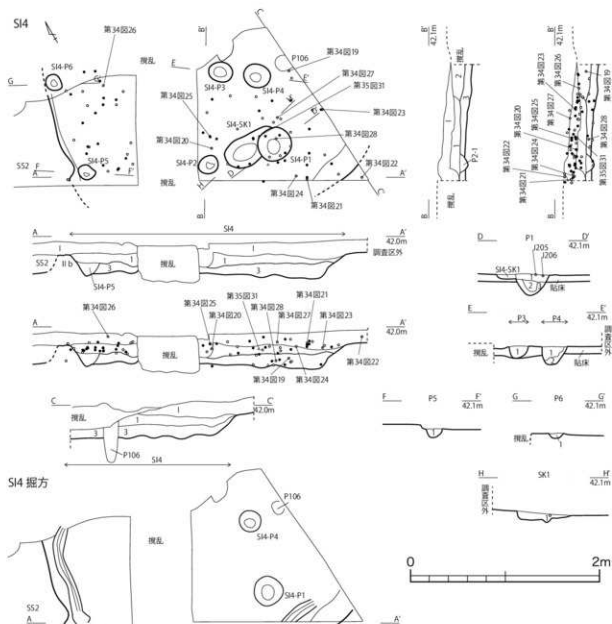
遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代早期後半から前期であると考えられる。

4号竪穴建物跡 (SI4) (第32・33図)

10区東側の29・30-N・Oグリッドで検出された。明確な立ち上がりが確認された。周溝が確認されたが、明確な硬化面は確認できなかった。また、隅部分が傾乱により遺存していないため、平面形状は不明である。内部施設としては、SI4-SK1 (長軸37cm、短軸31cm、深さ14cm、平面形状楕円形) が炉と考えられる。また、SI4-P1 (長軸36cm、短軸36cm、深さ23cm、平面形状円形)、SI4-P2 (長軸21cm、短軸19cm、深さ9cm、平面形状円形)、SI4-P3 (長軸25cm、短軸21cm、深さ13cm、平面形状円形)、SI4-P4 (長軸27cm、短軸25cm、深さ20cm、平面形状円形)、SI4-P5 (長軸17cm、短軸14cm、深さ14cm、平面形状楕円形)、SI4-P6 (長軸18cm、短軸16cm、深さ6cm、平面形状円形) の計6基のピットが柱穴と考えられる。

遺物は、縄文土器39点と石器2点、礫38点が出土した。第34図19が勝坂式の深鉢胴部、20が加曽利E3式、21・22が加曽利E3またはE4式、23から25が加曽利E4式、26・27が曾利式の深鉢胴部である。28は中期後半の深鉢胴部である。第35図31はホルンフェルス製の礫器である。

遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代中期後半であると考えられる。



SI4 (A-A'・B-B'・C-C')

1. 土質: 土 色調: 黒褐色(10YR2/2) 粘性: 極強. しまり: 極強. 含有物: ローム粒($\phi 2 \sim 20$ m)10%. 赤褐色スコリア($\phi 1 \sim 2$ m)1%.
2. 土質: 土 色調: 黒褐色(10YR2/2) 粘性: 強. しまり: 極強. 含有物: ローム粒($\phi 2 \sim 10$ m)5%. 赤褐色スコリア($\phi 1 \sim 2$ m)13%. 備考: 1層とほぼ同じ.
3. 土質: ローム混じり土 色調: 黒褐色(10YR2/3) 粘性: 強. しまり: 極強. 含有物: ロームブロック($\phi 20 \sim 30$ m)10%. ローム粒($\phi 2 \sim 20$ m)10%. 炭化粒粒($\phi 1 \sim 2$ m)1%. 焼土粒($\phi 1 \sim 5$ m)2%.

SI4-P1 (D-D')

1. 土質: 土 色調: 黒褐色(10YR2/2) 粘性: 極強. しまり: 極強. 含有物: ローム粒($\phi 2 \sim 20$ m)5%. 炭化粒粒($\phi 1 \sim 3$ m)1%. 赤褐色スコリア($\phi 1 \sim 2$ m)1%. 焼土粒($\phi 1 \sim 2$ m)1%.
2. 土質: 土 色調: 黒褐色(10YR2/2) 粘性: 極強. しまり: 極強. 含有物: ローム粒($\phi 2 \sim 5$ m)13%. 備考: 不明瞭な土である.
3. 土質: ローム混じり土 色調: 暗褐色(10YR3/3) 粘性: 強. しまり: 極強. 含有物: ローム粒($\phi 2 \sim 10$ m)20%.

SI4-P2 (B-B')

1. 土質: ローム混じり土 色調: 暗褐色(10YR3/3) 粘性: 極強. しまり: 極強. 含有物: ローム粒($\phi 2 \sim 20$ m)20%. 赤褐色スコリア($\phi 1 \sim 2$ m)1%.

SI4-P3 (E-E')

1. 土質: 土 色調: 黒褐色(10YR3/2) 粘性: 極強. しまり: 強. 含有物: ローム粒($\phi 2 \sim 10$ m)5%. 赤褐色スコリア($\phi 1 \sim 2$ m)1%.

SI4-P4 (E-E')

1. 土質: 土 色調: 黒褐色(10YR2/3) 粘性: 極強. しまり: 強. 含有物: ローム粒($\phi 2 \sim 5$ m)13%. 赤褐色スコリア($\phi 1 \sim 2$ m)1%.
2. 土質: ローム混じり土 色調: 暗褐色(10YR3/4) 粘性: 極強. しまり: 極強. 含有物: ローム粒($\phi 2 \sim 10$ m)20%.

SI4-P5 (F-F')

1. 土質: 土 色調: 黒褐色(10YR2/2) 粘性: 強. しまり: 強. 含有物: 炭化粒粒($\phi 1 \sim 3$ m)1%. ローム粒($\phi 2 \sim 10$ m)5%. 赤褐色スコリア($\phi 1 \sim 2$ m)1%. 備考: 浅い.

SI4-P6 (G-G')

1. 土質: 土 色調: 黒褐色(10YR2/2) 粘性: 極強. しまり: 極強. 含有物: 炭化粒粒($\phi 1 \sim 3$ m)1%. ローム粒($\phi 2 \sim 10$ m)5%. 備考: 浅い.

SI4-SK1 (H-H')

1. 土質: ローム混じり土 色調: 黒褐色(10YR2/3) 粘性: 極強. しまり: 極強. 含有物: ロームブロック(塊 $\phi 20 \sim 30$ m)10%. ローム粒($\phi 2 \sim 20$ m)10%. 焼土塊($\phi 20 \sim 30$ m)5%. 炭化粒粒($\phi 1 \sim 5$ m)2%.

第32図 4号竪穴状遺構(1/40)



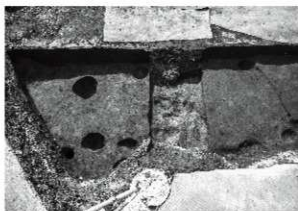
1. 土層断面 A-A' (北東から)



2. 土層断面 B-B' (南東から)



3. 土層断面 C-C' (西から)



4. 床面全景 (北東から)



5. 4 掘り方全景 (北東から)



6. SI4-P1 土層断面 (北から)



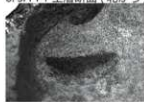
7. SI4-P1 全景 (北から)



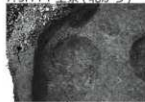
8. SI4-P2 土層断面 (南東から)



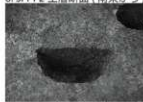
9. SI4-P2 全景 (南東から)



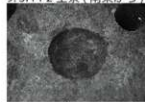
10. SI4-P3 土層断面 (南西から)



11. SI4-P3 全景 (南西から)



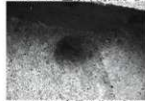
12. SI4-P4 土層断面 (南西から)



13. SI4-P4 全景 (南西から)



14. SI4-P5 土層断面 (北から)



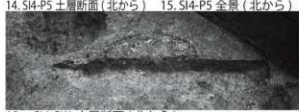
15. SI4-P5 全景 (北から)



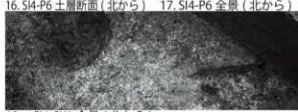
16. SI4-P6 土層断面 (北から)



17. SI4-P6 全景 (北から)

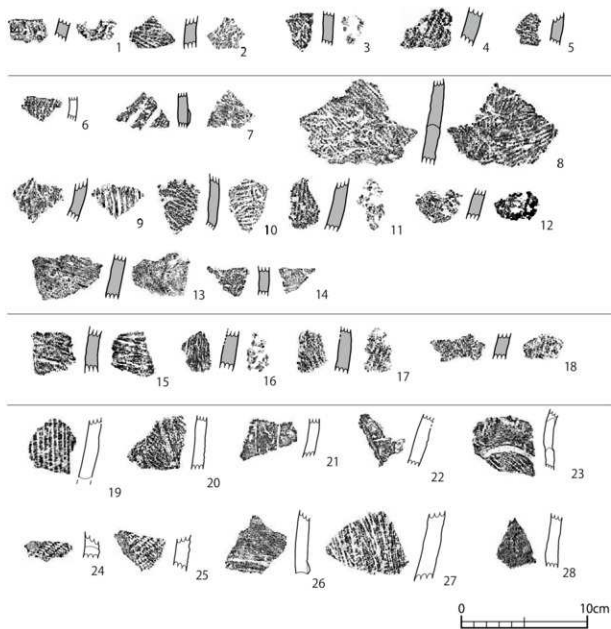


18. SI4-SK1 土層断面 (北から)

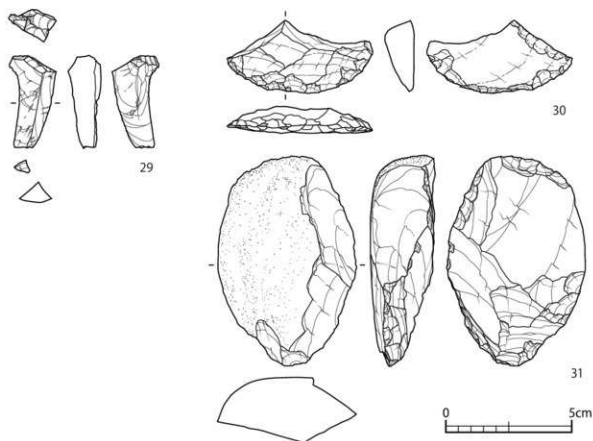


19. SI4-SK1 全景 (北から)

第 33 図 4 号竪穴状遺構写真



第34図 竪穴状遺構出土縄文土器 (1/3)



第35図 竪穴状遺構出土石器 (2/3)

B 土坑

計 71 基の土坑が検出された。各遺構の土層説明は第 19・21 表、第 21 表に土坑一覧表を掲載した。詳細は第 22 表に記載した。また、各遺構から出土した遺物は、第 52 図から第 56 図、第 22・23 図にまとめて掲載した。遺構のうち、炉穴（屋外炉）の可能性のあるものが 19 基確認されている。炉穴が複数基集中して炉穴群を形成している箇所が 3 か所確認された。

以下、各表に記載した項目以外の点について、遺構別に記述する。

2号土坑（SK2）（第37図、第19・21表）

攪乱により全体の形状は不明であるが、大型の土坑で、明瞭な掘り込みを有する。9号土坑と類似する。遺物は、縄文土器3点と礫4点が出土した。第52図6は早期後半の深鉢胴部である。下層（3層）から出土した出土炭化物を用いて放射性炭素年代測定を実施した結果、早期中葉の年代値が得られたため（年代測定試料3；第V章第1節参照）、遺構の時期も同様の可能性が高い。

3号土坑（SK3）（第37図、第19・21表）

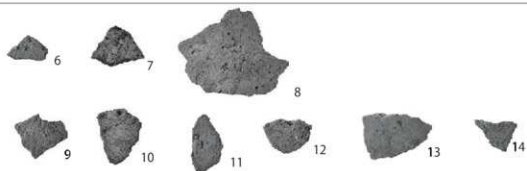
深さ 48cm のピット状で、底部に硬化面を有するため柱穴の可能性があったが、土坑に分類した。10号土坑に類似する。遺物は、縄文土器1点と礫3点が出土した。土器の時期が不明であるため、遺構の時期は不明であるが、早期後半の4号土坑と12号土坑を切るため、早期後半以降と考えられる。

土器

SI1



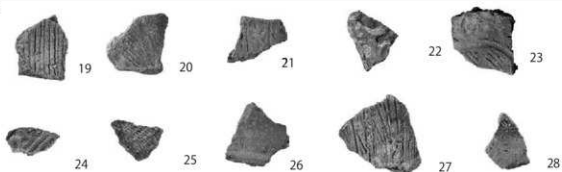
SI2



SI3



SI4



石器

SI1



SI2



SI4



第36図 豎穴状遺構出土遺物写真

第 17 表 竪穴状遺構出土縄文土器観察表

図番	遺構	時期	型式	器種	部位	形状・文様の特徴	胎土	焼成	色調	備考
1	S1	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	織網、長石、石英	普通	7.5YR5/6	明褐色
2	J-P13 (S1)	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	織網、長石	良好	7.5YR6/4	にぶい褐色
3	S1	早期/前期		深鉢			織網、長石、石英	やや悪い	7.5YR4/4	褐色
4	SS1	前期		深鉢	胴部	早期 LR	織網、長石、石英	良好	7.5YR6/6	褐色
5	S1	前期		深鉢	胴部	早期 LR	織網、長石、石英	良好	10YR4/3	にぶい黄褐色
6	S12-P10	早期前半	条痕文系	深鉢	胴部	ナデ	小礫、長石	良好	5YR5/6	明赤褐色
7	S12	早期後半	神之本台式か	深鉢	胴部	隆起文、隆起文上には刺突	織網、長石、チャート、石英	普通	10YR7/3	にぶい黄褐色
8	S12	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	内外面に条痕文	織網、長石、石英	普通	7.5YR6/6	褐色
9	S12	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	内外面に条痕文	織網、長石	普通	10YR3/4	暗褐色
10	S12	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	内外面に条痕文	織網、長石	良好	7.5YR7/4	にぶい褐色
11	S12	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	織網、小礫、長石、角閃石	良好	5YR6/6	褐色
12	S12	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文施文後ナデ	織網、小礫、長石	良好	5YR6/6	褐色
13	S12	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	隆起状の調整痕	織網、長石、石英	良好	7.5YR7/6	褐色
14	S12	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	隆起状の調整痕	織網、小礫、長石	良好	7.5YR6/6	褐色
15	S13	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	内外面に条痕文	織網、長石を多量に含む、石英	良好	7.5YR5/4	にぶい褐色
16	S13	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	織網、小礫、長石、石英	普通	7.5YR6/4	にぶい褐色
17	S13	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	織網、長石、石英	普通	10YR3/1	黒褐色
18	S13	早期/前期		深鉢	胴部	内面ナデ	織網、長石、石英	普通	5YR6/6	褐色
19	S14	中期前半	磨版(磨内か)	深鉢	胴部	平隆帯文	シャモット、長石、チャート、石英	良好	10YR7/4	にぶい黄褐色
20	S14	中期後半	加賀利 E3	深鉢	胴部	沈線、直滑縄文、早期組、内面ミガキ	小礫、長石、シャモット、石英	良好	7.5YR6/6	褐色
21	S14	中期後半	加賀利 E3/E4	深鉢	胴部	平行な沈線	長石、シャモット	普通	10YR6/4	にぶい黄褐色
22	S14	中期後半	加賀利 E3/E4	深鉢	胴部	沈線による U 字文か、内面ミガキ	長石、石英	良好	5YR4/6	明赤褐色
23	S14	中期後半	加賀利 E4	深鉢	胴部	沈線による対向 U 字文、直滑縄文、早期組	小礫、長石、石英	良好	10YR4/2	灰黄褐色
24	S14	中期後半	加賀利 E4	深鉢	胴部	沈線、直滑縄文、早期組	長石、石英	良好	7.5YR4/4	褐色
25	包含層 (S14)	中期後半	加賀利 E4	深鉢	胴部	隆起状、直滑縄文、早期組、内面ミガキ	小礫、長石、石英	良好	7.5YR3/2	黒褐色
26	S14	中期後半	曾利か	深鉢	胴部	微隆起、外面ミガキ	長石、小礫、角閃石	良好	5YR4/4	にぶい赤褐色
27	包含層 (S14)	中期後半	曾利か	深鉢	胴部	磨面状条痕	小礫、長石、角閃石	良好	5YR5/4	にぶい赤褐色
28	S14-P1	中期後半		深鉢	胴部	内面ミガキ	長石、赤色砂粒、石英、角閃石	良好	7.5YR7/4	にぶい褐色

第 18 表 竪穴状遺構出土縄文石器観察表

図番	遺構	出土層位	時期	器種	石材	産地 (第 V 章参照)	長さ (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重量 (g)	備考
29	S1	床面直上	早期後半	刮片	黒曜石	箱根	1	36.5	18.6	13.0	5.0 産地部定試料 I
30	S12	床面直上	早期後半	スクレイパー	ホルンフェルス	—	—	29.0	58.0	11.0	17.1
31	S14		中期後半	磯石	ホルンフェルス	—	—	83.5	54.5	26.0	141.7

4号土坑 A・B・C (SK4A・B・C) (第 37 図、第 19・21 表)

火床面を有する炉穴であり、3 基が重複している。新旧関係は 4 号土坑 A が古く、4 号土坑 C、4 号土坑 B の順に新しく切り合う。また、4 号土坑 A・B が 11 号土坑を切る。5 号・6 号・22 号土坑と共に炉穴群を形成する。遺物は、縄文土器 7 点と石器 1 点、礫 7 点が出土した。第 52 図 7・8 は、条痕文系の深鉢胴部である。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代早期後半であると考えられる。

5号土坑 (SK5) (第 37 図、第 19・21 表)

火床面を有する炉穴である。6 号土坑を切る。4 号・6 号・22 号土坑と共に炉穴群を形成する。遺物は、縄文土器 6 点と礫 1 点が出土した。第 52 図 9 は条痕文系の深鉢胴部、10・11 は早期か前期の深鉢胴部である。遺構の時期は、縄文時代早期後半であると考えられる。

6号土坑 (SK6) (第 37 図、第 19・21 表)

火床面を有する炉穴である。4 号・5 号・22 号土坑と共に炉穴群を形成する。遺物は、縄文土器 1 点が出土した。第 52 図 12 は、早期後半の深鉢胴部である。出土炭化物を用いて放射性炭素年代測定を実施した結果、縄文時代早期中葉の年代値が得られた (年代測定試料 4: 第 V 章第 1 節参照)。遺構の時期は、縄文時代早期後半であると考えられる。

7号土坑 (SK7) (第37図、第19・21表)

浅い土坑である。遺物は、縄文土器1点が出土した。第52図13は、条痕文系の深鉢胴部である。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代早期後半の可能性はある。

8号土坑 (SK8) (第37図、第19・21表)

調査範囲外にかかるため、全体の形状は不明である。遺物は、縄文土器4点と石器2点、礫2点が出土した。第52図14は条痕文系の深鉢口縁部、15は深鉢胴部、16は加曽利E3式の深鉢胴部である。第54図59は、砂岩の磨石である。非常に強い光沢面を有する。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代中期後半であると考えられる。

9号土坑 (SK9) (第37図、第19・21表)

掘乱により全体の形状は不明であるが、大型の土坑である。2号土坑と類似する。遺物は、縄文土器3点と礫10点が出土した。第52図17は燃系文系の深鉢口縁部、18は条痕文系の深鉢胴部である。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代早期後半であると考えられる。掘乱を挟んで近接する3号竪穴状遺構と同一遺構の可能性はある。

10号土坑 (SK10) (第38図、第19・21表)

深さ79cmの大型ピット状で、底部に柱痕を有するため柱穴の可能性はあるが、土坑に分類した。3号土坑に類似する。遺物は出土しなかった。

11号土坑 (SK11) (第38図、第19・21表)

浅い土坑で、4号土坑に切られる。遺物は、縄文土器1点と礫1点が出土した。第53図19は、条痕文系の深鉢胴部である。遺構の時期は、遺構の切り合いと出土遺物から、縄文時代早期後半以前であると考えられる。

12号土坑 (SK12) (第38図、第19・21表)

掘乱と3号土坑に切られるため、全体の形状は不明である。遺物は出土しなかった。遺構の時期は、遺構の切り合いから、縄文時代早期後半以前と考えられる。

13号土坑 (SK13) (第38図、第19・21表)

浅い土坑である。遺物は、縄文土器3点が出土した。第53図20は、早期から前期の深鉢胴部である。

14号土坑 (SK14) (第38図、第19・21表)

浅い土坑である。遺物は、縄文土器1点が出土した。

15号土坑 (SK15) (第38図、第19・21表)

掘乱により全体の形状は不明である。遺物は、縄文土器1点と礫2点が出土した。第53図21は、条痕文系の深鉢胴部である。

16号土坑 (SK16) (第38図、第19・21表)

浅い土坑である。遺物は、縄文土器1点が出土した。

17号土坑A・B (SK17A・B) (第38図、第19・21表)

2基の重複する炉穴である。17号土坑Aが17号土坑Bを切る。遺物は、縄文土器10点と礫9点が出土しており、他の土坑と比較すると多数である。第53図22は早期から前期の深鉢口縁部、23から26は条痕文系の深鉢胴部、27は加曽利E3またはE4の深鉢胴部である。遺構の時期は、遺構の状況と出土遺物から、縄文時代早期後半であると考えられる。

18号土坑 (SK18) (第38図、第19・21表)

調査範囲外にかかるため、全体の形状は不明であるが、隅丸方形または隅丸長方形の土坑である。遺物は、縄文土器40点と礫3点が出土した。出土した縄文土器片は多数が接合した。第52図1は、条痕文系の深鉢口縁部、2から4は胴部である。1から5は、同一個体の可能性が高い。1は口縁部外面に鋸歯状の隆帯が巡り、この隆帯と口唇部上に絡条体圧痕が施される。出土状況と接合状況から、意図的に土器が埋設された土坑である可能性がある。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代早期後半であると考えられる。

19号土坑 (SK19) (第38図、第19・21表)

20号土坑と切り合い関係にある。遺物は出土しなかった。

20号土坑 (SK20) (第38図、第19・21表)

19号・21号土坑と切り合い関係にある。遺物は、礫4点が出土した。

21号土坑 (SK21) (第38図、第19・21表)

20号土坑と切り合い関係にある。遺物は、縄文土器13点(または14点)と礫1点が出土した。第53図28から33は、条痕文系の深鉢胴部である。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代早期後半であると考えられる。

22号土坑 (SK22) (第38図、第19・21表)

火床面を有する炉穴である。32号土坑を切る。4号・5号・6号土坑と共に炉穴群を形成する。遺物は、焼成粘土塊1点と礫1点が出土した。遺構の時期は、遺物を伴う他の炉穴との類似性から、縄文時代早期後半であると考えられる。

23号土坑 (SK23) (第39図、第19・21表)

1号集石の下面から検出された。遺物は、縄文土器1点と礫6点が出土した。第53図34は加曽利E3またはE4の深鉢胴部である。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代中期後半であると考えられる。

24号土坑 (SK24) (第39図、第19・21表)

1号集石の下面から検出された。遺物は、礫14点が出土した。礫が多量に出土したことから、1号集石の一部であると考えられる。遺構の時期は、1号集石と同様に縄文時代中期後半であると考えられる。

25号土坑 (SK25) (第39図、第19・21表)

1号集石の下面から検出された。遺物は、礫5点が出土した。

26号土坑 (SK26) (第39図、第19・21表)

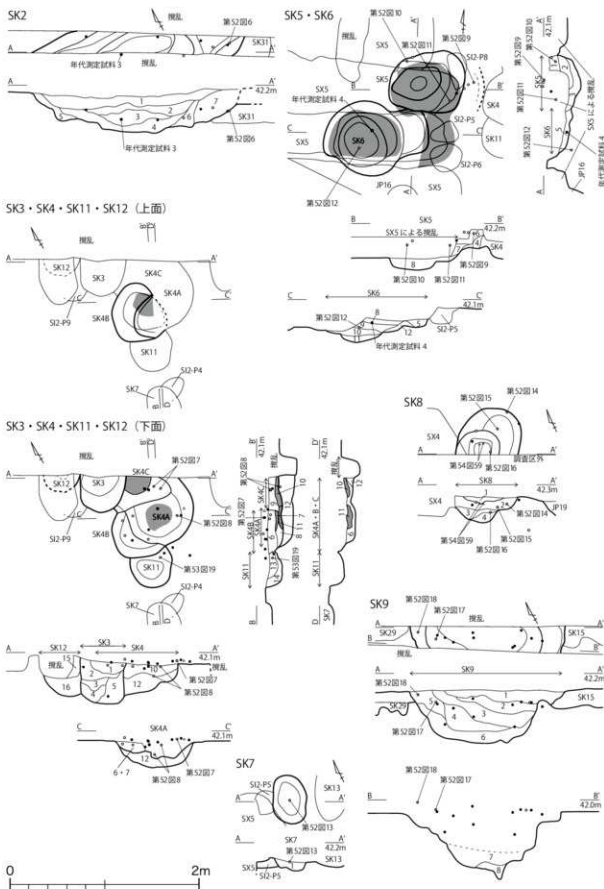
1号集石の下面から検出された。遺物は、縄文土器1点と石器1点、礫18点が出土した。礫が多量に出土したことから、1号集石の一部であると考えられる。第54図60はホルンフェルスの礫器である。遺構の時期は、遺構の状況と出土遺物から、縄文時代中期後半であると考えられる。

27号土坑 (SK27) (第39図、第19・21表)

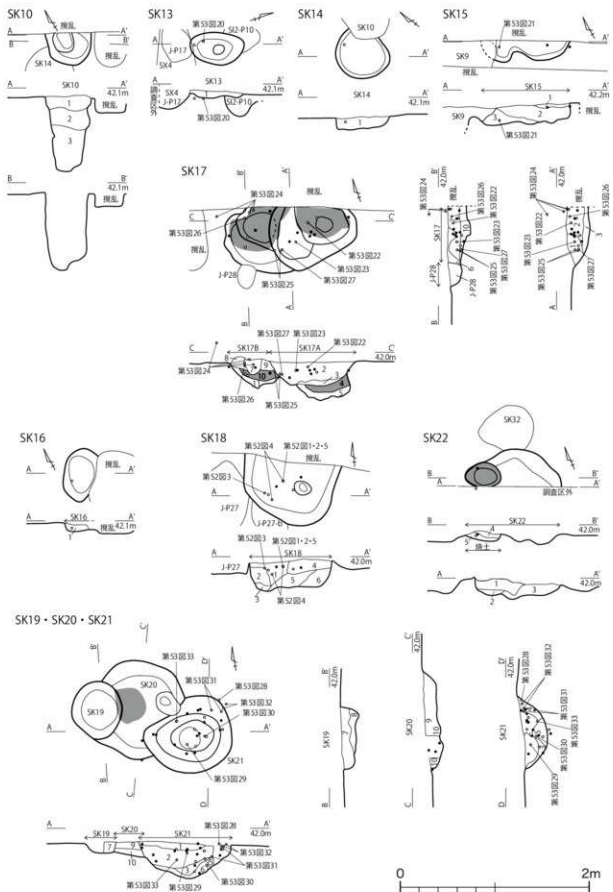
1号集石の下面から検出された。遺物は出土しなかった。

28号土坑 (SK28) (第39図、第19・21表)

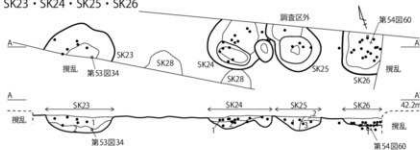
1号集石の下面から検出された。遺物は、縄文土器3点と礫5点が出土した。第53図35は、加



第37図 縄文時代の土坑(1)(1/40)



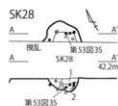
SK23・SK24・SK25・SK26



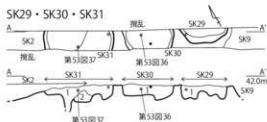
SK27



SK28



SK29・SK30・SK31



SK32



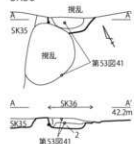
SK33



SK35



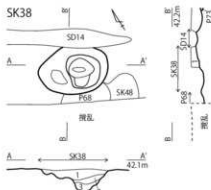
SK36



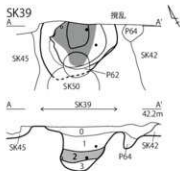
SK37



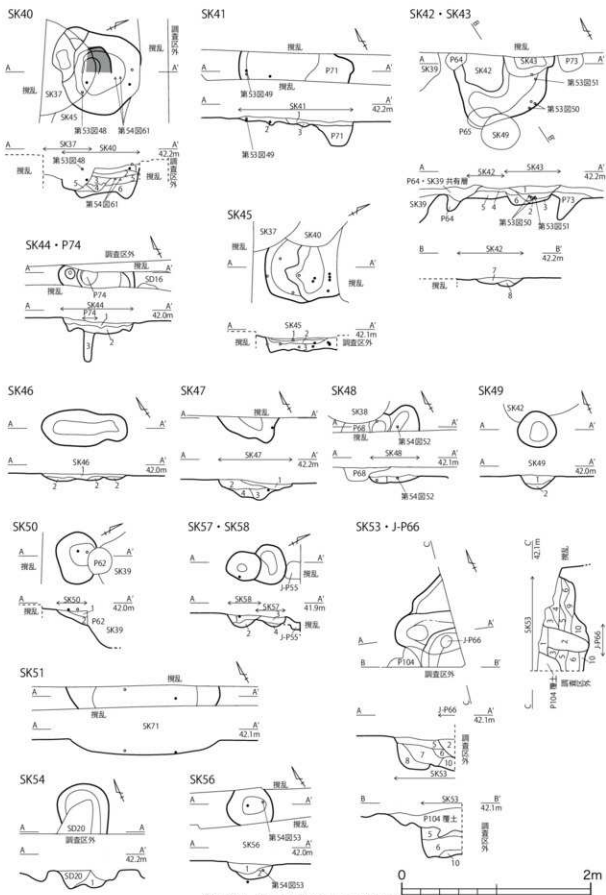
SK38

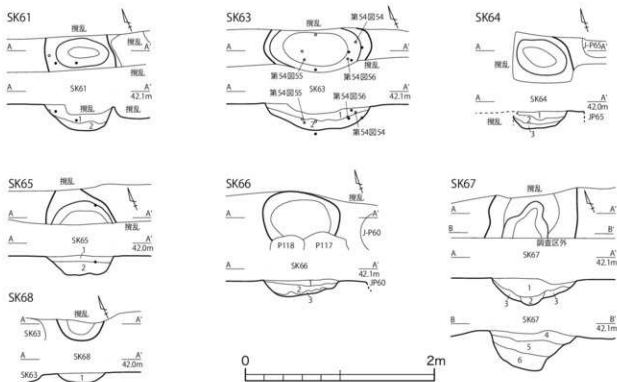


SK39



第39図 縄文時代の土坑(3) (1/40)





第41図 縄文時代の土坑(5) (1/40)

曾利 E3 式の深鉢胴部である。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代中期後半であると考えられる。

29号土坑 (SK29) (第39図、第19・21表)

攪乱により全体の形状が不明である。遺物は、縄文土器1点が出土した。

30号土坑 (SK30) (第39図、第20・21表)

攪乱により全体の形状が不明である。遺物は、縄文土器1点と礫1点が出土した。第53図36は、条痕文系の深鉢胴部である。

31号土坑 (SK31) (第39図、第20・21表)

攪乱により全体の形状が不明である。遺物は、縄文土器2点が出土した。第53図37は、時期不詳の深鉢胴部である。

32号土坑 (SK32) (第39図、第20・21表)

22号土坑に切られる。遺物は出土しなかった。切り合い関係から、遺構の時期は縄文時代早期後半以前と考えられる。

33号土坑 (SK33) (第39図、第20・21表)

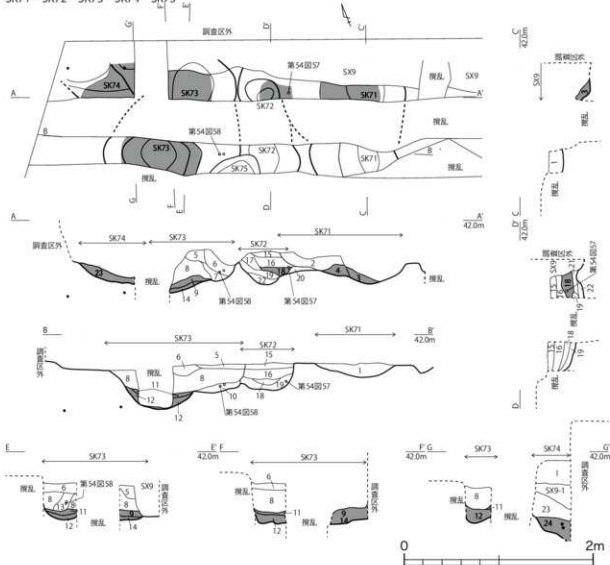
2号竪穴状遺構11号ピットの上層に位置する。遺物は出土しなかった。

35号土坑 (SK35) (第39図、第20・21表)

1号集石の下層から検出された。遺物は、縄文土器6点と礫19点が出土した。礫が多量に出土したことから、1号集石の一部であると考えられる。第53図38・39は、条痕文系の深鉢胴部である。

40は、中期後半の両耳壺胴部である。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代中期後半であると考えられる。

SK71・SK72・SK73・SK74・SK75



第42図 縄文時代の土坑(6)(1/40)

36号土坑 (SK36) (第39図、第20・21表)

遺物は、縄文土器1点と礫1点が出土した。第53図41は、加曽利E3式の深鉢胴部である。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代中期後半でと考えられる。

37号土坑 (SK37) (第39図、第20・21表)

浅いが比較的大型の土坑である。40号土坑を切る。3層は40号土坑の火床面の影響で焼土を多く含む。遺物は、縄文土器10点と礫5点が出土した。第53図42は条痕文系の深鉢口縁部、43は前期前半の深鉢胴部である。44は加曽利E式また曾利式の口縁部、45は加曽利E4式の深鉢胴部、46・47は加曽利E3/E4式の深鉢胴部である。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代中期後半でと考えられる。

38号土坑 (SK38) (第39図、第20・21表)

広く浅い形状であるが、中央にビット状の窪みを有する。遺物は出土しなかった。

第 19 表 縄文時代の土坑土層説明一覧表 (1)

[illegible]

第26巻 地人時代から工業化時代へ 死後 (2)

— 6 —

39号土坑 (SK39) (第39図、第20・21表)

深さ50cmの掘り込みの深い炉穴である。焼土層である2層が厚く堆積する。また、2・3層はオーバーハングする。遺物は、礫2点が出土した。遺物を伴う他の炉穴との類似性から、縄文時代早期後半であると考えられる。

40号土坑 (SK40) (第40図、第20・21表)

炉穴である。37号土坑に切られる。遺物は、縄文土器2点と石器2点、礫2点が出土した。第53図48は条痕文系の深鉢胴部である。第54図61は凝灰質砂岩の楕円形片刃石斧で、早期後半に特有の石器である。また、37号土坑で出土した条痕文系土器は、40号土坑に由来する可能性が高い。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代早期後半であると考えられる。

41号土坑 (SK41) (第40図、第20・21表)

攪乱により全体の形状は不明である。遺物は、縄文土器1点と礫2点が出土した。第53図49は、加曽利E3式の深鉢胴部である。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代中期後半であると考えられる。

42号・43号土坑 (SK42・43) (第40図、第20・21表)

42号と43号で一体の土坑で、広く浅い掘り込みである。遺物は、縄文土器5点が出土した。第53図50・51は条痕文系の深鉢胴部である。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代早期後半であると考えられる。

44号土坑 (SK44) (第40図、第20・21表)

攪乱により全体の形状は不明である。74号ピットを切るか、あるいは同一遺構の可能性はある。遺物は出土しなかった。

45号土坑 (SK45) (第40図、第20・21表)

浅い土坑である。遺物は、縄文土器4点と礫6点が出土した。

46号土坑 (SK46) (第40図、第20・21表)

浅い土坑である。遺物は出土しなかった。

47号土坑 (SK47) (第40図、第20・21表)

浅い土坑である。遺物は出土しなかった。

48号土坑 (SK48) (第40図、第20・21表)

68号ピット (P68) に切られる。遺物は、縄文土器2点が出土した。第54図52は早期から前期の深鉢胴部である。

49号土坑 (SK49) (第40図、第20・21表)

ピットに近い形状である。遺物は、礫1点が出土した。

50号土坑 (SK50) (第40図、第20表)

62号ピット (P62) に切られるため、全体の形状は不明である。62号ピットと一体の遺構の可能性はある。遺物は、縄文土器1点と礫1点が出土した。62号ピットと一体の場合は、遺構の時期は縄文時代中期後半である。

51号土坑 (SK51) (第40図、第20・21表)

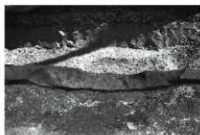
攪乱により全体の形状は不明である。遺物は、縄文土器1点と礫1点が出土した。



1. 10区西側土坑群全景(北東から)



2. 2号土坑土層断面(南西から)



3. 2号土坑全景(南西から)



4. 3号・4号・12号土坑土層断面A-A'(北東から)



5. 3号土坑全景(北東から)



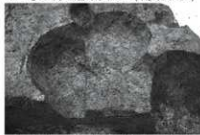
6. 4号土坑土層断面B-B'(南東から)



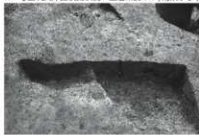
7. 4号土坑火床面検出状況・土層断面B-B'(南東から)



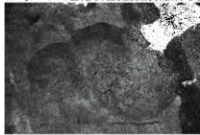
8. 4号A・B・C土坑火床面検出状況(南東から)



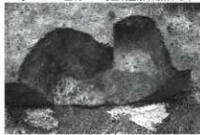
9. 4号A・B・C土坑・11号土坑全景(南東から)



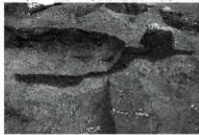
10. 4号A・B土坑・11号土坑土層断面B-B'(南東から)



11. 4号A・B・C土坑・11号土坑全景(南東から)



12. 12号土坑全景(北東から)



13. 5号土坑土層断面A-A'(南から)

第43図 縄文時代の土坑写真(1)



14. 5号土坑火床面検出状況(西から)



15. 5号土坑全景(西から)



16. 6号土坑土層断面(北から)



17. 6号土坑火床面検出状況(北から)



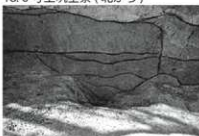
18. 6号土坑全景(北から)



19. 7号土坑土層断面(北東から)



20. 7号土坑全景(北東から)



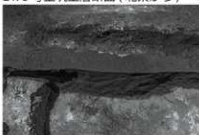
21. 8号土坑土層断面(北東から)



22. 8号土坑A全景(北東から)



23. 8号土坑B全景(北東から)



24. 9号土坑土層断面A-A'(北東から)



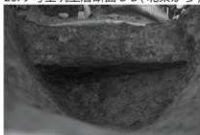
25. 9号土坑土層断面B-B'(北東から)



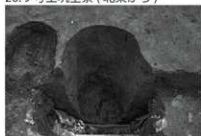
26. 9号土坑全景(北東から)



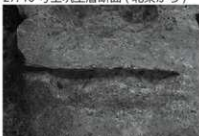
27. 10号土坑土層断面(北東から)



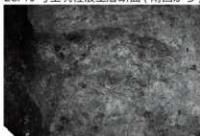
28. 10号土坑柱痕土層断面(南西から)



29. 10号土坑全景(北東から)

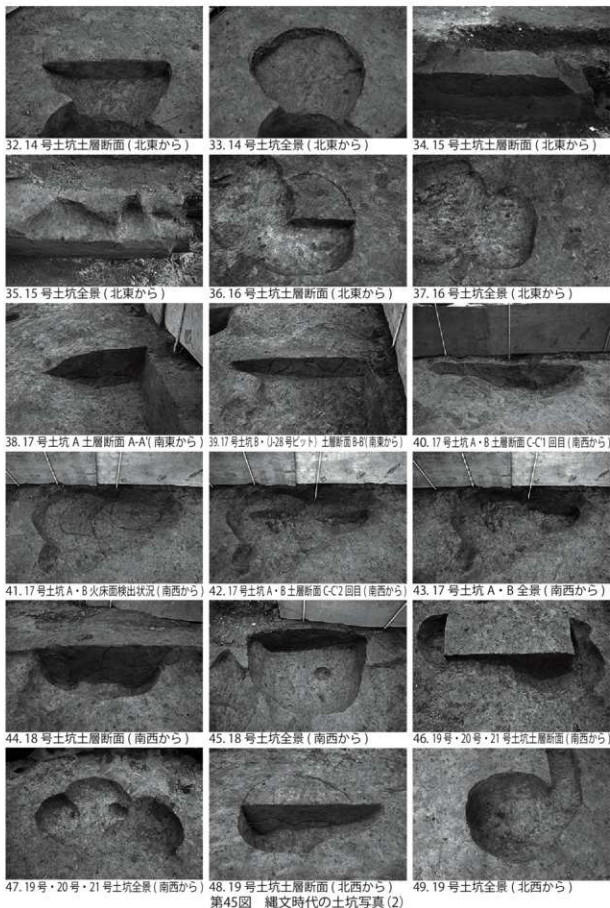


30. 13号土坑土層断面(南東から)



31. 13号土坑全景(南東から)

第44図 縄文時代の土坑写真(1)



第45図 縄文時代の土坑写真(2)



50. 20 号土坑土層断面 (南東から)



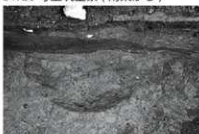
51. 20 号土坑全景 (南東から)



52. 21 号土坑土層断面 (南東から)



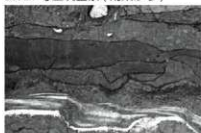
53. 21 号土坑全景 (南東から)



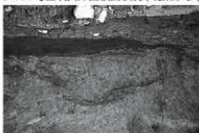
54. 22 号土坑火床面検出状況 (北東から)



55. 22 号土坑火床面土層断面 (北東から)



56. 22 号土坑土層断面 (北東から)



57. 22 号土坑全景 (北東から)



58. 23 号土坑土層断面 (南西から)



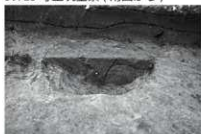
59. 23 号土坑全景 (南西から)



60. 24 号土坑土層断面 (南西から)



61. 24 号土坑全景 (南西から)



62. 25 号土坑土層断面 (南西から)



63. 25 号土坑全景 (南西から)



64. 26 号土坑土層断面 (南西から)



65. 26 号土坑全景 (南西から)



66. 27 号土坑土層断面 (北東から)



67. 27 号土坑全景 (北東から)

第46図 縄文時代の土坑写真(3)



68. 28 号土坑土層断面 (南西から)



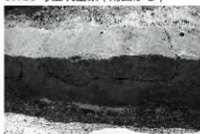
69. 28 号土坑全景 (南西から)



70. 29 号土坑土層断面 (北東から)



71. 29 号土坑全景 (北東から)



72. 30 号土坑土層断面 (から)



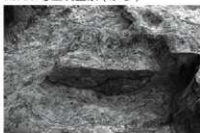
73. 30 号土坑全景 (から)



74. 31 号土坑土層断面 (から)



75. 31 号土坑全景 (から)



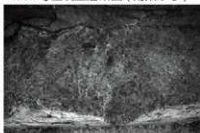
76. 32 号土坑土層断面 (南東から)



77. 32 号土坑全景 (北東から)



78. 33 号土坑土層断面 (南東から)



79. 33 号土坑全景 (北東から)



80. 35 号土坑土層断面 (南西から)



81. 35 号土坑全景 (南西から)



82. 36 号土坑土層断面 (南西から)



83. 37 号土坑土層断面 A-A' (北東から)



84. 37 号土坑全景 (南西から)



85. 40 号土坑土層断面 (南東から)

第47図 縄文時代の土坑写真(4)



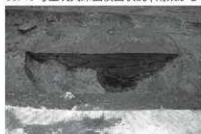
86.40 号土坑火床面検出状況(南東から)



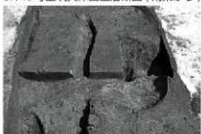
87.40 号土坑火床面土層断面(南東から)



88.40 号土坑全景(南東から)



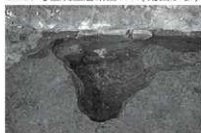
89.38 号土坑土層断面 A-A'(南西から)



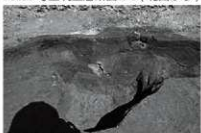
90.38 号土坑土層断面 B-B'(北西から)



91.38 号土坑全景(北西から)



92.39 号土坑火床面検出状況(南西から)



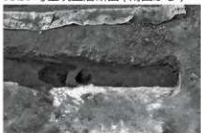
93.39 号土坑土層断面(南西から)



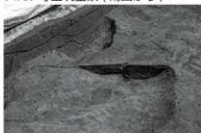
94.39 号土坑全景(南西から)



95.41 号土坑土層断面(北東から)



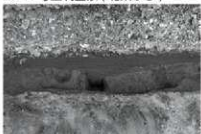
96.41 号土坑全景(北東から)



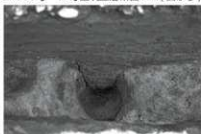
97.42 号・98.43 号土坑土層断面 A-A'(西から)



98.42 号・99.43 号土坑土層断面 B-B'・全景(南西から)



99.44 号土坑・74 号ピット土層断面・全景(南西から)



100.44 号土坑・74 号ピット土層断面・全景(南西から)



101.45 号土坑土層断面(南東から)



102.45 号土坑全景(南東から)



103.46 号土坑土層断面(南西から)

第48図 縄文時代の土坑写真(5)



104.46 号土坑全景 (南西から)



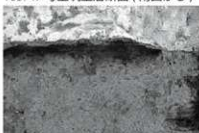
105.47 号土坑土層断面 (南西から)



106.47 号土坑全景 (南西から)



107.48 号土坑土層断面 (北東から)



108.48 号土坑全景 (北東から)



109.49 号土坑土層断面 (南西から)



110.49 号土坑全景 (南西から)



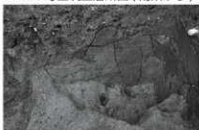
111.50 号土坑土層断面 (南東から)



112.50 号土坑全景 (南東から)



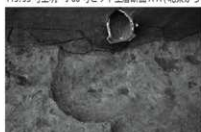
113.53 号土坑・J66 号ビット土層断面 A-A' (北東から)



114.53 号土坑・J66 号ビット土層断面 C-C' (北西から)



115.53 号土坑・J66 号ビット全景 (北から)



116.54 号土坑土層断面・全景 (北東から)



117.56 号土坑土層断面 (南西から)



118.56 号土坑全景 (南西から)



119.57 号・58 号土坑土層断面 (南東から)



120.57 号・58 号土坑全景 (南東から)



121.61 号土坑土層断面 (北東から)

第49図 縄文時代の土坑写真(6)



122.61 号土坑全景 (北東から)



123.63 号土坑土層断面 (南西から)



124.63 号土坑全景 (南西から)



125.64 号土坑土層断面 (北東から)



126.64 号土坑全景 (北東から)



127.65 号土坑土層断面 (北東から)



128.65 号土坑全景 (北東から)



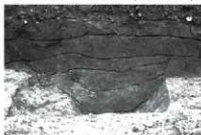
129.66 号土坑土層断面 (北東から)



130.66 号土坑全景 (北東から)



131.67 号土坑土層断面 (北東から)



132.67 号土坑全景 (北東から)



133.68 号土坑土層断面 (南西から)



134.68 号土坑全景 (南西から)



135.71 号土坑土層断面 C-C' (南東から)



136.71 号土坑火床面検出状況 (南西から)



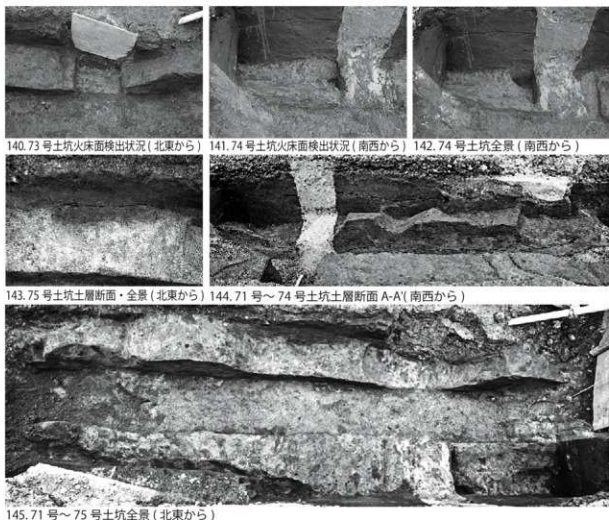
137.72 号土坑土層断面 D-D' (北西から)



138.72 号土坑火床面検出状況 (南西から)
第50図 縄文時代の土坑写真(7)



139.73 号土坑土層断面 B-B' (北東から)



第51図 縄文時代の土坑写真(8)

53 号土坑 (SK53) (第 40 図、第 20・21 表)

深さ 54cm の掘り込みの深い炉穴である。J-66 号ピットに切られる。遺物は出土しなかった。遺構の時期は、遺物を伴う他の炉穴との類似性から、縄文時代早期後半であると考えられる。

54 号土坑 (SK54) (第 40 図、第 20・21 表)

浅い土坑である。遺物は出土しなかった。

56 号土坑 (SK56) (第 40 図、第 20・21 表)

小規模な土坑であるが、明瞭な掘り込みを有する。遺物は、縄文土器 1 点と礫 1 点が出土した。第 54 図 53 は曽利Ⅲ式の深鉢胴部から底部である。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代中期後半であると考えられる。

57 号・58 号土坑 (SK57・58) (第 40 図、第 20・21 表)

58 号土坑が 57 号土坑を切るが、類似した形状の土坑である。58 号土坑から礫 1 点が出土した。

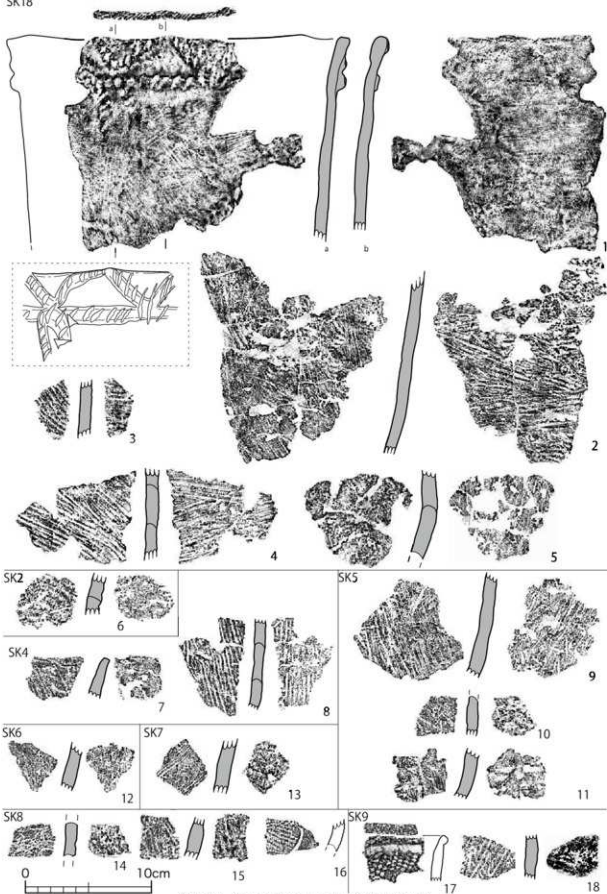
61 号土坑 (SK61) (第 41 図、第 20・21 表)

明瞭な掘り込みを有する。遺物は、縄文土器 1 点と礫 2 点が出土した。

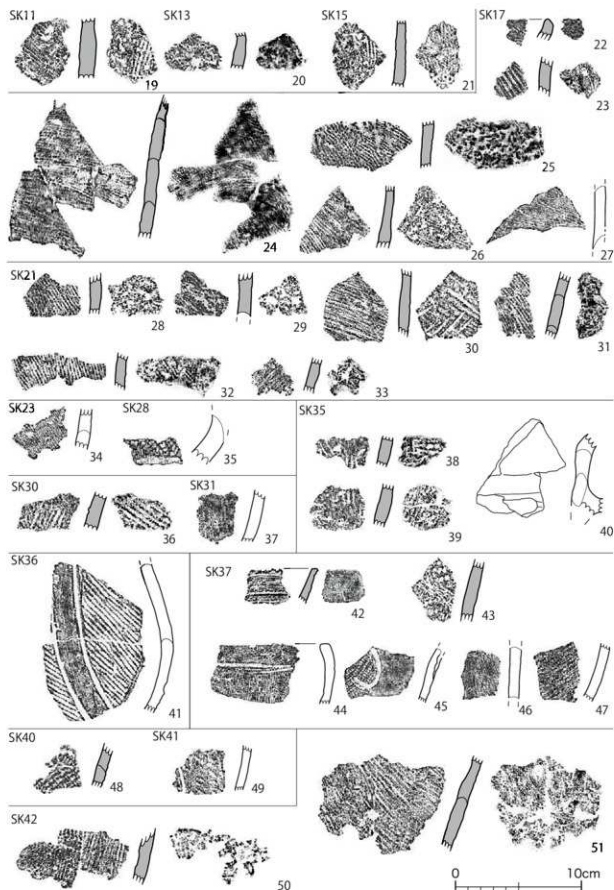
第 21 表 縄文時代の土坑一覧表

遺構番号	調査区	グリッド	時期	遺構 の 性質	遺構のサイズ (cm)・形状			出土遺物 (点)			掲載遺物	備考
					長軸	短軸	深さ	平面形状	土器	石器	埴輪 粘土 土	
2号土坑	10区	24-Q	縄文時代早期後半		(151)	(24)	44	不明	3	4		第52図6 年代測定資料3
3号土坑	10区	24-Q	縄文時代中期後半	柱穴	48	(37)	48	横門形	1	3		早期の砂穴を切る
4号土坑A	10区	24-P	縄文時代早期後半	砂穴	98	(50)	28	円形				
4号土坑B	10区	24-P	縄文時代早期後半	砂穴	—	—	27	不明	7	1	7	第52図7・8 3基が重複
4号土坑C	10区	24-P	縄文時代早期後半	砂穴	(50)	(36)	15	不明				
5号土坑	10区	24-P・Q	縄文時代早期後半	砂穴	84	69	13	横門形	6	1		第52図9～11
6号土坑	10区	24-P	縄文時代早期後半	砂穴	85	79	25	横門形	1			年代測定資料4
7号土坑	10区	24-P	縄文時代早期後半		50	34	13	横門形	1			第52図13
8号土坑	10区	25-P	縄文時代中期後半		65	(49)	28	横門形	4	2	2	第52図14～16、 第54図59
9号土坑	10区	25-Q	縄文時代		143	(26)	54	不明	3	10		第52図17・18
10号土坑	10区	25-P	縄文時代中期後半	柱穴	48	(33)	79	横門形				
11号土坑	10区	24-P	縄文時代早期後半	砂穴	45	(34)	18	横門形	1	1		第53図19
12号土坑	10区	24-Q	縄文時代早期後半	砂穴	38	(17)	44	不明				
13号土坑	10区	24-P	縄文時代		57	33	5	横門形	3			第53図20
14号土坑	10区	25-P	縄文時代		57	51	14	円形				
15号土坑	10区	25-Q	縄文時代早期後半		93	(23)	24	不整形	1	2		第53図21
16号土坑	10区	25-P	縄文時代		53	(31)	9	横門形	1			
17号土坑A	9区	21・22-R	縄文時代早期後半	砂穴	93	(73)	42	横門形				
17号土坑B	9区	21・22-R	縄文時代早期後半	砂穴	(85)	(57)	34	横門形	10	9		第53図22～27 2基が重複
18号土坑	9区	21-R	縄文時代早期後半		102	(66)	34	横門形	40	3		第52図1～5 土器片が多量に出土
19号土坑	9区	21-R	縄文時代		66	54	20	横門形				
20号土坑	9区	21-R	縄文時代		106	(67)	21	円形				
21号土坑	9区	21-R	縄文時代		94	82	30	横門形	14	1		第53図28～33 土器片が多量に出土
22号土坑	10区	25-P	縄文時代早期後半	砂穴	100	(39)	22	不明			1	
23号土坑	10区	26-P・Q	縄文時代中期後半	集石	72	(35)	19	横門形	1	6		第53図34 SS1の下から検出
24号土坑	10区	26-P	縄文時代中期後半	集石	62	(51)	14	横門形		14		SS1の下から検出
25号土坑	10区	26-P	縄文時代中期後半	集石	56	(51)	15	横門形		5		SS1の下から検出
26号土坑	10区	26-P	縄文時代中期後半	集石	(44)	(42)	8	不明	1	1	18	第54図60 SS1の下から検出
27号土坑	10区	26-P	縄文時代中期後半	集石	59	(21)	15	不明				SS1の下から検出
28号土坑	10区	26-P	縄文時代中期後半	集石	39	(22)	15	不整形	3	5		SS1の下から検出
29号土坑	10区	25-Q	縄文時代		60	(20)	16	不明	1			
30号土坑	10区	25-Q	縄文時代		54	(20)	16	不明	1	1		第53図36
31号土坑	10区	24・25-Q	縄文時代		(73)	(21)	(20)	不明	2			第53図37
32号土坑	10区	25-P	縄文時代		58	50	25	横門形				
33号土坑	10区	25-P	縄文時代		62	48	22	横門形				
35号土坑	10区東	27-P	縄文時代中期後半		(104)	(94)	11	横門形	6	19		第53図38～40
36号土坑	10区東	27-P	縄文時代中期後半		47	(17)	11	不明	1	1		第53図41
37号土坑	10区東	27-P	縄文時代中期後半		101	(55)	14	横門形	10	5		第53図42～47
38号土坑	10区東	28-O	縄文時代中期後半		74	(48)	24	横門形				
39号土坑	10区東	27・28-P	縄文時代早期後半	砂穴	(65)	(43)	50	横門形		2		
40号土坑	10区東	27-P	縄文時代早期後半	砂穴	81	(47)	36	横門形	2	2	2	第53図48、 第54図61
41号土坑	10区東	27-P	縄文時代中期後半		84	(29)	9	不明	1	2		第53図49
42号土坑	10区東	28-O・P	縄文時代早期後半		91	(76)	14	不整形	5			第53図50・51
43号土坑	10区東	28-O・P	縄文時代早期後半		53	(21)	20	不明				42号・43号で一体
44号土坑	10区東	28-O	縄文時代		80	(17)	18	不明				
45号土坑	10区東	27-P	縄文時代		(75)	(61)	18	横門形	4	6		
46号土坑	10区東	28-O	縄文時代		90	38	8	横門形				
47号土坑	10区東	28-O	縄文時代		64	(26)	21	不明				
48号土坑	10区東	28-O	縄文時代		30	(26)	17	不整形	2			第54図52
49号土坑	10区東	28-O	縄文時代		40	39	15	円形			1	
50号土坑	10区東	27・28-P	縄文時代		54	(35)	17	横門形	1	1		
51号土坑	10区東	27・28-O	縄文時代		161	(22)	16	不明	1	1		
53号土坑	12区西	42-H	縄文時代早期後半	砂穴	(99)	(64)	54	不整形				
54号土坑	13区西	43-H	縄文時代		(54)	54	20	横門形				
56号土坑	10区東	29-O	縄文時代中期後半		49	(37)	19	円形	1	1		第54図53
57号土坑	10区東	29-O	縄文時代		37	31	11	円形				
58号土坑	10区東	29-O	縄文時代		41	31	13	円形				
61号土坑	11区	35-L	縄文時代中期後半		71	(35)	27	不明	1	2		
63号土坑	11区	34-L	縄文時代早期後半		114	(45)	29	横門形	5	4		第54図54～56
64号土坑	11区	33-M	縄文時代		54	37	19	横門形				
65号土坑	11区	35-L	縄文時代		73	(36)	20	不整形			1	
66号土坑	11区	35-K	縄文時代		80	(47)	18	横門形				
67号土坑	11区	33・34-L	縄文時代		94	(50)	42	不明				
68号土坑	11区	34-L	縄文時代		48	(20)	11	不明				
71号土坑	11区	32-M	縄文時代早期後半	砂穴	87	(36)	16	不明				
72号土坑	11区	32-M	縄文時代早期後半	砂穴	(105)	(30)	29	不明	1			第54図57
73号土坑	11区	32-M・N	縄文時代早期後半	砂穴	101	(36)	48	不明	1		1	第54図58
74号土坑	11区	32-N	縄文時代早期後半	砂穴	—	—	23	不明		2		
75号土坑	11区	32-M	縄文時代		—	—	—	不明				

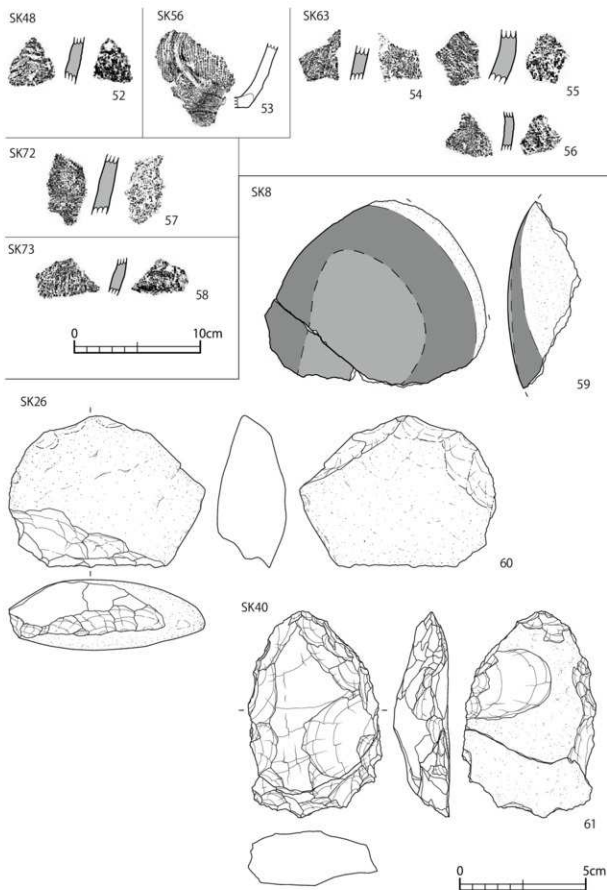
SK18



第52図 縄文時代の土坑出土遺物(1)(1/3)

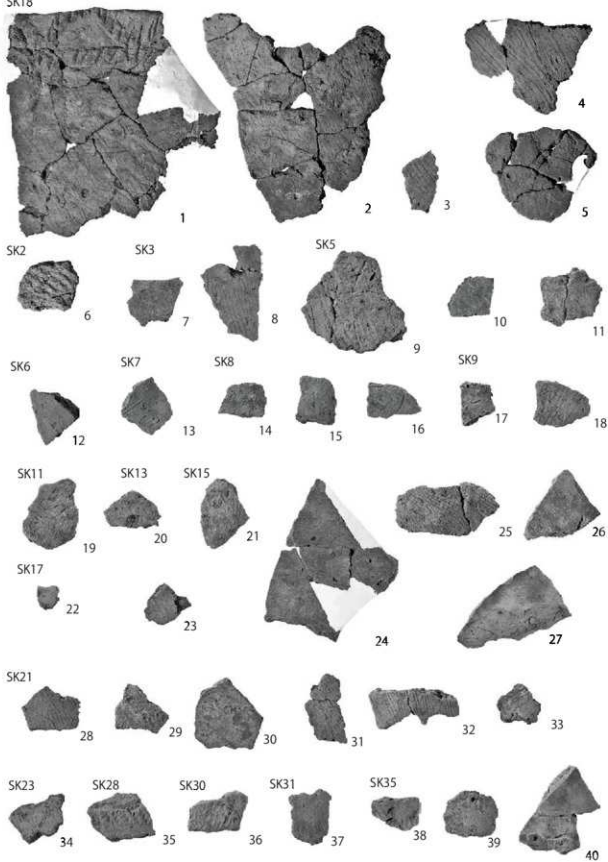


第53図 縄文時代の土坑出土遺物(2) (1/3)

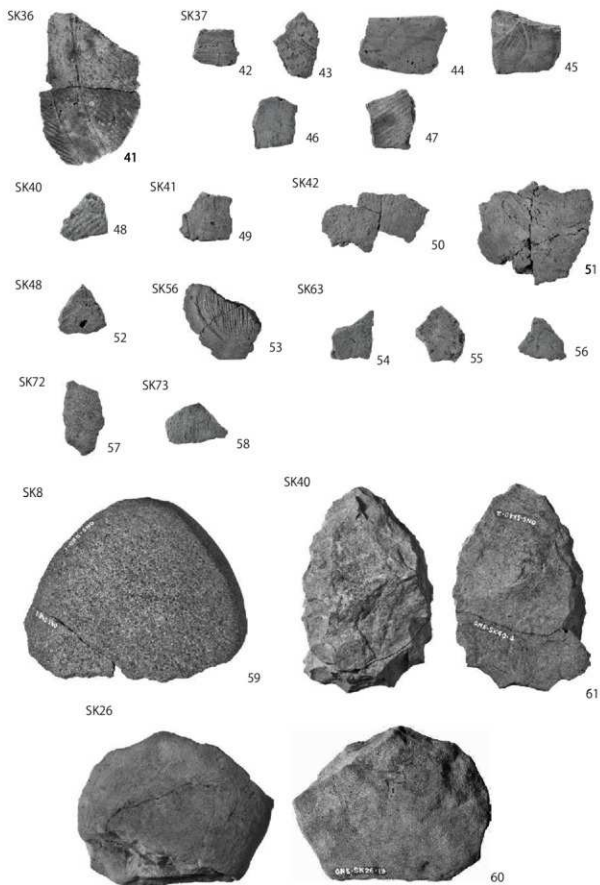


第54図 縄文時代の土坑出土遺物(3) (1/3・2/3)

SK18



第55図 縄文時代の土坑出土遺物写真(1)



第56図 縄文時代の土坑出土遺物写真(2)

第22表 縄文時代の土坑出土縄文土器観察表

図番	遺構	時期	型式	器種	部位	源形・文様の特徴	胎土	焼成	色調	備考
1	SK18	早期後半	条紋文系	深鉢	口縁部から胴部	口縁部外面に黒炭状の残存。底部に目録後継文。条紋文	織物、長石、赤色砂粒、石英	普通	10YR3/2	黒褐色 口径 27.3cm
2	SK18	早期後半	条紋文系	深鉢	胴部	条紋文	織物、長石、石英	良好	7.5YR4/4	褐色
3	SK18	早期後半	条紋文系	深鉢	胴部	条紋文	織物、長石、石英	良好	10YR3/4	褐色
4	SK18	早期後半	条紋文系	深鉢	胴部	条紋文	織物、長石、石英	良好	7.5YR4/4	褐色
5	SK18	早期後半	条紋文系	深鉢	胴部	条紋文	織物、長石、石英	良好	10YR3/4	褐色
6	SK2	早期後半	条紋文系	深鉢	胴部	単節 LR あるいは黒文文か	織物、小礫、長石、石英	普通	5YR6/6	褐色
7	SK4	早期後半	条紋文系	深鉢	口縁部	波状口縁。口縁部は平凹。条紋文	織物、長石、石英	良好	10YR3/4	褐色
8	SK4	早期後半	条紋文系	深鉢	胴部	条紋文	織物、長石、石英	良好	7.5YR5/4	にない褐色
9	SK5	早期後半	条紋文系	深鉢	胴部	内外面に条紋文	織物、長石、石英	普通	5YR6/6	褐色
10	SK5	早期 / 前期	条紋文系	深鉢	胴部	外面に強いナデ	織物、長石、角閃石	普通	10YR4/3	にない黄褐色
11	SK5	早期 / 前期	条紋文系	深鉢	胴部	織物、長石、角閃石	良好	5YR6/6	褐色	
12	SK6	早期後半	条紋文系	深鉢	胴部	条紋文をナデ消す	織物、長石、石英	良好	7.5YR6/4	にない褐色
13	SK7	早期後半	条紋文系	深鉢	胴部	条紋文	織物、小礫、長石、石英、角閃石	良好	5YR5/6	明赤褐色
14	SK8	早期 / 前期	条紋文系	深鉢	胴部	黒文文または単節 LR	織物、小礫、長石、チャート	良好	7.5YR6/4	にない褐色
15	SK8	早期後半	条紋文系	深鉢	胴部	条紋文後ナデ	織物、長石、石英	良好	7.5YR6/6	褐色
16	SK8	中期後半	加曽利 E3	深鉢	胴部	沈線、磨治縄文、単節 LR	長石、石英	良好	10YR4/3	にない黄褐色
17	SK9	早期前半	条紋文系 口縁式	口縁部	口縁部が外側に膨らみ、その部分を1.5センチ、黒文文	長石、石英	普通	7.5YR5/4	にない褐色	
18	SK9	早期後半	条紋文系	深鉢	胴部	条紋文	織物、黒色砂粒、長石、石英	普通	7.5YR5/6	明褐色
19	SK11	早期後半	条紋文系	深鉢	胴部	内外面に条紋文	織物、長石、石英、角閃石	良好	7.5YR4/4	褐色
20	SK13	早期 / 前期	条紋文系	深鉢	胴部	織物、長石、石英	普通	7.5YR6/6	褐色	
21	SK15	早期後半	条紋文系	深鉢	胴部	内外面に条紋文、胴部下平か	織物、小礫、長石、石英、角閃石	良好	7.5YR6/4	にない褐色
22	SK17	早期 / 前期	条紋文系	深鉢	口縁部	口縁部は波状か	織物、長石、石英	普通	5YR5/6	明赤褐色
23	SK17	早期後半	条紋文系	深鉢	胴部	条紋文	織物、長石、石英	良好	10YR4/2	灰黄褐色
24	SK17、SK1	早期後半	条紋文系	深鉢	胴部	内外面に条紋文	織物、小礫、長石、石英、角閃石	普通	10YR4/1	灰褐色
25	SK17	早期後半	条紋文系	深鉢	胴部	条紋文	織物、小礫、長石、角閃石	普通	7.5YR4/3	褐色
26	SK17	早期後半	条紋文系	深鉢	胴部	条紋文	織物、長石を多量に含む、小礫、石英	良好	10YR3/2	黒褐色
27	SK17	中期後半	加曽利 E3/E4	深鉢	胴部	縞面状条紋、内面ミガキ	小礫、長石、石英、角閃石	良好	10YR7/3	にない黄褐色
28	SK21	早期後半	条紋文系	深鉢	胴部	条紋文	織物、長石を多量に含む、石英	普通	10YR4/4	褐色
29	SK21	早期後半	条紋文系	深鉢	胴部	条紋文	織物、長石、角閃石	良好	7.5YR7/6	褐色
30	SK21	早期後半	条紋文系	深鉢	胴部	条紋文	織物、長石、石英、角閃石	良好	7.5YR6/4	にない褐色
31	SK21	早期後半	条紋文系	深鉢	胴部	条紋文	織物、長石、石英	良好	7.5YR6/7 #N/A	
32	SK21	早期後半	条紋文系	深鉢	胴部	条紋文	織物、長石、石英	良好	7.5YR6/6	褐色
33	SK21	早期後半	条紋文系	深鉢	胴部	条紋文	織物、長石	普通	10YR5/4	にない黄褐色
34	SK23	早期後半	加曽利 E3/E4	深鉢	胴部	縞面状条紋、内面ミガキ	黒色砂粒、シャモット、長石、石英	良好	10YR7/4	にない黄褐色
35	SK28	早期後半	加曽利 E3	深鉢	口縁部	沈線、磨治縄文、単節 LR	黒色砂粒（風化した角閃石）を多量に含む、長石、チャート、石英	良好	5YR4/6	明赤褐色
36	SK30	早期後半	条紋文系	深鉢	胴部	内外面に条紋文	織物、長石、石英、角閃石	良好	7.5YR6/4	にない褐色
37	SK31	早期後半	条紋文系	深鉢	胴部	外面ユビナデ	小礫、長石、角閃石	良好	2.5YR5/6	明赤褐色
38	SK35	早期後半	条紋文系	深鉢	胴部	内外面に条紋文	織物、長石、角閃石	良好	10YR5/4	にない黄褐色
39	SK35	早期後半	条紋文系	深鉢	胴部	条紋文。胎土に鉱物がほとんど含まれない	織物、長石	普通	7.5YR6/4	にない褐色
40	SK35	中期後半	加曽利 E4/4	深鉢	胴部	把手あり	小礫、長石、石英	良好	7.5YR5/4	にない褐色
41	SK36、加曽利 E3	早期後半	加曽利 E3	深鉢	胴部	沈線、磨治縄文、単節 LR	長石、石英、角閃石	普通	10YR6/2	灰黄褐色
42	SK37	早期後半	条紋文系	深鉢	口縁部	口縁部が外側に膨らみ、その部分を1.5センチ、黒文文	織物、長石、石英、雲母	良好	10YR3/2	黒褐色
43	SK37	前期前半	条紋文系	深鉢	胴部	単節 LR (か) と黒文文 (か)	織物、小礫、長石、角閃石	良好	7.5YR6/4	にない褐色
44	SK37	早期後半	加曽利 E3	深鉢	口縁部	口縁部は平凹、口縁部に平行な沈線、縞面状条紋	長石、チャート、石英、角閃石	良好	7.5YR6/6	褐色
45	SK37	中期後半	加曽利 E4	深鉢	胴部	沈線による1 (口) 字対向文、磨治縄文、単節 LR、内面ミガキ、縞面状条紋がよく残る	小礫、長石、石英	良好	7.5YR6/6	褐色
46	SK37	中期後半	条紋文系	深鉢	胴部	外面ミガキ	長石、石英、角閃石	良好	7.5YR7/6	褐色
47	SK37	中期後半	加曽利 E3/E4	深鉢	胴部	単節 LR、内面ミガキ	長石、石英	良好	10YR7/3	にない黄褐色
48	SK40	前期前半	条紋文系	深鉢	胴部	単節 LR、胎土黒い	織物、小礫、長石	悪い	2.5Y7/2	灰黄色
49	SK41	中期後半	加曽利 E3	深鉢	胴部	沈線、単節 LR	小礫、長石、角閃石	普通	7.5YR7/4	にない褐色
50	SK42	早期後半	条紋文系	深鉢	胴部	条紋文	織物、長石、石英	普通	7.5YR5/8	明褐色
51	SK42	早期後半	条紋文系	深鉢	胴部	条紋文	織物、小礫、長石、石英	普通	7.5YR6/4	にない褐色
52	SK48	早期 / 前期	条紋文系	深鉢	胴部	竹筒による縞刺文	織物、小礫、長石、角閃石、石英	良好	7.5YR6/6	褐色
53	SK56	中期後半	加曽利 E3	深鉢	胴部	縞面状条紋、縞面状条紋、底部外面ミガキ	長石、小礫、角閃石	良好	5YR4/4	にない赤褐色
54	SK63	早期後半	条紋文系	深鉢	胴部	条紋文後ナデ	織物、角閃石を多量に含む、長石	良好	5YR5/6	明赤褐色
55	SK63	早期後半	条紋文系	深鉢	胴部	条紋文、胎厚厚い	織物、長石、石英	普通	7.5YR6/6	褐色
56	SK63	早期後半	条紋文系	深鉢	胴部	条紋文後ナデ	織物、角閃石を多量に含む、長石	良好	5YR5/6	明赤褐色
57	SK72	早期 / 前期	条紋文系	深鉢	胴部	胎土に砂粒を多量に含むためやや黒い	織物、長石を多量に含む、石英、角閃石	良好	5YR5/6	明赤褐色
58	SK73	早期後半	条紋文系	深鉢	胴部	条紋文	織物、長石、石英、角閃石	良好	7.5YR5/6	明褐色

第 23 表 縄文時代の土坑出土縄文石器観察表

図 番	遺構	時期	部類	石材	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重量 (g)	備考
54	59 SK8	縄文中期	滑石	砂岩	74.0	88.0	29.0	20.2	
56	60 SK26	縄文	燧石	ホルンフェルス	60.5	78.0	28.0	152.4	
	61 SK40	縄文早期後半	鹿角形片対石片	凝灰質砂岩	82.0	53.0	22.0	113.8	

63 号土坑 (SK63) (第 41 図、第 20・21 表)

明瞭な掘り込みを有する。遺物は、縄文土器 5 点と礫 4 点が出土した。第 54 図 54 から 56 は、条痕文系の深鉢胴部である。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代早期後半であると考えられる。

64 号土坑 (SK64) (第 41 図、第 20・21 表)

明瞭な掘り込みを有する。遺物は出土しなかった。

65 号土坑 (SK65) (第 41 図、第 20・21 表)

明瞭な掘り込みを有する。遺物は、礫 1 点が出土した。

66 号土坑 (SK66) (第 41 図、第 20・21 表)

浅い土坑である。遺物は出土しなかった。

67 号土坑 (SK67) (第 41 図、第 20・21 表)

深さ 42cm の掘り込みの深い土坑である。遺物は出土しなかった。

68 号土坑 (SK68) (第 41 図、第 20・21 表)

浅い土坑である。遺物は出土しなかった。

71 号土坑 (SK71) (第 42 図、第 20 表・21)

炉穴である。72 号～74 号土坑と共に炉穴群を形成する。72 号土坑を切る。遺物は出土しなかった。遺構の時期は、遺物を伴う他の炉穴との類似性から、縄文時代早期後半であると考えられる。

72 号土坑 (SK72) (第 42 図、第 20・21 表)

炉穴である。71 号・73 号・74 号土坑と共に炉穴群を形成する。71 号・73 号・75 号土坑に切られる。遺物は、縄文土器 1 点が出土した。第 54 図 57 は早期から前期の深鉢胴部である。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代早期後半であると考えられる。

73 号土坑 (SK73) (第 42 図、第 20・21 表)

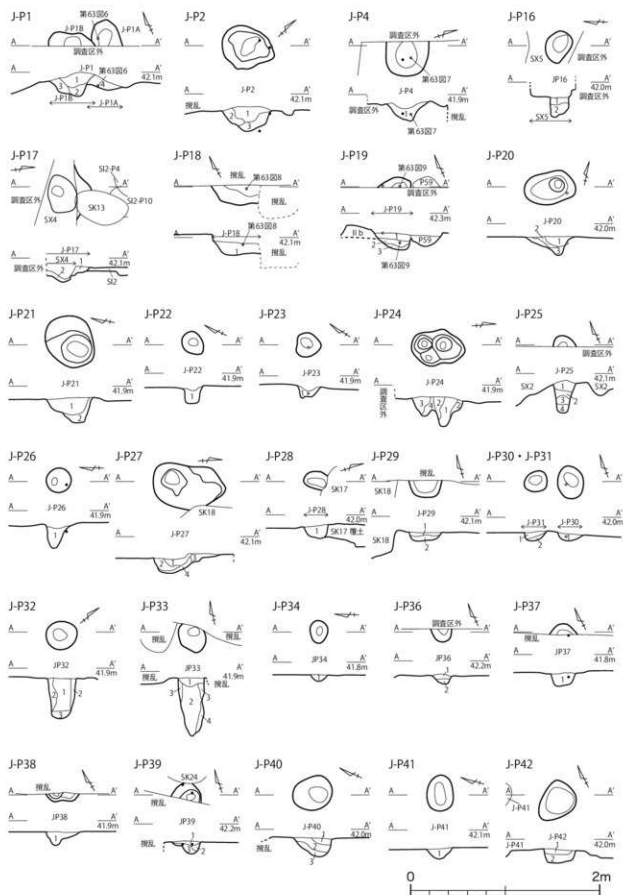
深さ 48cm の掘り込みの深い炉穴である。71 号・72 号・74 号土坑と共に炉穴群を形成する。72 号土坑を切り、75 号土坑に切られる。74 号土坑と切り合う可能性がある。遺物は、縄文土器 1 点と焼成粘土塊 1 点が出土した。第 54 図 58 は条痕文系の深鉢胴部である。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代早期後半であると考えられる。

74 号土坑 (SK74) (第 42 図、第 20・21 表)

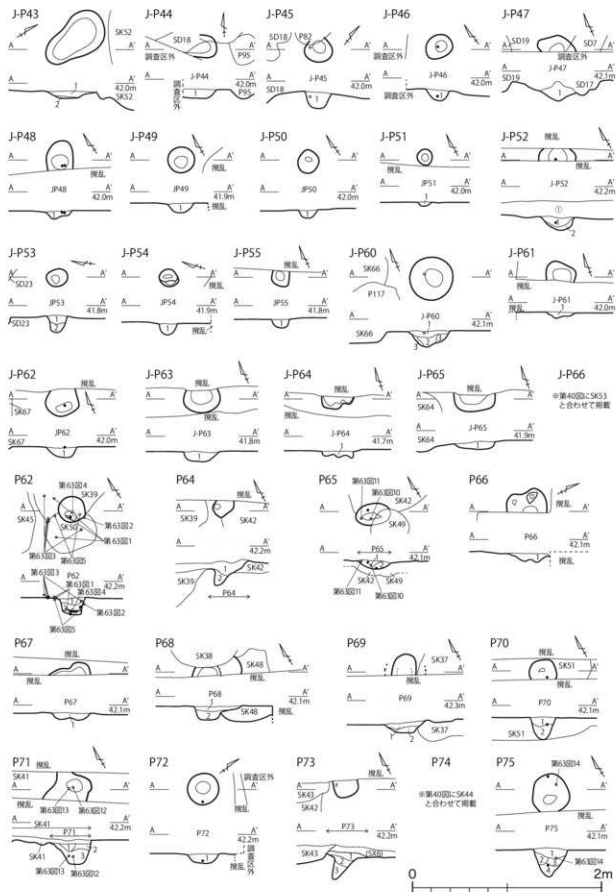
炉穴である。72 号～74 号土坑と共に炉穴群を形成する。73 号土坑と切り合う可能性がある。北側の調査区外に向かってさらに掘り込みが深くなっている可能性がある。遺物は、礫 2 点が出土した。遺構の時期は、遺構の状況から、縄文時代早期後半であると考えられる。

75 号土坑 (SK75) (第 42 図、第 20・21 表)

浅い土坑である。72 号・73 号土坑を切る。炉穴の一部の可能性があるが、詳細は不明である。遺物は出土しなかった。



第57図 縄文時代のピット(1) (1/40)



第58図 縄文時代のビット(2) (1/40)

第24表 縄文時代のピット土層説明一覧表(1)

[illegible]

第25表 縄文時代のピット土層説明一覧表(2)

遺構	層位	土質	色調	結性	しまり	含有物・備考
71号ピット	1	100%2/3	暗褐色	均	強	ローム粒(φ2~10mm)10%、赤褐色スクリゾ(φ1~2mm)11%
	2	100%2/3	暗褐色	均	強	ローム粒(φ2~10mm)10%
	3	ローム混じり土	100%3/4	暗褐色	強	硬塊 ローム7ロタ(φ20~30mm)10%、ローム粒(φ2~20mm)10%
72号ピット	1	100%3/4	暗褐色	強	均	ローム粒(φ2~15mm)10%、赤褐色スクリゾ(φ1~2mm)11%
	2	100%2/3	暗褐色	強	均	ローム粒(φ2~15mm)10%、赤褐色スクリゾ(φ1~2mm)11%
73号ピット	2	ローム混じり土	100%2/3	暗褐色	強	硬塊 ローム粒(φ2~20mm)20%、炭化物粒(φ1~5mm)11%、赤褐色スクリゾ(φ1~2mm)11%
	3	14混じりローム	100%3/4	暗褐色	均	硬塊 ロームが上層(80%以上)、ミミダミミダ(φ10~20mm)10%
74号ピット	1	25混じり土	100%2/3	暗褐色	均	硬塊 ローム粒(φ2~10mm)10%、炭化物粒(φ1~3mm)11%
	2	ローム混じり土	100%3/4	暗褐色	強	硬塊 ローム粒(φ2~20mm)20%
75号ピット	3	100%3/4	暗褐色	均	均	ローム粒(φ2~10mm)10%
	4	ローム混じり土	100%3/4	暗褐色	均	硬塊 ローム7ロタ(φ20~30mm)10%、ローム粒(φ2~20mm)10%

C ピット

計62基のピットが検出された。縄文時代のピットには基本的に「J-」を付しているが、一部で例外的に付していないものがある。各遺構の土層説明は第24表と第25表、詳細は第26表に記載した。また、各遺構から出土した遺物は、第63図にまとめて掲載した。基本的な情報は各表に掲載し、特筆すべき以降について以下に記述する。

J-1号ピット (J-P1) (第57図、第24・26表)

浅いピットである。第63図6は前期の深鉢胴部である。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代前期と考えられる。

J-4号ピット (J-P4) (第57図、第24・26表)

SI1を切る浅いピットである。第63図7は加曽利E3またはE4式の深鉢胴部である。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代中期後半と考えられる。

J-16号ピット (J-P16) (第57図、第24・26表)

柱穴の可能性ある。遺物は出土しなかった。

J-18号ピット (J-P18) (第57図、第24・26表)

土坑状のピットである。第63図8は加曽利E3式の深鉢胴部である。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代中期後半と考えられる。

J-19号ピット (J-P19) (第57図、第24・26表)

第63図9は条痕文系の深鉢胴部である。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代早期後半と考えられる。

J-32号ピット (J-P32) (第57図、第24・26表)

深さ43cmの深いピットである。J-33号ピットの約2m西側に位置する。遺物は出土しなかったため、遺構の時期は不明である。

J-33号ピット (J-P33) (第57図、第24・26表)

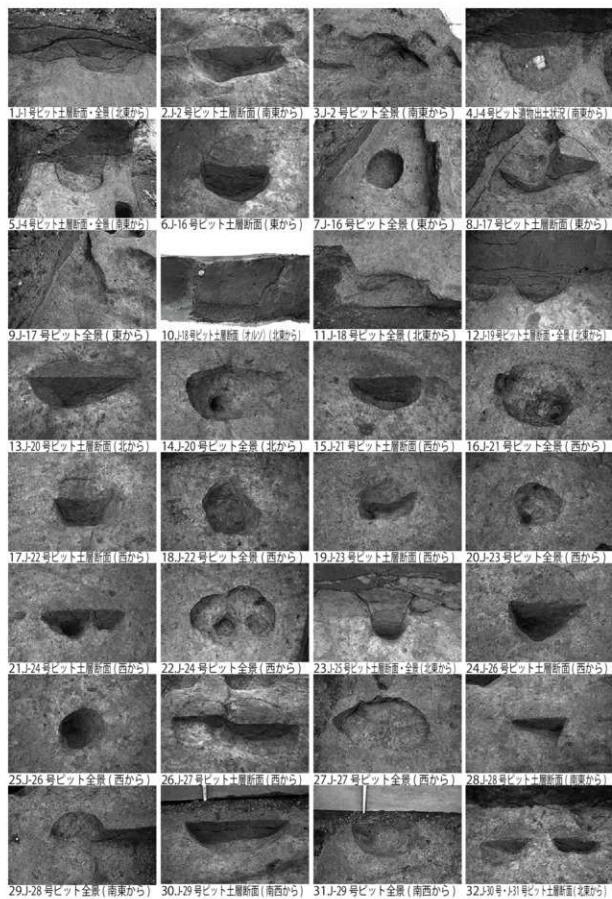
深さ61cmの深いピットである。J-32号ピットの約2m東側に位置する。また、J-33号ピットから約1.8m南東には、大型の柱穴の可能性のある3号土坑が位置しており、互いに関連する可能性がある。遺物は出土しなかったため、遺構の時期は不明である。

J-36号~J-39号ピット・72号ピット (J-P36~J-P39・P72) (第58図、第24・26表)

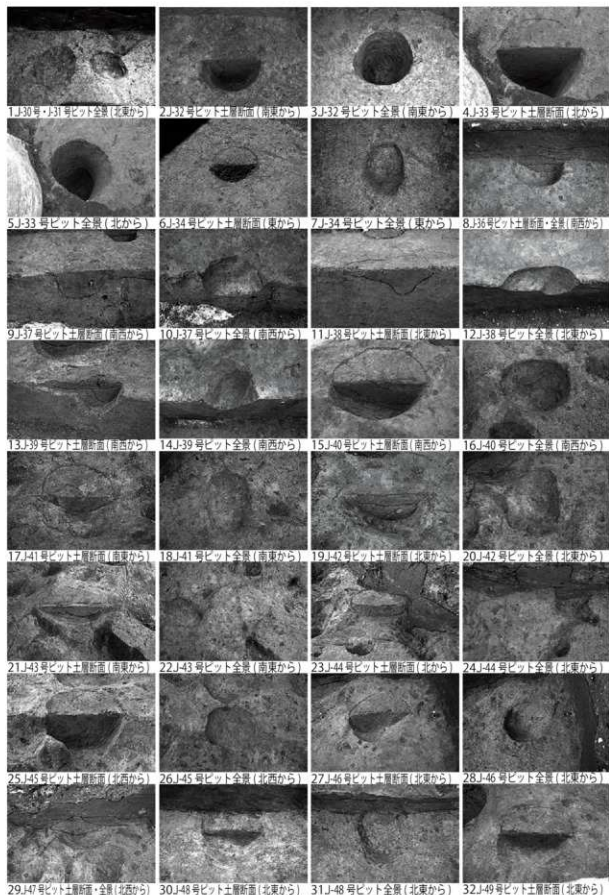
10区25・26-Pグリッドに位置し、1号集石(SS1)の下層で検出された。複数の礫も出土しているため、1号集石の一部である可能性がある。

62号ピット (P62) (第58図、第24・26表)

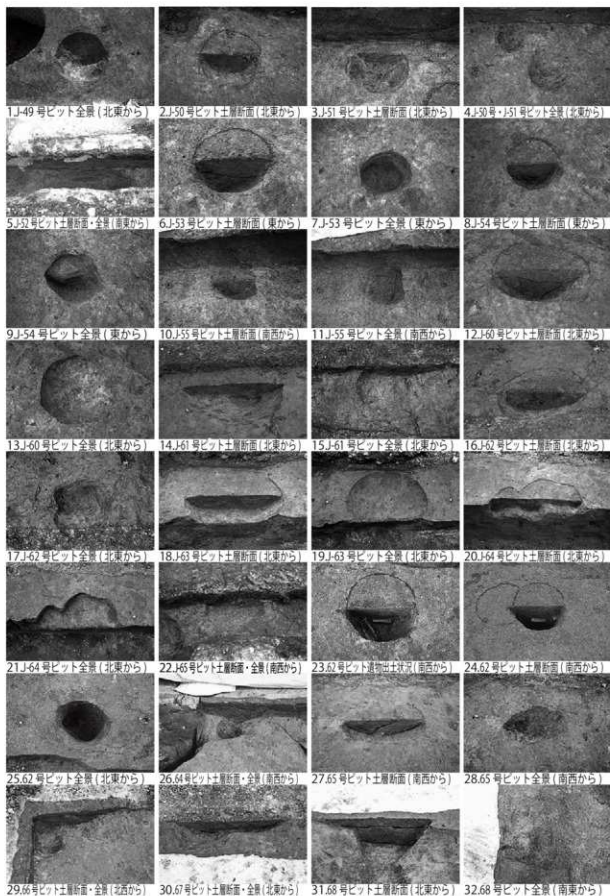
第63図1は加曽利E4式の深鉢の口縁部から胴部、2は口縁部、3から5は胴部である。1から



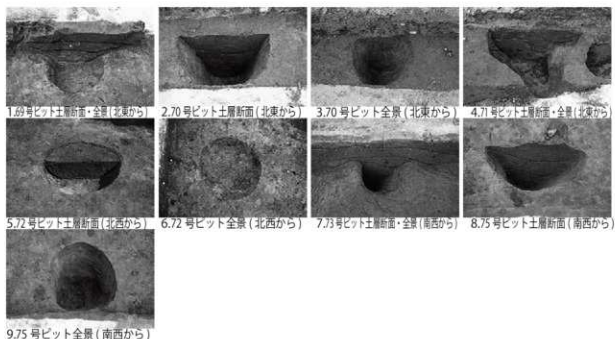
第59図 縄文時代のピット写真(1)



第60図 縄文時代のビット写真(2)



第61図 縄文時代のビット写真(3)



第62図 縄文時代のビット写真(4)

5は同一個体である可能性が高い。1は62号ビット出土片と上層の包含層出土片が接合したものである。また、2と3は上部の包含層で出土した破片であるが、同一個体の可能性が高いため、62号ビット出土遺物に準ずるものとした。ビットとしては比較的遺物出土点数が多いため、土器が意図的に埋設された遺構である可能性がある。

65号ビット (P65) (第58図、第24・26表)

浅いビットである。第63図10は条痕文系の深鉢胴部、11は条痕文系の深鉢底部である。11は尖底であるが、胴部に向かって水平に近い状態で立ち上がる。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代早期後半と考えられる。

71号ビット (P71) (第58図、第25・26表)

41号土坑(SK43)の内部に位置するビットである。第63図12は前期の深鉢胴部、13は中期後半の深鉢口縁部である。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代中期後半と考えられる。

75号ビット (P75) (第58図、第25・26表)

やや深いビットである。第63図14は早期から前期の深鉢胴部である。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代早期から前期と考えられる。

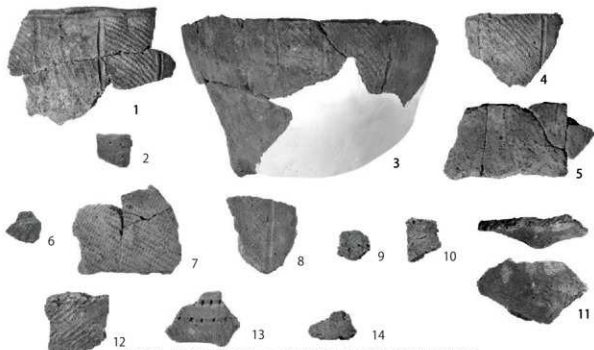
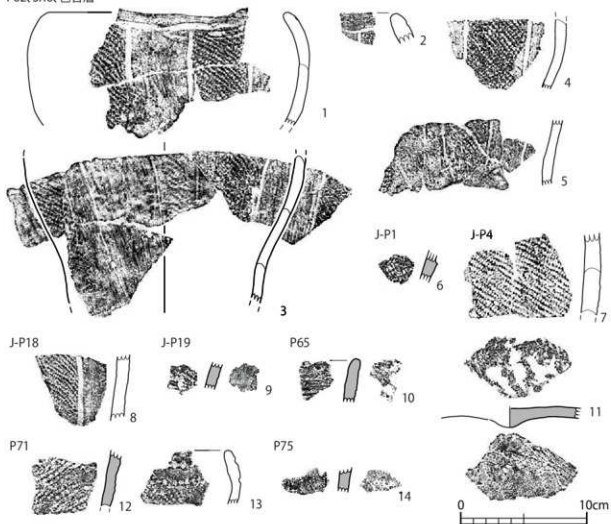
第 26 表 縄文時代のビット一覧表

遺構番号	調査区	グリッド	時期	遺構の性格	遺構のサイズ (cm)・形状			出土遺物 (点)	陶磁遺物	備考	
					長軸	短軸	深さ	平面形状			土器
J-1 号ビット A	9 区	20-R	縄文		30	(27)	6	不整形	1		第 63 図 6
J-1 号ビット B	9 区	20-R	縄文		48	(15)	17	不整形			
J-2 号ビット	9 区	19-S	縄文		56	45	26	不整形		2	
J-4 号ビット	9 区	18-S	縄文中期後半		45	(37)	20	楕円形	1		第 63 図 7
J-16 号ビット	10 区	24-P	縄文	柱穴	32	25	22	楕円形			
J-17 号ビット	10 区	24-P	縄文		41	30	15	楕円形			
J-18 号ビット	10 区	25-P	縄文中期後半		51	(21)	22	不明	1		第 63 図 8
J-19 号ビット	10 区	25-P	縄文		33	(11)	22	不明	2		第 63 図 9
J-20 号ビット	9 区	21-R	縄文		52	34	20	楕円形	1		
J-21 号ビット	9 区	22-R	縄文		58	49	27	円形			
J-22 号ビット	9 区	22-R	縄文		27	21	19	楕円形			
J-23 号ビット	9 区	22-R	縄文		27	26	13	円形	1		
J-24 号ビット	9 区	22-Q	縄文		57	39	31	楕円形			
J-25 号ビット	9 区	21-R	縄文	柱穴	23	(12)	32	不明			
J-26 号ビット	9 区	22-R	縄文		26	26	24	円形	1		
J-27 号ビット	9 区	21-R	縄文		77	(30)	45	17	楕円形		
J-28 号ビット	9 区	21-R	縄文		(23)	19	15	楕円形			
J-29 号ビット	9 区	21-R	縄文		35	(18)	9	不明			
J-30 号ビット	9 区	20・21-R	縄文		35	27	9	円形	1		
J-31 号ビット	9 区	20-R	縄文		25	20	10	楕円形			
J-32 号ビット	10 区	24-Q	縄文	柱穴	33	29	43	円形			
J-33 号ビット	10 区	24-Q	縄文	柱穴	(29)	28	61	楕円形			SK3・SK10 と直線状に並ぶ
J-34 号ビット	10 区	23-Q	縄文		22	19	7	楕円形			
J-36 号ビット	10 区	26-Q	縄文		22	(14)	9	不明			SS1 の下から検出
J-37 号ビット	10 区	25・26-Q	縄文		27	(12)	13	不明	1		SS1 の下から検出
J-38 号ビット	10 区	25-P・Q	縄文		34	(9)	15	不明			SS1 の下から検出
J-39 号ビット	10 区	26-P	縄文		32	(18)	13	不明	2		SS1 の下から検出
J-40 号ビット	13 区	43-H	縄文		43	34	20	楕円形			
J-41 号ビット	13 区	43-H	縄文		38	28	12	楕円形			
J-42 号ビット	13 区	43-H	縄文		45	34	15	不整形			
J-43 号ビット	13 区	43-H	縄文		72	43	8	楕円形			
J-44 号ビット	13 区	43-G	縄文		(30)	24	9	不明			
J-45 号ビット	13 区	44-H	縄文		30	(26)	18	円形	1		
J-46 号ビット	13 区	43-H	縄文		29	25	12	円形		1	
J-47 号ビット	13 区	43-H	縄文		41	(18)	11	不整形			
J-48 号ビット	10 区東	29-Q	縄文		(31)	28	9	楕円形	2		
J-49 号ビット	10 区東	29-Q	縄文		28	27	10	円形			
J-50 号ビット	10 区東	29-N・Q	縄文		24	21	9	円形			
J-51 号ビット	10 区東	29-N	縄文		17	16	5	円形			
J-52 号ビット	10 区東	29-N	縄文		39	(13)	15	楕円形	1		
J-53 号ビット	10 区東	29-Q	縄文		22	18	18	円形			
J-54 号ビット	10 区東	29-N	縄文		21	18	12	円形			
J-55 号ビット	10 区東	29-Q	縄文		18	(16)	9	不整形			
J-60 号ビット	11 区	35-K	縄文		46	45	18	円形	1		
J-61 号ビット	11 区	36-K	縄文		29	(20)	7	不整形			
J-62 号ビット	11 区	34-L	縄文		35	(29)	11	楕円形		1	
J-63 号ビット	11 区	33-M	縄文		39	(24)	11	楕円形			
J-64 号ビット	11 区	33-M	縄文		33	(13)	8	不整形			
J-65 号ビット	11 区	33-M	縄文		43	(17)	9	不明			
J-66 号ビット	12 区	42-H	縄文		13	11	43	円形			SK53 を切る
62 号ビット	10 区東	27・28-P	縄文時代中期後半	土器埋納遺構の可能性あり	28	26	19	円形	4	1	第 63 図 1～5
64 号ビット	10 区東	28-P	縄文		20	(17)	28	不整形			
65 号ビット	10 区東	28-Q	縄文		37	22	10	楕円形	2	1	第 63 図 10・11
66 号ビット	10 区東	28-Q	縄文		42	(25)	8	不整形			
67 号ビット	10 区東	28-Q	縄文		42	(13)	8	不整形			
68 号ビット	10 区東	28-Q	縄文		30	(14)	15	不明			
69 号ビット	10 区東	27-P	縄文		26	(22)	13	楕円形			
70 号ビット	10 区東	27-Q	縄文		28	(21)	24	円形	1		
71 号ビット	10 区東	27-P	縄文時代中期後半か		(53)	(32)	21	不整形	2		第 63 図 12・13
72 号ビット	10 区東	27-P	縄文		33	32	10	円形		1	SK41 の内部
73 号ビット	10 区東	28-Q	縄文		26	(18)	29	不明			SS1 の下から検出
74 号ビット	10 区東	28-Q	縄文		17	(14)	33	円形			SK44 の内部
75 号ビット	10 区東	28-Q	縄文		(40)	39	31	円形	1		第 63 図 14

※ J-3 号、J-5 号～J-16 号ビットは SS1 内部ビット

※ J-56 号～J-58 号ビットは近畿以降のビット

P62, SX6, 包含層



第63図 縄文時代のピット出土縄文土器 (1/3)・縄文土器写真

第 27 表 縄文時代のピット出土縄文土器観察表

図番号	遺構	時期	型式	部材	部位	器形・文様の特徴	胎土	焼成	色調	備考	
1	62号ピット、 包含層	中期後半	加曾利 E4	深鉢	口縁部 から胴部	沈線、磨消縄文、単節 L	小礫、長石、シャモット、 石英、角閃石	良好	5YR5/6	明赤褐色	口径 19.0cm
2	包含層	中期後半	加曾利 E4	深鉢	口縁部	沈線、内面ミガキ	チャート、長石、赤色砂 粒	良好	7.5YR5/4	にぶい褐色	同 群 体
3	包含層	中期後半	加曾利 E4	深鉢	胴部	沈線による U 字対向文、磨 消縄文、単節 L、内面ミガ キ	チャート、長石、石英、 赤色砂粒	良好	5YR5/6	明赤褐色	
4	62号ピット	中期後半	加曾利 E4	深鉢	胴部	沈線、磨消縄文、単節 L、 内面ミガキ	小礫、長石、石英、シャモ ット、角閃石	良好	5YR5/6	明赤褐色	
5	62号ピット	中期後半	加曾利 E4	深鉢	胴部	沈線、磨消縄文、単節 L、 内面ミガキ	小礫、長石、石英	良好	7.5YR6/6	褐色	
6	71号ピット	前期		深鉢	胴部	単節 L	繊維、小礫、長石、石英	普通	10YR3/3	暗褐色	
7	74号ピット	中期後半	加曾利 E3/E4	深鉢	胴部	縦方向の幅広い沈線、単節 L	角閃石を多量に含む、長 石、石英	良好	10YR7/4	にぶい黄褐色	
8	81号ピット	中期後半	加曾利 E3	深鉢	胴部	沈線、磨消縄文、単節 L	長石、石英、角閃石	良好	10YR4/4	褐色	
9	91号ピット	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文、内面ミガキ	繊維、長石、石英	良好	7.5YR6/6	褐色	
10	105号ピット	早期後半	条痕文系	深鉢	口縁部	口縁部はやや平坦、条痕文	繊維、小礫、長石、石英	普通	7.5YR6/4	にぶい褐色	
11	116号ピット	早期後半	条痕文系	深鉢	底部	尖底土器	繊維、長石、石英	普通	7.5YR4/3	褐色	
12	71号ピット	前期		深鉢	胴部	無節 L	繊維、長石、石英、角閃 石	良好	10YR4/3	にぶい黄褐色	
13	71号ピット	中期後半		深鉢	口縁部	平行沈線内に刺突文	シャモット、長石、石英	やや 悪い	7.5YR6/6	褐色	
14	75号ピット	早期/前期		深鉢	胴部	外面ナデ	繊維、長石、石英	普通	7.5YR6/6	褐色	

D 集石

計 2 基の集石が検出された。各遺構から出土した遺物は、第 67・68 図にまとめて掲載した。

1 号集石 (SS1) (第 64・65 図)

10 区西側の 25・27-P、25・26-Q グリッドで検出された。掘乱のため全体の規模は不明であるが、水平方向では北西から南東方向にかけて約 11m の幅を有し、垂直方向では約 25cm の幅で分布する。遺構全体の明確な掘り込みはないが、土層はⅡ b 層とはやや異なる。23・28、34・35 号土坑、J-36・J-39 号ピット、72 号ピットは 1 号集石の下面から検出された。特に土坑からは礫が多く出土している。これらの遺構が集石に伴う掘り込みである可能性がある。

遺物は、縄文土器 46 点と石器 1 点、礫 328 点が出土した。集石を構成する礫の石材の割合は、約 60% を砂岩が占め、次いで 30% 以上をチャートと珪質頁岩が占める。この割合は、現在の荒川の河原を構成する礫と類似する(柴田 2005)。礫のうち約 18% にあたる 59 点に被熱が認められる。礫の接合関係は少なく、砂岩が 2 点ずつ 2 組接合したのみである。

第 67 図 1 は前期の深鉢口縁部、2 は深鉢胴部である。3 から 9 は中期後半の土器で、4・5 は加曾利 E4 式の深鉢胴部、9 は胴部から底部である。5 は微隆起文を有し、無節 L の縄文が施文される。9 は沈線による U 字対向文の内側に櫛歯状条線が施文される。14 は閃緑岩の石皿の破片で、片面に磨滅面を有する。

遺物の主体が縄文時代中期後半であることから、遺構の年代もそこに該当すると考えられる。なお、1 号集石に隣接する第四次調査地点において、同時期の集石(1 号集石)が確認されており(東京都埋蔵文化財センター 2020)、これに連続する遺構である可能性がある。

2 号集石 (SS2) (第 66 図)

10 区中央部の 29・30-N・O グリッドで検出された。掘乱のため全体の規模は不明であるが、水平方向では北西から南東方向にかけて約 3m の幅を有し、垂直方向では約 25cm の幅で分布する。遺構全体の明確な掘り込みはない。土層はⅡ b 層と似る。

遺物は、縄文土器 31 点と礫 98 点が出土した。集石を構成する礫の石材の割合は、約 70% を砂岩



1. 1号集石上面礫出土状況(南西から)



2. 1号集石下面礫出土状況(南西から)



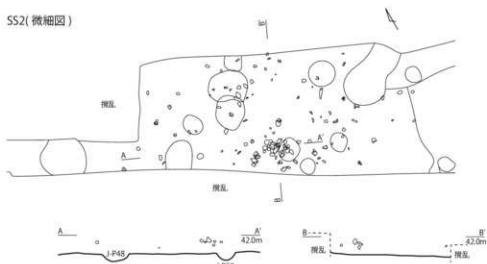
3. 1号集石土層断面(南西から)

第65図 1号集石写真

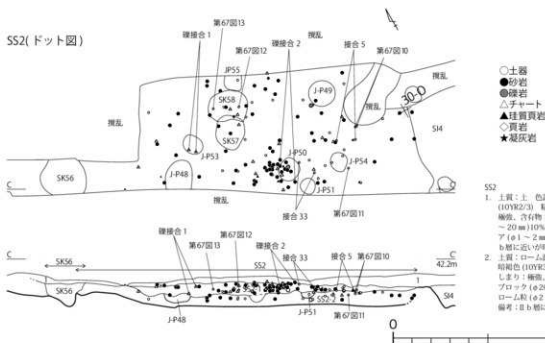
が占め、次いで20%以上をチャートと珪質頁岩が占める。この割合は、現在の荒川の河原を構成する礫と類似する(柴田2005)。礫のうち約42%にあたる41点に被熱が認められる。礫の接合関係は少なく、砂岩2点1組とチャート2点1組が接合したのみである。

第67図10は前期の深鉢口縁部、11は条痕文系の深鉢底部、12・13は中期後半の深鉢口縁部である。遺物の主体が縄文時代中期後半であることから、遺構の年代もそこに該当すると考えられる。

SS2(微細図)



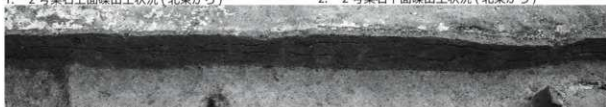
SS2(ドット図)



1. 2号集石上面礫出土状況 (北東から)

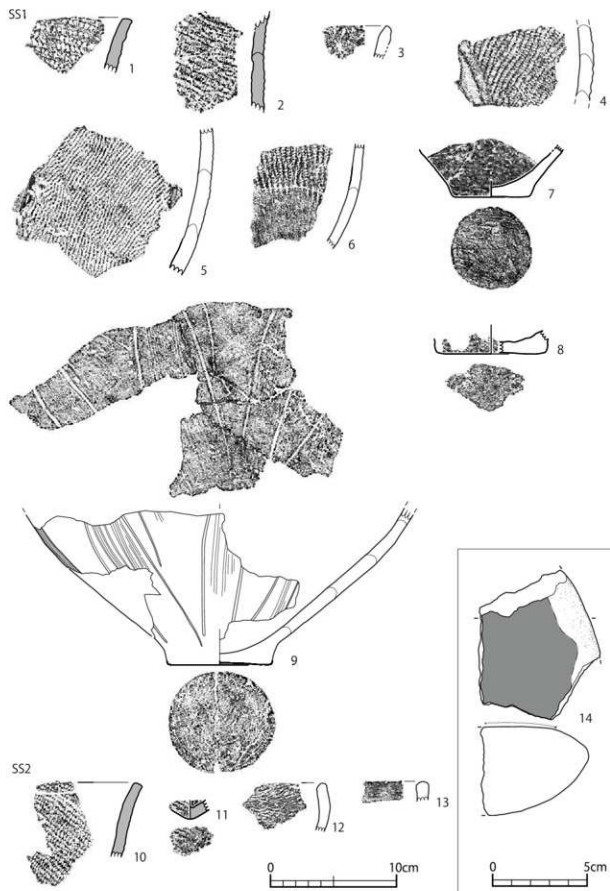


2. 2号集石下面礫出土状況 (北東から)

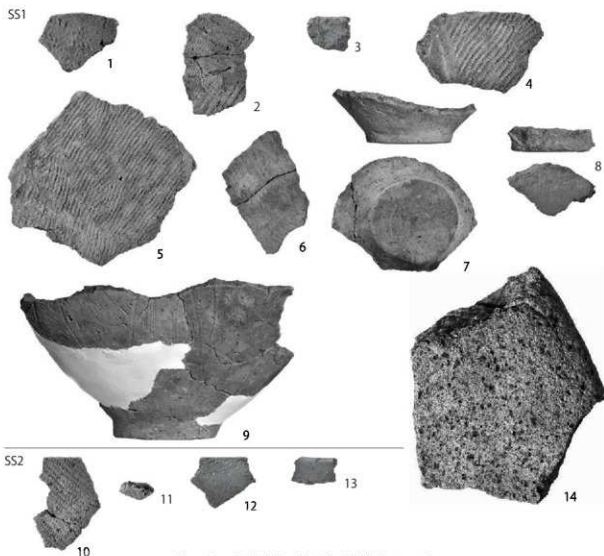


3. 2号集石土層断面 (北東から)

第66図 2号集石 (1/40)・2号集石写真



第67図 縄文時代の集石出土遺物 (1/3・1/2)



第68図 縄文時代の集石出土遺物 (1/3・1/2)

第 28 表 縄文時代の集石出土縄文土器観察表

図 番号	遺構	時期	型式	器種	部位	器形・文様の特徴	胎土	焼成	色調	備考
1	67・68 1号集石	前期		深鉢	口縁部	口縁部は平坦、單節 RL	礫質、チャート、長石、石英、角閃石	良好	7.5YR4/3	褐色
2		前期		深鉢	胴部	單節 RL・LR (羽状縄文)	礫質、小礫、長石、石英	良好	7.5YR6/6	褐色
3		中期?		深鉢	口縁部	口縁部はやや平坦	長石、石英、角閃石	良好	5YR7/6	褐色
4		中期後半	加曾利 E4	深鉢	胴部	微隆起縄文、單節 LR	長石を多量に含む、チャート、石英	やや悪い	5YR8/6	褐色
5		中期後半	加曾利 E4	深鉢	胴部	幾時起、無節し、内面ミガキ、内面に軸状ミガキあり	長石、石英	良好	5YR5/4	にぶい赤褐色
6		中期後半		深鉢	胴部	單節 短	小礫、長石、石英	普通	7.5YR6/4	にぶい褐色
7		中期後半		深鉢	底部	胴部・底部外面ミガキ、内面ミガキ	長石、角閃石	良好	10YR6/4	にぶい黄褐色 底径 6.0cm
8		中期		深鉢	底部	底部外面は中央がやや窪む	小礫、長石、石英、角閃石	良好	7.5YR4/6	褐色 底径 8.5cm
9		中期後半	加曾利 E4	深鉢	胴部から底部	沈線による U 字対向文の内側に軸状ミガキ、内面ミガキ	小礫、長石、赤色砂粒、石英	良好	5YR6/6	褐色 底径 8.2cm
10		前期		深鉢	胴部	口縁部は平坦、口縁部と外面に單節 RL	礫質、小礫、長石、石英	良好	10YR2/2	黒褐色
11		早期後半	糸組文系	深鉢	底部	糸組文、尖底土類	礫質、長石、石英	普通	5YR6/6	褐色
12		中期		深鉢	口縁部	口縁部はやや平坦、無節しまたは反節	長石、チャート、角閃石	良好	7.5YR5/4	にぶい褐色
13		中期		深鉢	口縁部	口縁部ミガキ	長石、石英、角閃石	良好	5YR4/6	明赤褐色

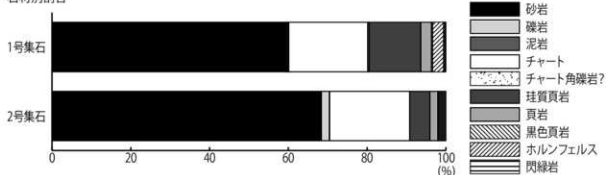
第 29 表 縄文時代の集石出土縄文石器観察表

図 番号	遺構	出土層位	時期	器種	石材	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重量 (g)	備考
同上	14	1号集石	縄文 石組	四角刮削		1119.0	696.0	70.0	940.0	

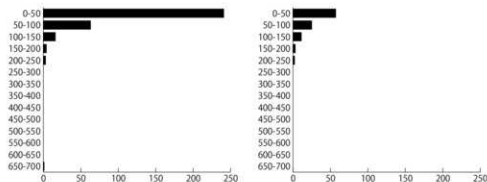
第30表 縄文時代集石出土礫組成表

	遺構	石材組成											合計
		砂岩	礫岩	泥岩	ホルンフェルス	黒色頁岩	頁岩	珪質頁岩	チャート	チャート角礫岩?	凝灰岩	閃緑岩	
点数	1号集石	195	1	1	9	1	9	43	66	1	1	1	328
	2号集石	67	2				2	5	20			2	98
	合計	262	3	1	9	1	11	48	86	1	3	1	426
重量(g)	1号集石	8583.8	141.8	40.9	328.1	1	186	1,280.7	2,391.4	106.1	12.5	7.1	13,079.4
	2号集石	3733.7	89.8				16	178.8	1,211.1			81.5	5,310.9
	合計	12317.5	231.6	40.9	328.1	1	202	1,459.5	3,602.5	106.1	94	7.1	18,390.3

石材別割合



重量分布ヒストグラム



第69図 縄文時代の集石出土礫グラフ

2) 遺構外出土遺物 (第71～77図・第31～33表)

遺構に伴わない包含層出土遺物と、近世以降の遺構や掘削等から出土した遺物を合わせて遺構外出土遺物とした。縄文時代の遺物は、主に9区から11区で出土した。12区・13区では出土しなかった。第70図に土器と石器に分けた分布図を示す。調査範囲の多くが掘削で分断されているため、厳密な傾向を示すことはできないが、9区と10区に分布の中心があると捉えることが可能である。

土器を時期別に見ると、中心は早期後半の条痕文系土器と中期後半の加曽利E3からE4式土器となり、遺構の分布と一致する。他に、早期前半、前期前半、前期後半、中期初頭、中期前半の土器も少数であるが出土している。石器については、時期が不明確なものが多いが、一部に早期に特有のものが含まれる。

第71図1から3は早期前半の深鉢である。1は三戸式の深鉢口縁部である。口唇部は平坦で、内傾する。2・3は沈線文系の深鉢口縁部である。

4から26は早期後半の条痕文系土器である。4から14は口縁部である。4・5は打越式の深鉢口縁部で、刺突文を有する。同一個体の可能性がある。6は口唇部と外面に竹管による円形刺突文を有する。10は鋸歯状隆帯に刺突文が施され、18号土坑で出土した個体と類似する。11・12は子母口式の深鉢口縁部である。12は口唇部と外面に連続刺突文を有する。15から24は胴部である。25・

26は深鉢底部で、尖底である。

27から34は前期前半の土器である。27から30は口縁部である。31は深鉢胴部で、大きく内湾する。32から34は底部である。33は外面に無節Lの縄文が施文される。34は花積下層式の深鉢底部で、高台形の突起を有する。

第72図35は前期後半の諸磯式土器である。外面に原体の押し付けが浅い単節RLの縄文が施文される。

36から38は前期末の十三菩提式土器であり、全て20-Rグリッドで近接して出土していることから、同一個体の可能性が高い。

39・40は後期初頭の五領ヶ台式土器である。

41・42は後期前半の阿玉台式土器である。41は深鉢口縁部で、波状沈線が施文される。42は深鉢胴部で、雲母を多量に含む。

43から45は後期前半の勝坂式土器である。

46から55は後期後半の加曽利E3式土器である。46から51は深鉢口縁部で、46・47は口縁部文様帯を有し、加曽利E3式の中でも古相を示す。52から55は深鉢胴部である。

56・57は加曽利E3またはE4式土器の口縁部である。

58から第73図73は加曽利E4式土器である。第72図58から62は深鉢口縁部、63から第73図73は深鉢胴部である。65は微隆起文による対向U字文が施される。71は沈線による対向U字文、73は沈線による対向V字文が施文される。なお、65・66・73は9区西側19-Sグリッドで集中して出土しており、65・66は同一個体の可能性が高い。

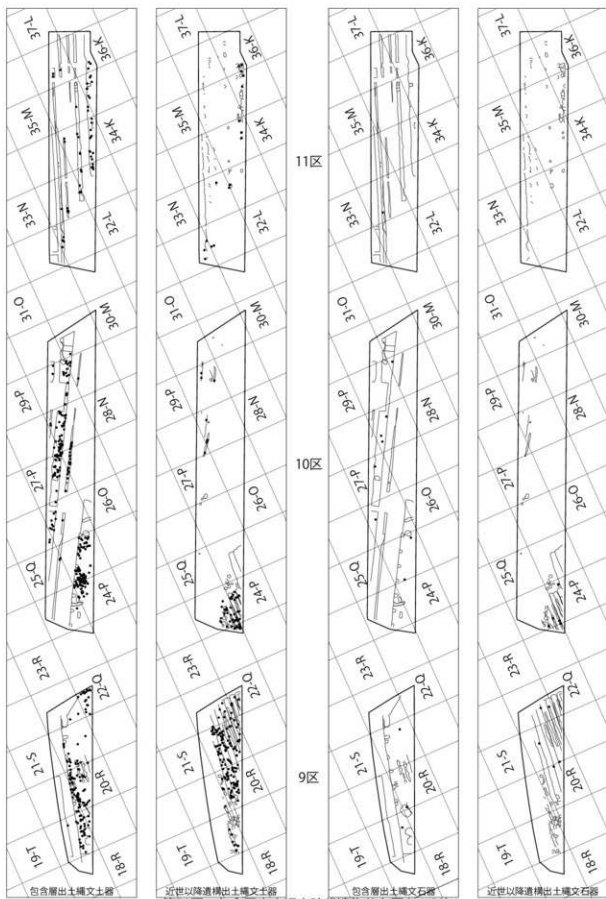
74から77は加曽利E3またはE4式の櫛歯状沈線が施文される個体、78から80は加曽利E3またはE4式の深鉢胴部である。77は波状の櫛歯状沈線が施文される。81は曾利式土器である。

82から85は加曽利E3からE4式の深鉢底部である。86は加曽利E4式の両耳壺の把手である。外面には単節LRの縄文が施文される。87は中期後半の器台の台部であり、2か所の焼成前穿孔が確認できる。88は中期後半の台付土器脚部であり、1か所の焼成前穿孔が確認できる。

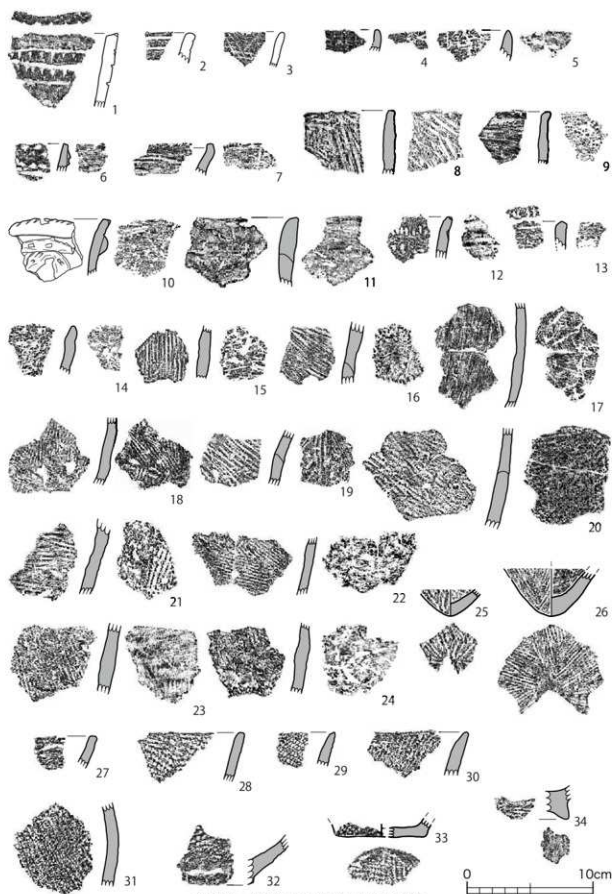
第76図1は黒曜石の楔形石器である。産地推定分析の結果、産地は天城(柏峠)との結果が得られた。2は黒曜石の剥片である。産地推定分析の結果、産地は諏訪(星ヶ台)との結果が得られた。3はチャートの錐である。4は玉髄の石織未成品である。5は黒曜石の剥片である。産地推定分析の結果、産地は神津島(恩馳島)との結果が得られた。6は砂岩の打製石斧であり、破損により上半部のみ残存する。7は黒色頁岩、8はホルンフェルスのスクレイパーである。9は縄文早期の閃緑岩の挟入磨石である。両面に摩擦面を有する。10・11は閃緑岩の磨石、12・13は閃緑岩の石皿の破片である。

なお、未実測であるが、産地推定分析を実施した黒曜石の剥片の写真を第77図下部に掲載した。試料10・試料13・試料14の産地は神津島(恩馳島)、試料15の産地は諏訪(星ヶ台)との結果が得られた。

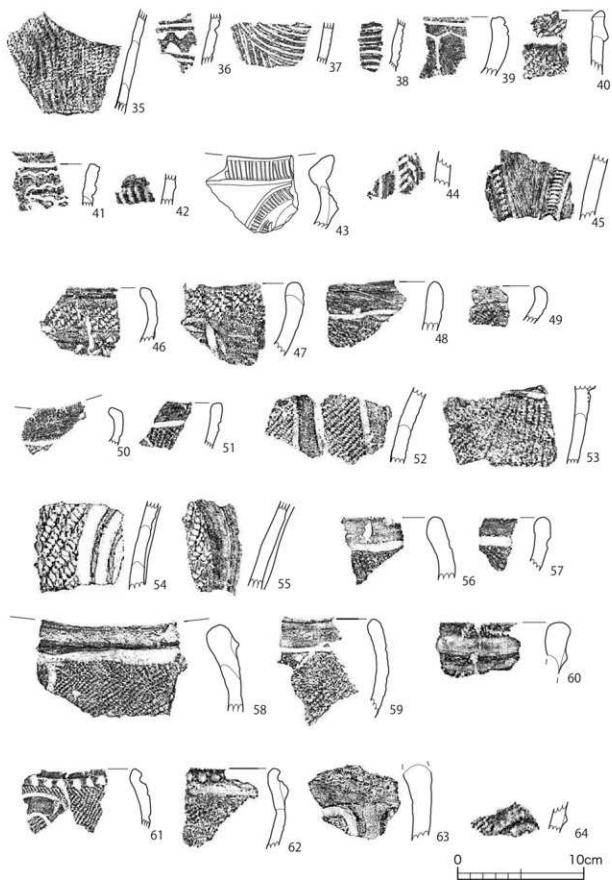
(守屋)



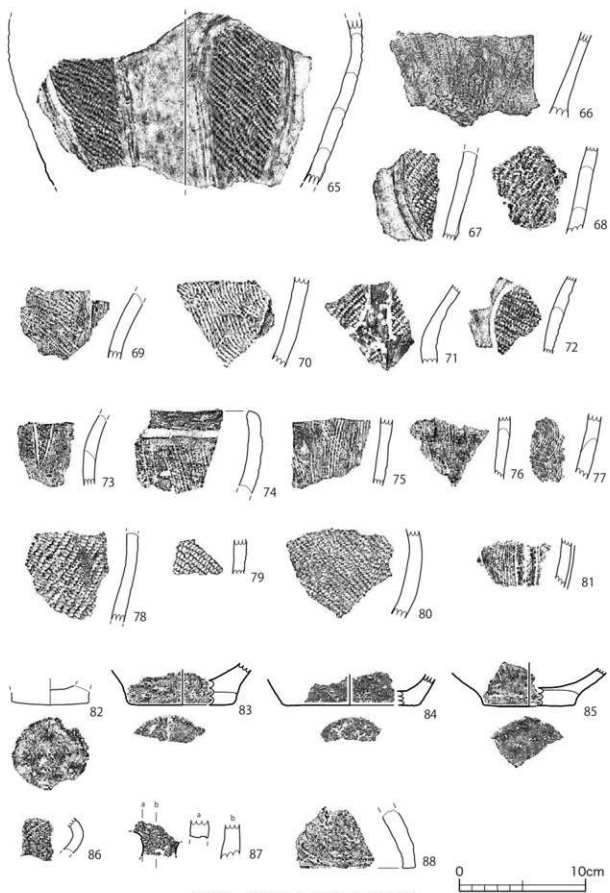
第70図 包含層出土縄文時代遺物分布図(1/450)



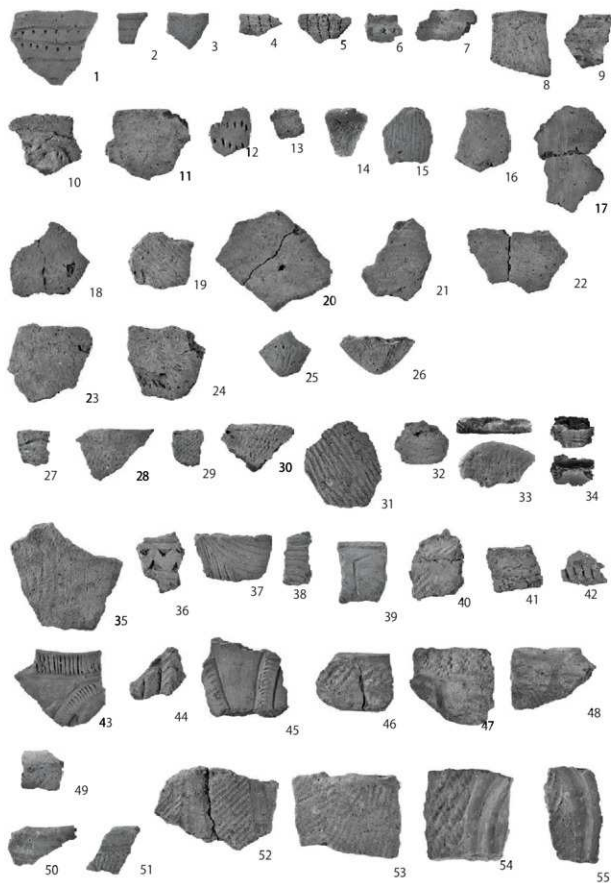
第71図 遺構外出土縄文土器 (1) (1/3)



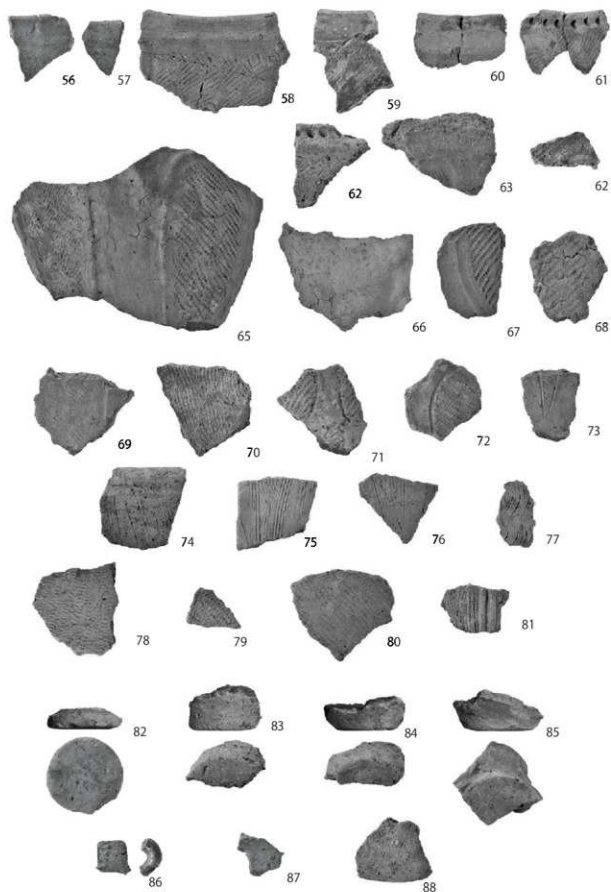
第72図 遺構外出土縄文土器(2)(1/3)



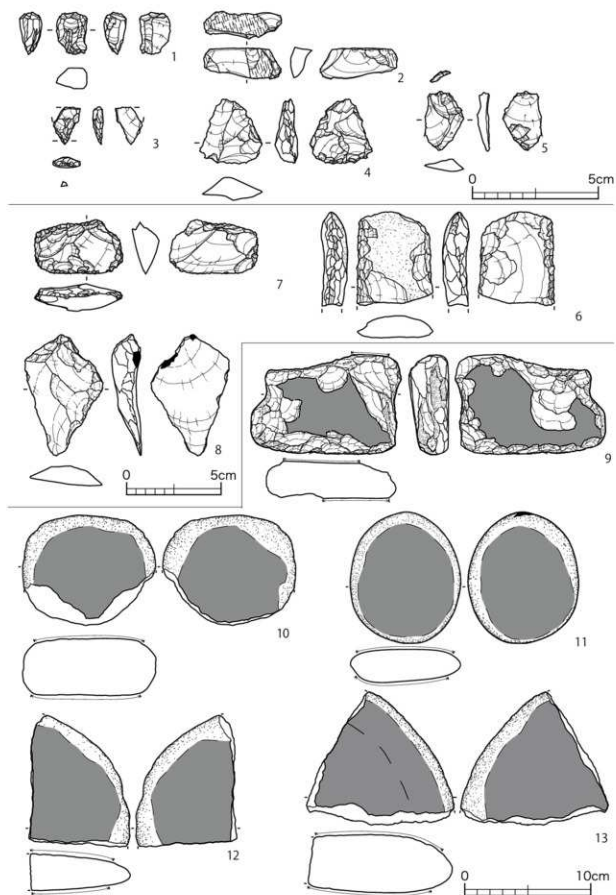
第73図 遺構外出土縄文土器 (3) (1/3)



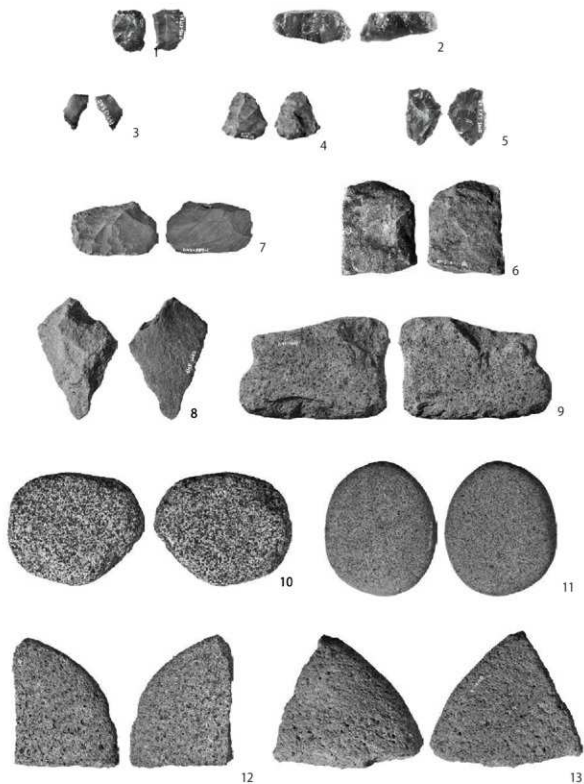
第74図 遺構外出土縄文土器写真(1)



第75図 遺構外出土縄文土器写真(2)



第76図 遺構外出土縄文石器 (2/3・1/2・1/3)



黒曜石産地推定試料写真



産地推定試料10



産地推定試料13



産地推定試料14



産地推定試料15

第77図 遺構外出土縄文石器写真

第31表 遺構外出土縄文土器観察表(1)

図 番 号	タ リ ツ ド	出 土 場 所	時 期	型 式	器 種	部 位	器形・文様の特徴	胎土	焼成	色調	備考	
1	19-S	包含層	早期前半	三戸	深鉢	口縁部	口縁部は平坦で内輪する。口縁部外面に平行沈線と刺突。底文は粗い。	長石、石英、角閃石	良好	5YR6/6	棕色	
2	43・44-B	13区 風呂	早期前半	沈線文系 下層	深鉢	口縁部	口縁部は平坦、口縁部外面に3本以上の平行沈線	角閃石を多量に含む。長石、石英	良好	7.5YR6/6	にぶい・棕色	
3	36-L	包含層	早期前半	沈線文系	深鉢	口縁部	波状口縁、沈線文	長石、石英	普通	7.5YR6/6	棕色	
4	19-S	包含層	早期後半	打刺式	深鉢	口縁部	口縁部は平坦で刺突文	繊維、長石	普通	7.5YR6/6	棕色	
5	20-R	包含層	早期後半	打刺式	深鉢	口縁部	口縁部は平坦で刺突文	繊維、長石、石英	普通	2.5YR5/8	明赤褐色	
6	21-R	包含層	早期後半	条痕文系	深鉢	口縁部	口縁部と口縁部外面に竹筒による円形刺突文(やや斜め方向から底文)	繊維、長石、角閃石	普通	10YR3/1	黒褐色	
7	24-P	包含層	早期後半	条痕文系	深鉢	口縁部	口縁部はやや平坦、条痕文	繊維、長石、石英	普通	10YR3/4	暗褐色	
8	33-M	包含層	早期後半	条痕文系	深鉢	口縁部	波状口縁、幅広い条痕文	繊維、長石、石英、角閃石	普通	10YR7/4	にぶい・黄褐色	
9	25-P	包含層	早期後半	条痕文系	深鉢	口縁部	口縁部は平坦、条痕文	繊維、長石、石英	普通	10YR5/3	にぶい・黄褐色	
10	25-P	包含層	早期後半	条痕文系	深鉢	口縁部	波状口縁か、副歯状隆起、口縁部と隆起上には刺突文	繊維、長石、石英	普通	10YR3/1	黒褐色	
11	28-O	包含層	早期後半	子母口	深鉢	口縁部	口縁部は平坦	繊維、長石、石英、角閃石	普通	7.5YR7/4	にぶい・棕色	
12	21-R	SX2	早期後半	子母口	深鉢	口縁部	連続刺突文、内面条痕文	繊維、長石、石英、角閃石	良好	7.5YR4/3	棕色	
13	24-P	包含層	早期後半	子母口	深鉢	口縁部	口縁部は平坦で、口縁部縁に沈線	繊維、長石	普通	7.5YR6/4	にぶい・棕色	
14	20-R	包含層	早期 前期	子母口	深鉢	口縁部	口縁部が内側にやや凹みする	繊維、小礫、長石、角閃石	普通	10YR3/1	黒褐色	
15	20-R	包含層	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	繊維、角閃石	悪い	5YR6/6	棕色	
16	21-R	SX2	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	繊維、長石、石英	普通	7.5YR6/6	棕色	
17	22-Q	包含層	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	繊維、赤色砂粒、長石	普通	7.5YR6/6	棕色	
18	20-R	SX1	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	繊維、長石、石英	普通	10YR5/2	灰黄褐色	
19	19-S	包含層	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	内外面に条痕文	繊維、小礫、長石、石英、角閃石	普通	7.5YR6/6	棕色	
20	20-R	包含層	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	繊維、長石を多量に含む、石英、チャード、角閃石	普通	7.5YR4/2	灰褐色	
21	20-R	包含層	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	繊維、長石、石英、チャード、角閃石	普通	5YR6/6	棕色	
22	21-R	SX2	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	繊維、長石を多量に含む、石英、角閃石	普通	10YR4/3	にぶい・黄褐色	
23	29-N	包含層	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	繊維、長石、チャード、石英、角閃石	普通	5YR6/6	棕色	
24	34-L	包含層	早期 前期	子母口	深鉢	胴部	条痕文	繊維、長石、小礫、石英	良好	10YR6/6	明黄褐色	
25	36-L	包含層	早期後半	条痕文系	深鉢	底部	条痕文、尖底土器	繊維、長石、石英	良好	7.5YR6/6	棕色	
26	21-R	SX2	早期後半	条痕文系	深鉢	底部	条痕文、尖底土器	繊維、長石、石英、角閃石	普通	10YR6/4	にぶい・黄褐色	
27	20-R	SX2	前期	子母口	深鉢	口縁部	小片	繊維、赤色砂粒、長石	普通	7.5YR6/6	棕色	
28	20-R	SX1	前期	子母口	深鉢	口縁部	口縁部はやや平坦、卑部短。	繊維、長石、石英	良好	10YR4/4	灰色	
29	20-R	包含層	前期	子母口	深鉢	口縁部	卑部短。内面にミガキ	繊維、長石、石英	良好	10YR4/4	灰色	
30	28-P	包含層	前期	子母口	深鉢	口縁部	無断L。内面にミガキ	繊維、長石、チャード、石英	良好	7.5YR6/6	棕色	
31	25-P	包含層	前期	子母口	深鉢	胴部	卑部短。	繊維、小礫、長石、石英、角閃石	普通	5YR5/6	明赤褐色	
32	19-S	包含層	前期	子母口	深鉢	胴部	無断L	繊維、長石、石英、角閃石	普通	5YR4/3	にぶい・赤褐色	
33	20-R	包含層	前期	子母口	深鉢	底部	底部外面に卑部L・短。	繊維、長石、赤色砂粒、角閃石	普通	10YR5/1	灰褐色	底径 7.0cm
34	30-N	SX4	前期前半	花柄下層	深鉢	底部	外面に無断R	繊維、赤色砂粒、長石、石英	良好	5YR5/6	明赤褐色	
35	20-R	SX1	前期後半	溝線	深鉢	胴部	卑部短。(縄文器の押し付けが強い)。内面に輪軸みねが浅る	長石、石英、雲母、角閃石	良好	7.5YR6/6	棕色	
36	20-R	SX2	前期末	十三芒型	深鉢	胴部	副歯状切欠(三角形連続文)、下成竹管文	長石、石英、角閃石	良好	7.5YR5/2	にぶい・棕色	
37	20-R	包含層	前期末	十三芒型	深鉢	胴部	平直竹管文(平行線・曲線)	長石、石英、角閃石	良好	5YR6/4	にぶい・棕色	
38	20-R	SX2	前期末	十三芒型	深鉢	胴部	平直竹管文(平行線・曲線)	長石、石英、角閃石	良好	5YR5/4	にぶい・赤褐色	
39	19-S	包含層	中期前半	五福ヶ台	深鉢	口縁部	口縁部は平坦、特徴的な沈線	長石を多量に含む、角閃石	普通	7.5YR7/4	にぶい・棕色	
40	22-R	SX2	中期前半	五福ヶ台	深鉢	口縁部	口縁部半ギザミ、口縁部変形、卑部L	卑部を多量に含む、長石、角閃石	普通	5YR5/6	明赤褐色	
41	36-K	SX60	中期前半	阿玉台	深鉢	口縁部	口縁部は平坦で連続刺突文、隆起部波状沈線	小礫、長石、石英、雲母、角閃石	良好	5YR5/6	明赤褐色	
42	21-R	SX2	中期前半	阿玉台	深鉢	胴部	隆起に沿って連続刺突文(爪型文)	卑部を多量に含む、長石、小礫、長石、石英、角閃石	普通	7.5YR5/3	にぶい・棕色	
43	35-K	P113	中期前半	熊取3	深鉢	口縁部	口縁部が「く」字状に屈曲。口縁部外面に連続刺突文	小礫、長石、石英、角閃石	良好	5YR4/4	にぶい・赤褐色	
44	35-K	包含層	中期前半	熊取3	深鉢	胴部	隆起文、隆起上に輪軸状文様	長石、小礫、石英	良好	7.5YR6/4	にぶい・棕色	
45	36-K	包含層	中期前半	熊取3	深鉢	胴部	キヤタヒ文	長石、小礫、石英	良好	5YR4/6	明赤褐色	
46	27-P	K41	中期後半	加賀利E3 (古)	深鉢	口縁部	口縁部文様部、隆起部、副歯状切欠、卑部L。内面にミガキ	長石、石英、角閃石	良好	7.5YR4/3	棕色	
47	27-P	K41	中期後半	加賀利E3	深鉢	口縁部	口縁部文様部、沈線、卑部L。内面にミガキ、厚子である	長石、角閃石	良好	7.5YR7/4	にぶい・棕色	

36・38
は同一
体系

第32表 遺構外出土縄文土器観察表(2)

図 号	グリ ッド	出土地点	時期	型式	器種	部位	形状・文様の特徴	胎土	焼成	色調	備考	
48	21-R	SX2	中期後半	加曽利E3	深鉢	口縁部	口縁部外面に沈線。単節 LR	長石、石英、角閃石	良好	10YR6/4	にぶい黄褐色	
49	35-K	包含層	中期後半	加曽利E3	深鉢	口縁部	沈線。単節 LR	小礫、長石、角閃石	良好	7.5YR7/4	にぶい褐色	
50	27・28 Q・P	10 区	中期後半	加曽利E3 (※)	深鉢	口縁部	口縁部は内面側に屈曲。沈線	長石、角閃石	良好	10YR3/4	暗褐色	地名寺の可能性あり
51	27-O	包含層	中期後半 (※)	加曽利E3	深鉢	口縁部	沈線。磨消縄文。単節 LR	シャモット、長石、角閃石	良好	7.5YR7/4	にぶい褐色	地名寺の可能性あり
52	29-O	包含層	中期後半	加曽利E3	深鉢	胴部	沈線。磨消縄文。単節 LR	小礫を多量に含む、長石、チャート、角閃石	普通	10YR7/4	にぶい黄褐色	
53	22-R	SX2	中期後半	加曽利E3	深鉢	胴部	隆起文。隆起文下部は沈線状。反転。内面ミガキ	赤色砂粒。長石、石英、角閃石	良好	7.5YR7/4	にぶい褐色	
54	25-Q	包含層	中期後半	加曽利E4	深鉢	胴部	二重の隆起文。磨消縄文。節の大きい単節 LR	チャート、長石、赤色砂粒、石英	良好	7.5YR8/4	にぶい褐色	54・55は同一個体か
55	26-Q	包含層	中期後半	加曽利E4	深鉢	胴部	磨消縄文。節の大きい単節 LR	小礫、長石、石英	良好	10YR5/3	にぶい黄褐色	
56	29-O	包含層	中期後半	加曽利E3/E4	深鉢	口縁部	沈線。磨消縄文。単節 LR	長石、角閃石、石英	良好	5YR4/3	にぶい赤褐色	
57	25-P	包含層	中期後半	加曽利E3/E4	深鉢	口縁部	沈線。単節 LR	長石を多量に含む、石英、角閃石	普通	7.5YR6/4	にぶい褐色	
58	28-O	包含層	中期後半	加曽利E4	深鉢	口縁部	隆起。磨消縄文。単節 LR・RL。(引込縄文)	長石を多量に含む、小礫、石英、角閃石	良好	5YR4/6	明赤褐色	
59	28-O	包含層	中期後半	加曽利E4	深鉢	口縁部	沈線。磨消縄文。単節 LR。内面ミガキ	小礫、長石、石英、角閃石	良好	5YR4/4	にぶい赤褐色	
60	26-P	包含層	中期後半	加曽利E4	深鉢	口縁部	隆起	シャモットを多量に含む、長石、チャート、石英、角閃石	やや悪い	10YR7/4	にぶい黄褐色	
61	21-R	SX1	中期後半	加曽利E4	深鉢	口縁部	口縁部刺突文。沈線。単節 LR・RL。(引込縄文)	長石、石英、角閃石	良好	7.5YR7/6	褐色	
62	35-K	包含層	中期後半	加曽利E4	深鉢	口縁部	口縁部門形刺突文。隆起文。単節 LR・RL。内面ミガキ	長石、石英、角閃石	やや悪い	10YR6/6	明黄褐色	
63	27-Q	包含層	中期後半	加曽利E4	深鉢	胴部	隆起。磨消縄文。単節 RL	小礫、長石、チャート、石英、角閃石	良好	5YR3/6	暗赤褐色	
64	24-Q	SD7	中期後半	加曽利E4	深鉢	胴部	隆起。磨消縄文。単節 LR	長石、石英	やや悪い	10YR3/3	暗褐色	
65	19-S	包含層 (集中地点)	中期後半	加曽利E4	深鉢	胴部	隆起。磨消縄文。単節 RL。磨消縄文。内面ミガキ	長石、石英	良好	10YR7/4	にぶい黄褐色	断面径 28.1cm 5.5・6.6は同一個体か
66	19-S	包含層 (集中地点)	中期後半	加曽利E4	深鉢	胴部	内面ミガキ	長石、石英	良好	10YR7/4	にぶい黄褐色	
67	26-Q	包含層	中期後半	加曽利E4	深鉢	胴部	隆起。磨消縄文。単節 LR	小礫、長石	良好	7.5YR6/4	にぶい褐色	
68	35-L	包含層	中期後半	加曽利E4	深鉢	胴部	隆起。磨消縄文。単節 LR	シャモットを多量に含む、小礫、長石	やや悪い	5YR6/4	褐色	
69	29-O	包含層	中期後半	加曽利E4	深鉢	胴部	隆起。磨消縄文。単節 LR	長石、石英、角閃石	良好	5YR5/4	にぶい赤褐色	
70	30-N	包含層	中期後半	加曽利E4	深鉢	胴部	隆起。磨消縄文。無節 L。内面ミガキ	長石、石英	良好	7.5YR4/3	褐色	
71	28-O	包含層	中期後半	加曽利E3	深鉢	胴部	沈線による対向ミ字文。磨消縄文。単節 LR	長石、石英、角閃石	良好	7.5YR6/4	にぶい褐色	
72	33-M	包含層	中期後半	加曽利E4	深鉢	胴部	沈線による対向ミ字文。磨消縄文。単節 RL	長石を多量に含む、小礫、石英	やや悪い	10YR4/3	にぶい黄褐色	
73	19-S	包含層 (集中地点)	中期後半	加曽利E4	深鉢	胴部	単節 RL。磨消縄文。V字文。内面ミガキ	長石、赤色砂粒、石英、角閃石	良好	10YR7/4	にぶい黄褐色	
74	22-R	SX2	中期後半	加曽利E4	深鉢	口縁部	口縁部外面に横方向の屈曲。沈線。磨消縄文	長石、石英	良好	10YR7/4	にぶい黄褐色	
75	21-R	SX2	中期後半	加曽利E4	深鉢	胴部	磨消文。隆起文。内面ミガキ	長石、石英	良好	7.5YR6/4	にぶい黄褐色	
76	34-L	包含層	中期後半	加曽利E4	深鉢	胴部	磨消文。隆起文。内面ミガキ	長石、チャート、石英	良好	5YR5/6	明赤褐色	
77	27-O	SD15	中期後半	加曽利E4	深鉢	胴部	磨消文。隆起文。内面ミガキ	長石、チャート、石英	良好	10YR6/6	明黄褐色	
78	27-O	包含層	中期後半	加曽利E3/E4	深鉢	胴部	単節 LR。内面ミガキ	小礫、長石、シャモット	良好	7.5YR6/6	褐色	
79	28-O	包含層	中期後半	加曽利E3/E4	深鉢	胴部	単節 RL。内面ミガキ	小礫、長石、石英	良好	7.5YR6/4	にぶい褐色	
80	27-P	包含層	中期後半 か	加曽利E4	深鉢	胴部	単節 RL	長石、石英、角閃石	普通	7.5YR6/6	褐色	
81	29-O	包含層	中期後半	加曽利E4	深鉢	胴部	縦方向の平行隆起文。磨消縄文	小礫、長石、角閃石	良好	7.5YR4/4	褐色	
82	35-K	包含層	中期後半	加曽利E4	深鉢	底面	接合面を外れた底面	チャート、長石、石英、角閃石	良好	5YR5/8	明赤褐色	底径 6.1cm
83	30-N	包含層	中期後半	加曽利E4	深鉢	底面	底面下平がやや急に立ち上がる	小礫を多量に含む、長石、角閃石	普通	10YR7/4	にぶい黄褐色	底径 8.2cm
84	21-R	SX1	中期	加曽利E4	深鉢	底面	底面外面ミガキ	長石、石英	良好	10YR7/4	にぶい黄褐色	底径 10.8cm
85	28-O	包含層	中期後半	加曽利E4	深鉢	底面	底面・底面外面ミガキ。内面ミガキ	赤色砂粒。長石、シャモット、角閃石	良好	10YR4/4	褐色	底径 7.2cm 断面径 5.5cm
86	24-26 P・Q	10 区	中期後半	加曽利E4	深鉢	把手	把手の幅約 2.5cm で断面形状は円筒状。単節 LR	小礫、長石、石英	良好	7.5YR6/6	褐色	
87	28-O	包含層	中期後半	加曽利E3/E4	深鉢	胴部	2カ所の境面有孔	小礫、赤色砂粒。長石、シャモット、石英	良好	7.5YR6/3	にぶい褐色	
88	29-O	包含層	中期	加曽利E4	深鉢	胴部	磨消文。隆起文。内面ミガキ	チャート、長石、石英	良好	7.5YR6/6	褐色	

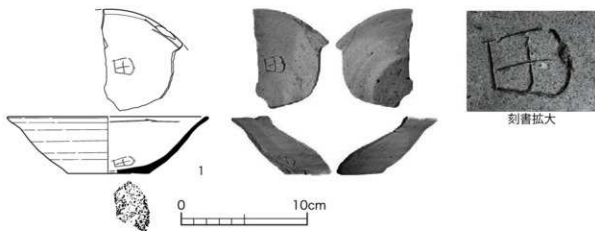
第33表 遺構外出土縄文石器観察表

図 番 号	調査区	グリ ッド	出土 地点	時期	器種	石材	産地(第V章参照)			長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重量 (g)	備考
							エリア	判別部名	分析%					
76・77	1	10-K	28-O	包含層	縄文	楔形石器	黒曜石	八城	新幹	9	16.5	12.0	9.0	2.0
	2	11-K	33-M	包含層	縄文	削片か	黒曜石	諏訪	星ヶ付	11	13.6	30.7	11.0	3.8
	3	10-K	28-O	SX5	縄文	鏃	チャート	—	—	—	14.7	(10.5)	4.2	0.5
	4	10-K	24-Q	SX5	縄文	石鏃未成品	玉髓	—	—	—	26.0	24.5	8.7	4.2
	5	9-K	21-R	SX2	縄文	削片	黒曜石	神津島	黒磯島	12	23.5	15.0	5.0	1.1
	6	10-K	27-P	K41	縄文	打製石片	砂岩	—	—	—	(50.0)	(40.0)	14.0	38.3 割れ
	7	10-K	24-P	P57	縄文	スクレイパー	黒色頁岩	—	—	—	28.5	47.0	14.5	18.2
	8	10-K	27-P	包含層	縄文	スクレイパー	ホルンフェルス	—	—	—	64.7	41.5	15.0	25.4
	9	9-K/10-K	—	縄文早期	挟入物石	閃緑岩	—	—	—	—	79.0	119.5	32.0	437.0
	10	9-K	19-S	包含層	縄文	磨石	閃緑岩	—	—	—	88.0	106.0	46.0	722.0
	11	9-K	21-R	SX2	縄文	磨石	閃緑岩	—	—	—	104.0	88.0	26.0	397.0
	12	10-K	25-P	包含層	縄文	石皿	閃緑岩	—	—	—	(104.0)	(80.0)	(29.0)	345.5
	13	9-K	20-R	包含層	縄文	石皿	閃緑岩	—	—	—	(106.0)	(117.0)	46.0	616.0

3 奈良・平安時代

1) 遺物(第78図)

奈良・平安時代の遺構は確認されなかったが、包含層から土師器が6点、須恵器が4点出土している。そのうち、11区33-Lグリッドの近世以降の耕作土層から、内面に「田」の刻書のある須恵器坏が出土した(第78図1)。底部回転糸切りで、焼成は軟質。時期は9世紀後半から10世紀前半。「田」はへら状の工具による刻書である。(守屋)



第78図 遺構外出土奈良・平安時代遺物(1/3)・写真

第34表 遺構外出土奈良・平安時代遺物観察表

図 番 号	調査区	グリッド	層位	器種	法量	形状の特徴	製作技法の特徴	胎土	焼成	色調	残存率	備考	
78	1	11区	33-L	1	須恵器 外片	16.0 4.6 6.4	体部はやや内側等場に 立ち上がり、口縁部は 95%とする	底部回転糸切り機 製調整。ロクロ石 回転	緑石、小 紋、石炭	軟質	2.5Y7/2 灰黄	1/4 以下	内面に「田」の刻書(へら) あり

4 近世以降

近世以降では、土坑 8 基、ピット 130 基、溝状遺構 28 基、不明遺構（掘削痕）7 基が検出された。このうち溝状遺構と不明遺構は、一連の畝状遺構を構成するものである。ピットについても、ピット列を成すものは、耕作痕であると考えられ、上記の畝状遺構と共に一連の耕作痕として総合できるものである。耕作痕としての各遺構の構成については、第 36 表に記載した。遺構については一部を除き、個別の遺構図は示さず、第 79 図・第 80 図の遺構全体図に示した。

1) 遺構

A) 土坑 (SK) (第 79・80 図、第 35 表)

ピットとともに一覧を第 35 表に示した。1 号土坑、34 号土坑、52 号土坑、59 号土坑、60 号土坑、62 号土坑、69 号土坑、70 号土坑である。

B) ピット (P) (第 79～81 図、第 35 表)

土坑とともに一覧を第 35 表に示した。9 区西側ピット群と 13 区西側ピット群については、第 79 図に図を示した。9 区西側ピット列を構成する 1 号～51 号ピットは、根菜等の耕作痕であると考えられ、複数のピット列を成す。10 区と 11 区にはピットが散在するが、撓乱により全体像が把握できないため、性格は不明である。柱穴と考えられるピットは少ない。13 区西側ピット列を構成する 76 号～99 号・101 号・102 号ピットは耕作痕であると考えられ、複数のピット列を成す。

C) 溝状遺構（溝：SD 及び不明遺構：SX）

溝 (SD) 及び不明遺構 (SX) は、第 36 表に示すように一連の遺構であり、9 区東側遺構群、10 区西側遺構群、10 区東側（西）遺構群、10 区東側（東）遺構群、11 区北側遺構群、13 区遺構群を成す。畑の区画毎の耕作内容の違いを反映していると考えられる。

1 号溝から 7 号溝 (SD1 から SD7) (第 83 図、第 36 表)

一連の畝間溝であり、23・24-P・Q グリッドで検出された。5 号不明遺構と 10 区西側遺構群を成す。遺物は、3 号溝から縄文土器 3 点と石器 1 点、4 号溝から縄文土器 4 点と石器 1 点、須恵器 1 点、土師器 1 点、礫 1 点、7 号溝から縄文土器 1 点が出土した。

8 号溝から 13 号溝 (SD8 から SD13) (第 82 図、第 36 表)

一連の畝間溝であり、21・22-Q・R グリッドで検出された。1 号・2 号不明遺構と 9 区東側遺構群を成す。遺物は、13 号溝から縄文土器 1 点が出土した。

14 号溝から 16 号溝 (SD14 から SD16) (第 80 図、第 36 表)

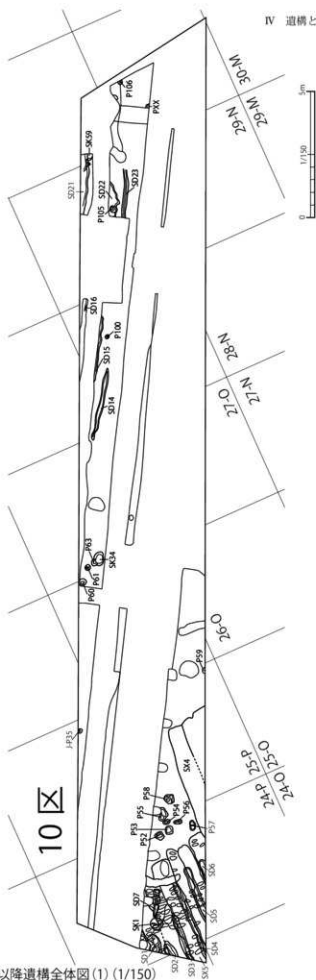
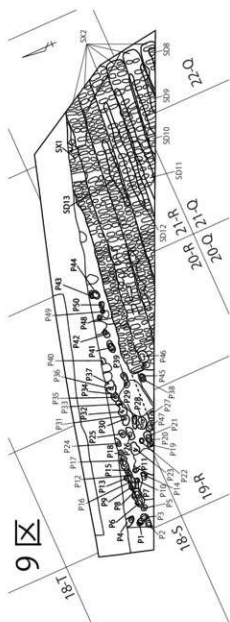
一連の畝間溝であり、10 区東側（西）遺構群を成す。28-O・P グリッドで検出された。遺物は、14 号溝から縄文土器 5 点と礫 1 点、15 号溝から縄文土器 1 点、16 号溝から礫 1 点が出土した。

17 号溝から 20 号溝・28 号溝 (SD17 から SD20・SD28) (第 80 図・第 36 表)

一連の畝間溝であり、を成す。43・44-G・H グリッドで検出された。遺物は出土しなかった。

21 号溝から 23 号溝 (SD21 から SD23) (第 80 図、第 36 表)

一連の畝間溝であり、13 区西側ピット列と 13 区遺構群を成す。29-O グリッドで検出された。遺



第79図 近世以降遺構全体図(1) (1/150)

物は、21号溝から縄文土器2点、22号溝から礫3点、23号溝から縄文土器1点と礫8点が出土した。

24号溝 (SD24) (第80図、第36表)

34・35-K・Lグリッドで検出された。遺物は出土しなかった。

25号溝から27号溝 (SD25からSD27) (第80図、第36表)

一連の畝間溝であり、34～36-L・Mグリッドで検出された。遺物は、25号溝から礫2点、26号溝から縄文土器1点が出土した。

1号不明遺構・2号不明遺構 (SX1・SX2) (第82図、第36表)

20～22-Rグリッドで検出された。1号不明遺構は、2列1組の鋤状農具による掘削痕を有する溝状の掘削痕である。2号不明遺構も同様の溝状遺構が連なった遺構であり、1号不明遺構と2号不明遺構は一連の遺構である。1号・2号不明遺構を合わせて、7列の溝状掘削痕が確認された。掘削はⅡb層・Ⅲ層に及び、覆土にはロームブロックの他に黒色土が多く含まれる。この掘削範囲の上層に、8から13号溝が位置する。遺物は、縄文土器145点と石器6点、金属製品1点、礫159点が出土した。

4号不明遺構 (SX4) (第83図、第36表)

24・25-Pグリッドで検出された。1号・2号不明遺構と同様の遺構で、2列1組の鋤状農具による溝状掘削痕が3列確認された。第84図7の土層断面比較写真の地点では、Ⅰ層からⅢ層を4号不明遺構が掘り込む様相が明瞭に観察できる。覆土は黒色土に置き換えられている。遺物は、礫4点が出土した。

5号不明遺構 (SX5) (第83図、第36表)

23・24-P・Qグリッドで検出された。1号・2号不明遺構と同様の遺構で、2列1組の鋤状農具による溝状掘削痕が6列確認された。掘削はⅡb層・Ⅲ層に及び、覆土は黒色土に置き換えられている。上層に1から7号溝が位置する。遺物は、縄文土器36点と石器2点、土師器3点、ガラス製品1点、礫28点が出土した。

7号不明遺構 (SX7) (第80図、第36表)

34・35-L・Mグリッドで検出された。攪乱により全体の形状は不明であるが、溝状または土坑状の掘り込みであると想定される。遺物は出土しなかった。

8号不明遺構 (SX8) (第80図、第36表)

32～34-Mグリッドで検出された。11区北西壁にかかる箇所がわずかに確認されたのみであるため全体の形状は不明であるが、溝状の掘り込みであると想定される。遺物は、礫1点が出土した。

9号不明遺構 (SX9) (第80図、第36表)

32-M・Nグリッドで検出された。11区北西壁にかかる箇所がわずかに確認されたのみであるため全体の形状は不明であるが、溝状の掘り込みであると想定される。遺物は、縄文土器5点と礫11点が出土した。(守屋)

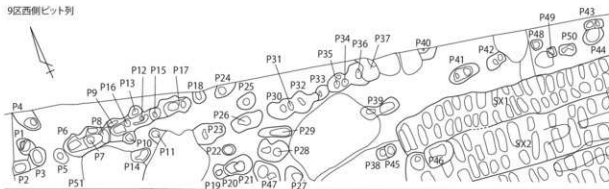
2) 遺構及び遺構外出土遺物

近世以降の遺物は少量であるが、陶磁器・土器が17点、ガラス製品が2点、金属製品が1点出土している。

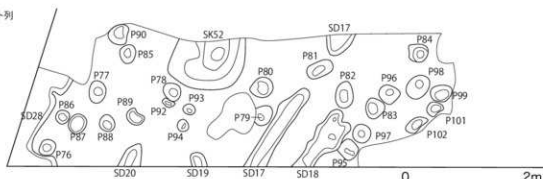
A) 陶磁器・土器 (第85図1～9)

遺構外あるいは小ピット内から小片がわずかに出土しているが、元の器形が復元できる個体はな

9区西側ビット列



13区西側ビット列



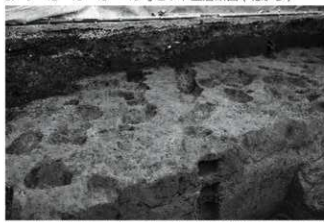
1. 9区西側ビット群全景 (北西から)



2. 27号ビット土層断面 (北東から)



3. 9・12・13・15～18号ビット土層断面 (北から)



4. 13区西側ビット群・17～20・28号満全景 (北東から)

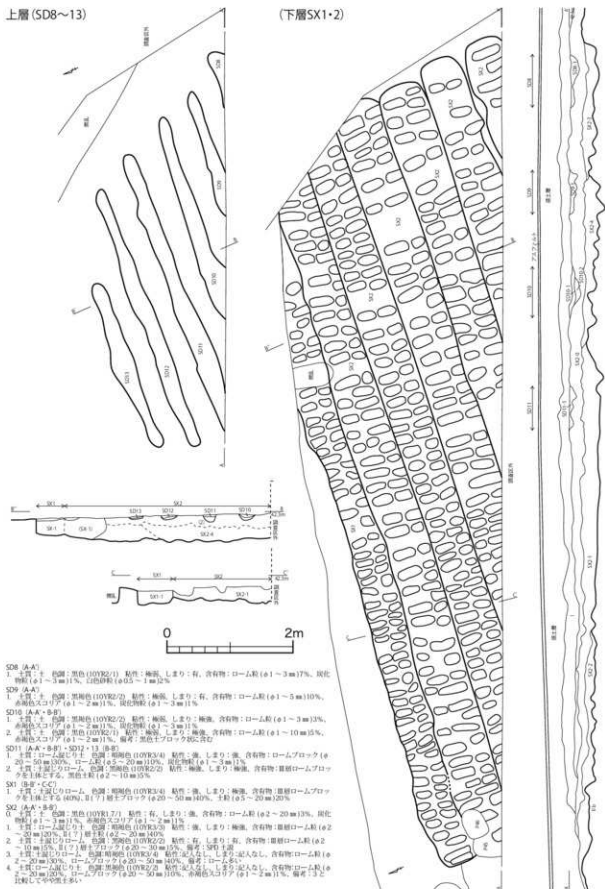
第81図 近世以降の土坑・ビット・溝 (1/60)・写真

第35表 近世以降の土坑・ピット一覧

遺構番号	調査区	グリッド	遺構の 名称	遺構のサイズ (cm)・形状 長軸 短軸 深さ 平面形状	埋蔵遺物 (備文)	遺構番号	調査区	グリッド	遺構の 名称	遺構のサイズ (cm)・形状 長軸 短軸 深さ 平面形状	埋蔵遺物 (備文)
1号土坑	10区	24-Q		51 48 11 円形		61号ピット	10区	27-P		23 21 14 隅丸方形	
34号土坑	10区	27-P		55 40 14 隅丸形		63号ピット	10区	27-P		24 (16) (12) 隅丸方形	第72図41
52号土坑	13区	43-H		116 (76) 27 隅丸方形		76号ピット	13区	43-H	耕作痕	29 25 6 隅丸方形	
59号土坑	10区	29・30-D		(65) (47) 14 不整形		77号ピット	13区	43-H	耕作痕	35 27 11 隅丸方形	
60号土坑	11区	35・36-K	植込痕	54 52 22 隅丸方形		78号ピット	13区	43-H	耕作痕	31 26 21 方形	
62号土坑	11区	36-K	植込痕	64 (26) 22 不整形		79号ピット	13区	43-H	耕作痕	34 (27) 8 不整形	
69号土坑	11区	36-K・L		— 13 不整形		80号ピット	13区	43-H	耕作痕	37 32 10 隅丸方形	
70号土坑	11区	35-L		152 — 22 不整形		81号ピット	13区	44-H	耕作痕	43 24 9 隅丸形	
135号ピット	10区	25-Q		(18) 16 13 円形		82号ピット	13区	44-H	耕作痕	42 28 11 隅丸形	
136号ピット	11区	36-L		22 (11) 9 隅丸方形		83号ピット	13区	44-H	耕作痕	33 30 8 隅丸方形	
137号ピット	11区	36-L		34 (13) 17 方形		84号ピット	13区	44-H	耕作痕	33 30 16 隅丸方形	
138号ピット	11区	36-L		32 (27) 10 隅丸方形		85号ピット	13区	43-H	耕作痕	30 25 13 隅丸方形	
139号ピット	11区	35-K		38 33 9 円形		86号ピット	13区	43-H	耕作痕	22 22 10 円形	
1号ピット	9区	19-S	耕作痕	27 25 12 隅丸形		87号ピット	13区	43-H	耕作痕	32 27 6 隅丸方形	
2号ピット	9区	19-S	耕作痕	(29) 20 21 隅丸方形		88号ピット	13区	43-H	耕作痕	27 24 6 円形	
3号ピット	9区	19-S	耕作痕	29 24 21 不整形		89号ピット	13区	43-H	耕作痕	29 20 6 隅丸方形	
4号ピット	9区	19-S	耕作痕	38 25 17 隅丸方形		90号ピット	13区	43-H	耕作痕	35 32 10 不整形	
5号ピット	9区	19-S	耕作痕	26 19 16 隅丸方形		92号ピット	13区	43-H	耕作痕	18 11 6 隅丸方形	
6号ピット	9区	19-S	耕作痕	— 39 24 隅丸方形		93号ピット	13区	43-H	耕作痕	19 17 2 隅丸方形	
7号ピット	9区	19-S	耕作痕	— 37 24 隅丸方形		94号ピット	13区	43-H	耕作痕	19 18 9 隅丸方形	
8号ピット	9区	19-S	耕作痕	— (26) 14 不整形		95号ピット	13区	44-G	耕作痕	30 28 11 隅丸方形	
9号ピット	9区	19-S	耕作痕	— (12) 22 長方形		96号ピット	13区	44-H	耕作痕	31 28 12 隅丸方形	
10号ピット	9区	19-S	耕作痕	20 (19) 8 隅丸方形		97号ピット	13区	44-G・H	耕作痕	30 29 7 隅丸方形	
11号ピット	9区	19-S	耕作痕	(20) 19 7 隅丸方形		98号ピット	13区	44-H	耕作痕	41 32 12 隅丸方形	
12号ピット	9区	19-S	耕作痕	— (21) 30 隅丸方形		99号ピット	13区	44-H	耕作痕	34 26 9 隅丸方形	
13号ピット	9区	19-S	耕作痕	22 (18) 16 隅丸方形		100号ピット	10区	28-O		17 13 — 隅丸方形	
14号ピット	9区	19-S	耕作痕	(33) 21 18 不整形		101号ピット	13区	44-G	耕作痕	27 22 9 隅丸方形	
15号ピット	9区	19-S	耕作痕	— (18) 11 隅丸方形		102号ピット	13区	44-G	耕作痕	38 20 9 隅丸方形	
16号ピット	9区	19-S	耕作痕	— (23) 22 隅丸方形		103号ピット	12区	41-I		33 31 32 隅丸方形	
17号ピット	9区	19-S	耕作痕	— 32 17 不整形		104号ピット	12区	42-I		80 22 31 不整形	
18号ピット	9区	19-S	耕作痕	21 (19) 8 不整形		105号ピット	10区	29-O		29 25 32 隅丸方形	
19号ピット	9区	19-R・S	耕作痕	— 25 10 隅丸方形		106号ピット	10区	30-O		18 (15) 31 隅丸方形	
20号ピット	9区	19-R・S	耕作痕	— 24 6 隅丸方形		107号ピット	13区	45-G		29 (16) 26 方形	
21号ピット	9区	19-R・S	耕作痕	— 30 (10) 不整形		108号ピット	11区	36-K		36 (34) 9 隅丸方形	
22号ピット	9区	19-S	耕作痕	22 17 11 円形		109号ピット	11区	36-K		54 27 7 隅丸形	
23号ピット	9区	19-S	耕作痕	(50) 35 27 不整形		110号ピット	11区	36-K	(25) (20) 17 隅丸方形		
24号ピット	9区	19-S	耕作痕	(28) 22 9 不整形		111号ピット	11区	36-K	46 (33) 23 不整形		
25号ピット	9区	19-S	耕作痕	31 24 13 隅丸方形		112号ピット	11区	36-K	73 35 39 隅丸形		
26号ピット	9区	19-S	耕作痕	52 26 17 隅丸方形		113号ピット	11区	35-K	(53) 24 25 隅丸形	第72図43	
27号ピット	9区	19-R	耕作痕	29 (23) 34 不整形		114号ピット	11区	35-K	40 (23) 25 不整形		
28号ピット	9区	19-R・S	耕作痕	44 42 19 隅丸方形		115号ピット	11区	35-K	(20) (19) 21 不整形		
29号ピット	9区	19-S	耕作痕	70 18 9 不整形		116号ピット	11区	35-K	27 22 18 隅丸形		
30号ピット	9区	19-S	耕作痕	— 28 18 隅丸方形		117号ピット	11区	35-K	(47) 42 28 不整形		
31号ピット	9区	19-S	耕作痕	— 25 9 隅丸方形		118号ピット	11区	35-K	(53) 31 21 隅丸方形		
32号ピット	9区	19-S	耕作痕	— 36 25 長方形		119号ピット	11区	35-K	(49) (53) 25 隅丸形		
33号ピット	9区	19・20-S	耕作痕	— 20 16 長方形		120号ピット	11区	35-K	(48) (53) 22 不整形		
34号ピット	9区	20-S	耕作痕	— 26 15 隅丸方形		121号ピット	11区	35-K	46 (37) 16 隅丸方形		
35号ピット	9区	20-S	耕作痕	— 25 37 隅丸方形		122号ピット	11区	34-L	26 20 5 隅丸方形		
36号ピット	9区	20-S	耕作痕	— 38 21 隅丸方形		123号ピット	11区	35-K	41 (19) 14 隅丸形		
37号ピット	9区	20-S	耕作痕	— 38 17 不整形		124号ピット	11区	35-L	33 (21) 13 隅丸方形		
38号ピット	9区	20-R	耕作痕	33 20 14 隅丸方形		125号ピット	11区	35-K・L	(31) 27 9 不整形		
39号ピット	9区	20-R	耕作痕	62 22 7 隅丸方形		126号ピット	11区	35-L	20 20 8 円形		
40号ピット	9区	20-S	耕作痕	(25) (18) 4 不整形		127号ピット	11区	35-L	18 17 14 隅丸方形		
41号ピット	9区	20-R	耕作痕	51 25 16 隅丸方形		128号ピット	11区	34-L	55 45 18 隅丸方形		
42号ピット	9区	20-R	耕作痕	34 21 16 隅丸方形		129号ピット	11区	34-L	26 24 16 隅丸方形		
43号ピット	9区	20-R	耕作痕	31 14 11 隅丸方形		130号ピット	11区	35-L	26 (16) 8 隅丸方形		
44号ピット	9区	20-R	耕作痕	34 (24) 11 隅丸方形		131号ピット	11区	35-L	42 (16) 17 隅丸方形		
45号ピット	9区	20-R	耕作痕	— (45) 9 隅丸方形		132号ピット	11区	35-L	54 (15) 13 不整形		
46号ピット	9区	20-R	耕作痕	48 35 20 隅丸方形		133号ピット	11区	36-L	— 12 不整形		
47号ピット	9区	19-R	耕作痕	40 32 19 不整形		134号ピット	11区	34-L	25 23 8 隅丸形		
48号ピット	9区	20-R	耕作痕	18 17 6 隅丸方形		135号ピット	11区	33-L	24 24 8 円形		
49号ピット	9区	20-R	耕作痕	16 14 6 方形		136号ピット	11区	33-L	34 (14) 10 隅丸方形		
50号ピット	9区	20-R	耕作痕	27 18 6 方形		137号ピット	11区	33-L	39 26 19 隅丸形		
51号ピット	9区	19-S		— — —		138号ピット	11区	34-L	31 19 8 隅丸形		
52号ピット	10区	24-P		37 34 13 方形		139号ピット	11区	33-L・M	52 (40) 9 隅丸方形		
53号ピット	10区	24-P		34 29 13 隅丸方形		※ J35、J56～J59号ピットは当初調査時代のピットとしていたが変更した					
54号ピット	10区	24-P		29 17 7 隅丸方形							
55号ピット	10区	25-P		42 (31) 20 不整形							
56号ピット	10区	24-P		33 16 9 隅丸形	第76図7						
57号ピット	10区	24-P		40 22 6 隅丸方形							
58号ピット	10区	25-P		40 38 14 隅丸方形							
59号ピット	10区	25-P		20 (11) 12 隅丸方形							
60号ピット	10区	26・27-P		28 26 6 隅丸方形							

上層(SD8~13)

(下層SX1・2)



第82図 近世以降溝状遺構(1) (1/60)

基本層序

1A. 土質：土 色調：黒色(10YR2/1) 粘性：強、しまり：強、含有物：ローム粒($\phi 2 \sim 20$ mm)15%、炭化物粒($\phi 1 \sim 3$ mm)1%、赤褐色スクリア($\phi 1 \sim 2$ mm)1%

1B. 土質：土 色調：黒褐色(10YR2/2) 粘性：強、しまり：強、含有物：ローム粒($\phi 2 \sim 10$ mm)10%、炭化物粒($\phi 1 \sim 5$ mm)13%、赤褐色スクリア($\phi 1 \sim 2$ mm)1%

SD1 (B・C)

1. 土質：土 色調：黒褐色(5YR2/2) 粘性：強、しまり：強、含有物：ローム粒($\phi 1 \sim 5$ mm)10%、赤褐色スクリア($\phi 1 \sim 2$ mm)12%

SD2 (B・C・D)

1. 土質：土 色調：黒褐色(5YR3/1) 粘性：強、しまり：強、含有物：ローム粒($\phi 1 \sim 5$ mm)13%、炭化物粒($\phi 0.5 \sim 2$ mm)13%、赤褐色スクリア($\phi 1 \sim 2$ mm)1%

SD3 (B・C・D)

1. 土質：土 色調：黒褐色(5YR3/2) 粘性：強、しまり：強、含有物：ローム粒($\phi 1 \sim 5$ mm)10%、炭化物粒($\phi 0.5 \sim 2$ mm)13%、赤褐色スクリア($\phi 1 \sim 2$ mm)12%

SD4 (A・C・D)

1. 土質：土 色調：黒褐色(5YR2/2) 粘性：強、しまり：強、含有物：黒灰色砂粒($\phi 0.5 \sim 2$ mm)10%、炭化物粒($\phi 0.5 \sim 2$ mm)12%、赤褐色スクリア($\phi 1 \sim 2$ mm)1%

SD5 (A・D)

1. 土質：土 色調：黒褐色(5YR3/2) 粘性：強、しまり：強、含有物：黒灰色砂粒($\phi 0.5 \sim 2$ mm)15%、炭化物粒($\phi 1 \sim 2$ mm)1%

SD6 (A)

1. 土質：土 色調：黒褐色(10YR2/2) 粘性：強、しまり：強、含有物：ローム粒($\phi 2 \sim 10$ mm)10%、炭化物粒($\phi 1 \sim 5$ mm)13%、赤褐色スクリア($\phi 1 \sim 2$ mm)1%

SD7 (E)

1. 土質：ローム泥り土 色調：黒褐色(10YR2/2) 粘性：強、しまり：強、含有物：ローム粒($\phi 1 \sim 15$ mm)10%、砂($\phi 5 \sim 10$ mm)12%、赤褐色スクリア($\phi 1 \sim 2$ mm)1%

SX4 (A)

1. 土質：ローム泥り土 色調：黒褐色(10YR2/2) 粘性：強、しまり：強、含有物：ロームブロック($\phi 20 \sim 40$ mm)110%、ローム粒($\phi 2 \sim 20$ mm)30%、炭化物粒($\phi 1 \sim 3$ mm)1%

2. 土質：土 色調：黒褐色(10YR2/1) 粘性：強、しまり：強、含有物：ローム粒($\phi 2 \sim 20$ mm)13%、炭化物粒($\phi 1 \sim 2$ mm)12%、赤褐色スクリア($\phi 1 \sim 2$ mm)1%

3. 土質：土 色調：黒褐色(10YR2/2) 粘性：強、しまり：強、含有物：ロームブロック($\phi 20 \sim 50$ mm)が主体(80%以上)、黒色土粒($\phi 2 \sim 10$ mm)15%

4. 土質：土 色調：黒褐色(10YR2/2) 粘性：強、しまり：強、含有物：ロームブロック($\phi 20 \sim 100$ mm)が主体(80%以上)、黒褐色土粒($\phi 2 \sim 10$ mm)12%

5. 土質：土 色調：黒褐色(10YR2/2) 粘性：強、しまり：強、含有物：ローム粒($\phi 2 \sim 10$ mm)12%

SX5 (A・B・C・D・E)

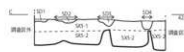
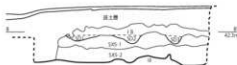
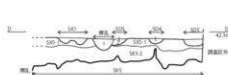
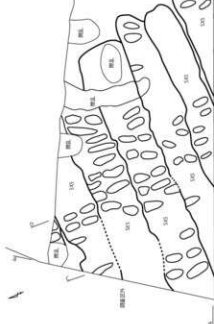
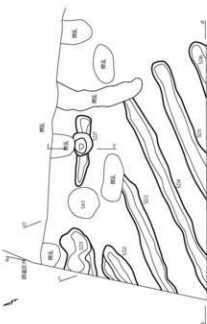
1. 土質：土 色調：黒色(10YR1/1) 粘性：強、しまり：強、含有物：ローム粒($\phi 2 \sim 20$ mm)13%、赤褐色スクリア($\phi 1 \sim 2$ mm)1%

2. 土質：ローム泥り土 色調：黒褐色(10YR2/2) 粘性：強、しまり：強、含有物：ロームブロック($\phi 20 \sim 50$ mm)が主体(80%以上)、黒色土粒($\phi 2 \sim 20$ mm)10%

3. 土質：ローム泥り土 色調：黒褐色(10YR2/2) 粘性：強、しまり：強、含有物：黒土を主体とする、ローム粒($\phi 2 \sim 20$ mm)10%、黒色土粒($\phi 2 \sim 10$ mm)15%

上層(SD1~7)

下層(SX4~5)



0 2m

第83図 近世以降溝状遺構(2) (1/60)



1. 8号～13号溝（畝状遺構上面）全景（北から）



2. 1号・2号不明遺構（畝状遺構下面）全景（東から）



3. 1号～7号溝（畝状遺構上面）全景（東から）



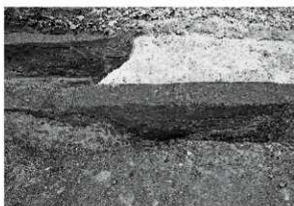
4. 5号不明遺構（畝状遺構中面）全景（東から）



5. 5号不明遺構（畝状遺構下面）全景（東から）



6. 4号不明遺構全景（北東から）



7. 7号不明遺構土層断面（南西から）



8. 8号不明遺構の一部（南西から）

第84図 近世以降の溝状遺構写真

第 36 表 近世以降の耕作痕一覧

遺構群	遺構	調査区	グリッド	遺構の性格	遺構のサイズ (cm)			出土遺物							図載 遺物		
					長軸	短軸	深さ	縄文 土器	土器 器	須部 器	石器	礎	陶磁 器	金属 製品		ガラス 製品	
9 区内側 遺構群	9 区内側ピット列 (1～51 号ピット)	9 区	19・20 R・S	耕作痕	—	—	—	12					36	3			
9 区東側 遺構群	8 号溝	9 区	22-Q	竪間溝	(32)	28	17										
	9 号溝	9 区	22-Q	竪間溝	(160)	24	13										
	10 号溝	9 区	21・22-Q・R	竪間溝	(311)	40	15										
	11 号溝	9 区	21・22-R	竪間溝	(433)	36	11										
	12 号溝	9 区	21・22-R	竪間溝	434	29	9										
	13 号溝	9 区	21・22-R	竪間溝	278	38	6	1									
	1 号不明遺構	9 区	20～22 R	客土痕跡					42				55				
	2 号不明遺構	9 区	20～22-Q・R	客土痕跡					103			6	104	1			第 85 図 11
	1 号溝	10 区西	24-Q	竪間溝	(67)	51	10										
	2 号溝	10 区西	23・24-Q	竪間溝	(66)	40	13										
10 区西側 遺構群	3 号溝	10 区西	23・24-Q	竪間溝	(189)	27	13	3			1						
	4 号溝	10 区西	23・24-P・Q	竪間溝	(302)	29	14	4	1	1	1	1	1				
	5 号溝	10 区西	24-P	竪間溝	(211)	33	18										
	6 号溝	10 区西	24-P	竪間溝	(55)	29	18										
	7 号溝	10 区西	24-Q	竪間溝	112	21	12	1									第 72 図 64
	4 号不明遺構	10 区	24・25-P	客土痕跡								4					
	5 号不明遺構	10 区西	23・24-P・Q	客土痕跡					36	3		2	28			1	
	14 号溝	10 区中	28-Q・P	竪間溝	290	20	6	5									
	15 号溝	10 区中	28-Q	竪間溝	261	(13)	3	1									第 73 図 77
	16 号溝	10 区中	28-Q	竪間溝	—	—	6					1					
10 区東側 (東) 遺構群	21 号溝	10 区東	29-Q	竪間溝	(240)	(35)	18	2									
	22 号溝	10 区東	29-Q	竪間溝	(135)	(44)	15					3					
	23 号溝	10 区東	29-Q	竪間溝	(192)	16	8	1					8				
	7 号不明遺構	11 区	34・35-L・M	客土痕跡													
11 区北側 遺構群	8 号不明遺構	11 区	32～34-M	客土痕跡									1				
	9 号不明遺構	11 区	32-M・N	客土痕跡					5				11				
13 区 遺構群	13 区内側ピット列 (76～99、101・102 号ピット)	13 区	43・44-G・H	耕作痕	—	—	—										
	17 号溝	13 区	43-H	竪間溝	(149)	31	13										
	18 号溝	13 区	43・44-G・H	竪間溝	(104)	44	11										
	19 号溝	13 区	43-H	竪間溝	24	(23)	13										
	20 号溝	13 区	43-H	竪間溝	(40)	33	20										
	28 号溝	13 区	43-H	竪間溝	(159)	76	8										

かったことから個々の破片の写真のみの提示し、図化したものはない。

1 は外面に灰釉が施された陶器片で、瀬戸美濃産徳利の小片の可能性が考えられる。2 は磁器の小片であるが、瀬戸美濃産の製品と考えられる。3 は内外面に灰釉が施された瀬戸美濃産の陶器小形壺の小片である。4 は外面体部上半に漆黒釉、内面は漆黒釉に白泥による刷毛目目が施された陶器の鉢で、産地は不明である。5 は外面に灰釉が施された瀬戸美濃産の陶器片で、細片のため器種は不明である。6 は無釉の外面に花卉状の陰刻文が施された焼締陶器片で萬古焼の急須小片と考えられる。7 は呉須による円文が描かれた磁器碗片で、産地は不明である。8 は内外面に褐釉が施された陶器壺の小片で、口縁部から胴部上半にかけての破片である。9 はと同様の小片で、接合はしないが同一個体の可能性が考えられる。
(西山)

B) ガラス製品 (第 85 図 10)

ガラス製品が数点出土した。10 区 26-P グリッドの掘削から出土した第 85 図 10 は、ガラス製瓶である。色調は無色透明で、底部外面に「東京中野・食品工業株式会社」(右から左)と「1」のエンボスがある。「食品工業株式会社」は現在のキユーピー株式会社であり、マヨネーズ瓶であることがわかる。瓶には小型の 100g 瓶と大型の 128g 瓶が存在するが(桜井 2019)、本品は 100g 瓶である。プリキ製の蓋が残存しており、瓶の形状からスクリュエ式キャップであると判断できる。キユーピー マヨネーズは 1925 (大正 14) 年に販売が開始されているため、遺物の時期は大正末から昭和初期頃と考えられる。

第 37 表 遺構・遺構外出土近世以降陶磁器観察表

番号	調査区	グリッド	遺構	材質	器種	部位	製作技法の特徴	色調	時期	想定産地	備考
1	9区	19S	8号ビット	陶磁	徳利	—	灰釉	5Y5/4 オリーブ	近世	瀬戸・美濃	—
2	9区	19S	15号ビット	陶磁	—	—	染付	N8/0 灰白	近世	瀬戸・美濃	—
3	9区	19S	10号ビット	陶磁	壺	—	灰釉	5Y8/2 灰白	近世	瀬戸・美濃	小形
4	9区	19S	包合棚	陶磁	鉢	—	外面：漆黒釉。内面：白底刷毛目	2.5YR5/3 にぶい赤褐	近世	—	—
5	10区	28O	100号ビット	陶磁	—	—	灰釉	5Y7/2 灰白	近世	瀬戸・美濃	—
6	10区	27P	41号瓶瓦	瓦部	急須	—	花弁彫刻	5R5/1 赤灰	近世	萬古	—
7	13区	43H	47号瓶瓦	瓦部	碗	口縁部	染付	N8/0 灰白	近世	—	—
8	10区	26P	59号瓶瓦	瓦部	腰	口縁部	彫刻	2.5YR3/4 暗赤褐	近代	—	9と同一個体か
9	10区	24Q	グリッド一括	瓦部	腰	—	彫刻	5YR3/4 暗赤褐	近代	—	8と同一個体か

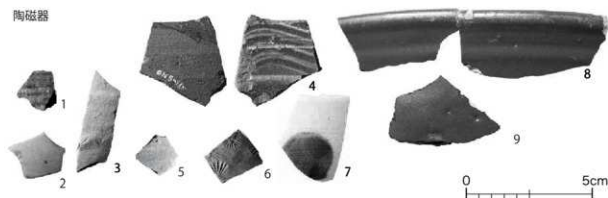
第 38 表 遺構・遺構外出土近世以降ガラス製品観察表

番号	調査区	グリッド	遺構	器種	色調	口径	瓶高	底径	容	時期	備考
10	10区	26P	59号瓶瓦	瓶	無色透明	4.16	8.6	4.0	スクリュー栓	近代	底部外面に「東京中野・食品工業株式会社（右から左）と「1」のエンボス。100gのマイヨネーズ瓶。

第 39 表 遺構・遺構外出土近世以降金属製品観察表

番号	調査区	グリッド	遺構	器種	部位	形態	材質	全長	高さ	火皿径	口付径	小口径	皿径	時期	備考
11	9区	22R	2号不明遺構	煙管	雁首	II 製	銅	(4.2)	(1.8)	—	—	—	左	近世	火皿との接合部に補強帯を有する

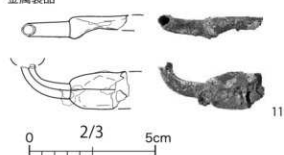
陶磁器



ガラス製品



金属製品



第85図 遺構・遺構外出土近世以降遺物(1/3・2/3)・写真

C) 金属製品 (第 85 図 11)

2号不明遺構から、青銅製の煙管雁首が1点出土した。第85図11は、脂返しが大きく湾曲し、肩付である。火皿は残存しないが、火皿との接合部に補強帯を有する。これらの特徴から、年代は古泉編年第2段階(17世紀前半)であると考えられる(古泉1987)。(守屋)

V 自然科学分析

1 放射性炭素年代測定

パレオ・ラボ AMS 年代測定グループ

伊藤 茂・加藤和浩・佐藤正教・廣田正史・山形秀樹・Zaur Lomtadze・黒沼保子

1. はじめに

大泉中里遺跡から出土した試料について、加速器質量分析法（AMS 法）による放射性炭素年代測定を行った。

2. 試料と方法

試料はいずれも炭化物で、旧石器時代と推定されている包含層 451 の試料 No.1 (PLD-55388) と包含層 552 の試料 No.2 (PLD-55389)、縄文時代と推定されている SK2-1 の試料 No.3 (PLD-55390) と SK6-1 の試料 No.4 (PLD-55391) の、合計 4 点である。

測定試料の情報、調製データは第 40 表のとおりである。試料は調製後、加速器質量分析計（パレオ・ラボ、コンパクト AMS：NEC 製 1.5SDH）を用いて測定した。得られた 14C 濃度について同位体分別効果の補正を行った後、14C 年代、暦年代を算出した。

第 40 表 測定試料及び処理

測定番号	遺跡データ	試料データ	前処理
PLD-55388	遺構：包含層 451 試料 No.1	種類：炭化物 状態：dry	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：0.1 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L）
PLD-55389	遺構：包含層 552 試料 No.2	種類：炭化物 状態：dry	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：0.1 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L）
PLD-55390	遺構：SK2-1 試料 No.3	種類：炭化物 状態：dry	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：0.1 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L）
PLD-55391	遺構：SK6-1 試料 No.4	種類：炭化物 状態：dry	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L）

3. 結果

第 41 表に、同位体分別効果の補正に用いる炭素同位体比（ $\delta^{13}C$ ）、同位体分別効果の補正を行って暦年較正に用いた年代値と較正によって得られた年代範囲、慣用に従って年代値と誤差を丸めて表示した 14C 年代、第 86 図に暦年較正結果をそれぞれ示す。暦年較正に用いた年代値は下 1 桁を丸めていない値であり、今後暦年較正曲線が更新された際にこの年代値を用いて暦年較正を行うために記載した。

14C 年代は AD1950 年を基点にして何年前かを示した年代である。14C 年代（yrBP）の算出には、14C の半減期として Libby の半減期 5568 年を使用した。また、付記した 14C 年代誤差（ $\pm 1\sigma$ ）は、測定の統計誤差、標準偏差等に基づいて算出され、試料の 14C 年代がその 14C 年代誤差内に入る確

率が 68.27%であることを示す。

なお、暦年較正の詳細は以下のとおりである。

暦年較正とは、大気中の 14C 濃度が一定で半減期が 5568 年として算出された 14C 年代に対し、過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中の 14C 濃度の変動、および半減期の違い（14C の半減期 5730 ± 40 年）を較正して、より実際の年代値に近いものを算出することである。

14C 年代の暦年較正には OxCal4.4 (較正曲線データ: IntCal20) を使用した。なお、1 σ 暦年代範囲は、OxCal の確率法を使用して算出された 14C 年代誤差に相当する 68.27% 信頼限界の暦年代範囲であり、同様に 2 σ 暦年代範囲は 95.45% 信頼限界の暦年代範囲である。カッコ内の百分率の値は、その範囲内に暦年代が入る確率を意味する。グラフ中の縦軸上の曲線は 14C 年代の確率分布を示し、二重曲線は暦年較正曲線を示す。

第 41 表 放射性炭素年代測定および暦年較正の結果

測定番号	$\delta^{13}\text{C}$ (‰)	暦年較正用年代 (yrBP $\pm 1\sigma$)	14C 年代 (yrBP $\pm 1\sigma$)	14C 年代を暦年代に較正した年代範囲	
				1 σ 暦年代範囲	2 σ 暦年代範囲
PLD-55388 試料 No.1	—	—	—	—	—
PLD-55389 試料 No.2	-19.31 ± 0.37	8006 ± 56	8010 ± 60	7049-6977 cal BC (23.05%)	7065-6741 cal BC (90.87%) 6729-6697 cal BC (4.58%)
				6976-6906 cal BC (23.99%)	
				6887-6827 cal BC (21.22%)	
				8098-8926 cal BP (23.05%)	
				8925-8855 cal BP (23.99%)	
PLD-55390 試料 No.3	-17.01 ± 0.40	6920 ± 35	6920 ± 35	8836-8776 cal BP (21.22%)	9014-8690 cal BP (90.87%) 8678-8646 cal BP (4.58%)
				5833-5810 cal BC (16.54%)	
				5809-5744 cal BC (51.73%)	
				7782-7759 cal BP (16.54%)	
				7758-7693 cal BP (51.73%)	
PLD-55391 試料 No.4	-29.61 ± 0.11	6524 ± 29	6525 ± 30	7836-7805 cal BP (9.65%)	5887-5856 cal BC (9.65%) 5851-5725 cal BC (85.80%) 7800-7674 cal BP (85.80%)
				5528-5493 cal BC (39.20%)	
				5484-5473 cal BC (20.65%)	
				5428-5416 cal BC (8.41%)	
				7477-7442 cal BP (39.20%)	
				7433-7422 cal BP (20.65%)	7554-7549 cal BP (0.66%) 7507-7419 cal BP (72.65%) 7377-7365 cal BP (8.41%) 7386-7331 cal BP (22.13%)

4. 考察

以下、各試料の暦年較正結果のうち、2 σ 暦年代範囲（確率 95.45%）に着目して結果を整理する。なお、縄文時代の土器編年と暦年代の対応関係については小林（2017）を参照した。

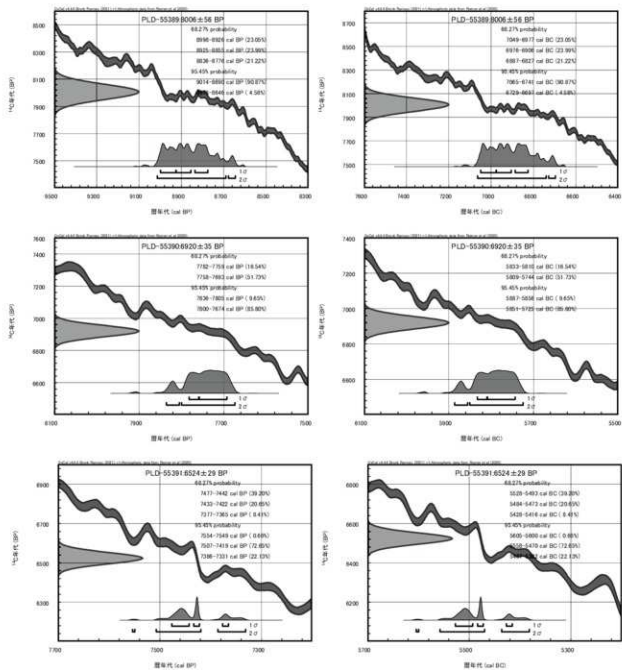
包含層 451 の試料 No.1 (PLD-55388) は状態が悪く、炭化物が残存していなかったため、測定不可となった。

包含層 552 の試料 No.2 (PLD-55389) は、9014-8690 cal BP (90.87%) および 8678-8646 cal BP (4.58%) の暦年代を示した。これは縄文時代早期中葉に相当する。調査所見による推定時期の旧石器時代よりも新しい年代であった。

SK2-1 の試料 No.3 (PLD-55390) は、7836-7805 cal BP (9.65%) および 7800-7674 cal BP (85.80%) の暦年代を示した。SK6-1 の試料 No.4 (PLD-55391) は、7554-7549 cal BP (0.66%)、7507-7419 cal BP (72.65%)、7386-7331 cal BP (22.13%) の暦年代を示した。どちらも縄文時代早期中葉に相当する。

引用・参考文献

- Bronk Ramsey, C. (2009) Bayesian Analysis of Radiocarbon dates. *Radiocarbon*, 51(1), 337-360.
- 小林謙一 (2017) 縄文時代の実年代—土器型式編年と炭素 14 年代—. 263p, 同成社.
- 中村俊夫 (2000) 放射性炭素年代測定法の基礎. 日本先史時代の 14C 年代編集委員会編「日本先史時代の 14C 年代」: 3-20, 日本第四紀学会.
- Reimer, P.J., Austin, W.E.N., Bard, E., Bayliss, A., Blackwell, P.G., Bronk Ramsey, C., Butzin, M., Cheng, H., Edwards, R.L., Friedrich, M., Grootes, P.M., Guilderson, T.P., Hajdas, I., Heaton, T.J., Hogg, A.G., Hughen, K.A., Kromer, B., Manning, S.W., Muscheler, R., Palmer, J.G., Pearson, C., van der Plicht, J., Reimer, R.W., Richards, D.A., Scott, E.M., Southon, J.R., Turney, C.S.M., Wacker, L., Adolphi, F., Büntgen, U., Capano, M., Fahrni, S.M., Fogtmann-Schulz, A., Friedrich, R., Köhler, P., Kudsk, S., Miyake, F., Olsen, J., Reinig, F., Sakamoto, M., Sookdeo, A. and Talamo, S. (2020) The IntCal20 Northern Hemisphere radiocarbon age calibration curve (0-55 cal kBP). *Radiocarbon*, 62(4), 725-757, doi:10.1017/RDC.2020.41. <https://doi.org/10.1017/RDC.2020.41> (cited 12 August 2020)



第86圖 曆年較正結果

2 大泉中里遺跡出土の黒曜石製石器の産地推定

竹原弘展（パレオ・ラボ）

1. はじめに

練馬区大泉町二丁目に所在する大泉中里遺跡は、白子川中流域の右岸崖線上に立地する。第五次調査で出土した旧石器時代および縄文時代の黒曜石製石器について、エネルギー分散型蛍光X線分析装置による元素分析を行い、産地を推定した。

2. 試料と方法

分析対象は、包含層、遺物集中、住居跡等より出土した15点の黒曜石製石器である（第42表）。時期は、旧石器時代および縄文時代とみられている。

試料は、測定前に超音波洗浄器やメラミンフォーム製スポンジを用いて、測定面の表面の洗浄を行った。

分析装置は、エスアイアイ・ナノテクノロジー株式会社製のエネルギー分散型蛍光X線分析計SEA1200VXを使用した。装置の仕様は、X線管ターゲットはロジウム(Rh)、X線検出器はSDD検出器である。測定条件は、測定時間100sec、照射径8mm、電圧50kV、電流1000 μ A、試料室内雰囲気は真空に設定し、一次フィルタにPb測定用を用いた。

黒曜石の産地推定には、蛍光X線分析によるX線強度を用いた黒曜石産地推定法である判別図法を用いた（望月，1999など）。本方法では、まず各試料を蛍光X線分析装置で測定し、その測定結果のうち、カリウム(K)、マンガン(Mn)、鉄(Fe)、ルビジウム(Rb)、ストロンチウム(Sr)、イットリウム(Y)、ジルコニウム(Zr)の合計7元素のX線強度(cps: count per second)について、以下に示す指標値を計算する。

第42表 分析対象となる黒曜石製石器

分析No.	遺構種別	時期	遺物番号	備考
1	住居跡か	縄文時代	包含層 24	
2	包含層	縄文時代	包含層 443	
3	包含層		包含層 468	
4	遺物集中	旧石器時代	包含層 (SBL1) 469	微細刮片
5	遺物集中	旧石器時代	包含層 (SBL1) 550	
6	遺物集中	旧石器時代	包含層 (SBL1) 557	
7	遺物集中	旧石器時代	包含層 (SBL1) 608	微細刮片
8	遺物集中	旧石器時代	包含層 (SBL1) 618	
9	包含層	縄文時代	包含層 1376	
10	包含層	縄文時代	包含層 1411	
11	包含層		包含層 1617	
12	不明遺構		SX2-42	
13	不明遺構		SX2-65	
14	不明遺構		SX5-30	
15			10区西側一括	



第87図 黒曜石産地分布図(東日本)

1) Rb 分率 = Rb 強度 × 100 / (Rb 強度 + Sr 強度 + Y 強度 + Zr 強度)

2) Sr 分率 = Sr 強度 × 100 / (Rb 強度 + Sr 強度 + Y 強度 + Zr 強度)

3) Mn 強度 × 100 / Fe 強度

4) log(Fe 強度 / K 強度)

そして、これらの指標値を用いた 2 つの判別図 (横軸 Rb 分率-縦軸 Mn 強度 × 100 / Fe 強度の判別図、横軸 Sr 分率-縦軸 log(Fe 強度 / K 強度) の判別図) を作成し、各地の原石データと遺物のデータを照合して、産地を推定する。この方法は、できる限り蛍光 X 線のエネルギー差が小さい元素同士を組み合わせて指標値を算出するため、形状、厚み等の影響を比較的受けにくく、原則として非破壊分析が望ましい考古遺物の測定に対して非常に有効な方法であるといえる。ただし、風化試料の場合、log(Fe 強度 / K 強度) の値が減少する (望月, 1999)。試料の測定面には、なるべく平滑な面を選んだ。

原石試料は、採取原石を割って新鮮な面を露出させた上で、産地推定対象試料と同様の条件で測定した。第 43 表に判別群一覧とそれぞれの原石の採取地点および点数を、第 87 図に各原石の採取地の分布図を示す。

3. 分析結果

第 44 表に石器の測定値および算出した指標値を、第 88 図と第 89 図に黒曜石原石の判別図に石器の指標値をプロットした図を示す。視覚的にわかりやすくするため、図では各判別群を楕円で取り囲んだ。

分析の結果、1 点が鷹山群 (長野県、和田エリア)、1 点が土屋橋 2 群 (長野県、和田エリア)、2 点が星ヶ台群 (長野県、諏訪エリア)、5 点が冷山群 (長野県、蓼科エリ

第 43 表 東日本黒曜石産地の判別群

都道府県	エリア	判別群名	原石採取地
北海道	白滝	白滝 1	赤石山山頂 (43)、八号沢 (15)
		白滝 2	7 の沢川支流 (2)、K 義道 (10)、十勝石沢義道直下河床 (11)、アジサイの滝義道 (10)
	赤井川	赤井川	曲川・土木川 (24)
	上土幌	上土幌	十勝三股 (4)、タウシベツ川右岸 (42)、タウシベツ川左岸 (10)、十三ノ沢 (32)
	置戸	置戸山	置戸山 (5)
		南山	南山 (5)
	豊浦	豊浦	豊浦 (10)
	旭川	旭川	近文台 (8)、南粉台 (2)
	名寄	名寄	忠烈布川 (19)
	秩父別	秩父別 1	中山 (65)
		秩父別 2	
		秩父別 3	
	遠軽	遠軽	社名瀬川河床 (2)
	生田原	生田原	仁田布川河床 (10)
	留辺蘂 1	留辺蘂 1	ケショマツ川河床 (9)
	留辺蘂 2	留辺蘂 2	
青森	細路	細路	細路市宮スキー場 (9)、阿寒川右岸 (2)、阿寒川左岸 (6)
	木造	出来島	出来島海岸 (15)、鶴ヶ坂 (10)
	深浦	八森山	岡崎浜 (7)、八森山公園 (8)
	青森	青森	天田内川 (6)
秋田	男鹿	金ヶ崎	金ヶ崎温泉 (10)
		脇本	脇本海岸 (4)
岩手	北上川	北上折戻 1	北上川 (9)、真城 (33)
		北上折戻 2	
		北上折戻 3	
宮城	宮崎	湯ノ倉	湯ノ倉 (40)
	色麻	根岸	根岸 (40)
	仙台	秋保 1	土蔵 (18)
		秋保 2	
山形	羽黒	月山	月山荘前 (24)、大越沢 (10)
		柳町	たらのき代 (19)
新潟	新発田	松山	松山牧場 (10)
	新津	金津	金津 (7)
	佐渡	真光寺	寺分 (4)
栃木	高原山	甘濁沢	甘濁沢 (22)
		七尋沢	七尋沢 (3)、宮川 (3)、枝持沢 (3)
長野	和田	西側屋	芙蓉パークライト土砂集積場 (30)
		鷹山	鷹山 (14)、東側屋 (54)
		小深沢	小深沢 (42)
		土屋橋 1	土屋橋西 (10)
		土屋橋 2	新和田トンネル北 (20)、土屋橋北西 (58)、土屋橋西 (1)
		古峠	和田峠トンネル上 (28)、古峠 (38)、和田峠スキー場 (28)
		ブドウ沢	ブドウ沢 (20)
		牧ヶ沢	牧ヶ沢下 (20)
		高松沢	高松沢 (19)
		諏訪	星ヶ台 (35)、星ヶ塔 (20)
神奈川	箱根	冷山	冷山 (20)、麦草峠 (20)、麦草峠東 (20)
		芦ノ湯	芦ノ湯 (20)
		畑畑	畑畑 (51)
静岡	天城	鍛冶屋	鍛冶屋 (20)
		上多賀	上多賀 (20)
東京	神津島	黒島	黒島 (27)
		砂崎崎	砂崎崎 (20)
島根	隠岐	久見	久見パークライト中 (6)、久見採掘現場 (5)
		賀浦	賀浦海岸 (3)、加茂 (4)、岸浜 (3)

第 44 表 測定値および産地推定結果

分析 No.	K 強度 (cps)	Mn 強度 (cps)	Fe 強度 (cps)	Rb 強度 (cps)	Sr 強度 (cps)	Y 強度 (cps)	Zr 強度 (cps)	Rb 分率	Mn*100 Fe	Sr 分率	log ₁₀ K	判別群	エリア	分析 No.
1	126.0	143.6	4220.7	146.5	947.4	400.7	1459.6	4.96	3.40	32.07	1.53	畑宿	箱根	1
2	310.9	148.4	1171.1	1668.5	104.4	727.3	967.4	48.12	12.67	3.01	0.58	龜山	和田	2
3	264.9	87.9	1582.0	660.7	839.5	340.2	1244.5	21.42	5.56	27.21	0.78	冷山	蓼科	3
4	154.9	51.7	948.9	353.8	459.3	187.2	650.5	21.43	5.44	27.82	0.79	冷山	蓼科	4
5	307.8	93.9	1699.0	625.2	934.5	337.2	1301.7	19.55	5.52	29.21	0.74	冷山	蓼科	5
6	257.1	104.8	1121.5	1125.0	155.9	473.8	832.0	43.49	9.34	6.03	0.64	土屋橋 2	和田	6
7	115.7	38.1	659.3	267.1	331.8	139.6	476.7	21.98	5.78	27.30	0.76	冷山	蓼科	7
8	262.6	85.0	1416.7	602.3	744.2	306.7	1093.8	21.93	6.00	27.09	0.73	冷山	蓼科	8
9	152.3	72.0	2276.3	240.8	564.9	359.1	1429.2	9.28	3.16	21.78	1.17	柏峠	天城	9
10	136.6	73.5	945.7	267.4	340.7	213.8	535.0	19.71	7.77	25.11	0.84	恩馳島	神津島	10
11	290.9	113.1	1020.1	788.8	302.4	413.3	812.2	34.05	11.09	13.05	0.54	星ヶ台	諏訪	11
12	218.6	115.2	1422.2	425.5	544.7	355.3	902.3	19.10	8.10	24.45	0.81	恩馳島	神津島	12
13	242.2	127.6	1605.0	472.7	610.5	383.1	969.4	19.41	7.95	25.07	0.82	恩馳島	神津島	13
14	75.3	39.0	501.6	143.3	187.8	114.2	293.3	19.40	7.78	25.43	0.82	恩馳島	神津島	14
15	145.3	54.9	546.5	397.3	151.0	200.7	397.9	34.64	10.04	13.17	0.58	星ヶ台	諏訪	15

第 45 表 時期別の産地

	和田	諏訪	蓼科	箱根	天城	神津島	合計
旧石器時代	1		4				5
縄文時代	1			1	1	1	4
不明		2	1			3	6
合計	2	2	5	1	1	4	15

ア)、1 点が畑宿群（神奈川県、箱根エリア）、1 点が柏峠群（静岡県、天城エリア）、4 点が恩馳島群（東京都、神津島エリア）の範囲にプロットされた。

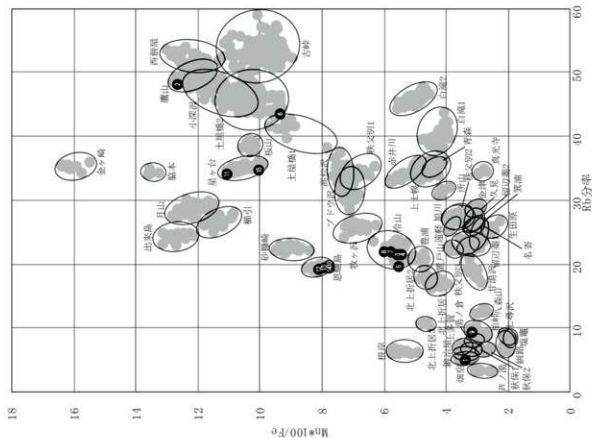
第 44 表に、判別図法により推定された判別群名とエリア名を示す。第 45 表に、時期別の産地を示す。今回分析した 15 点のうち、時期の判明している 9 点の範囲内において、旧石器時代の石器はすべて信州産で、縄文時代の石器は箱根・天城・神津島産が多くなる傾向が窺えた。

4. おわりに

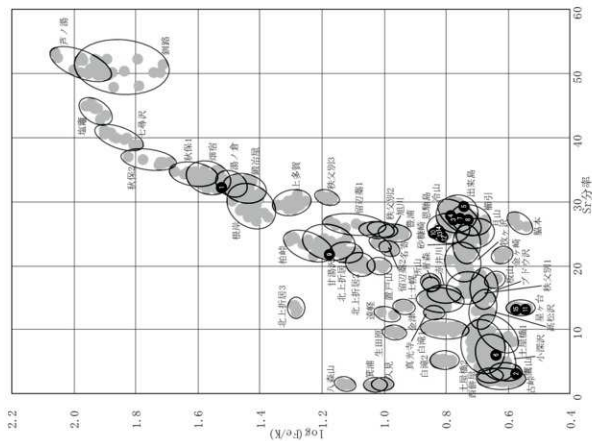
大泉中里遺跡より出土した旧石器時代および縄文時代の黒曜石製石器 15 点について、蛍光 X 線分析による産地推定を行った結果、2 点が和田、2 点が諏訪、5 点が蓼科、1 点が箱根、1 点が天城、4 点が神津島エリア産と推定された。

引用文献

望月明彦（1999）上和田城山遺跡出土の黒曜石産地推定。大和市教育委員会編「埋蔵文化財の保管と活用のための基礎的整理報告書 2—上和田城山遺跡篇—」：172-179, 大和市教育委員会。



第 88 図 黒曜石産地推定判別図 (1)



第 89 図 黒曜石産地推定判別図 (2)

3 大泉中里遺跡出土のガラス質安山岩製石器の非破壊での産地推定

竹原弘展（パレオ・ラボ）

1. はじめに

練馬区大泉町二丁目に所在する大泉中里遺跡は、白子川中流域の右岸崖線上に立地する。第五次調査で出土した旧石器時代のガラス質安山岩製石器について、エネルギー分散型蛍光X線分析装置による元素分析を非破壊で行い、産地の推定を試みた。

2. 試料と方法

分析対象は、遺物集中より出土した21点（分析No.16～36）のガラス質安山岩製石器である（第46表）。時期は、旧石器時代とみられている。

ガラス質安山岩製の石器は、通常は風化層に覆われている。風化層を除去しない非破壊での測定では、各判別群を識別することが基本的に困難である。一方で、実際に風化層の除去前後で測定結果を比較した例では、風化面の測定データは、判別群の範囲内には収まらなくともある程度はその周辺にプロットされることも多い（例えば竹原、2021など）。今回は、石器の風化層除去を行わない非破壊分析を前提としており、おおその原産地エリアの推定を試みた。試料は、測定前に超音波洗浄器やメラミンフォーム製スポンジを用いて、測定面の表面の洗浄を行った。

分析装置は、エスアイアイ・ナノテクノロジー株式会社製のエネルギー分散型蛍光X線分析計SEA1200VXを使用した。装置の仕様は、X線管ターゲットはロジウム(Rh)、X線検出器はSDD検出器である。測定条件は、測定時間100sec、照射径8mm、電圧50kV、電流1000 μ A、試料室内雰囲気は真空に設定し、一次フィルタにPb測定用を用いた。

分析方法は、黒曜石産地推定法として用いられている蛍光X線分析によるX線強度を用いた判別図法（例えば望月2004）を、ガラス質安山岩に適用した。方法は、まず各試料を蛍光X線分析装置で測定し、その測定結果のうち、カリウム(K)、マンガン(Mn)、鉄(Fe)、ルビジウム(Rb)、ストロンチウム(Sr)、イットリウム(Y)、ジルコニウム(Zr)の合計7元素のX線強度(cps: count per second)について、以下に示す指標値を計算する。

- 1) Rb 分率 = $\text{Rb 強度} \times 100 / (\text{Rb 強度} + \text{Sr 強度} + \text{Y 強度} + \text{Zr 強度})$
- 2) Sr 分率 = $\text{Sr 強度} \times 100 / (\text{Rb 強度} + \text{Sr 強度} + \text{Y 強度} + \text{Zr 強度})$
- 3) $\text{Mn 強度} \times 100 / \text{Fe 強度}$
- 4) $\log(\text{Fe 強度} / \text{K 強度})$

第46表 分析対象となるガラス質安山岩製石器

分析No.	遺構種別	時期	遺物番号
16	遺物集中	旧石器時代	包含層 (SBL1) 471
17	遺物集中	旧石器時代	包含層 (SBL1) 479
18	遺物集中	旧石器時代	包含層 (SBL1) 519
19	遺物集中	旧石器時代	包含層 (SBL1) 523
20	遺物集中	旧石器時代	包含層 (SBL1) 545
21	遺物集中	旧石器時代	包含層 (SBL1) 551
22	遺物集中	旧石器時代	包含層 (SBL1) 554
23	遺物集中	旧石器時代	包含層 (SBL1) 607
24	遺物集中	旧石器時代	包含層 (SBL1) 619
25	遺物集中	旧石器時代	包含層 (SBL1) 626
26	遺物集中	旧石器時代	包含層 (SBL1) 630
27	遺物集中	旧石器時代	包含層 (SBL2) 718
28	遺物集中	旧石器時代	包含層 (SBL2) 782
29	遺物集中	旧石器時代	包含層 (SBL2) 783
30	遺物集中	旧石器時代	包含層 (SBL2) 790
31	遺物集中	旧石器時代	包含層 (SBL2) 799
32	遺物集中	旧石器時代	包含層 (SBL2) 803
33	遺物集中	旧石器時代	包含層 (SBL2) 816
34	遺物集中	旧石器時代	包含層 (SBL2) 871
35	遺物集中	旧石器時代	包含層 (SBL2) 1058
36	遺物集中	旧石器時代	包含層 (SBL2) 1161

第 47 表 原石採取地と判別群名称

都道府県	エリア	判別群名	原石採取地 (試料点数)
福島	会津	柳津	只見川支流 (6)
群馬	みなかみ	武尊山	武尊山 (11)
	下仁田	荒船山	荒船山 (9)
長野	佐久	八風山	香坂 (9)、八風山下 (10)、八風山 (9)
岐阜	下呂	湯ヶ峰	大林 (10)、山の西口 (3)、火口そばくずれ二 (3)、山の東ホ (3)、火口そば北寄り尾根へ (3)
石川	能登	富来	大福寺 A 地点 (1)、大福寺 B 地点中央敷部 (4)、大福寺 B 地点南 (15)、西大福寺 A 地点 (2)、世波 (15)
奈良	二上山	春日山	春日山みかん畑内 (10)
香川	讃岐	国分台 1	自衛隊演習場付近 (21)、神谷神社付近 (8)、高産霊神社谷 (1)、国分台下みかん畑 (4)、蓮光寺山南東麓 (1)
		国分台 2	神谷神社付近 (3)、高産霊神社谷 (4)
		国分台 3	自衛隊演習場付近 (1)、神谷神社付近 (2)、高産霊神社谷 (7)、国分台下みかん畑 (1)、蓮光寺山南東麓 (25)、出雲神社周辺 (5)
		赤子谷	赤子谷第 1 地点 (5)、赤子谷第 2 地点 (5)
		法印谷	法印谷 (10)
		金山 1	北峰道路脇 (9)、金山南麓 (8)、金山北東部 (27)
		金山 2	北峰道路脇 (1)、金山南麓 (23)
		城山	城山南側 (5)、城山北側 (5)
		東奥 1	雄山 (5)、麓山 (5)、神谷神社付近 (4)、出雲神社周辺 (23)、奥池付近 (11)
		東奥 2	神谷神社付近 (3)、出雲神社周辺 (2)、奥池付近 (5)
		双子山	双子山南麓 (10)
		香色山	佐伯神社付近 (30)、宮ヶ尾古墳周辺 (1)
		大麻山北麓	宮ヶ尾古墳周辺 (2)
鳥取	青谷	青谷	青谷 (12)
	東郷	東郷	麻畑 (12)
佐賀	多久	鬼ノ鼻山	天ヶ瀬ダム下みかん畑 (8)

そして、これらの指標値を用いた 2 つの判別図 (横軸 Rb 分率-縦軸 Mn 強度 $\times 100/\text{Fe}$ 強度の判別図 (1) と横軸 Sr 分率-縦軸 $\log(\text{Fe}$ 強度 / K 強度) の判別図 (2)) を作成し、各地の原石データと遺物のデータを照合して、産地を推定する方法である。

原石試料は、採取原石を割って新鮮な面を露出させた上で、産地推定対象試料と同様の条件で測定した。第 47 表にガラス質安山岩の判別群一覧とそれぞれの原石の採取地点および点数を示す。

3. 分析結果

第 48 表に石器の非破壊での測定値および算出された指標値を、第 90 図、第 91 図にガラス質安山岩原石の判別図に石器の非破壊での分析結果をプロットした図を示す。判別図では視覚的にわかりやすくするため、各判別群を楕円で取り囲んである。

非破壊測定の結果、1 点が武尊山 1 群、1 点が武尊山 2 群、15 点が八風山群に比較的近い位置にプロットされた。残りの 4 点は、周辺に近い判別群がなかった。

第 48 表に、各石器のプロット位置の比較的近くにあった判別群を示す。なお、21 点中 15 点が八風山群に比較的近い位置にプロットされたが、これら 15 点の分布は分析 No.16、18 ~ 20、26 の 5 点と、分析 No.27 ~ 36 の 10 点の 2 グループに細分される。この 2 グループは、産地 (判別群) が異なる可能性のほかに、包含層 (SBL1) と包含層 (SBL2) の違いでもあることから、埋蔵環境の違いによる風化状態の違いに起因する可能性も考えられる。

第 48 表 非破壊での測定値および近い判別群

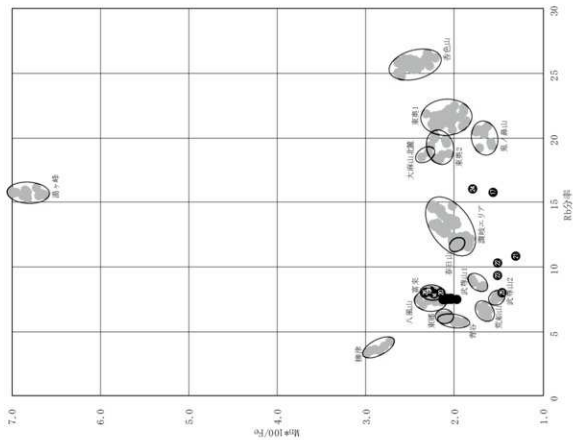
分析 No.	K 強度 (cps)	Mn 強度 (cps)	Fe 強度 (cps)	Rb 強度 (cps)	Sr 強度 (cps)	Y 強度 (cps)	Zr 強度 (cps)	Rb 比率	Mn*100 Fe	Sr 比率	log	Fe K	近い 判別群	エリア	分析 No.
16	163.3	187.5	8402.5	291.7	1727.4	320.9	1331.0	7.95	2.23	47.06	1.71	八風山	佐久?		16
17	208.1	122.6	7815.5	496.7	992.1	289.2	1374.8	15.76	1.57	31.47	1.57?	?			17
18	197.8	222.4	9752.2	336.6	1958.3	356.8	1478.7	8.15	2.28	47.41	1.69	八風山	佐久?		18
19	161.4	193.2	8529.3	280.6	1650.1	307.4	1243.2	8.06	2.26	47.40	1.72	八風山	佐久?		19
20	162.2	188.1	8719.4	269.1	1565.5	297.7	1212.0	8.05	2.16	46.81	1.73	八風山	佐久?		20
21	186.3	114.1	8684.4	337.1	1138.6	273.4	1353.9	10.86	1.31	36.69	1.67?	?			21
22	159.4	96.9	6407.6	312.9	1133.3	272.4	1308.8	10.34	1.51	37.43	1.60?	?			22
23	210.8	164.3	10874.1	314.3	1340.2	317.7	1385.7	9.36	1.51	39.91	1.71	武尊山 1	みなかみ?		23
24	161.7	115.9	6461.4	406.2	757.4	252.4	1115.0	16.05	1.79	29.93	1.60?	?			24
25	155.0	234.0	16071.0	207.0	1105.0	238.3	1021.5	8.05	1.46	42.97	2.02	武尊山 2	みなかみ?		25
26	167.4	204.0	8757.8	294.8	1728.5	322.0	1317.4	8.05	2.33	47.19	1.72	八風山	佐久?		26
27	167.3	180.0	8565.8	246.7	1597.6	285.3	1144.2	7.53	2.10	48.80	1.71	八風山	佐久?		27
28	174.4	208.0	9820.9	270.5	1759.7	303.8	1238.1	7.57	2.12	49.26	1.75	八風山	佐久?		28
29	166.8	202.4	9916.2	270.0	1766.8	305.2	1246.6	7.52	2.04	49.23	1.77	八風山	佐久?		29
30	137.0	148.2	7507.0	212.6	1372.6	246.0	1006.9	7.49	1.97	48.36	1.74	八風山	佐久?		30
31	184.7	213.6	10251.1	276.2	1811.3	315.4	1269.1	7.52	2.08	49.33	1.74	八風山	佐久?		31
32	125.7	137.4	6617.4	189.0	1231.2	223.2	888.5	7.46	2.08	48.63	1.72	八風山	佐久?		32
33	159.5	181.0	8857.5	246.8	1601.7	280.5	1136.6	7.56	2.04	49.05	1.74	八風山	佐久?		33
34	123.4	140.0	6882.0	192.3	1251.6	220.5	908.7	7.47	2.03	48.64	1.75	八風山	佐久?		34
35	153.5	173.0	8193.7	226.9	1480.8	262.4	1062.1	7.48	2.11	48.84	1.73	八風山	佐久?		35
36	173.4	202.1	9532.3	264.7	1744.8	302.2	1227.2	7.48	2.12	49.30	1.74	八風山	佐久?		36

4. おわりに

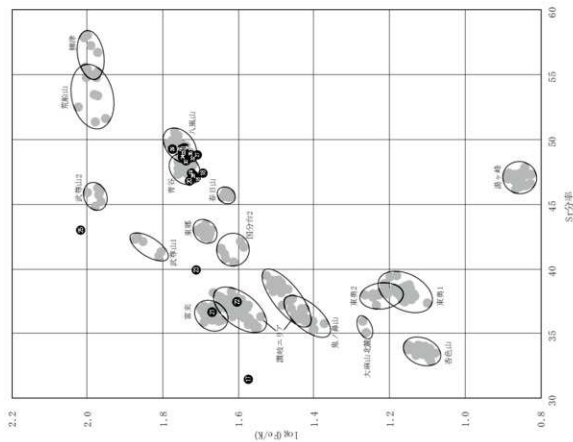
大泉中里遺跡より出土した旧石器時代のガラス質安山岩製石器 21 点について、蛍光 X 線分析による非破壊での産地推定を試みた。その結果、1 点が武尊山 1 群の近く、1 点が武尊山 2 群の近く、15 点が八風山群の近くにそれぞれプロットされた。ただし、あくまでも風化層を除去しない非破壊での測定結果であり、参考値として捉える必要があろう。

引用文献

- 望月明彦 (2004) 用田大河内遺跡出土黒曜石の産地推定, かながわ考古学財団編「用田大河内遺跡」: 511-517, かながわ考古学財団.
- 竹原弘展 (2021) ガラス質安山岩の産地推定, 石川県埋蔵文化財センター編「能美市西任田遺跡・中ノ庄遺跡」: 209-212, 石川県教育委員会・石川県埋蔵文化財センター.



第90図 ガラス質安山岩産地推定判別図 (1)



第91図 ガラス質安山岩産地推定判別図 (2)

4 大泉中里遺跡のテフラ分析

鬼頭 剛 (パレオ・ラボ)

1. はじめに

練馬区大泉町二丁目に所在する大泉中里遺跡（第五次調査）より採取された試料についてテフラを検討するために、火山ガラスの形態、鉱物組成、一部の試料について火山ガラスの屈折率測定を行った。

2. 試料と方法

分析試料は、大泉中里遺跡のSBL1の4試料と深堀り部の7試料から採取された合計11試料である（第49表）。

第49表 分析試料とその特徴

分析No.	試料名	調査区	遺構	層位	土質	色調	含有物
1	テフラ分析試料1	9区	SBL1	III	ローム	褐色 (10YR 4/6)	やや暗い褐色ロームが混じる。黒褐色スコリア(φ1~3mm)2%、赤褐色スコリア(φ1~2mm)1%
2	テフラ分析試料2			IV	ローム	明褐色 (7.5YR 5/6)	黒褐色スコリア(φ1~3mm)1%、赤褐色スコリア(φ1~2mm)3%
3	テフラ分析試料3			V	ローム	褐色 (10YR 4/4)	黒褐色スコリア(φ1~3mm)3%、赤褐色スコリア(φ1~2mm)1%
4	テフラ分析試料4			VI	ローム	褐色 (10YR 4/6)	赤褐色スコリア(φ1~2mm)2%
5	テフラ分析試料5	13区	深堀り部	III	ローム	褐色 (10YR 4/4)	赤褐色スコリア(径1~2mm)1%
6	テフラ分析試料6			IV	ローム	褐色 (10YR 4/6)	赤褐色スコリア(径1~3mm)2%、黒色スコリア(径1~3mm)2%
7	テフラ分析試料7			V	ローム	褐色 (10YR 4/4)	赤褐色スコリア(径1~3mm)5%、黒色スコリア(径1~3mm)2%
8	テフラ分析試料8			VI	ローム	にぶい黄褐色 (10YR 5/4)	赤褐色スコリア(径1~3mm)3%、黒色スコリア(径1~3mm)7%
9	テフラ分析試料9			VII	ローム	暗褐色 (10YR 3/4)	赤褐色スコリア(径1~3mm)1%、黒色スコリア(径1~3mm)3%
10	テフラ分析試料10			IX	ローム	暗褐色 (10YR 3/4)	赤褐色スコリア(径1~3mm)1%、黒色スコリア(径1~3mm)1%
11	テフラ分析試料11			X	ローム	褐色 (10YR 4/4)	赤褐色スコリア(径1~3mm)1%

試料は、適量を秤量した後、1φ(0.5mm)、2φ(0.25mm)、3φ(0.125mm)、4φ(0.063mm)の4枚の篩を重ね、湿式篩分けをした。4φ篩残渣について、重液(テトラプロモエタン、比重2.96)を用いて重鉱物と軽鉱物に分離した。軽鉱物および重鉱物は、ガムクロラルを用いてプレパラートを作製した。軽鉱物は、町田・新井(2003)の火山ガラスの分類基準に従って、バブル型平板状(b1)、バブル型Y字状(b2)、軽石型繊維状(p1)、軽石型スポンジ状(p2)、急冷破砕型フレーク状(c1)、急冷破砕型塊状(c2)に分類した。重鉱物は、斜方輝石(opx)、単斜輝石(cpx)、角閃石(ho)、磁鉄鉱(mg)、カンラン石(ol)、イディンダ石(idg)、不明(opq)等を同定・計数した。

4φ軽鉱物中の火山ガラスについて、横山ほか(1986)に従って、温度変化型屈折率測定装置(株式会社古澤地質製、MAIOT)を用いて屈折率測定を行った。

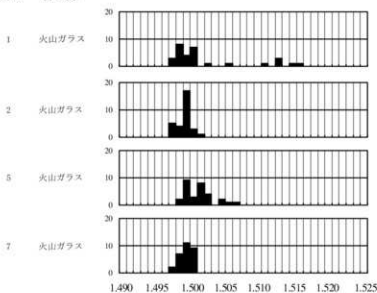
第 50 表 テフラ試料の湿式篩分け・重液分離の結果

分析 No.	遺構	層位	処理重量 (g)	篩分け (重量 g)				軽・重鉱物組成 (重量 g)	
				1 φ	2 φ	3 φ	4 φ	軽鉱物	重鉱物
1	SBLI	III	30.83	0.02	0.07	0.22	0.24	0.04	0.14
2		IV	31.10	0.02	0.12	0.35	0.35	0.01	0.17
3		V	31.34	0.02	0.11	0.32	0.40	0.08	0.14
4		VI	32.48	0.06	0.13	0.31	0.47	0.12	0.12
5		III	31.44	0.01	0.07	0.26	0.28	0.05	0.09
6		IV	31.43	0.04	0.11	0.35	0.38	0.06	0.14
7		V	34.02	0.06	0.13	0.41	0.62	0.22	0.10
8	深堀り部	VI	30.17	0.07	0.10	0.24	0.38	0.10	0.14
9		VII	32.31	0.03	0.09	0.24	0.28	0.07	0.11
10		IX	30.94	0.03	0.10	0.24	0.27	0.06	0.09
11		X	31.69	0.03	0.15	0.26	0.35	0.06	0.14

第 51 表 4 φ 篩残渣中の鉱物組成

分析 No.	遺構	層位	石英 (pp)	長石 (pp)	不明 (pp)	火山ガラス						重鉱物							重鉱物の 合計		
						バブル (泡) 型		軽石型		急冷破砕型		ガラス 合計	軽鉱物 合計	斜方 輝石 (pp)	磁鉄 輝石 (pp)	角閃 石 (pp)	カン ラン 石 (pp)	グ リン 石 (pp)		磁鉄 鉱 (mg)	不明 (pp)
						平板状 (b1)	Y字状 (b2)	繊維状 (f1)	スポンジ 状 (p2)	フレーク 状 (c1)	塊状 (c2)										
1	SBLI	Ⅲ	136	78	10	12			7	7		36	250	49	19	2	104	44	25	7	250
2		Ⅳ	1	125	71	37			14	1	1	124	250	74	28		80	27	31	10	250
3		Ⅴ	2	74	87	51	21		12	2	1	87	250	52	41	2	109	20	18	8	250
4		Ⅵ	65	68	88	19			8	12		127	260	48	30	2	121	21	17	11	250
5		Ⅲ	97	119	11	5			12	6		34	250	51	18		85	64	19	13	250
6		Ⅳ	2	89	106	39	5		8	1		53	250	69	28	1	82	20	39	11	250
7		Ⅴ	3	29	81	113	19		5			137	250	53	25	3	114	11	19	25	250
8	深堀り 部	Ⅵ	36	83	99	25			7			131	250	61	26		117	17	9	20	250
9		Ⅶ	1	102	142	1			4			5	250	71	16	2	104	29	14	14	250
10		Ⅸ	5	90	147	3			4	1		8	250	68	14	1	113	18	14	22	250
11		X	8	51	186	1			4			5	250	49	33	2	91	27	7	41	250

分析No. 測定対象



範囲(range)	平均(mean)	個数
1.4975 - 1.5154	1.5023	30
1.4972 - 1.5013	1.4992	30
1.4981 - 1.5066	1.5012	30
1.4972 - 1.5009	1.4994	29

第92図 4φ中の火山ガラスの屈折率測定結果

3. 結果

以下に、各テフラ試料の特徴、火山ガラスの屈折率測定結果について述べる。

[分析 No.1 : SBL1、Ⅲ層]

試料は全体に褐色(10YR 4/6)のロームである(第49表)。篩分けでは3φと2φの篩残渣が多く、重液分離では重鉱物が多く、軽鉱物が少ない(第50表)。

軽鉱物では長石類が多く(54.4%)、火山ガラスは14.4%であった(第51表)。また、重鉱物では、カンラン石が41.6%と多く、斜方輝石(opx)が19.6%とつづく(第51表)。

火山ガラスの屈折率は、範囲 1.4975-1.5154(平均値 1.5023)で、低い範囲 1.4975-1.5010、中間の範囲 1.5023-1.5059、高い範囲 1.5102-1.5154 あった(第92図)。

[分析 No.2 : SBL1、Ⅳ層]

試料は全体に明褐色(7.5YR 5/6)のロームである(第49表)。篩分けでは3φと4φの篩残渣が多く、重液分離では重鉱物が多く、軽鉱物が少ない(第50表)。

軽鉱物では火山ガラスが多く(49.6%)、火山ガラス中ではバブル型平板状ガラス(b1)が57.3%を占めた。(第51表)。また、重鉱物では、カンラン石(ol)が32.0%と多く、斜方輝石(opx)が29.6%とつづく(第51表)。

火山ガラスの屈折率は、範囲 1.4972-1.5013(平均値 1.4992)であった(第92図)。

[分析 No.3 : SBL1、Ⅴ層]

試料は全体に褐色(10YR 4/4)のロームである(第49表)。篩分けでは3φと4φの篩残渣が多く、重液分離では重鉱物が多く、軽鉱物が少ない(第50表)。

軽鉱物では火山ガラスが多く(34.8%)、火山ガラス中ではバブル型平板状ガラス(b1)が58.6%を占めた。(第51表)。また、重鉱物では、カンラン石(mg)が43.6%と多く、斜方輝石(opx)が20.8%とつづく(第51表)。

[分析 No.4 : SBL1、Ⅵ層]

試料は全体に褐色(10YR 4/6)のロームである(第49表)。篩分けでは3φと4φの篩残渣が多く、重液分離では軽鉱物と重鉱物が同量であった(第50表)。

軽鉱物では火山ガラスが多く(49.6%)、火山ガラス中ではバブル型平板状ガラス(b1)が70.9%を占めた。(第51表)。また、重鉱物では、カンラン石(ol)が48.4%と多く、斜方輝石(opx)が19.2%とつづく(第51表)。

[分析 No.5 : 深堀り部、Ⅲ層]

試料は全体に褐色(10YR 4/4)のロームである(第49表)。篩分けでは3φと4φの篩残渣が多く、重液分離では重鉱物が多く、鉱物が少ない(第50表)。

軽鉱物では長石類が多く(38.8%)、火山ガラスは13.6%と少ない(第51表)。また、重鉱物では、カンラン石(ol)が34.0%と多く、イディンクス石(id)が25.6%とつづく(第51表)。

火山ガラスの屈折率は、範囲 1.4981-1.5066（平均値 1.5012）で、低い範囲 1.4981-1.5006、高い範囲 1.5013-1.5029 あった（第 92 図）。

[分析 No.6：深堀り部、IV 層]

試料は全体に褐色（10YR 4/6）のロームである（第 49 表）。篩分けでは 3 φ と 4 φ の篩残渣が多く、重液分離では重鉱物が多く、軽鉱物が少ない（第 50 表）。

軽鉱物では長石類が多く（35.6%）、火山ガラスは 21.2% であった。（第 51 表）。また、重鉱物では、カンラン石（ol）が 32.8% と多く、斜方輝石（opx）が 27.6% とつづく（第 51 表）。

[分析 No.7：深堀り部、V 層]

試料は全体に褐色（10YR4/4）のロームである（第 49 表）。篩分けでは 3 φ 4 φ の篩残渣が多く、重液分離では軽鉱物が多く、重鉱物が少ない（第 50 表）。

軽鉱物では火山ガラスが多く（54.8%）、火山ガラスではバブル型平板状ガラス（b1）が 82.5% を占めた。（第 51 表）。また、重鉱物では、カンラン石（ol）が 45.6% と多く、斜方輝石（opx）が 21.2% とつづく（第 51 表）。

火山ガラスの屈折率は、範囲 1.4972-1.5009（平均値 1.4994）であった（第 92 図）。

[分析 No.8：深堀り部、VI 層]

試料は全体にぶい黄橙色（10YR5/4）のロームである（第 49 表）。篩分けでは 3 φ と 4 φ の篩残渣が多く、重液分離では重鉱物が多く、軽鉱物が少ない（第 50 表）。

軽鉱物では火山ガラスが多く（52.4%）、火山ガラスではバブル型平板状ガラス（b1）が 75.6% を占めた。（第 51 表）。また、重鉱物では、カンラン石（ol）が 46.8% と多く、斜方輝石（opx）が 24.4% とつづく（第 51 表）。

[分析 No.9：深堀り部、VII 層]

試料は全体に暗褐色（10YR3/4）のロームである（第 49 表）。篩分けでは 3 φ と 4 φ の篩残渣が多く、重液分離では重鉱物が多く、軽鉱物が少ない（第 50 表）。

軽鉱物では長石類が多く（40.8%）、火山ガラスは 2.0% と少ない（第 51 表）。また、重鉱物では、カンラン石（ol）が 42.6% と多く、斜方輝石（opx）が 28.4% とつづく（第 51 表）。

[分析 No.10：深堀り部、IX 層]

試料は全体に暗褐色（7.5YR 3/2）のシルトである（第 49 表）。篩分けでは 3 φ 43 φ の篩残渣が多く、重液分離では重鉱物が多く、軽鉱物が少ない（第 50 表）。

軽鉱物では長石類が多く（36.0%）、火山ガラスは 3.2% と少ない（第 51 表）。また、重鉱物では、カンラン石（ol）が 45.2% と多く、斜方輝石（opx）が 27.2% とつづく（第 51 表）。

〔分析 No.11：深堀り部、X層〕

試料は全体に褐色(7.5YR 3/2)のシルトである(第 50 表)。篩分けでは 2 ϕ と 3 ϕ の篩残渣が多く、重液分離では重鉱物が多く、軽鉱物が少ない(第 50 表)。

軽鉱物では長石類が多く (20.4%)、火山ガラスは 2.0% と少ない (第 51 表)。また、重鉱物では、カンラン石 (ol) が 36.4% と多く、斜方輝石 (opx) が 19.6% とつづく (第 51 表)。

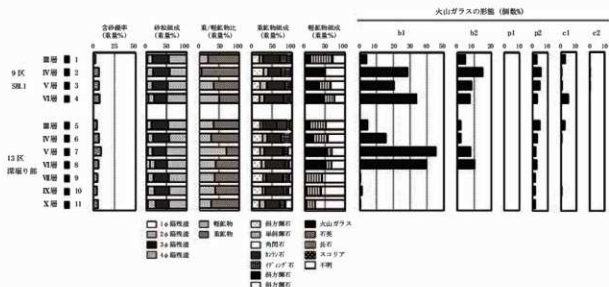
4. 考察

試料全体では、SBL1の皿面と深堀り部皿層（分析 No.1 と分析 No.5）では、いずれの試料において、火山ガラスは少ないもの急冷破砕型火山ガラスが特徴的に検出された。また、いずれのIV層～VI層においてバブル型火山ガラスが特徴的に多く検出された（第93図）。

なお、深堀り部のⅦ層～Ⅹ層中には、火山ガラスは少なかった。

火山ガラスの屈折率測定では、SBL1のⅢ層では中間の範囲1.5023-1.5059、深堀り部のⅢ層では高い範囲1.5013-1.5029の火山ガラスが測定された。これら破砕型ガラスおよび火山ガラスの屈折率から、町田・新井（2003）の立川ローム上部ガラス質テフラ（UG）に対比される。

一方、いずれの地点もⅣ層～Ⅵ層中に検出されたバブル型火山ガラスは、SBL1のⅣ層（分析No.1）と火山ガラスの屈折率範囲1.4972-1.5013、深堀り部のⅤ層（分析No.5）の屈折率範囲1.4972-1.5009から、町田・新井（2003）による始良Tnテフラ（AT）に対比される。



第93図 テフラ試料の含砂率・砂粒組成・鉱物組成・火山ガラスの形態

以下に対比されたテフラの特徴について記す。

山崎 (1978) の記載によると、UG 火山灰のガラス形態は、小気泡を含むガラス塊状のものと、繊維束状のものとがあり、ガラス片には長石や輝石を伴うことが多い。火山ガラスの屈折率は、範囲 1.500-1.503 である (町田・新井, 2003)。UG 火山灰の噴出源は、浅間火山の可能性が考えられており、

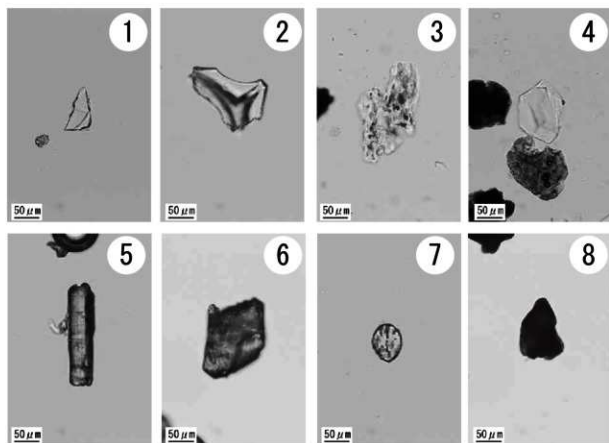
その分布と火山ガラスの形態的特徴や屈折率特性から、浅間火山の南東に分布する浅間一板鼻黄色軽石 (As-YP: 新井, 1962) およびその直上の火山灰互層に連続すると考えられている (鈴木, 1991、町田・新井, 2003)。なお、UG 火山灰の噴出年代 (As-YP) は約 1.5 ~ 1.65 万年前と考えられている (町田・新井, 2003)。

始良 Tn テフラ (AT) は、南九州始良カルデラを噴出源として噴出した降下軽石 (pfa)、巨大火砕流堆積物 (pfl) とその降下火山灰 (afa) からなる。このテフラは、日本列島をすっぽりおおい、日本海全域、朝鮮半島、東シナ海、太平洋四国海盆を広くおおっている。分布は 1,200km 以上に及ぶ。主な鉱物は、斜方輝石 (Opx) と単斜輝石 (Cpx)、少量の石英 (Qt) からなる。火山ガラスの屈折率が 1.498-1.501、斜方輝石 00- 石 (opx) の屈折率が 1.728-1.734 である (町田・新井, 2003)。

なお、水月湖クロノロジーに基づいた年代は、 $30,009 \pm 189(2\sigma)$ SG062012 yr BP である (Smith et al., 2013)。

参考・引用文献

- 新井房夫 (1962) 関東盆地北西部地域の第四紀編年, 群馬大学紀要 自然科学編, 10, 1-79.
- 町田瑞男・村上雅博・齊藤幸治 (1983) 南関東の火山灰中の変質鉱物 “イディングサイト” について, 第四紀研究, 22, 69-76.
- 町田 洋・新井房夫 (2003) 新編火山灰アトラス, 336p, 東京大学出版会.
- 横山卓雄・植原 徹・山下 透 (1986) 温度変化型屈折率測定装置による火山ガラスの屈折率測定, 第四紀研究, 25, 21-30.
- 横山卓雄・山下 透 (1986) 温度変化型屈折率測定装置 (RIMS-86) による斜方輝石・角閃石の屈折率測定の試み, 京都大学教養部報告 (九十九地学), 21, 30-36.
- Smith, V. C., Staff, R. A., Blockley, S. P. E., Bronk Ramsey, C., Nakagawa, T., Mark, D. F., Takemura, K., Danhara, T., Suigetsu 2006 Project Members (2013) Identification and correlation of visible tephra in the Lake Suigetsu SG06 sedimentary archive, Japan: chronostratigraphic markers for synchronising of east Asian/west Pacific palaeoclimatic records across the last 150 ka. Quaternary Science Reviews, 67, 121-137.
- 鈴木正章 (1991) 立川ローム層最上部 UG 火山灰の層序と岩石化学的特性, 道都大学短期大学部紀要, 25, 87-97.
- 山崎晴雄 (1978) 立川断層とその第四紀後期の運動, 第四紀研究, 16, 231-246.



1. バブル型平板状ガラス 2. バブル型Y字状ガラス
 3. 軽石型スポンジ状ガラス 4. 急冷破砕型フレーク状ガラス
 5. 斜方輝石 6. 単斜輝石 7. カンラン石 8. イディンクス石

第 94 図 分析試料中の鉱物の顕微鏡写真

4 練馬区大泉中里遺跡出土縄文土器の圧痕分析

守屋 亮（東京都埋蔵文化財センター）

1. はじめに

練馬区大泉中里遺跡は、白子川右岸の台地上に立地する遺跡である。本遺跡における縄文時代の植物利用を明らかにするため、縄文土器の表出圧痕の分析をおこなった。

2. 対象資料と分析方法

対象資料は、遺構及び包含層から出土した縄文時代早期から中期の土器片 1,153 点で、土器の表面や断面に表出している表出圧痕を分析対象とした。

分析方法には、レプリカ法（丑野・田川 1991）を用いた。肉眼観察で土器表面の表出圧痕を選別し、印象材を用いてレプリカ試料を作製した。この作業は、土器片の接合作業を開始する前に、土器の内外面に加えて断面を観察した。印象材には、JM シリコンレギュラータ입(株式会社モリタ)を用いた。離型材には、アクリル樹脂パラロイド B-72 のアセトン 9% 溶液を用いた。得られたレプリカ試料は、実体顕微鏡を用いて分類と 1 次同定を実施した後、走査型電子顕微鏡（SEM）（日本電子製 JSM-IT500、東京都埋蔵文化財センター所蔵）を用いて観察と写真撮影を実施した。SEM による撮影は守屋がおこなった。また、SEM の観察結果を基に守屋が 2 次同定作業をおこなった。なお、作製したレプリカは、東京都埋蔵文化財センターで保管している。

3. 結果

同定の結果、木本類ではキハダの 1 分類、草本類ではシソ属の 1 分類群の計 2 分類群が見いだされた。種実であることは明らかであるが、分類群が不明な一群を「不明種実」とした。種実以外には、不明昆虫が得られた（第 52 表、第 95 図）。

以下、各分類群の同定根拠を記載する。

(1) キハダ *Phellodendron amurense* Rupr. var. *amurense* 種子 ミカン科 (13ON5_003_01)

種子の形状は、側面観が半月状、断面観が両凸レンズ状である。表面に網目状の組織を有する。サイズは、残存長 4.2mm、残存幅 3.0mm、残存厚 1.7mm である。

(2) シソ属 *Perilla* spp. 果実 シソ科 (13ON5_014_01・04・05・06)

果実の形状は広卵型で、臍を有する。表面に網目状の組織を有する。サイズは、13ON5_014_01 が長さ 2.5mm、幅 2.3mm、残存厚 1.7mm、13ON5_014_04 が残存長 2.3mm、残存幅 2.2mm、13ON5_014_05 が残存長 2.0mm、幅 2.0mm、厚さ 1.7mm である。

(3) 不明種実 果皮 (13ON5_013_01)

果皮の表面は平滑である。厚さ 0.7mm である。堅果類の果皮であると考えられる。

(4) 不明昆虫（幼虫）(13ON5_020_01)

幼虫の腹部である。残存しているのは腹面で、体節の残存数は 5 節である。尾が残る。腹脚を有するため、幼虫の腹部であると考えられる。サイズは、残存長 5.7mm、幅 2.4mm、厚さ 1.5mm である。

第52表 土器圧痕一覧表

遺構	遺物 番号	報告書 図番号	試料番号	時期	型式	器種	圧痕 残存 部位	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	測定者	分類群	部位	備考
包含層	186	第93回1	13ON5_003_01	縄文時代早期後半			外面	(4.40)	(3.48)	(1.63)	守屋	キハダ	種子	
包含層	1323	第71回85	13ON5_013_01	縄文時代中期後半		深鉢	断面	—	—	0.78	守屋	堅果類	果皮	
包含層	1450	第93回3	13ON5_014_01	縄文時代中期		深鉢	断面	2.47	2.31	(1.74)	守屋	シソ属	果実	
包含層	1450	第93回3	13ON5_014_04	縄文時代中期		深鉢	断面	(2.33)	(2.20)	—	守屋	シソ属	果実	
包含層	1450	第93回3	13ON5_014_05	縄文時代中期		深鉢	断面	(2.03)	1.99	1.72	守屋	シソ属	果実	
包含層	1450	第93回3	13ON5_014_06	縄文時代中期		深鉢	断面	—	—	—	守屋	シソ属	果実	
SX2	162	第93回2	13ON5_020_01	縄文時代早期後半	美濃文系		内面	(5.52)	2.35	(1.46)	守屋	昆虫(幼虫)	腹部 体節5、腹脚	

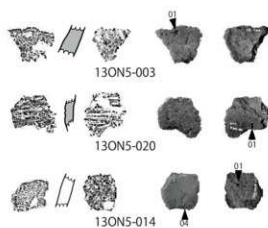
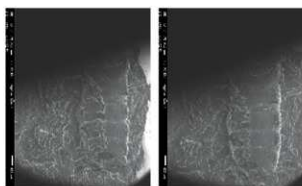
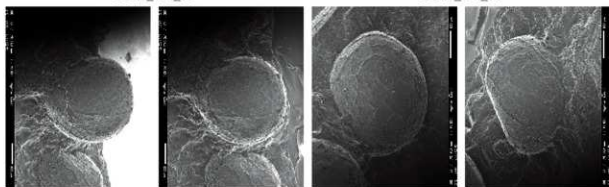
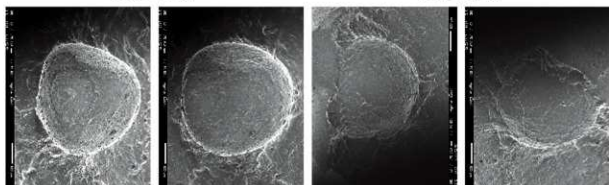
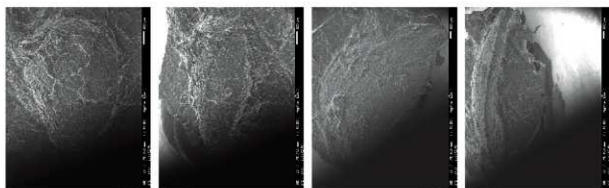
※()内の数値は残存値を示す

4. 考察

縄文時代早期後半の土器片からキハダ種子と不明昆虫の幼虫、縄文時代中期後半及び中期後半と推測される土器片から堅果類果皮とシソ属果実の圧痕が確認された。これらは、縄文時代の土器圧痕としてしばしば見られる分類群であるが(大網ほか 2021 等)、ここではシソ属果実圧痕の検出状況が目玉される。確認されたシソ属果実圧痕は、全て1点の土器小片に含まれるものであり、いわゆる「多量圧痕土器」であると言える。今回は表出圧痕のみを対象としたが、X線CT等により潜在圧痕を確認できる可能性がある。

参考文献

- 丑野 毅・田川裕美 1991 「レプリカ法による土器圧痕の観察」『考古学と自然科学』24, 13-36
- 大網信良・守屋 亮・佐々木由香・長佐古真也 2021 「土器圧痕からみた縄文時代中期における多摩ニュータウン遺跡群の植物利用と遺跡間関係(第2報)」『東京都埋蔵文化財センター研究論集』35, 1-29
- 米倉浩司・梶田忠(2003-) 「BG Plants 和名-学名インデックス」(YList), <http://ylist.info>



第95図 圧痕を有する土器と土器圧痕SEM写真

VI 調査の成果と課題

今回の第五次調査で、旧石器時代と縄文時代、奈良・平安時代、近世以降の各時期における成果が得られた。

1 旧石器時代

第四次調査では6基、今回の第五次調査では3基の計9基の遺物集中部が検出された。表記の混乱を避けるため、ここでは第五次調査1号遺物集中をSBL1、2号遺物集中をSBL2、3号遺物集中をSBL3と表記する。

SBL1からSBL3の3基では、それぞれ遺構内で礫の接合が確認された。第12図、第14図、第16図に基本的な接合関係図を示したが、重複して見づらいため、異なる表現方法を試みたのが第96図・第97図である。接合した礫の座標点に対し、2点接合した場合は線分、3点以上接合した場合は各頂点を結んで凸多角形として作図し、「範囲」として表現した。これらの範囲が重複する箇所が、礫が割れるに至った作用の中心点である可能性が想定される。これを重量別の分布状況や、出土地点のカーネル密度推定結果（第98図）と比較すると、SBL1とSBL3では礫の接合範囲の分布と、礫の出土地点の分布は概ね同様の中心を持つことが認められる。一方SBL2では、礫の出土地点の分布は北側と南側の2点に中心を持ち、礫の接合範囲はこの北側と南側の間に重複の中心を持つことが認められる。したがってSBL2においては、北側と南側で新旧関係を有し、割れた礫の一部が再利用された可能性がある。

第四次調査と第五次調査の遺物集中部の分布状況を見ると（第98図）、各遺物集中部は凡そ10m前後の間隔で分布していることがわかる。規模を比較すると、第98図のグラフに示したように、規模の大きい第四次調査3号遺物集中部とSBL2に対し、規模の小さいその他に分けられる。SBL2のように分布範囲が調査区外にも広がっているため全体が把握できない遺構がある点を考慮しつつも、大規模なものと小規模なものとの何等かの差異があることが想定される。

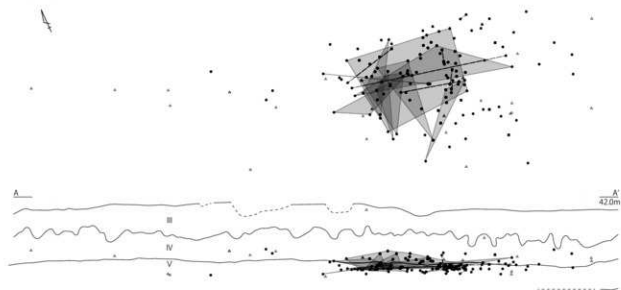
出土層位について見ると、第五次調査の3基は、全てⅣ層下部からⅤ層上部で検出されている。第22図の出土高分布を見ると、50g以下の礫はⅣ層下部からⅤ層上部にかけて出土しているが、50g以上の礫は主にⅤ層上部から出土していることがわかる。したがって、軽い礫は堆積後に擾乱を受けて上下方向に移動し、一方で重い礫は原位置を保っている可能性が考えられる。この場合、遺物集中の本来の層位はⅤ層上部であると想定される。一方、第四次調査の1号遺物集中部から4号遺物集中部、6号遺物集中部は主にⅣ層から、5号遺物集中部はⅣ層下部からⅤ層上部にかけて検出されている。この層位が時期差を反映しているのか、あるいは擾乱による堆積後の移動によるものなのかについて検討が必要である。

ここで、礫の遺構間接合関係に注目すると、SBL1出土礫1点が、第四次調査3号遺物集中部出土礫1点と接合した事例がある。また、第四次調査においても、2号遺物集中部と3号遺物集中部で礫の接合関係が認められている。したがって、第四次調査3号遺物集中部を介して、第四次調査2号遺物集中部、第四次調査3号遺物集中部、第五次調査SBL1における礫の接合関係があり、時期的

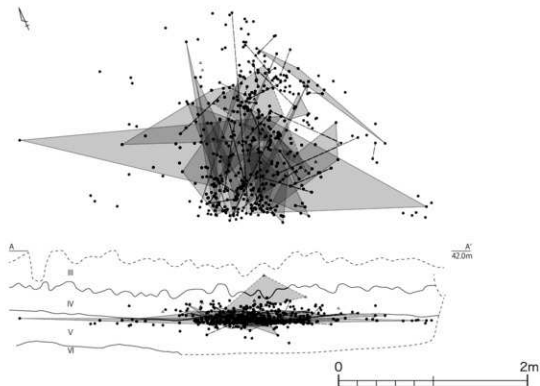
第 53 表 旧石器時代の石器石材産地推定結果一覧

石材	調査	遺構	点数	分析法	産地		備考	分析者	分析機関	出典
					エリア	町田郡				
黒曜石	第四次調査	2号遺物集中部	1	EDX	天城	新幹	池谷 信之	明治大学黒曜石研究センター	東京都埋蔵文化財センター 2020	
		6号遺物集中部	29		箱根	畑宿				
	第五次調査	1号遺物集中 (SBL1)	4	EDX	磐梯	冷山				
			1		和田	土屋橋 2				
安山岩	第五次調査		5	EDX	佐久?	八尾山	非破壊分析のため参考値	竹原弘樹	株式会社バレイオ・ラボ	第 V 章第 3 節
		1号遺物集中 (SBL1)	1		みなかみ?	武尊山 1				
			1			武尊山 2				
		2号遺物集中 (SBL2)	10		佐久?	八尾山				

1号遺物集中

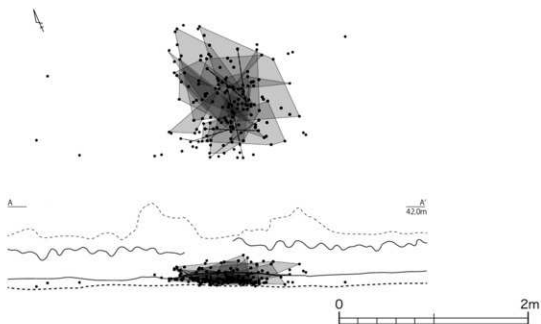


2号遺物集中

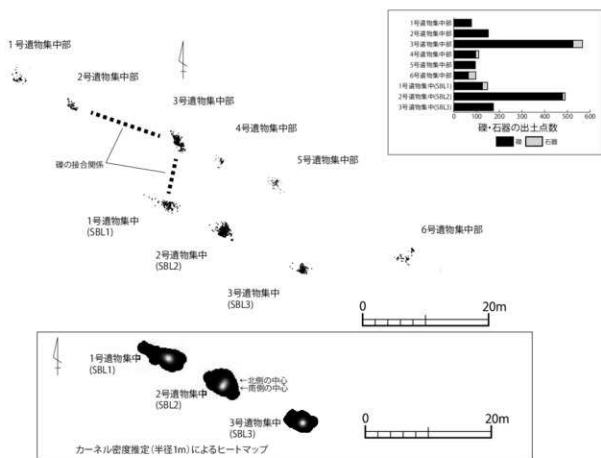


第96図 1号・2号遺物集中接合関係図 (1/40)

SBL3



第97図 3号遺物集中接合関係図(1/40)



第98図 大泉中里遺跡の旧石器遺物集中部(1/600)

に近い関係にあると判断できる。

なお、SBL1 出土炭化物の放射性炭素年代測定の結果は、実施した 2 点の内、試料 No.1 は状態不備のため測定不能、試料 No.2 は縄文時代早期の年代を示す結果となった（第 V 層第 1 節参照）。後者については、上層で検出された縄文時代早期後半の炉穴をはじめとする遺構群に由来する炭化物が、根等の植物擾乱を受けて混入したものと想定される。したがって、遺物集中部の年代を示す結果は得られなかった。

以上のように、第四次調査及び第五次調査の遺物集中部においては、埋没後に擾乱を受けて、礫が上下方向に移動している可能性が示された。今後、ファブリック解析（尾田 2019 等）により、埋没後の擾乱の影響に関する検討が必要となろう。

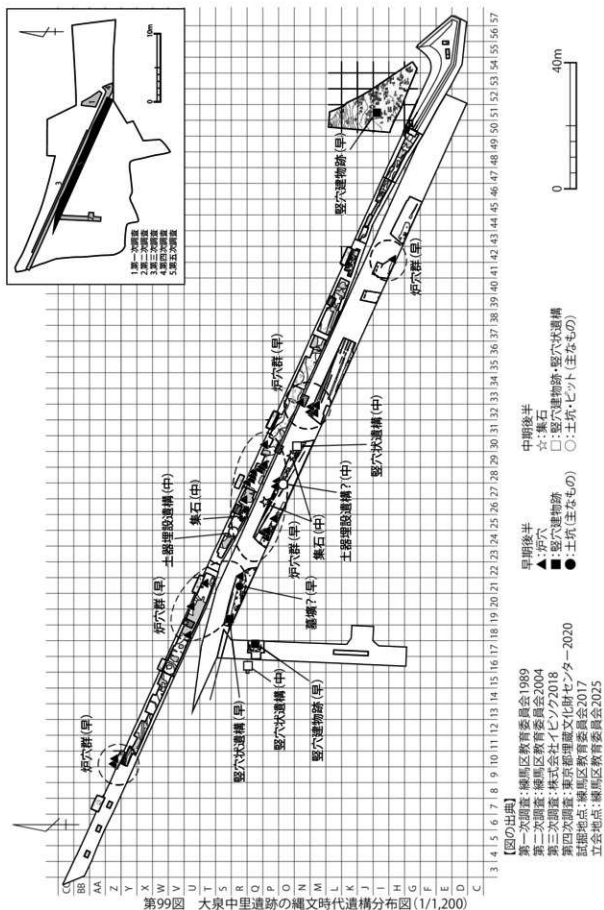
次に、石器の出土状況を見ると、SBL1 では黒曜石、黒色ガラス質安山岩、硬質細粒凝灰岩の石器・剥片が出土したのに対し、SBL2 では硬質細粒凝灰岩の剥片のみ、SBL3 では出土しないという相違が見られる。また、黒曜石及びガラス質安山岩の産地推定分析の結果（第 V 章第 2 節・第 3 節）では、黒曜石は信州系、安山岩は北関東系の可能性が示されている。なお、測定不能となった 4 点については、後に硬質細粒凝灰岩であると判明したものである。第四次調査の黒曜石産地推定の結果と比較すると（第 53 表）、第四次調査 2 号遺物集中部と 6 号遺物集中部で出土した黒曜石は伊豆半島系との結果が得られており、SBL1 の黒曜石と差異がある。この差についても、先に礫の分布状況で検討したように、時期差であるのか、あるいは集団差であるのか、検討が必要である。

2 縄文時代

第一次調査から第五次調査、試掘・立会によって検出された縄文時代の遺構の分布を示した図が第 99 図である。

早期後半では、複数の炉穴が群を成し、さらにこの炉穴群が間隔をおいて分布している。竪穴建物跡は、炉穴群と近接した箇所位置し、第二次調査で検出された竪穴建物跡と、第五次調査の 9 区 19-S グリッドで検出された 1 号竪穴建物跡は約 9m の距離で近接する。また、第五次調査 9 区 21-R グリッドに位置する 18 号土坑からは、多量の条痕文系土器片が出土し、多くが接合した。遺物の出土状況から、墓壇の可能性も想定される。遺構分布の中心は遺跡の西側にあるように見て取れるが、遺跡の東側にあたる第一次調査地点においても、竪穴建物跡を始めとして遺構が集中している。東側の大部分は後世の擾乱により遺構が消失している可能性があるため、明確な分布の中心は不明である。

中期後半では、第四次調査 3 区から第五次調査 10 区にかけて、遺構が集中する。この範囲では、第四次調査 1 号集石と第五次調査 1 号集石、2 号集石が分布する。第四次調査 1 号集石と第五次調査 1 号集石は隣接しており、同一の集石の可能性があるが、双方が複数の礫分布の複数の中心を有すると推測されることから、小規模な集石が重複した結果、このような検出状況となった可能性もある。集石の周辺では、第四次調査の 3 区 24-R グリッドで加曽利 E4 式期の土器埋納遺構が 1 基検出されている。第五次調査においても、10 区 28-P グリッドの加曽利 E4 式期の土器埋納遺構の可能性のあるピット（62 号ピット）が 1 基検出された。両者は約 22m 離れた箇所に位置し、集石の分布範囲を取り囲む位置にある。また、竪穴建物跡（SI4）もこの周辺である 29-N グリッドに位置する。これらの範囲は、近辺で標高が最も高い箇所であり、意図的にこの箇所に集落が営まれたと推測され



第99図 大泉中里遺跡の縄文時代遺構分布図(1/1,200)

る。

3 奈良・平安時代

奈良・平安時代の遺構は確認されなかったが、1層耕作土から「田」の線刻のある須恵器坏が出土したことが注目される。時期は9世紀末から10世紀前半であり、線刻は内面に施される。「田」の線刻のある須恵器は、練馬区内における出土事例は無いが、明治大学日本古代学研究所「全国墨書・刻書土器、文字瓦 横断検索データベース」によると、武蔵国地域では埼玉県比企郡鳩山町小谷遺跡、埼玉県比企郡鳩山町柳原遺跡、東京都府中市武蔵国府関連遺跡（日鋼地区 M24区）で出土事例がある。

当該須恵器片の出土状況は、遺構ではなく耕作土からの出土であるため、人為的に遠方から持ち込まれた可能性も否定できない。特に、次節で述べるように、近世以降に畑作に適した土壌が搬入された可能性があるため、搬入された土壌の中に須恵器片が含まれていた可能性もある。

4 近世以降

ピット、土坑、溝状遺構等が検出されたが、大部分が耕作痕であると考えられる。特に、根菜類を栽培した痕跡と考えられるピット列や、畝間溝と考えられる溝状遺構、客土を目的としたと考えられる溝状掘削痕跡がローム層で確認された。第36表に示したように、これらの遺構群が、畑の機能を示していると推測される。図示はしていないが、昭和22年の米軍写真と比較すると、遺構群の分布は畑の区画と概ね一致し、溝状遺構の方向も畝の方向と一致する。また、客土が行われたと考えられる溝状遺構が分布する箇所は、ローム層の標高が高くなる9区東側から10区西側に限られており、周囲に合わせた面の高さで畑を営むためには、ローム層を掘削して耕作土の厚さを確保する必要があったと考えられる。

(守屋)

引用・参考文献

- 新井三丁目遺跡調査団 1988『新井三丁目遺跡』新井三丁目遺跡調査会
- 遠藤邦彦他 2019「武蔵野台地の新たな地形区分」『第四紀研究』58-6,353-375
- 尾田識好 2019「武蔵野台地における後期旧石器時代初頭の編年と行動論：武蔵台遺跡の分析を中心に」『旧石器研究』15,107-122
- 株式会社イビソク 2018『大泉中里遺跡第三次調査』
- 古泉 弘 1987『江戸の考古学』考古学ライブラリー 48、ニュー・サイエンス社
- 桜井準也 2019『増補 ガラス瓶の考古学』六一書房
- 柴田 徹 2005『河原の石のCD 岩石鑑定図鑑』考古石材研究所
- 鈴木忠司 2024『岩宿時代日本列島の生業と集落』同成社
- 東京都埋蔵文化財センター 2002『富士見池遺跡群 溜渕遺跡』東京都埋蔵文化財センター調査報告第 105 集
- 東京都埋蔵文化財センター 2020『大泉中里遺跡第四次調査』東京都埋蔵文化財センター調査報告第 355 集
- 練馬区遺跡調査会 1989『大泉中里遺跡』練馬区教育委員会
- 練馬区教育委員会 2004『埋蔵文化財調査報告 19 平成 15 年度（2003 年度）』
- 練馬区教育委員会 2017『埋蔵文化財調査報告 31 平成 27 年度（2015 年度）』
- 練馬区教育委員会 2018『埋蔵文化財調査報告 32 平成 28 年度（2016 年度）』
- 練馬区教育委員会 2023『埋蔵文化財調査報告 37 令和 3 年度（2021 年度）』
- 練馬区教育委員会 2025『埋蔵文化財調査報告 39 令和 5 年度（2023 年度）』
- 練馬区史編さん協議会 1982『練馬区独立 30 周年記念 練馬区史（歴史編）』東京都練馬区

データベース

- 明治大学日本古代学研究所「全国墨書・刻書土器、文字瓦 横断検索データベース」
<https://bokusho-db.kodaishiryō-db.jp/>

印刷仕様

表紙	レザック	215kg (四六判)
見返し	上質紙	135kg (四六判)
本文	マットコート紙	90kg (四六判)
写真図版	マットコート紙	90kg (四六判)
印刷方式	オフセット印刷	
使用インク	エコマーク商品認定基準に適合	
製版線数	150 線 (カラー 175 線)	

本書は永久保存を考慮し、すべて中性紙を使用

練馬区

大泉中里遺跡第五次調査

—補助第 230 号線 (大泉町) 整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査 その 2—

東京都埋蔵文化財センター調査報告 第 392 集

2025 年 9 月 30 日 発行

編集・発行

公益財団法人東京都教育支援機構
東京都埋蔵文化財センター

東京都多摩市落合一丁目 14 番 2

TEL 042 - 374 - 8044

印刷 株式会社 外為印刷

東京都台東区浅草 2-28-31
